
狛江市 子どもの生活実態調査
集計結果報告書

令和6年3月

狛江市

目次

調査の概要	1
1 調査の目的.....	1
2 調査の方法.....	1
(1) 調査対象.....	1
(2) 調査時期.....	1
(3) 調査方法.....	1
(4) 配布・回収状況.....	1
3 集計結果の表示方法.....	2
回答者の基本属性	3
1 小学5年生の回答者属性.....	3
(1) 保護者（回答者）と子どもの続柄.....	3
(2) 保護者（回答者）の年齢.....	3
(3) 両親の国籍.....	3
(4) 世帯タイプ.....	3
2 中学2年生の回答者属性.....	4
(1) 保護者（回答者）と子どもの続柄.....	4
(2) 保護者（回答者）の年齢.....	4
(3) 両親の国籍.....	4
(4) 世帯タイプ.....	4
3 子どもの生活実態調査における「生活困難」について.....	5
(1) 子どもの生活実態調査における「生活困難」とは.....	5
(2) 生活困難層の割合.....	8
結果概要	9
(1) 生活困難の割合.....	9
(2) 生活困難の状況.....	9
(3) 就学援助の受給状況.....	20
(4) 子どもに受けさせたい教育段階.....	22
(5) 子ども本人の進学希望.....	23
(6) 平日の食事の状況.....	24
(7) 保護者の状況.....	26
(8) 子どもとのかかわりの頻度.....	29
(9) 子ども本人の支援サービスの利用意向.....	30
(10) 相談窓口の利用状況.....	31
(11) 頼れる親族・友人、相談相手の有無.....	33
(12) 最近の生活の満足度.....	34
(13) 子どもの自己肯定感.....	35
(14) ヤングケアラーについて.....	39
(15) 心配ごとや困りごとの有無.....	40

集計結果	41
1 保護者調査	41
(1) あなたのこと、あなたの世帯のことについて	41
(2) 母親と父親の職業について	46
(3) 子ども受けさせたい教育段階について	54
(4) あなたと子どもの健康状態について	55
(5) 就学援助費について	56
(6) 食事のことについて	58
(7) 子どもとの関わりについて	58
(8) 家庭での生活について	64
(9) 母親と父親のこれまでのご経験について	74
(10) 公的支援の利用状況について	79
(11) 子どもの権利のことについて	84
2 子ども調査	85
(1) あなたや友だちのことについて	85
(2) ふだんの生活について	86
(3) 食事や健康のことについて	95
(4) 学校や勉強のことについて	98
(5) あなたがふだん考えていることについて	102
(6) ヤングケアラーについて	110
(7) 子どもの権利のことについて	111
(8) 支援サービスの利用意向について	114
自由記入設問 記述 (全文)	120

調査の概要

1 調査の目的

本調査は、子どもの生活状況や子どもとの関わり、家庭の状況などをうかがい、子ども・若者の支援に役立てるとともに、令和7年度からの「第3期こまえ子ども・若者応援プラン」での取組等を検討するための基礎資料として実施したものです。

2 調査の方法

(1) 調査対象

市内在住の小学5年生及び中学2年生とその保護者

	子ども票	保護者票
小学5年生	640人	640人
中学2年生	604人	604人

(2) 調査時期

令和5年12月5日（火）から12月19日（火）まで

(3) 調査方法

市立小中学校及び義務教育学校：学校を通じて配布・回収

私立小中学校等：郵送による配布・回収

(4) 配布・回収状況

		子ども票	保護者票	うち親子マッチング できた票数
小学5年生	有効回答数	330票	335票	330票
	回答率	51.6%	52.3%	51.6%
中学2年生	有効回答数	194票	194票	192票
	回答率	32.1%	32.1%	31.8%

3 集計結果の表示方法

- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分率による集計では、回答者数（該当設問においては該当者数）を100%として算出し、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記します。このため、すべての割合の合計が100%にならないことがあります。
- 複数回答（2つ以上選ぶ問）の設問では、すべての割合の合計が100%を超えることがあります。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果又は回答者が皆無であることを表します。
- 設問文を一部省略して表記しています。
- グラフ及び文章中で選択肢を一部省略している場合があります。
- クロス集計グラフでは、見やすさを優先し「0.0%」の数値表示を省略しているものがあります。
- 子ども調査の設問文は中学2年生のものを掲載しています。
- 生活困難度を判定するための設問で無回答のため判定不能としたものがあります。そのため、困窮層、周辺層、一般層の合計は全体数と同数ではありません。
- 生活困難度の困窮層と周辺層は該当者が少なく、統計上有意にならないことから、生活困難度別クロス集計のグラフは、困窮層と周辺層を合わせた「生活困難層」と「一般層」で表しています。
- 世帯タイプは保護者票の子どもと父親、母親それぞれの同居状況から判別しています。そのため、各制度や公的統計の定義とは必ずしも一致しません。

回答者の基本属性

1 小学5年生の回答者属性

小学5年生の回答者属性は以下のとおりです。

回答した保護者は「母親」が89.9%、「父親」が9.0%、平均年齢は44.3歳となっており、「日本国籍」を持つ母親は97.9%、父親は95.8%、「日本以外」の国籍を持つ母親は0.9%、父親は2.1%となっています。世帯タイプは「ふたり親」が84.5%、「ひとり親」が3.9%となっています。

(1) 保護者（回答者）と子どもの続柄

父親	母親	祖父	祖母	その他	施設職員	無回答	全体
30人	301人	0人	1人	0人	0人	3人	335人
9.0%	89.9%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.9%	100.0%

(2) 保護者（回答者）の年齢

39歳以下	40歳代	50歳代	60歳以上	無回答	合計	平均値
39人	249人	31人	1人	15人	335人	44.3歳
11.6%	74.3%	9.3%	0.3%	4.5%	100.0%	

(3) 両親の国籍

	日本	日本以外	無回答	合計
母親	328人	3人	4人	335人
	97.9%	0.9%	1.2%	100.0%
父親	321人	7人	7人	335人
	95.8%	2.1%	2.1%	100.0%

(4) 世帯タイプ

ふたり親	ひとり親	不明	合計
283人	13人	39人	335人
84.5%	3.9%	11.6%	100.0%

2 中学2年生の回答者属性

中学2年生の回答者属性は以下のとおりです。

回答した保護者は「母親」が88.1%、「父親」が9.8%、平均年齢は47.0歳となっており、「日本国籍」を持つ母親は96.4%、父親は95.4%、「日本以外」の国籍を持つ母親は1.5%、父親は1.5%となっています。世帯タイプは「ふたり親」が85.1%、「ひとり親」が6.2%となっています。

(1) 保護者（回答者）と子どもの続柄

父親	母親	祖父	祖母	その他	施設職員	無回答	全体
19人	171人	0人	1人	0人	0人	3人	194人
9.8%	88.1%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	1.5%	100.0%

(2) 保護者（回答者）の年齢

39歳以下	40歳代	50歳代	60歳以上	無回答	合計	平均値
12人	123人	50人	0人	9人	194人	47.0歳
6.2%	63.4%	25.8%	0.0%	4.6%	100.0%	

(3) 両親の国籍

	日本	日本以外	無回答	合計
母親	187人	3人	4人	194人
	96.4%	1.5%	2.1%	100.0%
父親	185人	3人	6人	194人
	95.4%	1.5%	3.1%	100.0%

(4) 世帯タイプ

ふたり親	ひとり親	不明	合計
165人	12人	17人	194人
85.1%	6.2%	8.8%	100.0%

3 子どもの生活実態調査における「生活困難」について

(1) 子どもの生活実態調査における「生活困難」とは

本報告では、子どもの生活における「生活困難」を、3つの要素から分類します。

- ① 低所得
- ② 家計の逼迫（ひっぱく）
- ③ 子どもの体験や所有物の欠如

「①低所得」は、先進諸国の貧困の測定に最も一般的に用いられ、厚生労働省も用いている指標ですが、本調査においては、把握できる世帯所得の精緻（せいち）度が限られています。そこで、所得データを補完するために、「② 家計の逼迫」と「③ 子どもの体験や所有物の欠如」に用いられている物質的はく奪指標を用います。物質的はく奪指標は、所得データによる貧困率と一緒に用いることで、貧困の測定の精緻（せいち）化が可能であることが、欧州連合などを始め国内外の研究より判明しています。以下にそれぞれの詳細な定義を示します。

① 低所得

「低所得」は、世帯所得（勤労収入、事業収入等＋社会保障給付）を、世帯人数の平方根で割り算した値（＝等価世帯所得）が、厚生労働省「令和4年国民生活基礎調査」から算出される基準*未満の世帯と定義します。なお、低所得世帯の割合は、世帯所得の把握の方法や可処分所得ではなく、当初所得を用いている点などの違いがあるため、厚生労働省「令和4年国民生活基礎調査」にて公表されている「子どもの貧困率」（11.5%）と比較はできません。

*：厚生労働省「令和4年国民生活基礎調査」（所得は令和3年値）の世帯所得の中央値（423万円）を、平均世帯人数（2.25人）の平方根で除した値の50%である141万円

② 家計の逼迫（ひっぱく）

「家計の逼迫（ひっぱく）」は、経済的な制約を子どもに課し、生活水準を低下させるだけでなく、親の心理的なゆとりや、心身的健康状態の悪化を通して子どもに悪影響をもたらす可能性があると言われてしています。そこで、家計の逼迫（ひっぱく）を、家計の中で大きな比重を占め、これらの欠乏により、基本的な生活水準を保つことが難しいと考えられる公共料金や食料・衣類の費用が捻出できない状況と定義します。具体的には、保護者票において過去1年間に、経済的な理由で電話、電気、ガス、水道、家賃などの料金の滞納があったか、また、過去1年間に「家族が必要とする食料が買えなかった経験」、「家族が必要とする衣類が買えなかった経験」があったか等、7つの項目のうち1つ以上が該当する場合を「家計の逼迫（ひっぱく）」があると定義します。

③ 子どもの体験や所有物の欠如

前記①と②は、世帯全体の生活困難を表しますが、子ども自身の生活困難を表す指標として、「子どもの体験や所有物の欠如」を用います。ここで用いられる子どもの体験や所有物とは、日本社会において、大多数の子どもが一般的に享受していると考えられる経験や物品です。

具体的には、保護者票において過去1年間に、以下の15項目において、「経済的にできない」や「経済的理由のために世帯にない」状態の3つ以上が該当している場合に、「子どもの体験や所有物の欠如」の状態にあると定義します。

- 「海水浴・登山に行く」
- 「博物館・科学館・美術館などに行く」
- 「キャンプやバーベキューに行く」
- 「スポーツ観戦や映画・コンサートなどに行く」
- 「遊園地やテーマパークなどに行く」
- 「毎月お小遣いを渡す」
- 「毎年新しい洋服・靴を買う」
- 「習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる」
- 「学習塾に通わせる（又は家庭教師に来てもらう）」
- 「お誕生日のお祝いをする」
- 「1年に1回くらい家族旅行に行く」
- 「クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる」
- 「子どもの年齢に合った本」
- 「子ども用のスポーツ用品・おもちゃ」
- 「子どもが自宅で宿題をすることができる場所」

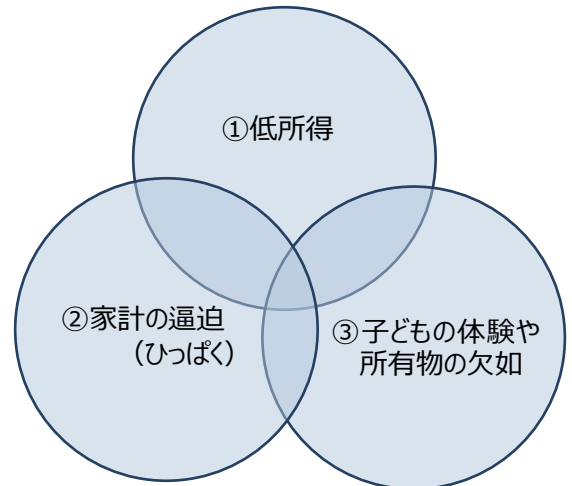
「生活困難層」の定義について

●子どもの生活実態調査では、「生活困難層」等を以下の3つの要素に基づいて分類します。

①低所得	③子どもの体験や所有物の欠如
<p>等価世帯所得が厚生労働省「令和4年国民生活基礎調査」から算出される基準未満の世帯</p> <p><低所得基準> 世帯所得の中央値 423 万円÷ √ 平均世帯人数(2.25 人)×50% =141 万円</p>	<p>子どもの体験や所有物などに関する次の15項目のうち、<u>経済的な理由</u>で、欠如している項目が3つ以上該当</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 海水浴・登山に行く 2 博物館・科学館・美術館などに行く 3 キャンプやバーベキューに行く 4 スポーツ観戦や映画・コンサートなどに行く 5 遊園地やテーマパークなどに行く 6 毎月お小遣いを渡す 7 毎年新しい洋服・靴を買う 8 習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる 9 学習塾に通わせる(又は家庭教師に来てもらう) 10 お誕生日のお祝いをする 11 1年に1回くらい家族旅行に行く 12 クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる 13 子どもの年齢に合った本 14 子ども用のスポーツ用品・おもちゃ 15 子どもが自宅で宿題をすることができる場所
②家計の逼迫(ひっぱく)	
<p><u>経済的な理由</u>で、公共料金や家賃を支払えなかった経験や食料・衣類を買えなかった経験などの7項目のうち1つ以上に該当</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 電話料金 2 電気料金 3 ガス料金 4 水道料金 5 家賃 6 家族が必要とする食料が買えなかった 7 家族が必要とする衣類が買えなかった 	

◆生活困難層(困窮層・周辺層)、一般層

生活困難層	困窮層 + 周辺層
困窮層	2つ以上の要素に該当
周辺層	いずれか1つの要素に該当
一般層	いずれの要素にも該当しない



(2) 生活困難層の割合

「低所得」や「家計の逼迫」、「子どもの体験や所有物の欠如」のうち2つ以上に該当し、困窮層にあると思われる家庭は、小学5年生で3.7%、中学2年生で6.6%、いずれか1つに該当する周辺層の家庭は、小学5年生で6.9%、中学2年生で7.3%となっています。

困窮層と周辺層を合わせた生活困難層にあたる家庭は、小学5年生で10.6%、中学2年生は13.9%となっています。

○各層の内訳

区 分	小学5年生		中学2年生	
	サンプル数(人)		サンプル数(人)	
生活困難層	26	10.6%	21	13.9%
困窮層	9	3.7%	10	6.6%
周辺層	17	6.9%	11	7.3%
一般層	220	89.4%	130	86.1%

※サンプル数とは、生活困難度が判定できた数

※端数処理の関係で、合計が100%とならない場合があります。

区 分	小学5年生			中学2年生		
	サンプル数	該当数		サンプル数	該当数	
低所得	253	4	1.6%	157	1	0.6%
家計の逼迫	322	24	7.5%	189	19	10.1%
子どもの体験や所有物の欠如	324	20	6.2%	187	17	9.1%

※サンプル数とは、各要素の判定できた数

※各要素のサンプル数が違うため、該当数が同数でも割合が違う場合があります。

○各層の内訳：世帯タイプ別

区 分	小学5年生				中学2年生			
	ふたり親		ひとり親		ふたり親		ひとり親	
サンプル数(人)	236		10		140		11	
生活困難層	20	8.5%	6	60.0%	14	10.0%	7	63.6%
困窮層	8	3.4%	1	10.0%	6	4.3%	4	36.4%
周辺層	12	5.1%	5	50.0%	8	5.7%	3	27.3%
一般層	216	91.5%	4	40.0%	126	90.0%	4	36.4%

※サンプル数とは、生活困難度と世帯タイプが判定できた数

※端数処理の関係で、合計が100%とならない場合があります。

結果概要

(1) 生活困難の割合

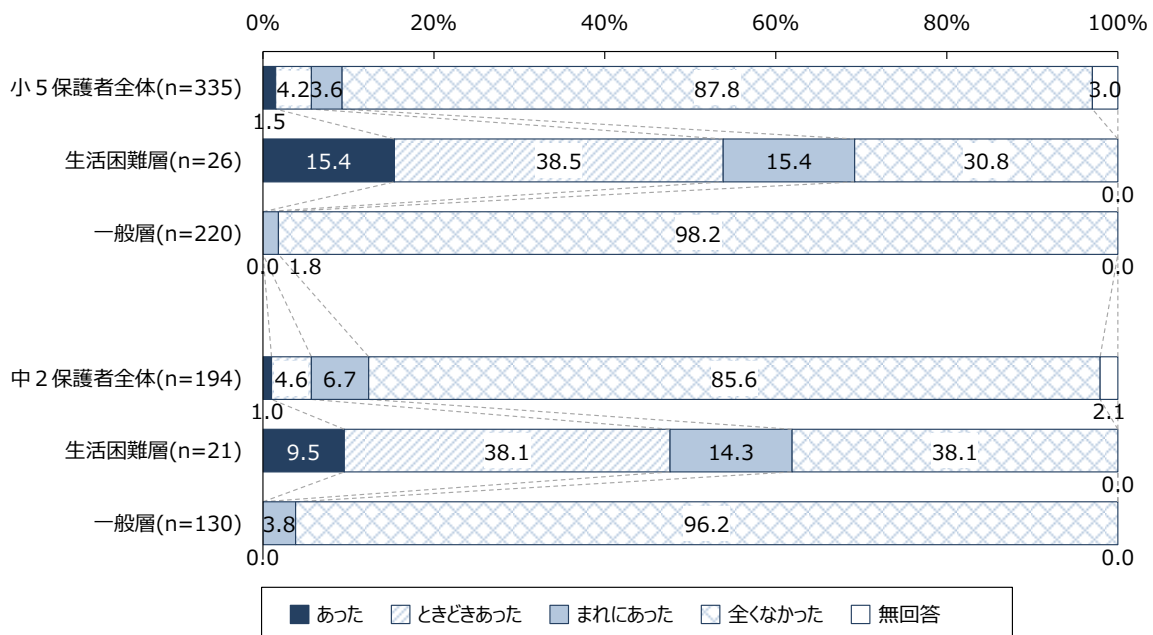
狛江市における生活困難度を「低所得」、「家計の逼迫」、「子どもの体験や所有物の欠如」の3つの要素から、困窮層、周辺層、一般層に分類した結果、世帯収入等の回答がなく生活困難度が判定できなかった世帯が、小学5年生で89世帯、中学2年生で46世帯あり、生活困難層と判定できた世帯は、小学5年生では26世帯（うち困窮層9世帯、周辺層17世帯）、中学2年生では21世帯（うち困窮層10世帯、周辺層11世帯）となっています。

判定できなかった世帯を除いた生活困難度別の割合は、小学5年生では、生活困難層が10.6%（うち困窮層3.7%、周辺層6.9%）、一般層が89.4%、中学2年生では、生活困難層が13.9%（うち困窮層6.6%、周辺層7.3%）、一般層が86.1%となっています。

(2) 生活困難の状況

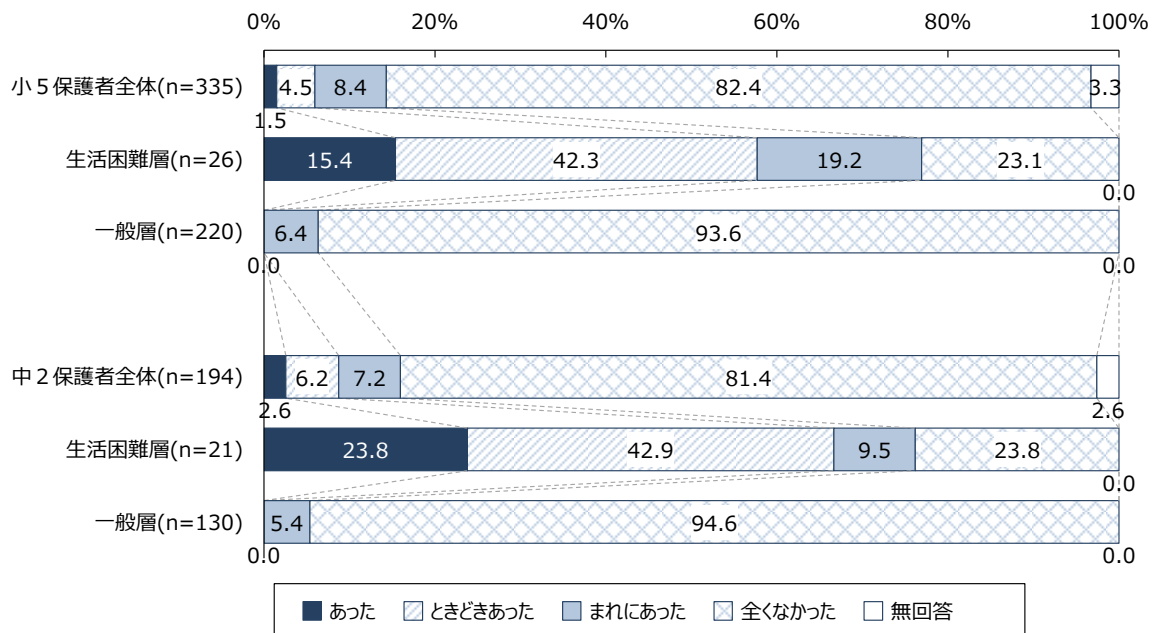
① 食料が買えなかった経験の有無

小学5年生全体の9.3%、中学2年生全体の12.3%で、過去1年間に金銭的な理由で食料が買えなかった『経験がある』（「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」の合計）と回答しています。生活困難層では、約6～7割が、食料が買えなかった『経験がある』と回答しています。



② 衣類が買えなかった経験の有無

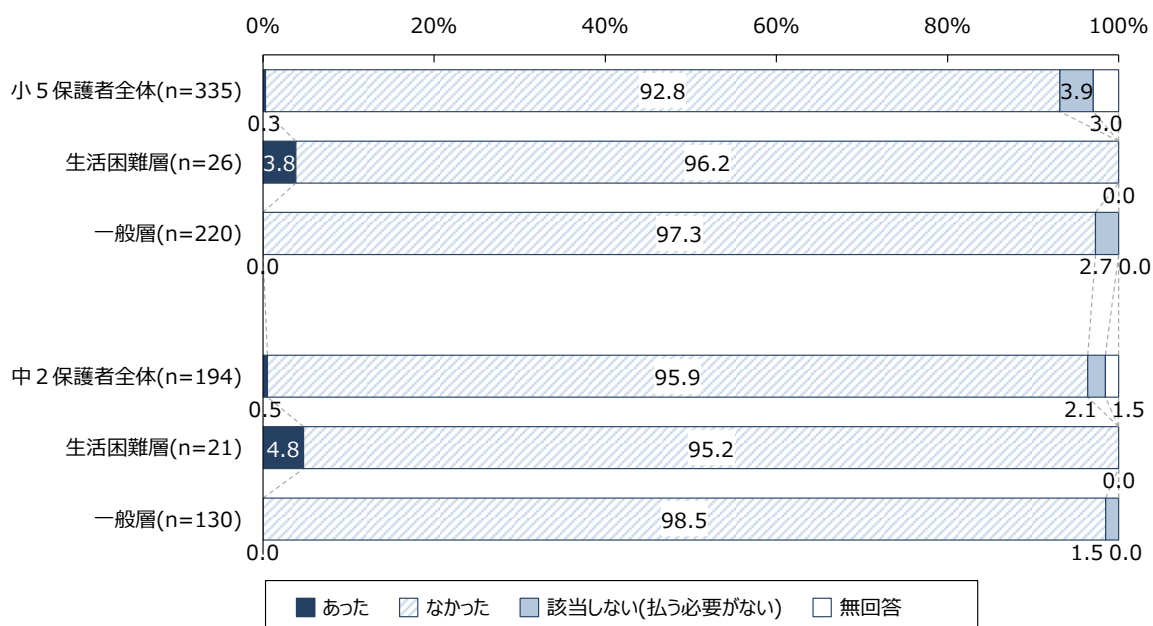
学5年生全体の14.4%、中学2年生全体の16.0%の世帯で過去1年間に金銭的な理由で衣服が買えなかった『経験がある』（「よくあった」「ときどきあった」「まれにあった」の合計）と回答しています。生活困難層では、約8割が、衣服が買えなかった『経験がある』と回答しています。



③ 公共料金等の滞納経験

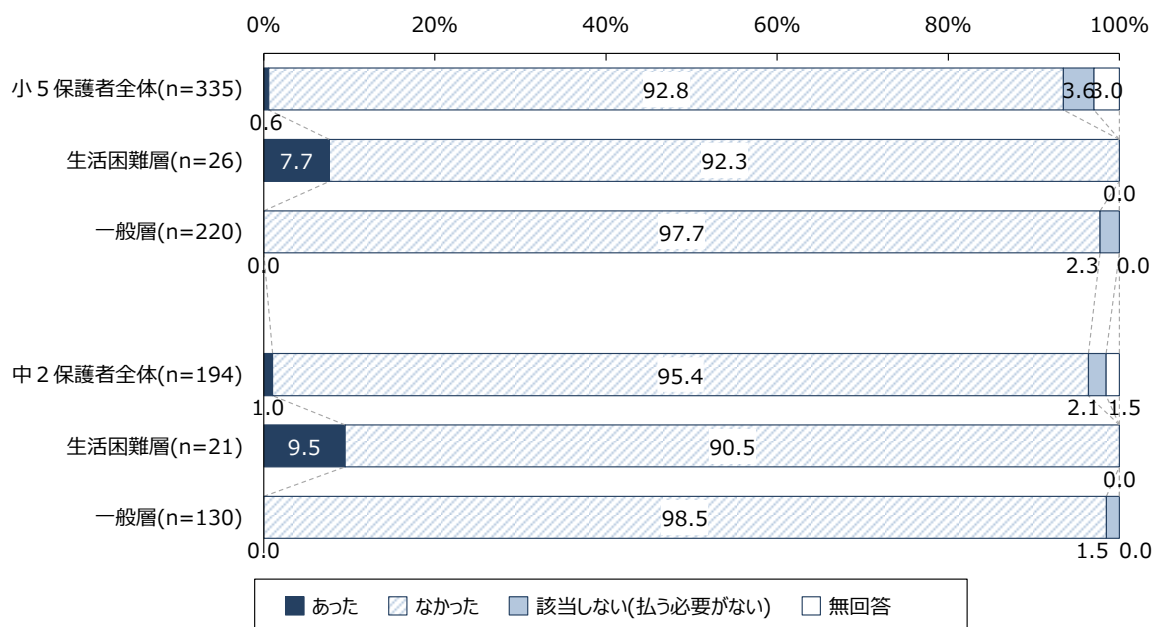
1) 電話料金

電話料金の滞納経験について、「あった」と回答した割合は、小学5年生全体で0.3%、中学2年生全体で0.5%であるのに対し、生活困難層では小学5年生で3.8%、中学2年生で4.8%となっています。



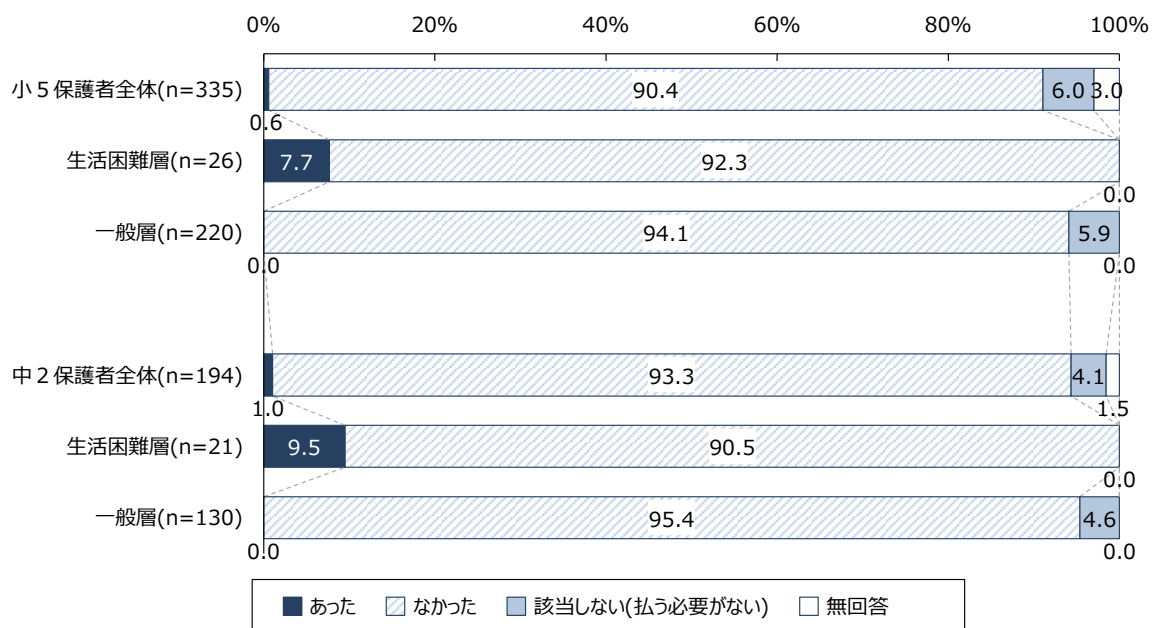
2) 電気料金

電気料金の滞納経験について、「あった」と回答した割合は、小学5年生全体で0.6%、中学2年生全体で1.0%であるのに対し、生活困難層では小学5年生で7.7%、中学2年生で9.5%となっています。



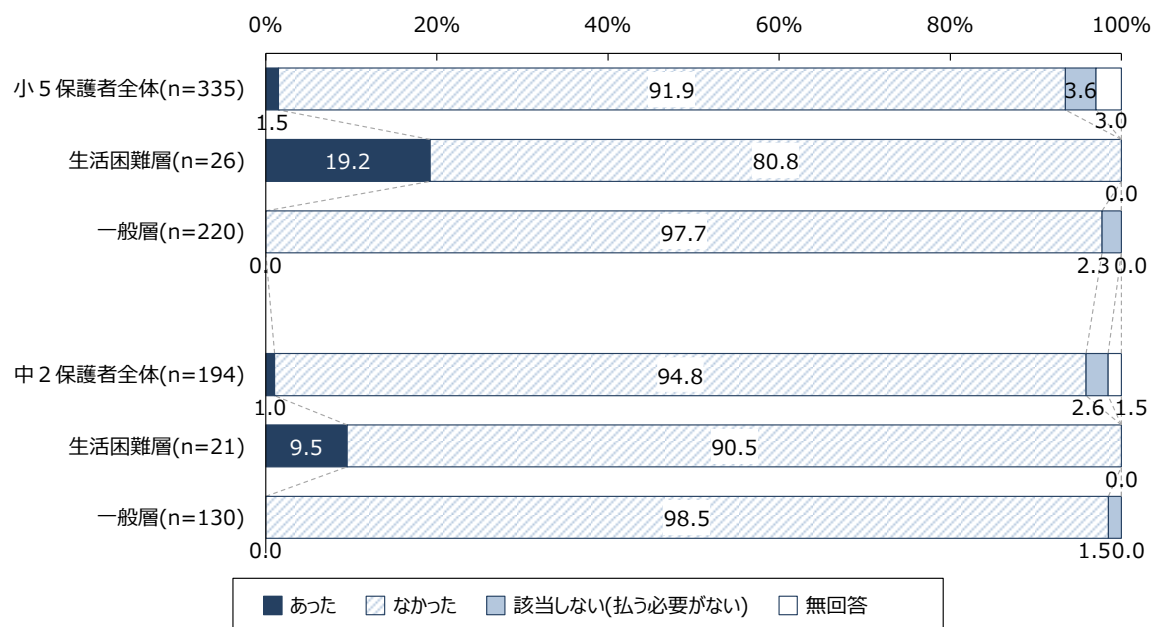
3) ガス料金

ガス料金の滞納経験について、「あった」と回答した割合は、小学5年生全体で0.6%、中学2年生全体で1.0%であるのに対し、生活困難層では小学5年生で7.7%、中学2年生で9.5%となっています。



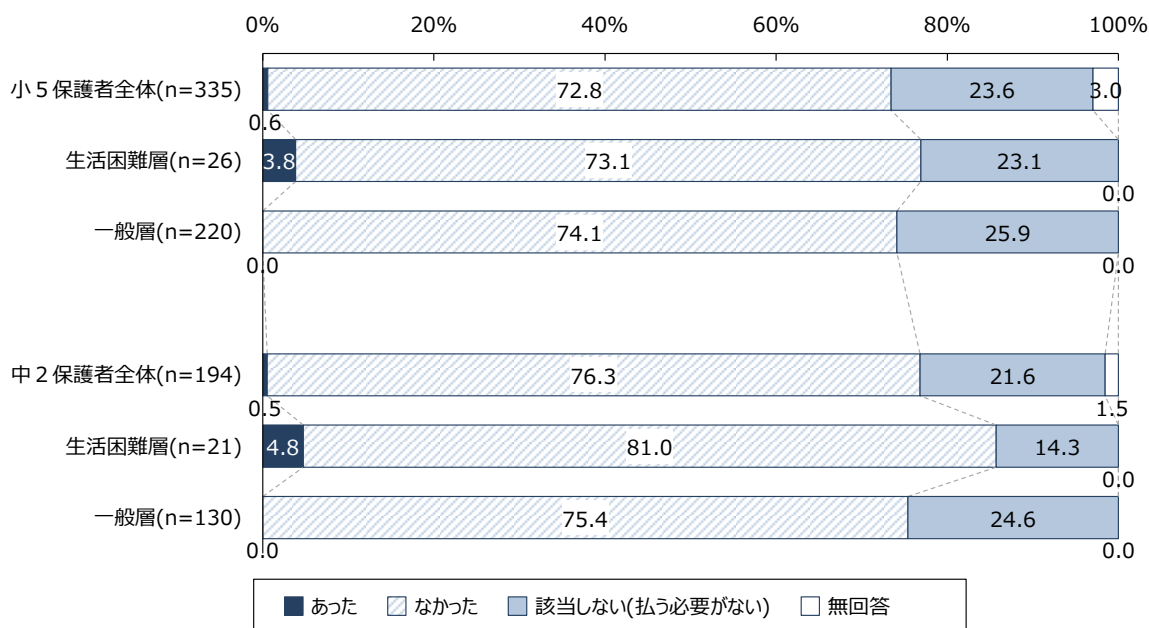
4) 水道料金

水道料金の滞納経験について、「あった」と回答した割合は、小学5年生全体で1.5%、中学2年生全体で1.0%であるのに対し、生活困難層では小学5年生で19.2%、中学2年生で9.5%となっています。



5) 家賃

家賃の滞納経験について、「あった」と回答した割合は、小学5年生全体で0.6%、中学2年生全体で0.5%であるのに対し、生活困難層では小学5年生で3.8%、中学2年生で4.8%となっています。

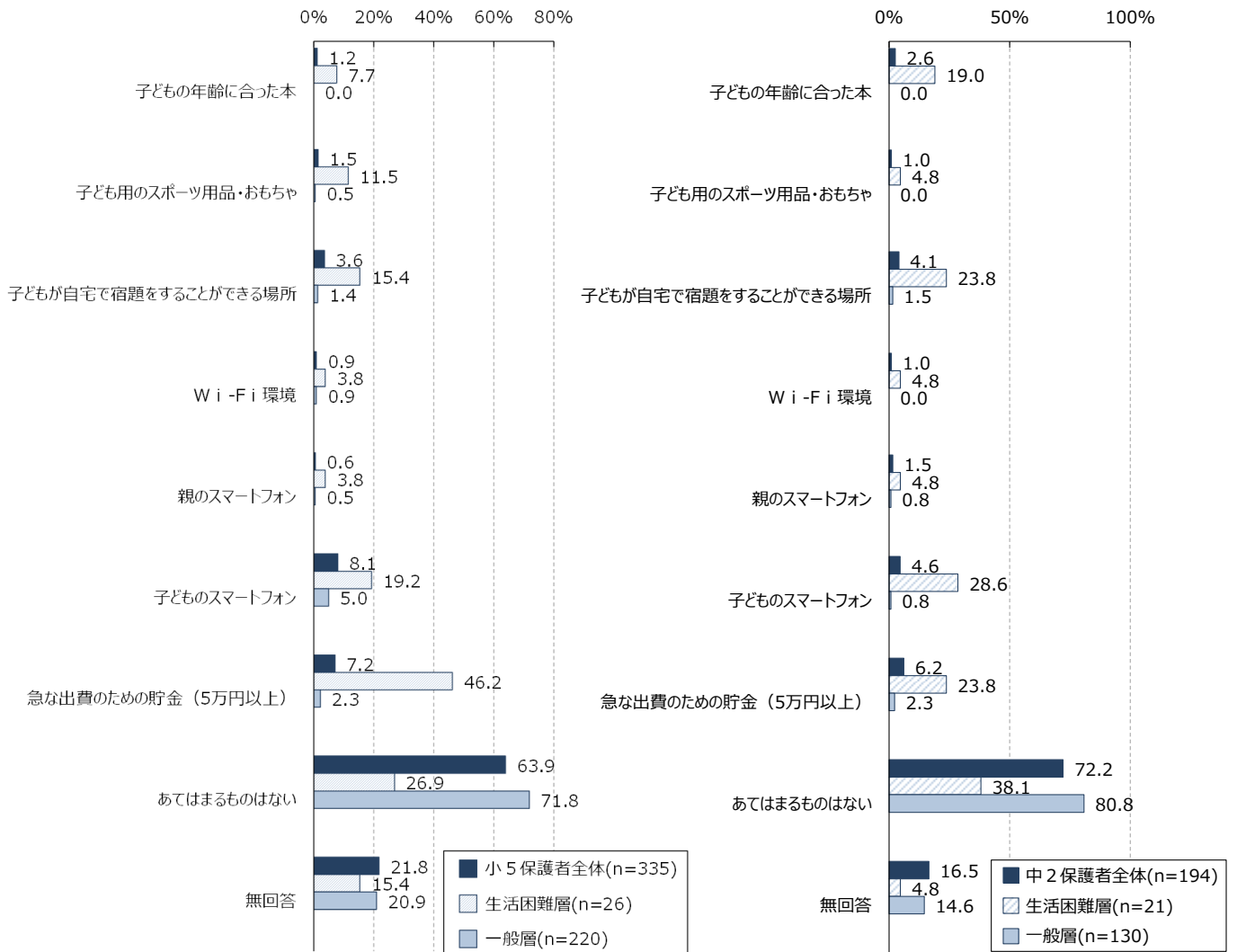


④ 物品等の所有状況

物品等の所有状況（経済的理由のために所有していない物品等）について、いずれも一般層に比べ生活困難層で所有していない割合が高く、「急な出費のための貯金(5万円以上)」は小学5年生で46.2%、中学2年生で23.8%、「子どものスマートフォン」は小学5年生で19.2%、中学2年生で28.6%となっています。

小学5年生保護者

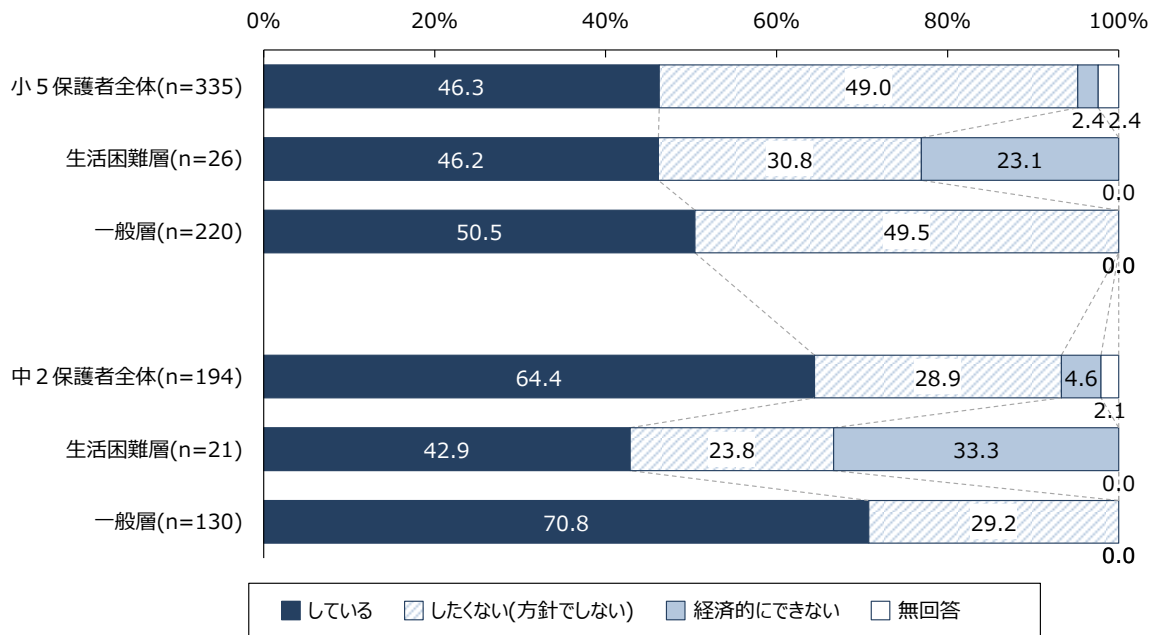
中学2年生保護者



⑤ 子どもへの支出

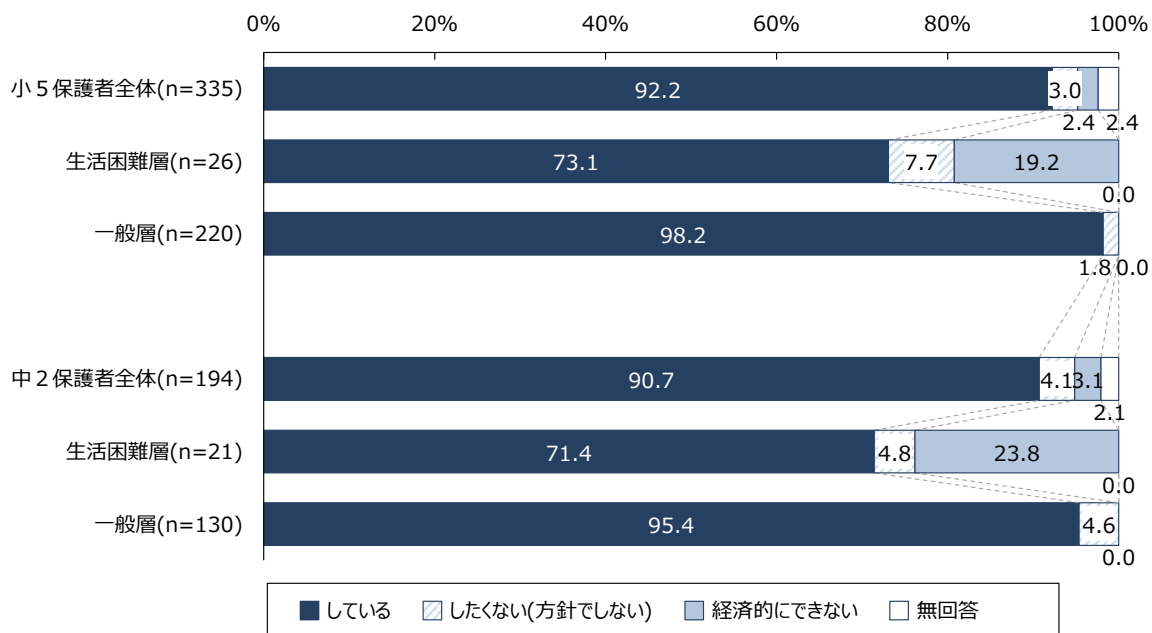
1) 毎月お小遣いを渡す

毎月お小遣いを渡すことを「している」と回答した割合は、小学5年生の全体で46.3%、生活困難層で46.2%、一般層で50.5%、中学2年生の全体で64.4%、生活困難層で42.9%、一般層で70.8%となっています。一方、「経済的にできない」と回答した割合は生活困難層が高く、小学5年生で23.1%、中学2年生で33.3%となっています。



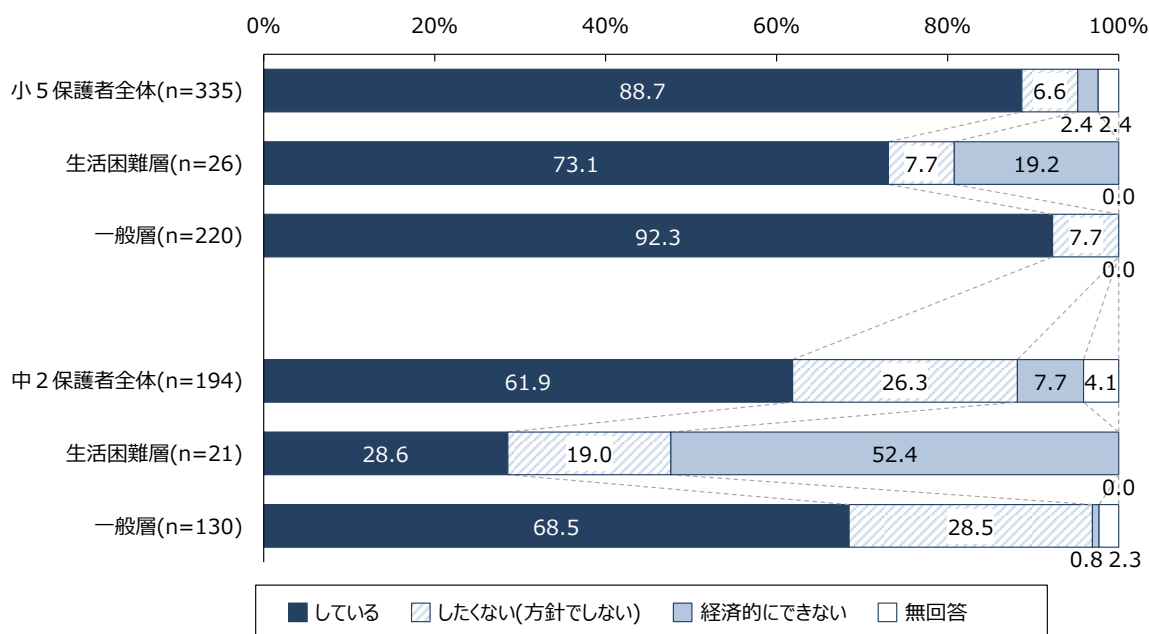
2) 毎年新しい洋服・靴を買う

毎年新しい洋服・靴を買うことを「している」と回答した割合は、小学5年生の全体で92.2%、生活困難層で73.1%、一般層で98.2%、中学2年生の全体で90.7%、生活困難層で71.4%、一般層で95.4%となっています。一方、「経済的にできない」と回答した割合は生活困難層が高く、小学5年生で19.2%、中学2年生で23.8%となっています。



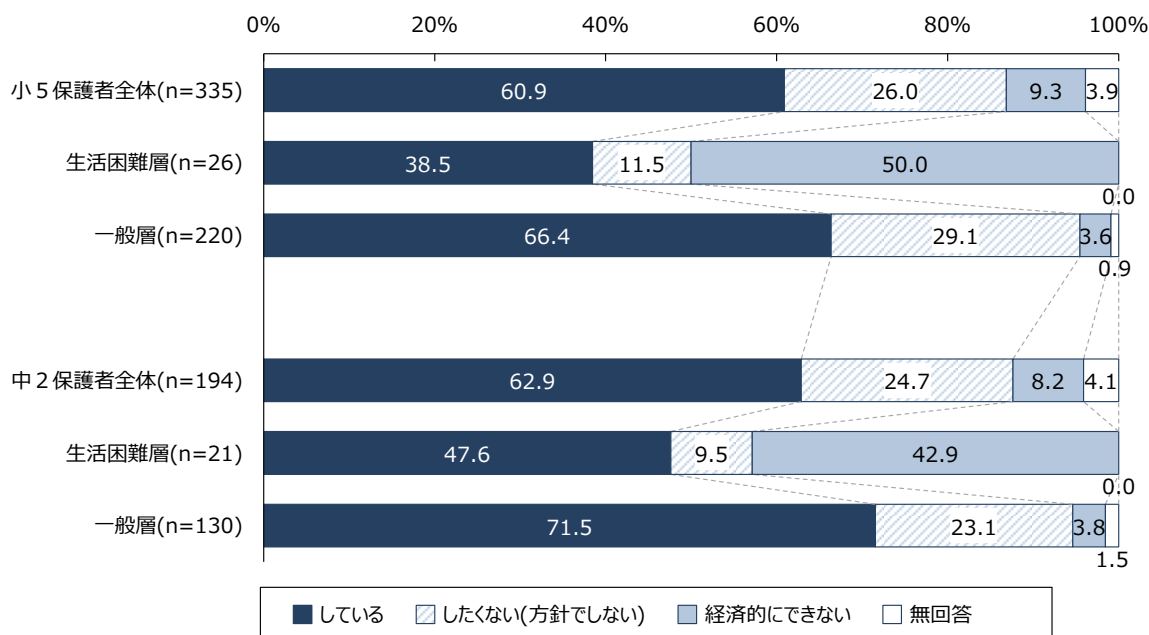
3) 習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる

習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせることを「している」と回答した割合は、小学5年生の全体で88.7%、生活困難層で73.1%、一般層で92.3%、中学2年生の全体で61.9%、生活困難層で28.6%、一般層で68.5%と小学5年生に比べ中学2年生で低くなっています。一方、「経済的にできない」と回答した割合は生活困難層で高く、小学5年生で19.2%、中学2年生で52.4%となっています。また、小学5年生に比べ中学2年生で高くなっています。



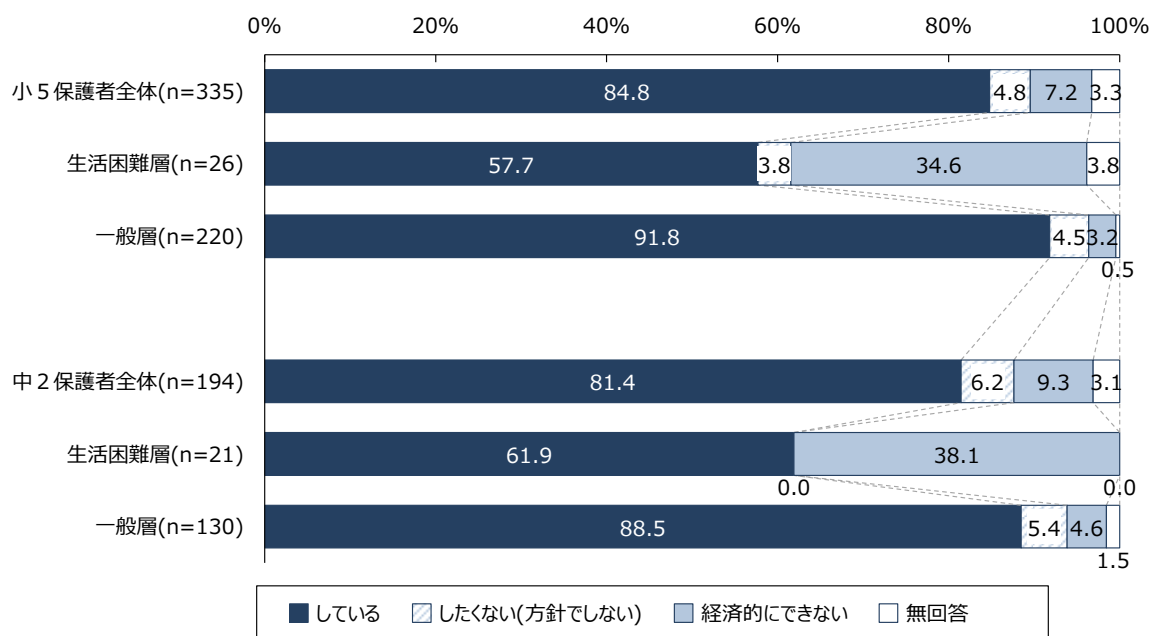
4) 学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)

学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)ことを「している」と回答した割合は、小学5年生の全体で60.8%、生活困難層で38.5%、一般層で66.4%、中学2年生の全体で62.9%、生活困難層で47.6%、一般層で71.5%となっています。一方、「経済的にできない」と回答した割合は生活困難層で高く、小学5年生で50.0%、中学2年生で42.9%となっています。



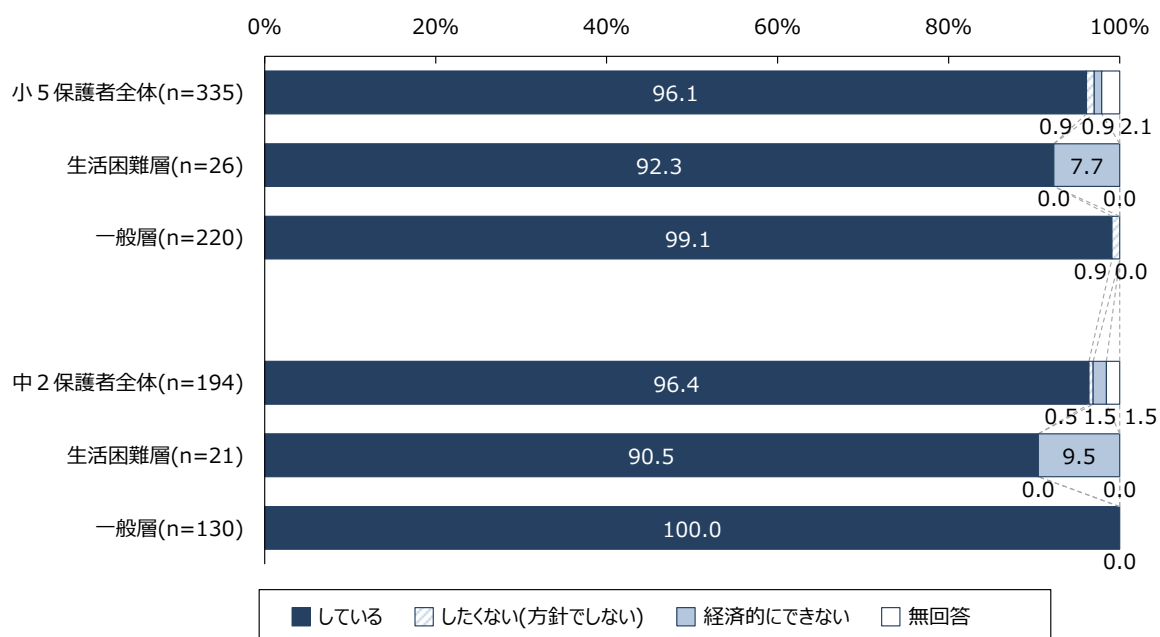
5) 1年に1回くらい家族旅行に行く

1年に1回くらい家族旅行に行くことを「している」と回答した割合は、小学5年生の全体で84.8%、生活困難層で57.7%、一般層で91.8%、中学2年生の全体で81.4%、生活困難層で61.9%、一般層で88.5%となっています。一方、「経済的にできない」と回答した割合は生活困難層で高く、小学5年生で34.6%、中学2年生では38.1%となっています。



6) クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる

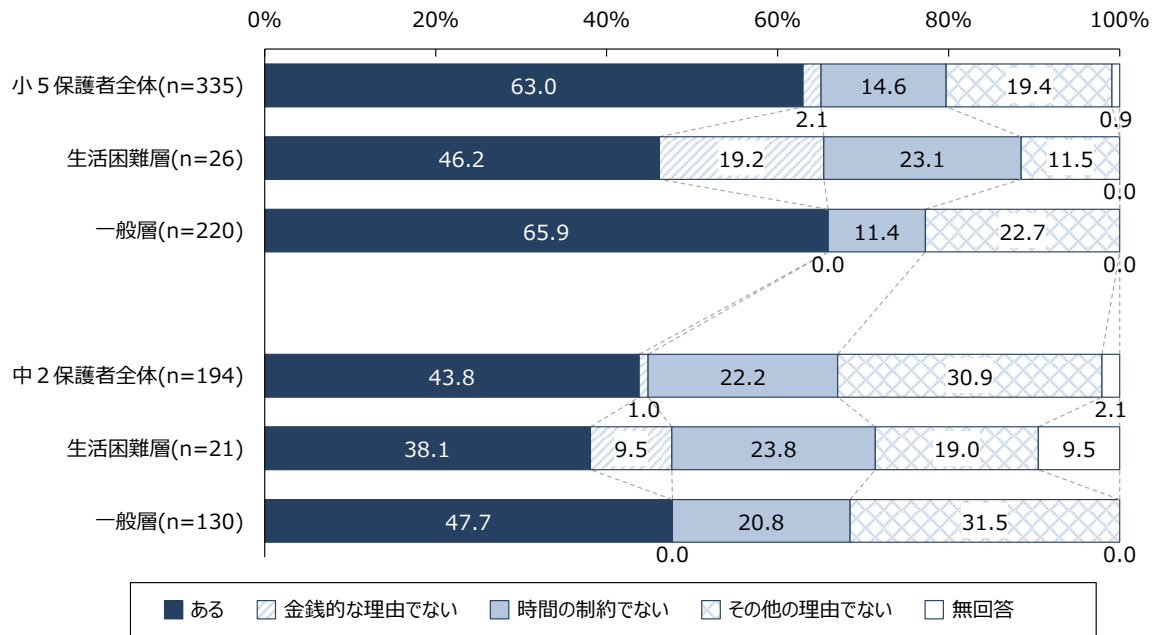
クリスマスプレゼントや正月のお年玉をあげることを「している」と回答した割合は、いずれの層も90%を超えています。一方、「経済的にできない」と回答した割合は生活困難層で高く、小学5年生で7.7%、中学2年生では9.5%となっています。



⑥ 子どもの体験

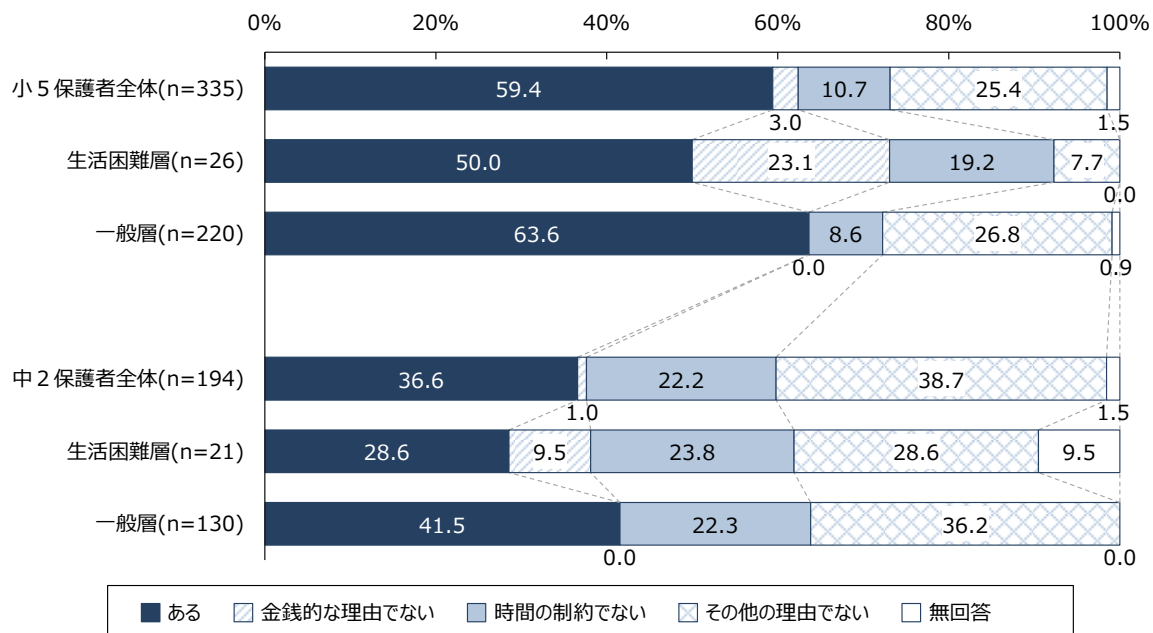
1) 海水浴・登山などに行く

海水浴・登山などに行くことが「時間の制約でない」と回答した割合は、小学5年生の全体で14.6%、生活困難層で23.1%、一般層で11.4%、中学2年生の全体で22.2%、生活困難層で13.8%、一般層で20.8%となっています。また、「金銭的な理由でない」との回答は生活困難層で高く、小学5年生で19.2%、中学2年生では9.5%となっています。



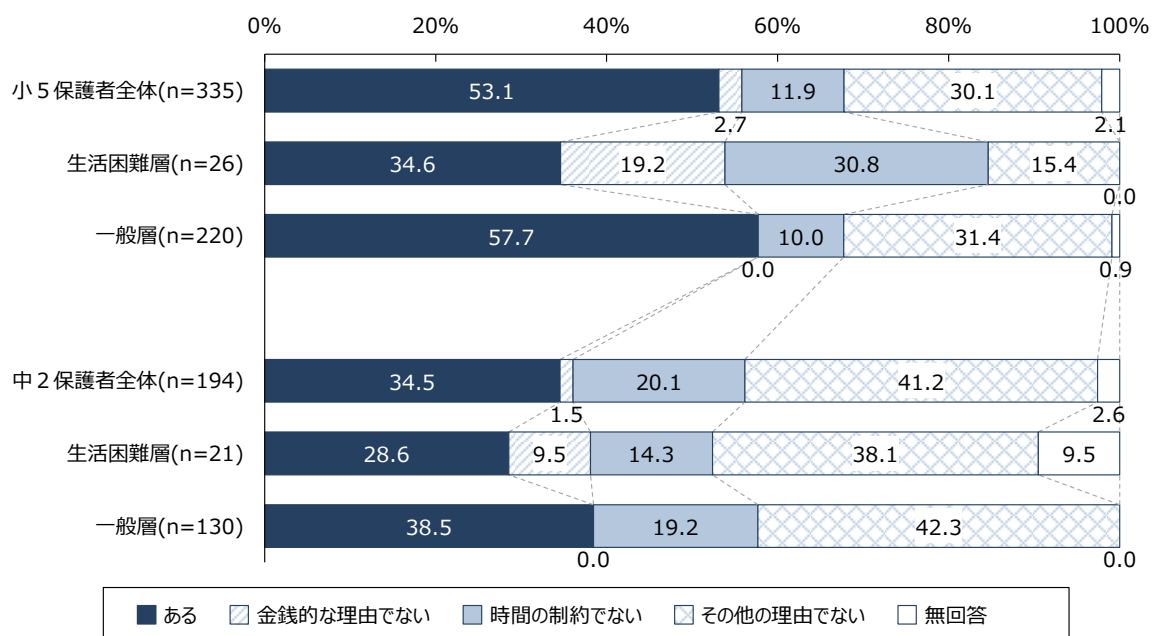
2) 博物館・科学館・美術館などに行く

博物館・科学館・美術館などに行くことが「時間の制約でない」と回答した割合は、小学5年生の全体で10.7%、生活困難層で19.2%、一般層で8.6%、中学2年生の全体で22.2%、生活困難層で23.8%、一般層で22.3%となっています。また、「金銭的な理由でない」との回答は、生活困難層で高く小学5年生で23.1%、中学2年生では9.5%となっています。



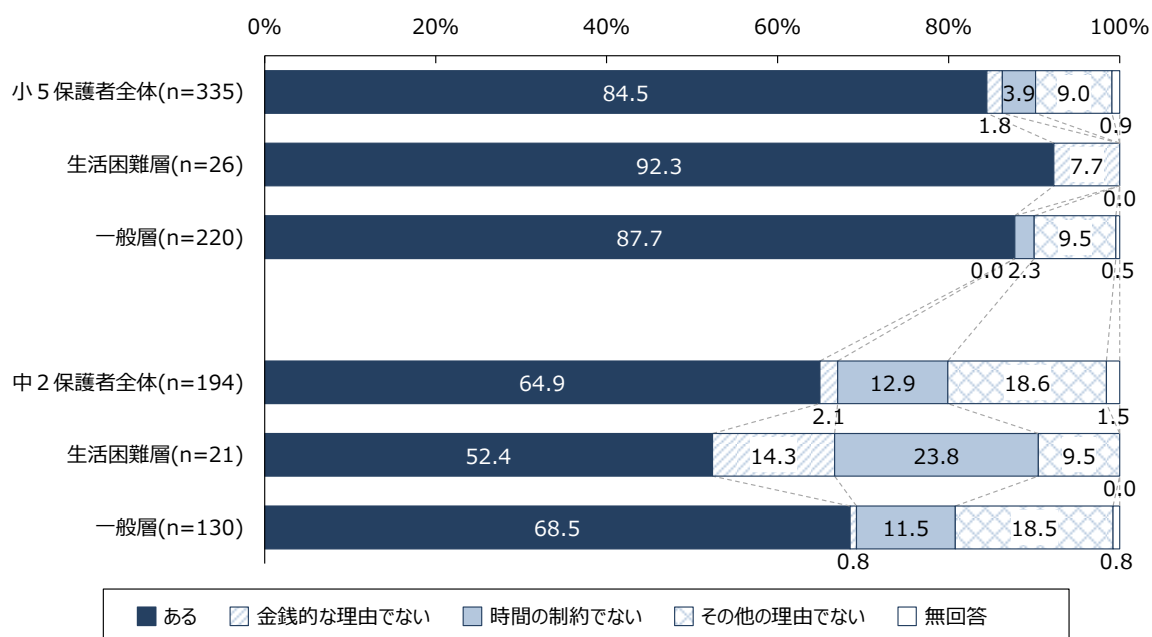
3) キャンプやバーベキューなどに行く

キャンプやバーベキューに行くことが「時間の制約でない」と回答した割合は、小学5年生の全体で11.9%、生活困難層で30.8%、一般層で10.0%、中学2年生の全体で20.1%、生活困難層で14.3%、一般層で19.2%となっています。また、「金銭的な理由でない」との回答は生活困難層で高く、小学5年生で19.2%、中学2年生では9.5%となっています。



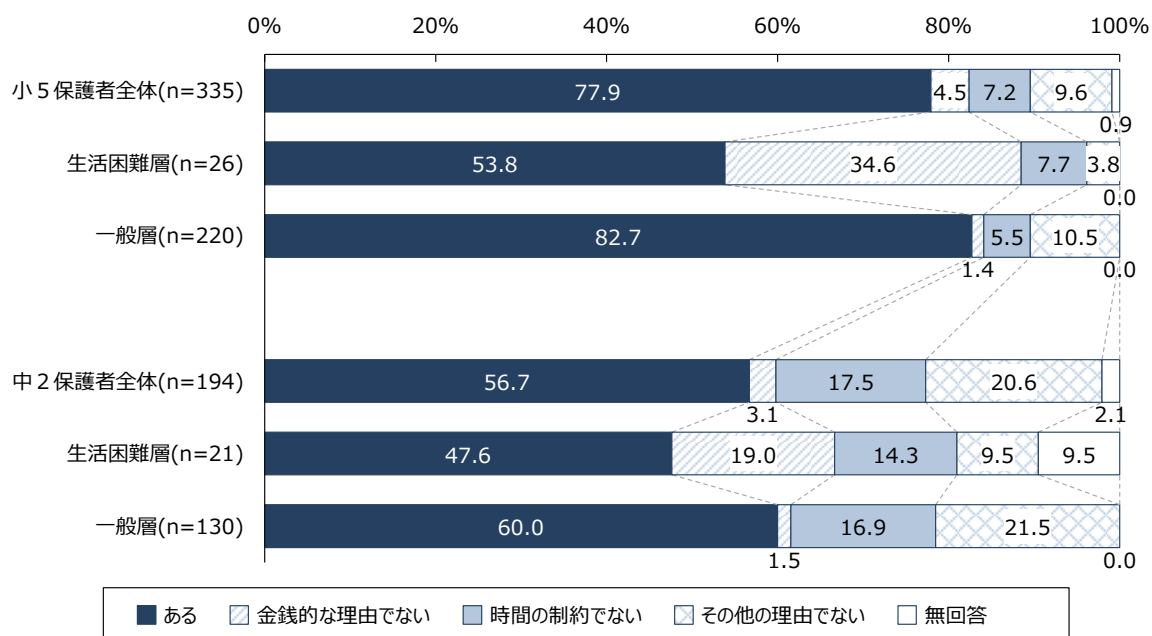
4) スポーツ観戦や映画・コンサートなどに行く

スポーツ観戦や映画・コンサートなどに行くことが「時間の制約でない」と回答した割合は、小学5年生の全体で3.9%、一般層で2.3%、中学2年生の全体で12.9%、生活困難層で23.8%、一般層で11.5%となっています。また、「金銭的な理由でない」との回答は生活困難層で高く、小学5年生で7.7%、中学2年生では14.3%となっています。一方、小学5年生の生活困難層の92.3%が「ある」と回答しており、一般層と比べ4.6ポイント高くなっています。



5) 遊園地やテーマパークなどに行く

遊園地やテーマパークなどに行くことが「時間の制約でない」と回答した割合は、小学5年生の全体で7.2%、生活困難層で7.7%、一般層で5.5%、中学2年生の全体で17.5%、生活困難層で14.3%、一般層で16.9%となっています。また、「金銭的な理由でない」との回答は生活困難層で高く、小学5年生で34.6%、中学2年生では19.0%となっています。



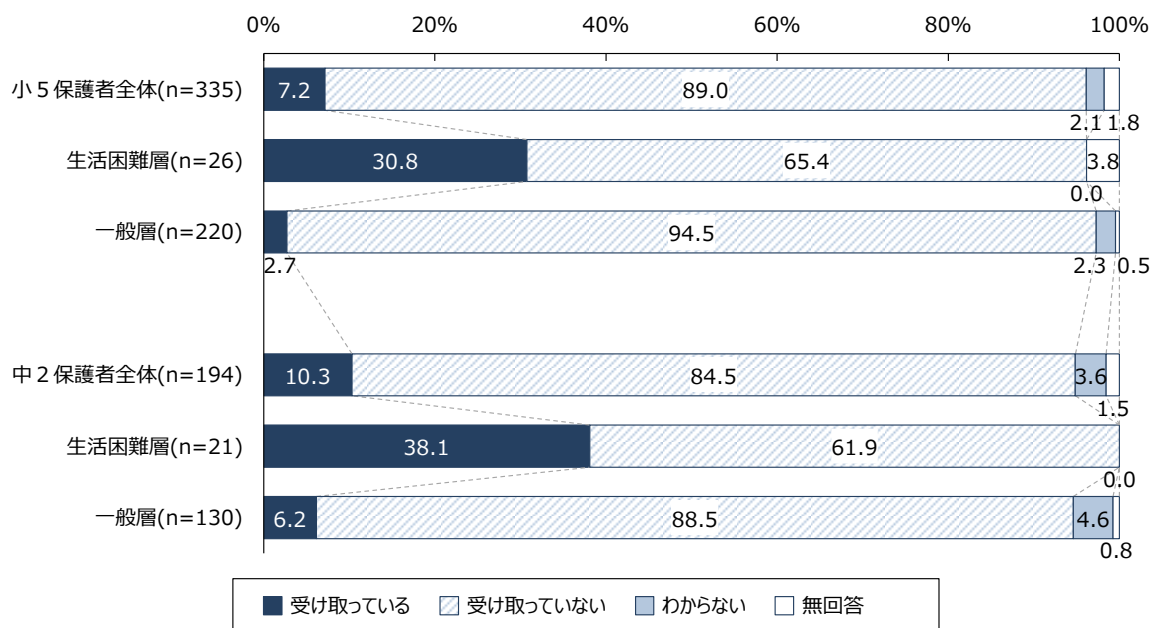
※子どもの体験は、いずれも小学5年生に比べ中学2年生で「ある」の割合が低い傾向がみられます。

(3) 就学援助の受給状況

① 就学援助の受給状況

就学援助の受給状況について、「受け取っている」と回答した割合は、小学5年生の全体で7.2%、生活困難層で30.8%、一般層で2.7%、中学2年生の全体で10.3%、生活困難層で38.1%、一般層で6.2%となっています。

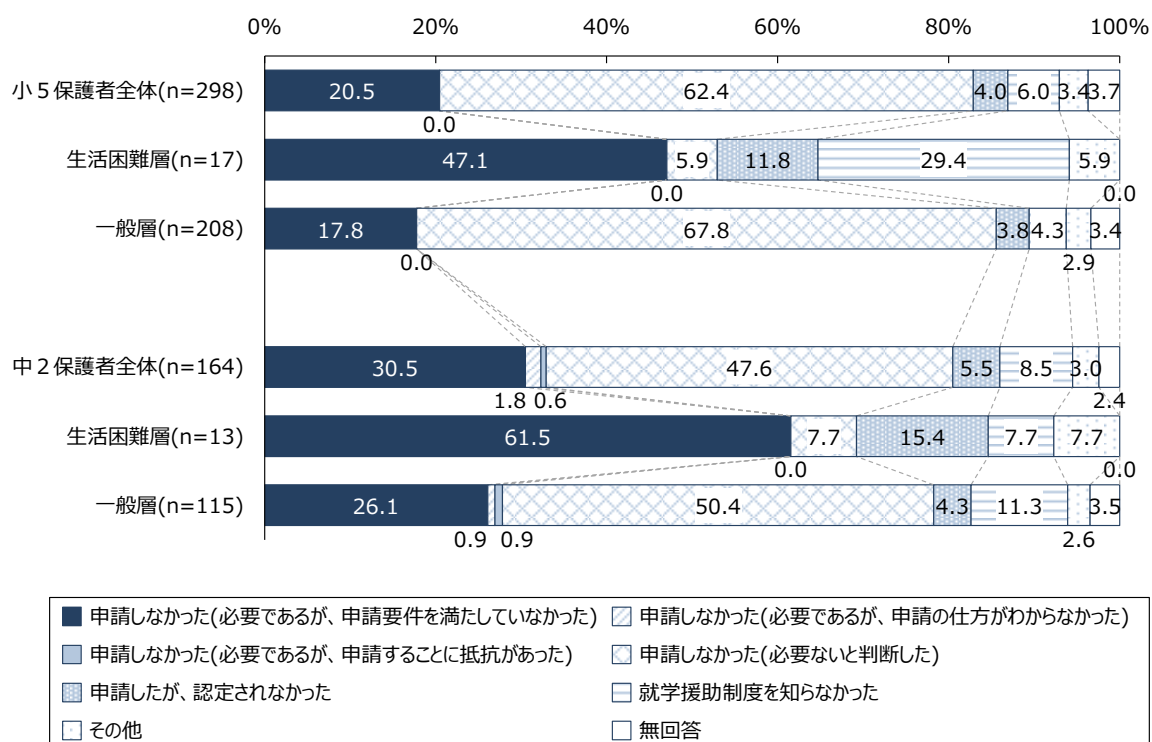
生活困難層では、一般層と比べ小学5年生で約11倍、中学2年生で約6倍高くなっています。



② 受給していない理由

就学援助を受給していない理由として、「申請しなかった（必要であるが、申請要件を満たしていなかった）」と回答した割合は、小学5年生の全体で20.5%、生活困難層で47.1%、一般層が17.8%、中学2年生の全体で30.5%、生活困難層で61.5%、一般層で26.1%となっています。中学2年生では生活困難層、一般層とも約35%と生活困難度による明確な差はみられません。

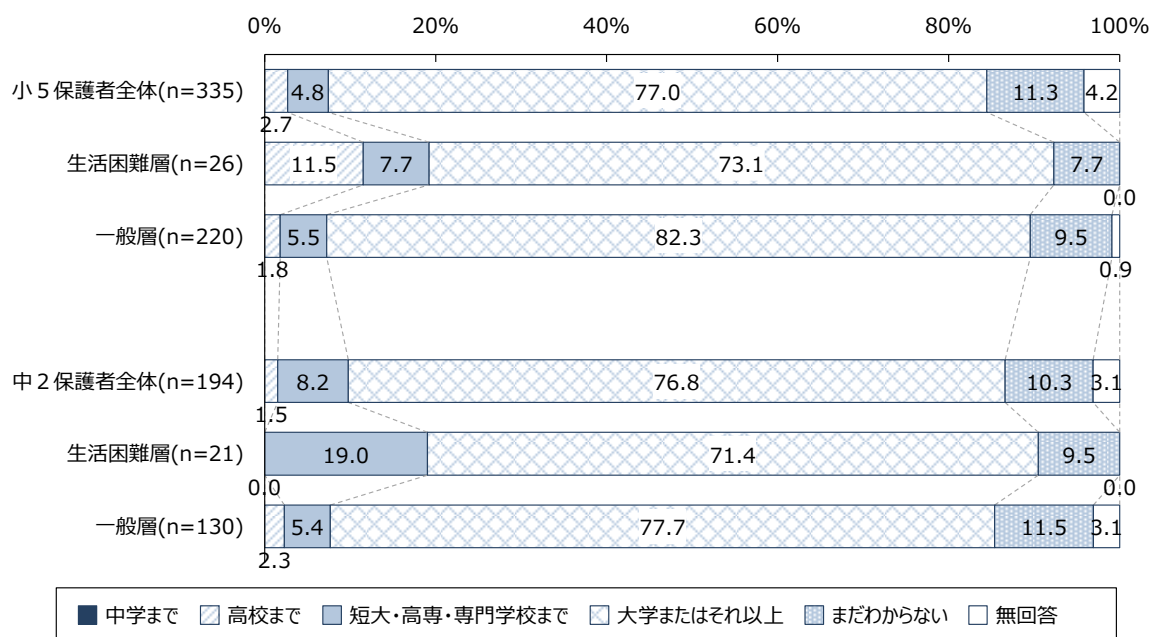
また、「就学援助制度を知らなかった」と回答した割合は、小学5年生の生活困難層で29.4%と高く、中学2年生では生活困難層に比べ一般層で高くなっています。



(4) 子どもに受けさせたい教育段階

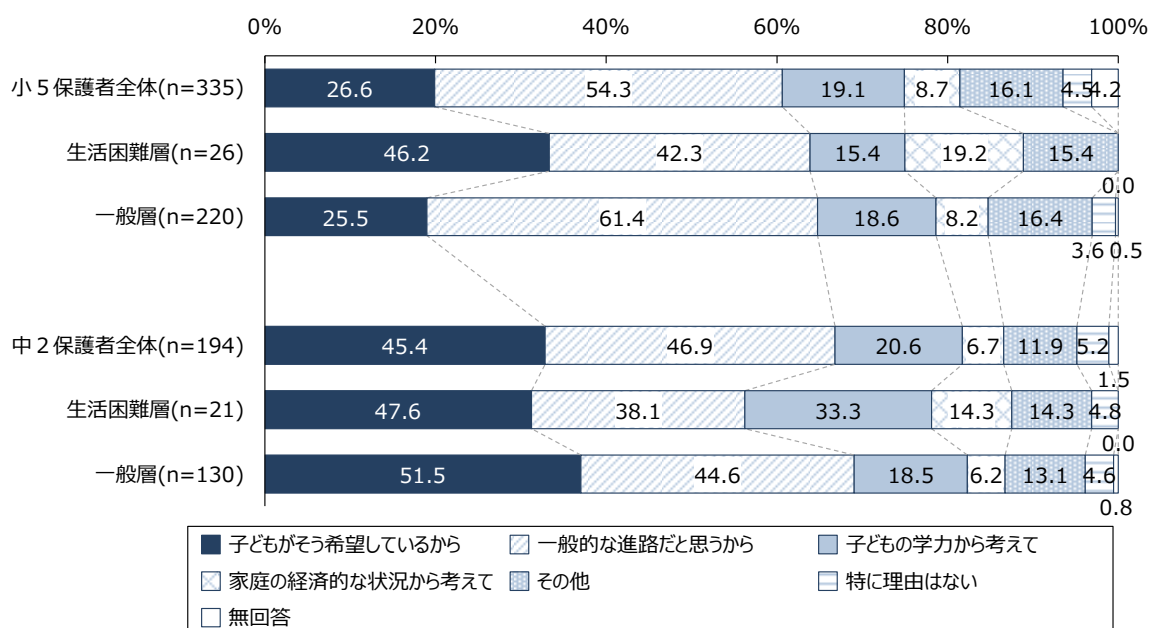
① 子どもに受けさせたい教育段階

子どもに受けさせたい教育段階で「大学またはそれ以上」と回答した割合は、小学5年生の全体で77.0%、生活困難層で73.1%、一般層で82.3%、中学2年生の全体で76.8%、生活困難層で71.4%、一般層で77.7%となっています。また、小学5年生の生活困難層の11.5%が「高校まで」、中学2年生の生活困難層の19.0%が「短大・高専・専門学校まで」と回答しています。



② 子どもに受けさせたい教育段階の回答理由

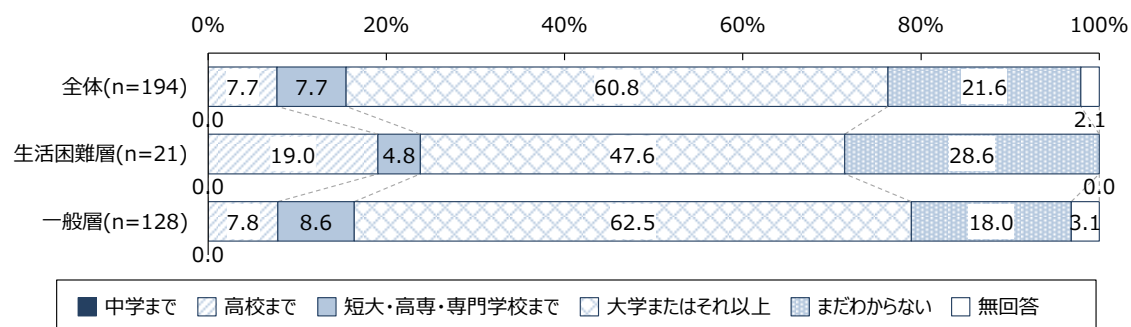
子どもに受けさせたい教育段階の回答理由について、「家庭の経済的な状況から考えて」と回答した割合は、小学5年生の全体で8.7%、生活困難層で19.2%、一般層で8.2%、中学2年生の全体で6.7%、生活困難層で14.3%、一般層で6.2%となっています。



(5) 子ども本人の進学希望

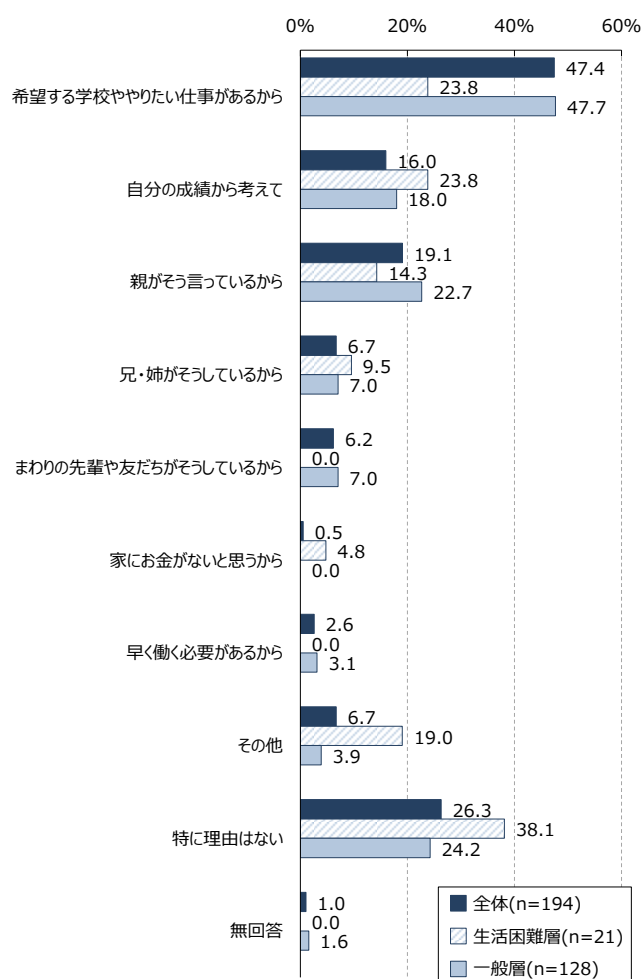
① 子ども本人の進学希望

中学2年生本人が選んだ進学の希望について、いずれも「大学またはそれ以上」が最も高くなっていますが、生活困難層では47.6%と一般層と比べ14.9ポイント低くなっています。また、「高校まで」では、生活困難層で19.0%と一般層と比べ11.2ポイント高くなっています。



② 進学希望を選んだ理由

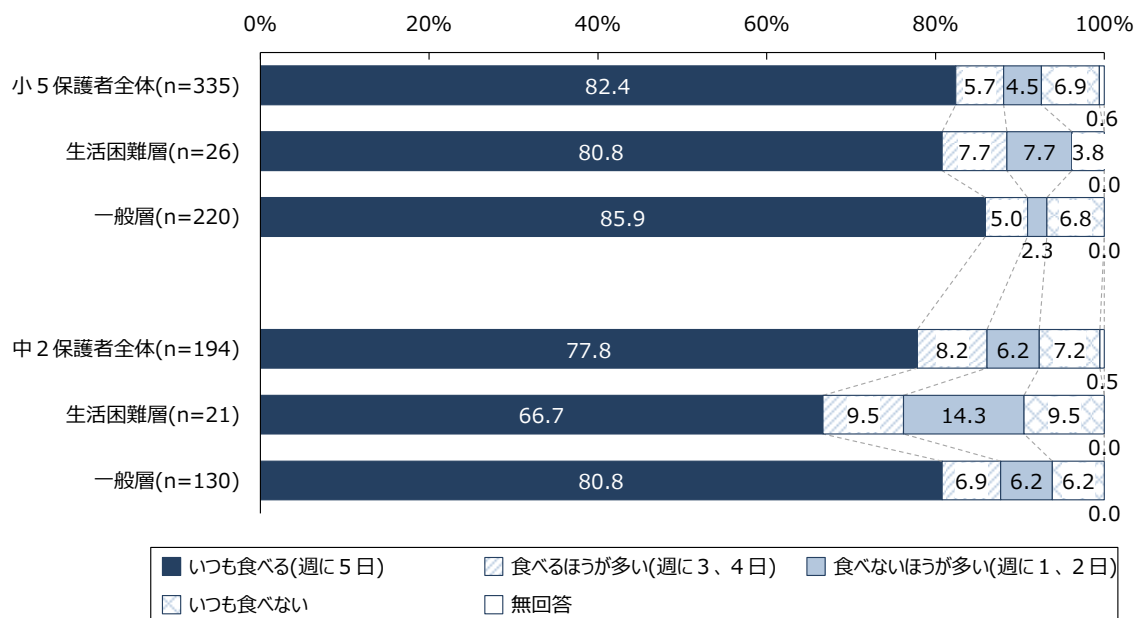
中学2年生本人が選んだ進学の希望について、「希望する学校ややりたい仕事があるから」で一般層と比べ生活困難層で23.9ポイント低く、「特に理由はない」で一般層と比べ生活困難層で13.9ポイント高くなっています。また、「自分の成績から考えて」や「家にお金がないと思うから」の割合も生活困難層で高くなっています。



(6) 平日の食事の状況

①保護者の朝食の摂取頻度

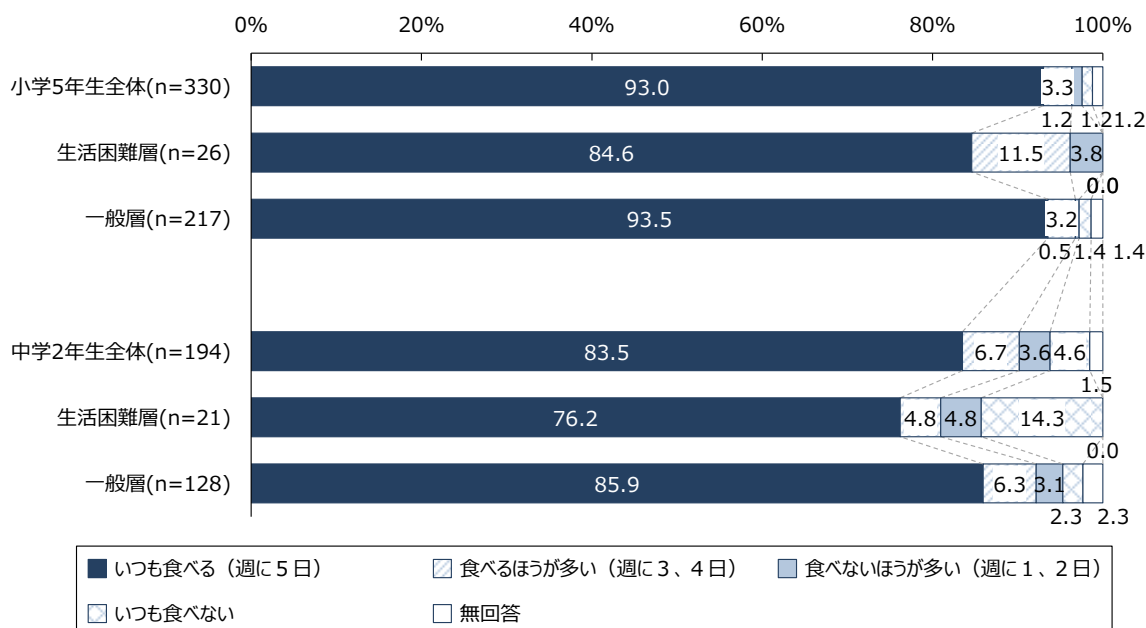
保護者の朝食の摂取頻度について、「いつも食べる（週に5日）」は一般層と比べ生活困難層で低く、また、小学5年生と比べ中学2年生で低くなっています。



②子どもの朝食の摂取頻度

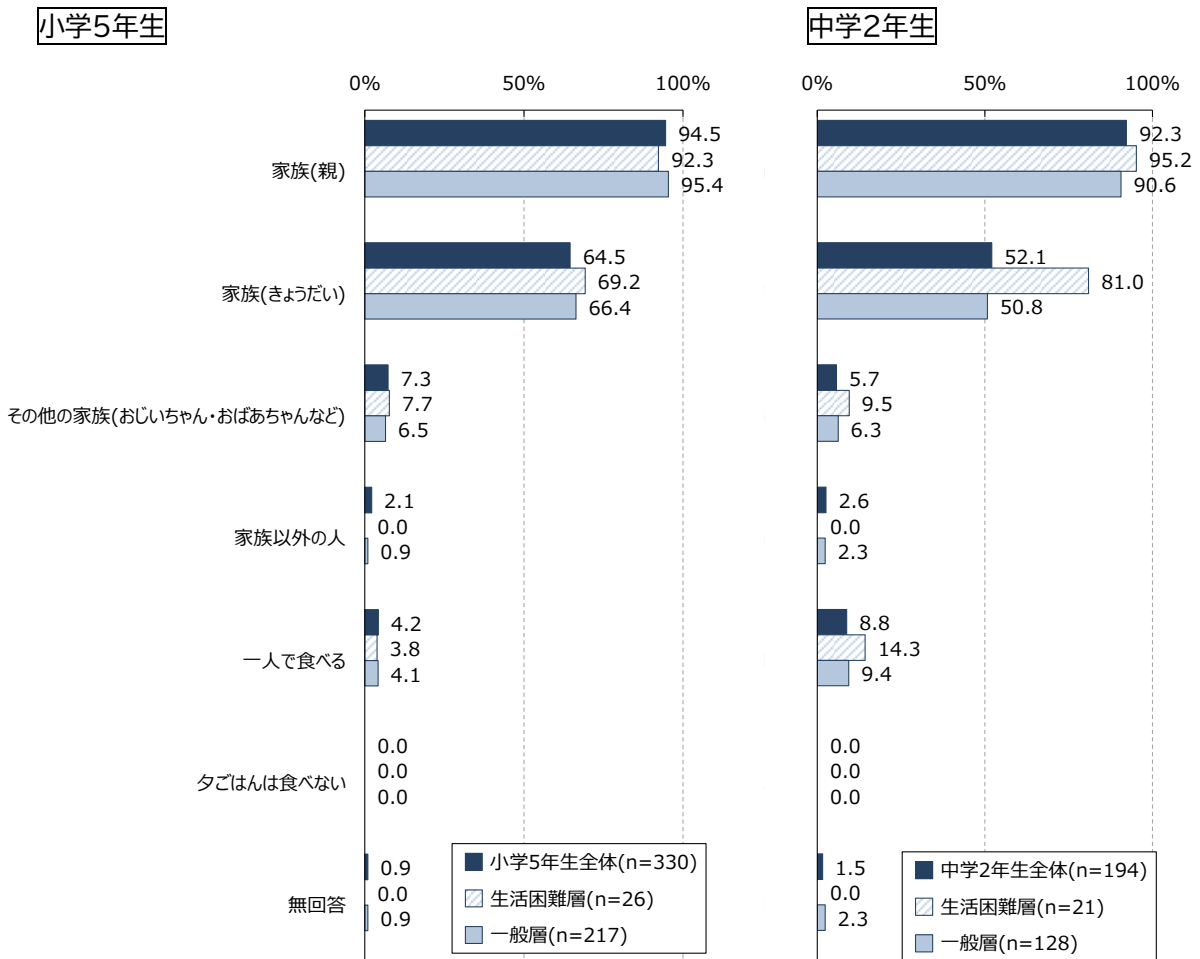
子どもの朝食の摂取頻度についても保護者同様、「いつも食べる（週に5日）」は一般層と比べ生活困難層で低く、また、小学5年生と比べ中学2年生で低くなっています。

「いつも食べない」は中学2年生の生活困難層で14.3%と一般層と比べ12.0ポイント高くなっています。



③平日の夕食をともに食べる人

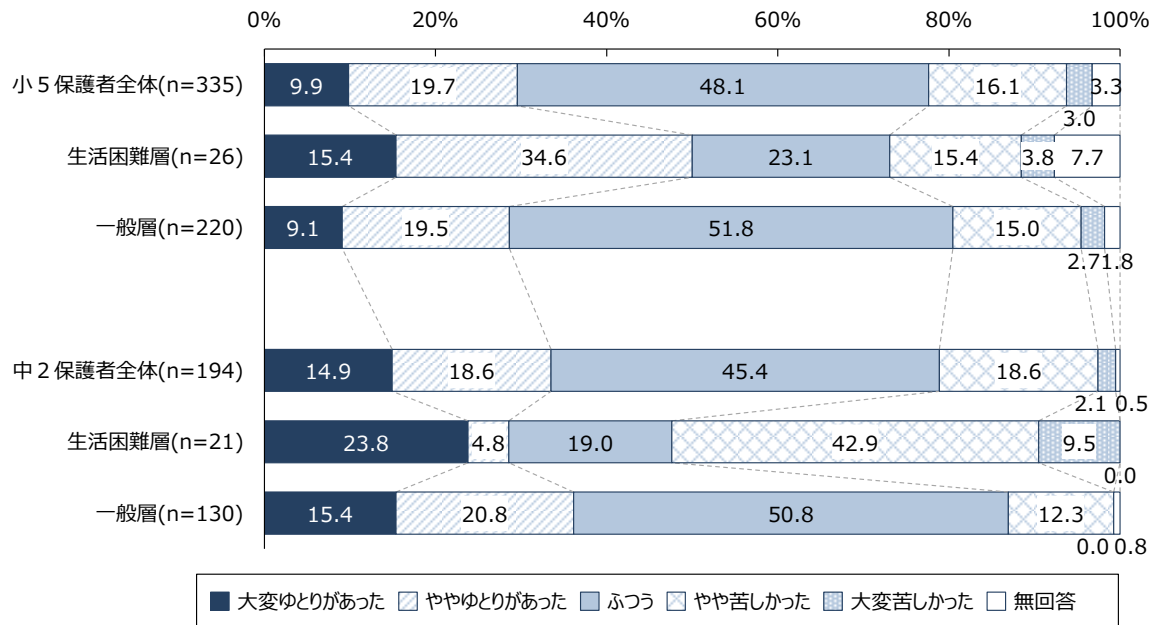
平日の夕食をともに食べる人は、小学5年生では生活困難度による大きな差はみられず、「家族（親）」、「家族（きょうだい）」の割合が高くなっていますが、中学2年生では「家族（親）」はいずれも9割を超えています。また、中学2年生ではいずれも1割程度は「一人で食べる」と回答しています。



(7) 保護者の状況

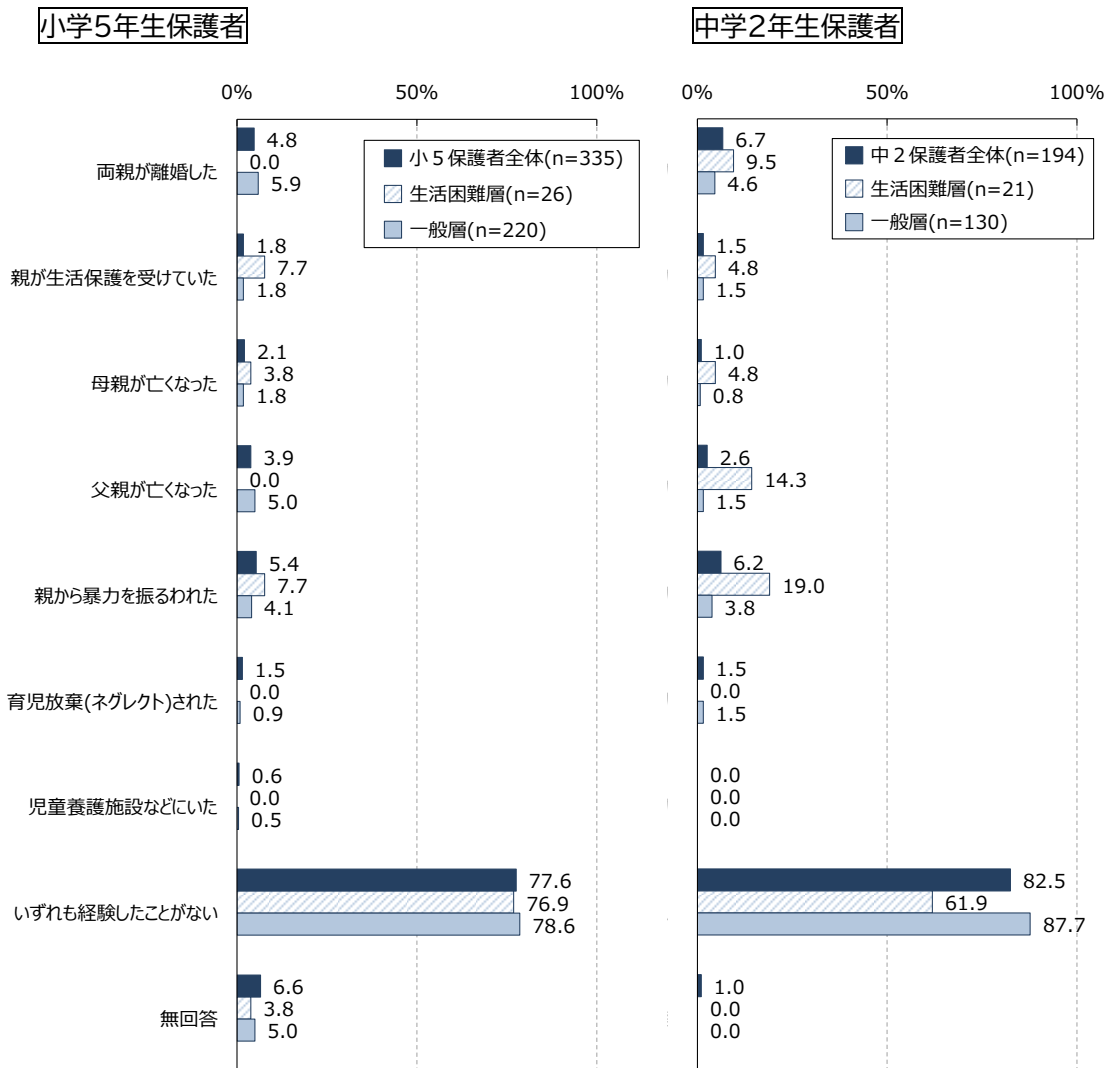
①15 歳前後当時の暮らし向き

「やや苦しかった」と「大変苦しかった」を合わせた割合は、小学5年生では生活困難層による大きな差はみられず、中学2年生では、一般層の12.3%と比べ生活困難層で52.4%と4倍以上高くなっています。一方、「大変ゆとりがあった」の割合でも一般層と比べ生活困難層で高くなっています。



②成人するまでの体験

小学5年生は「親が生活保護を受けていた」が一般層に比べ生活困難層で高く、中学2年生では、「親から暴力を振るわれた」、「父親が亡くなった」が一般層に比べ生活困難層で高く、反対に「いずれも経験したことがない」が一般層に比べ生活困難層で25.8ポイント低くなっています。

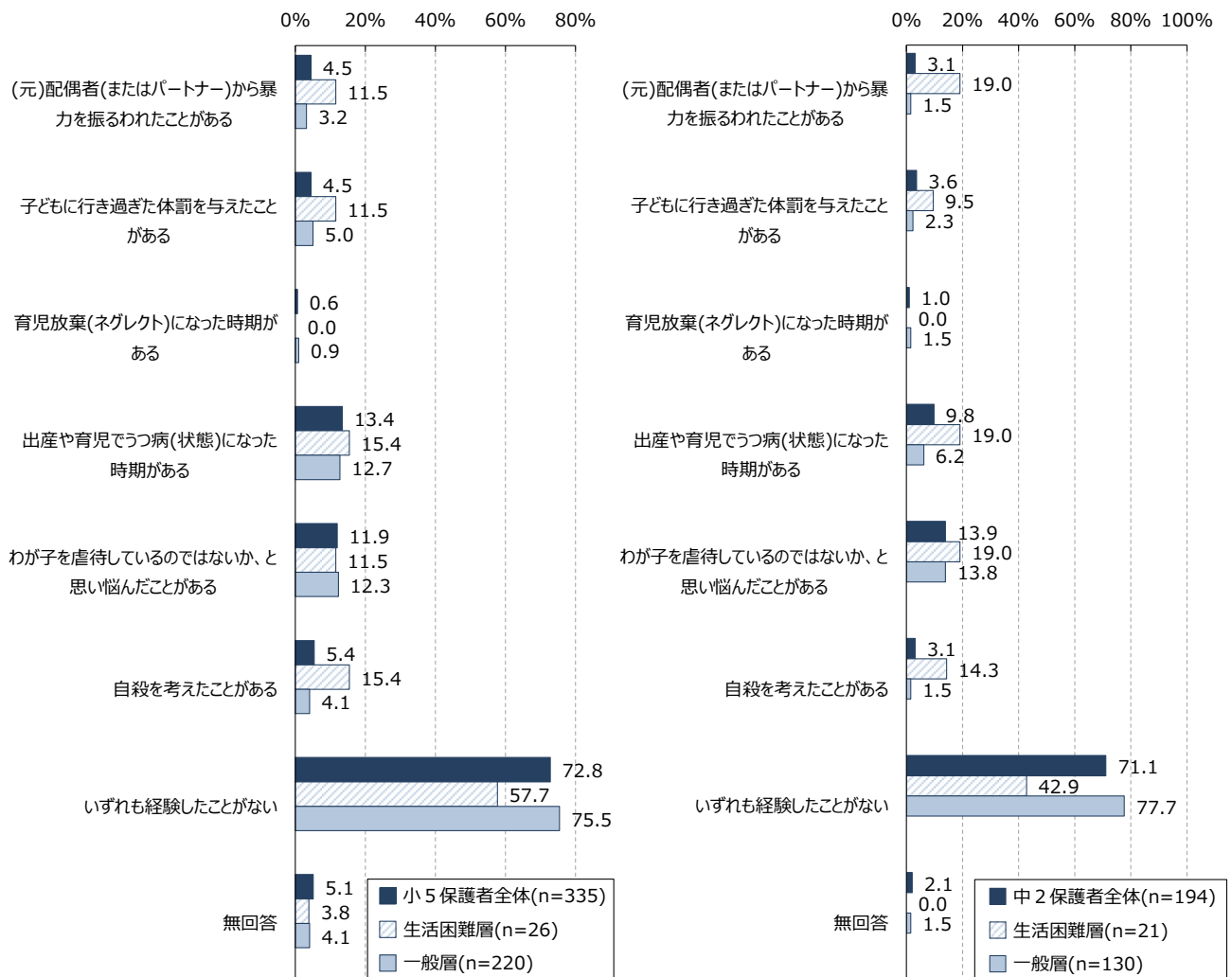


③子育てにかかわってからの経験

子育てにかかわってからの経験について、「いずれも経験したことがない」が一般層と比べ生活困難層で低く、小学5年生の一般層で75.5%に対し生活困難層で57.7%、中学2年生の一般層で77.7%に対し生活困難層では42.9%となっています。一方、「(元)配偶者(またはパートナー)から暴力を振るわれたことがある」、「自殺を考えたことがある」の割合は一般層と比べ生活困難層で高くなっています。

小学5年生保護者

中学2年生保護者

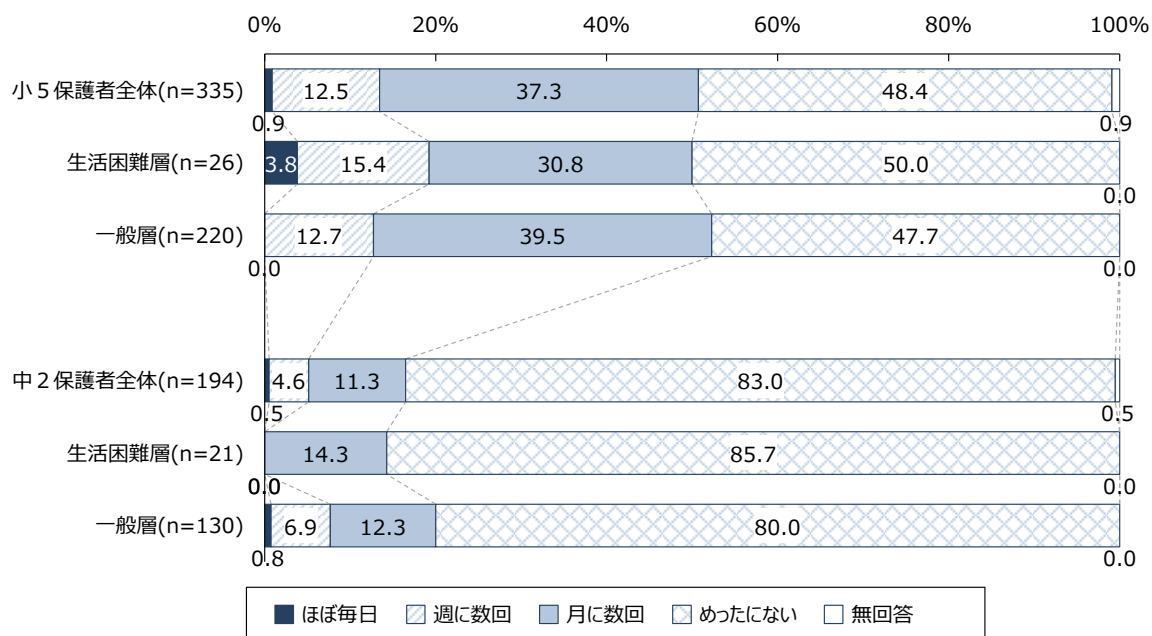


(8) 子どもとのかかわりの頻度

① お子さんと外でからだを動かして遊ぶ(スポーツなど)

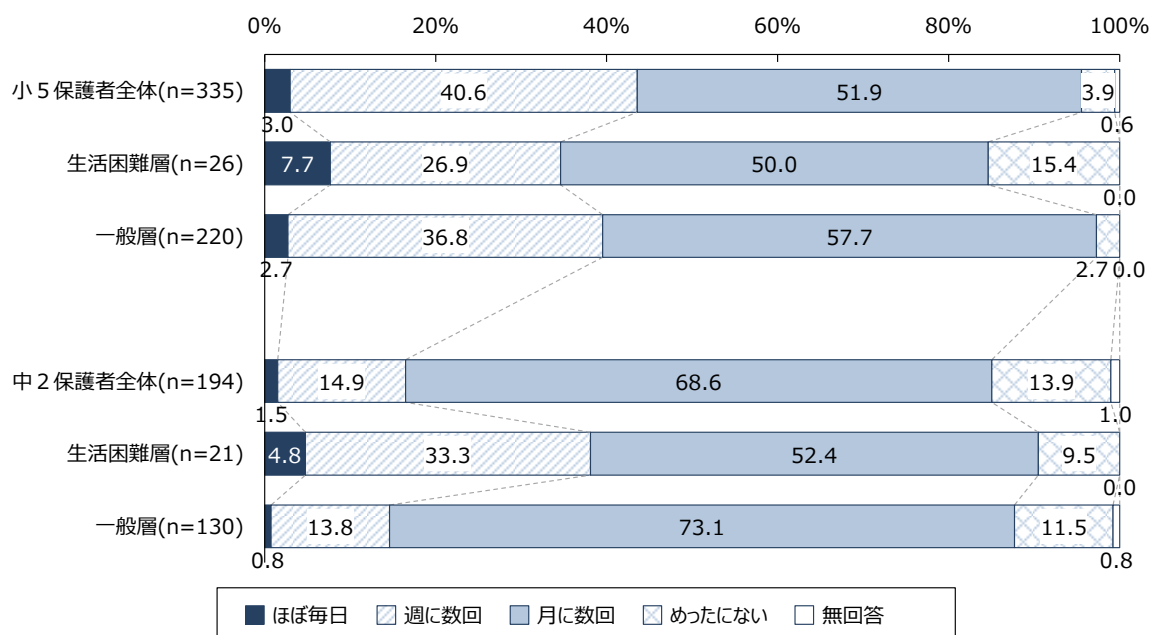
子どもとからだを動かして遊ぶ頻度について、生活困難度による大きな差はみられません。小学5年生の生活困難層で「ほぼ毎日」が3.8%となっています。

また、小学5年生に比べ中学2年生ではお子さんと外でからだを動かして遊ぶ頻度は、総じて少なくなっています。



② お子さんと一緒に買い物等外出をする

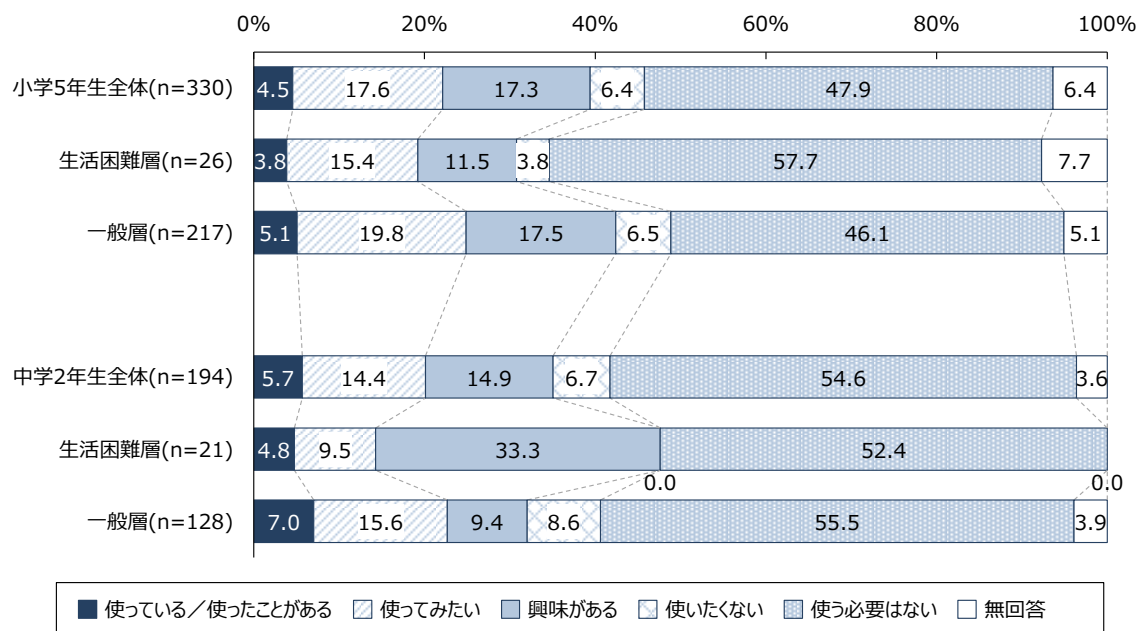
子どもと一緒に買い物等外出をする頻度について、小学5年生の生活困難層で「ほぼ毎日」が7.7%、「めったにない」が15.4%となっており一般層と比べ高くなっています。中学2年生の生活困難層では「ほぼ毎日」が4.8%、「週に数回」が33.3%と一般層と比べ高くなっています。



(9) 子ども本人の支援サービスの利用意向

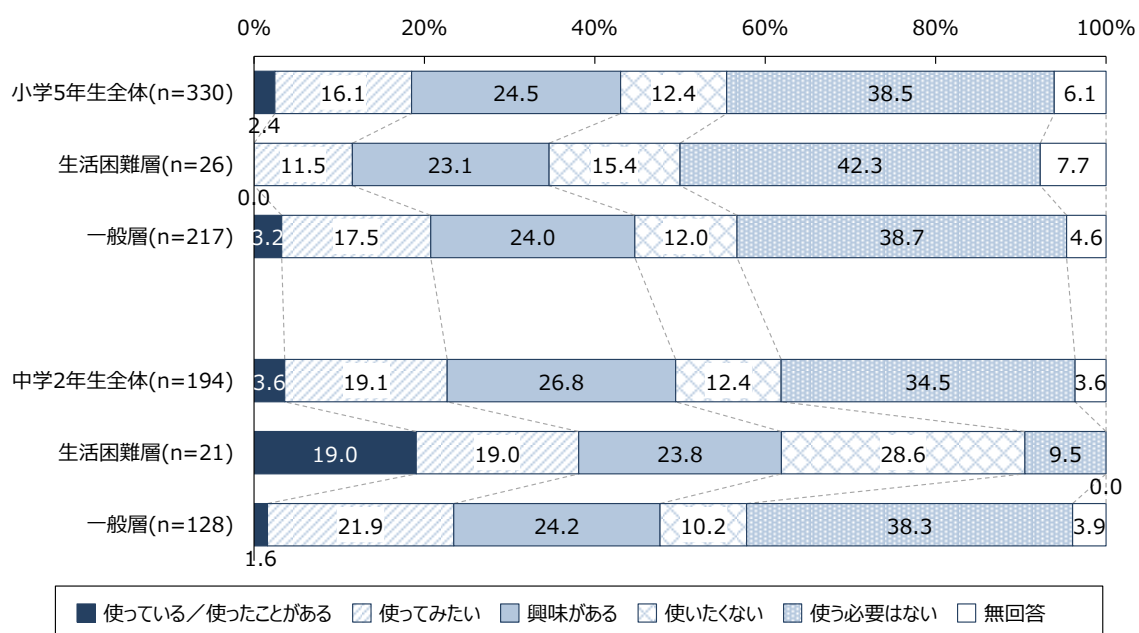
① 家の人がいなくて、夕ごはんをみんなで食べることができる場所

家の人がいなくて、夕ごはんをみんなで食べることができる場所を「使ってみたい」と「興味がある」を合わせた回答の割合は、小学5年生の全体で34.9%、生活困難層で26.9%、一般層で37.3%、中学2年生の全体で29.3%、生活困難層で42.8%、一般層で25.0%となっています。一般層と比べ生活困難層の回答の割合は小学5年生で低く、中学2年生で高くなっています。



② 大学生のボランティアが、勉強を無料でみてくれる場所

大学生のボランティアが、勉強を無料でみてくれる場所を「使ってみたい」と「興味がある」を合わせた回答の割合は、小学5年生の全体で40.6%、生活困難層で34.6%、一般層で41.5%、中学2年生の全体で45.9%、生活困難層で42.8%、一般層で46.1%となっています。また、「使っている/使ったことがある」の割合は、中学2年生の生活困難層で19.0%と高くなっています。

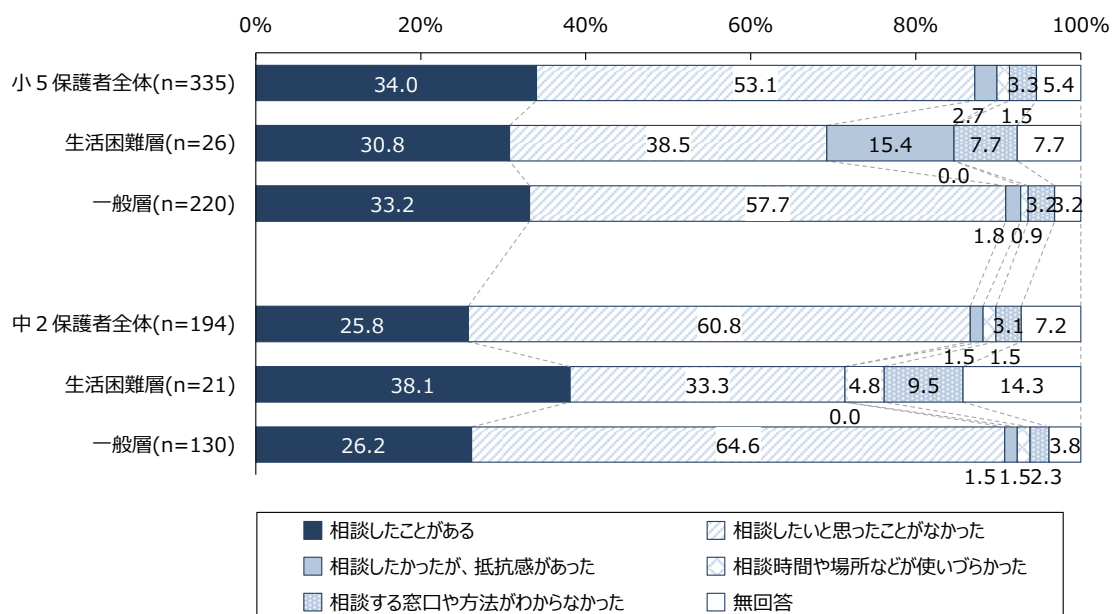


(10) 相談窓口の利用状況

① 子ども家庭支援センター

子ども家庭支援センターへの相談経験について、「相談したことがある」と回答した割合は、小学5年生の全体で34.0%、生活困難層で30.8%、一般層で33.2%、中学2年生の全体で25.8%、生活困難層で38.1%、一般層で26.2%となっています。

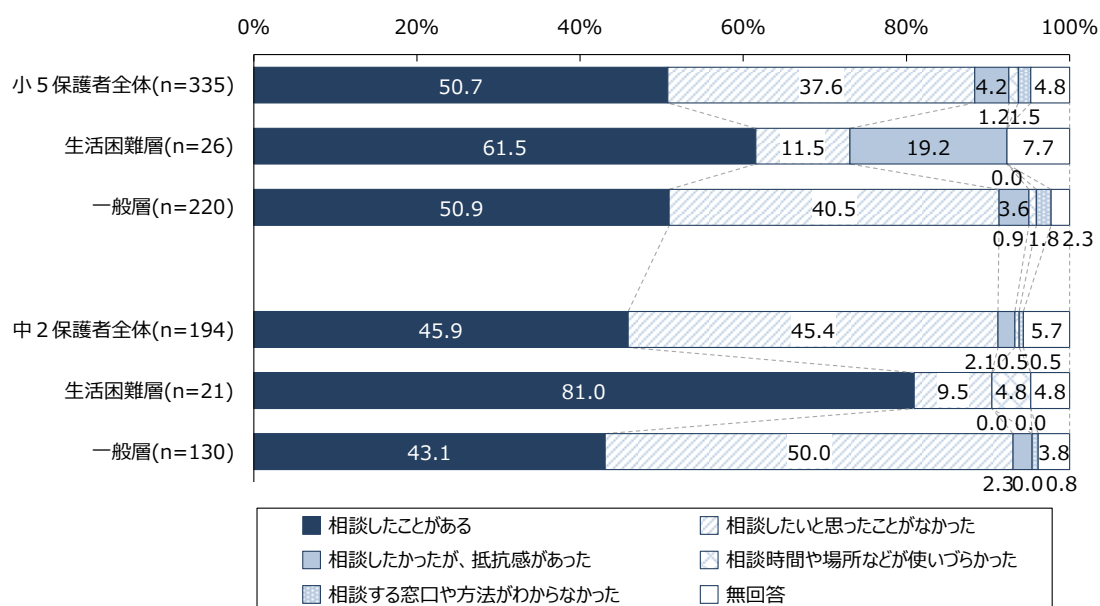
一方、「相談する窓口や方法がわからなかった」と回答した割合は、生活困難層で高く、小学5年生7.7%、中学2年生9.5%となっています。



② 学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラーなど

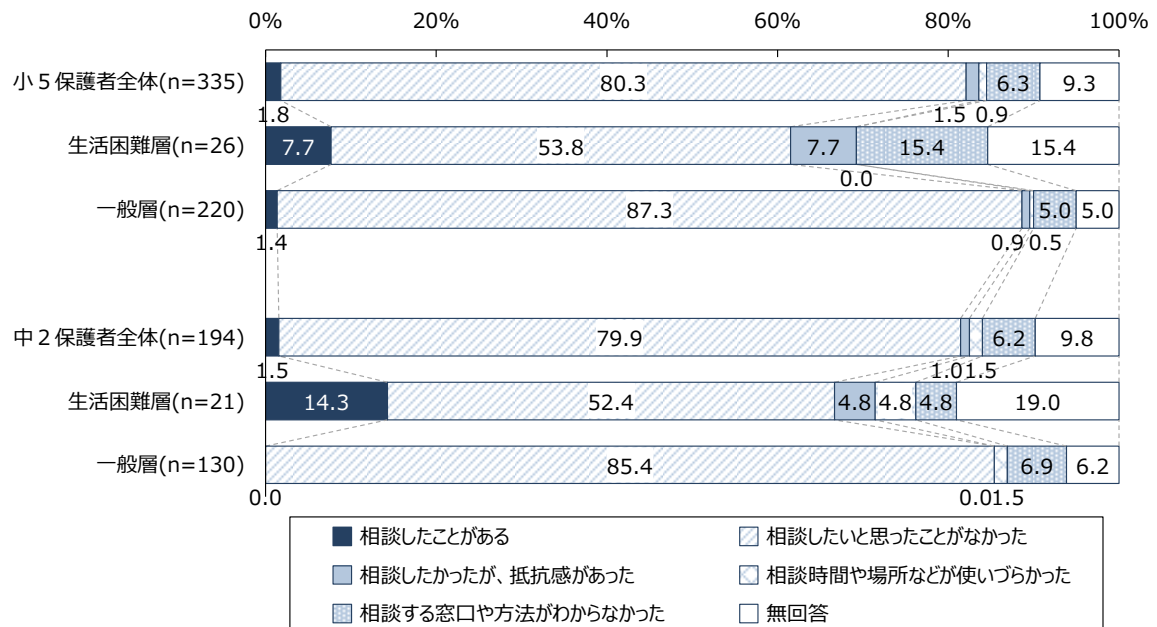
学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラーなどへの相談経験について、「相談したことがある」と回答した割合は、小学5年生の全体で50.7%、生活困難層で61.5%、一般層で50.9%、中学2年生の全体で45.9%、生活困難層で81.0%、一般層で43.1%となっています。

一般層と比べ生活困難層では、「相談したいと思ったことがなかった」の割合が低く、また、小学5年生の生活困難層では、「相談したかったが、抵抗感があった」の割合が高くなっています。



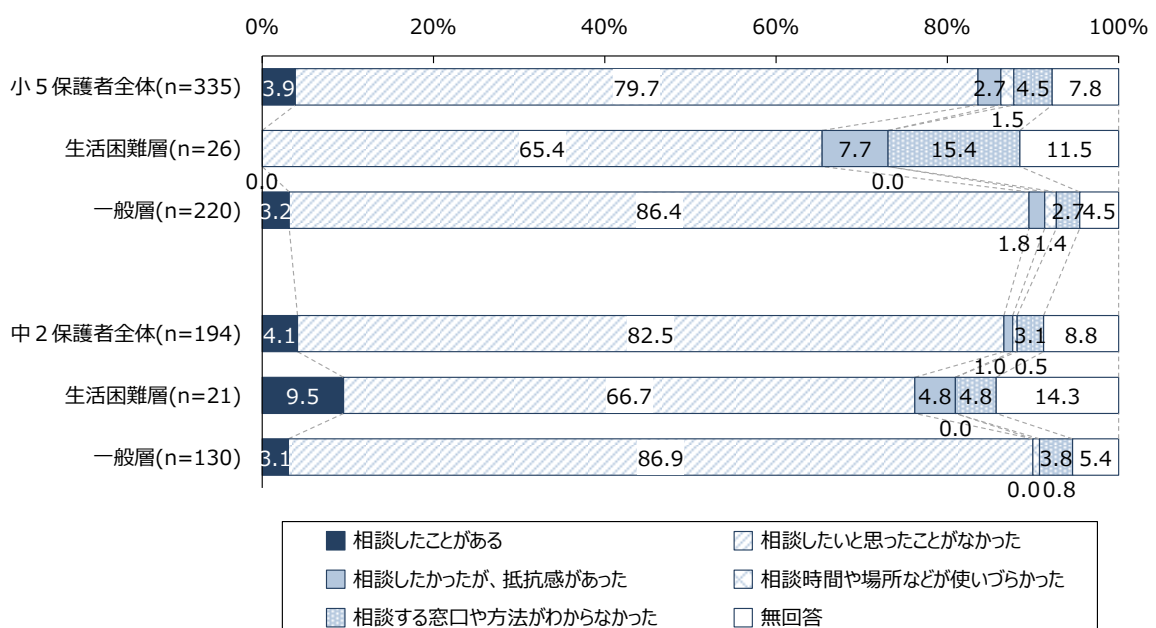
③ 民生委員・児童委員

民生委員・児童委員への相談経験について、「相談したことがある」と回答した割合は、小学5年生の全体で1.8%、生活困難層で7.7%、一般層で1.4%、中学2年生の全体で1.5%、生活困難層で14.3%となっており、一方、「相談する窓口や方法がわからなかった」と回答した割合は、小学5年生の全体で6.3%、生活困難層で15.4%、一般層で5.0%、中学2年生の全体で6.2%、生活困難層で4.8%、一般層で6.9%となっています。



④ 児童相談所

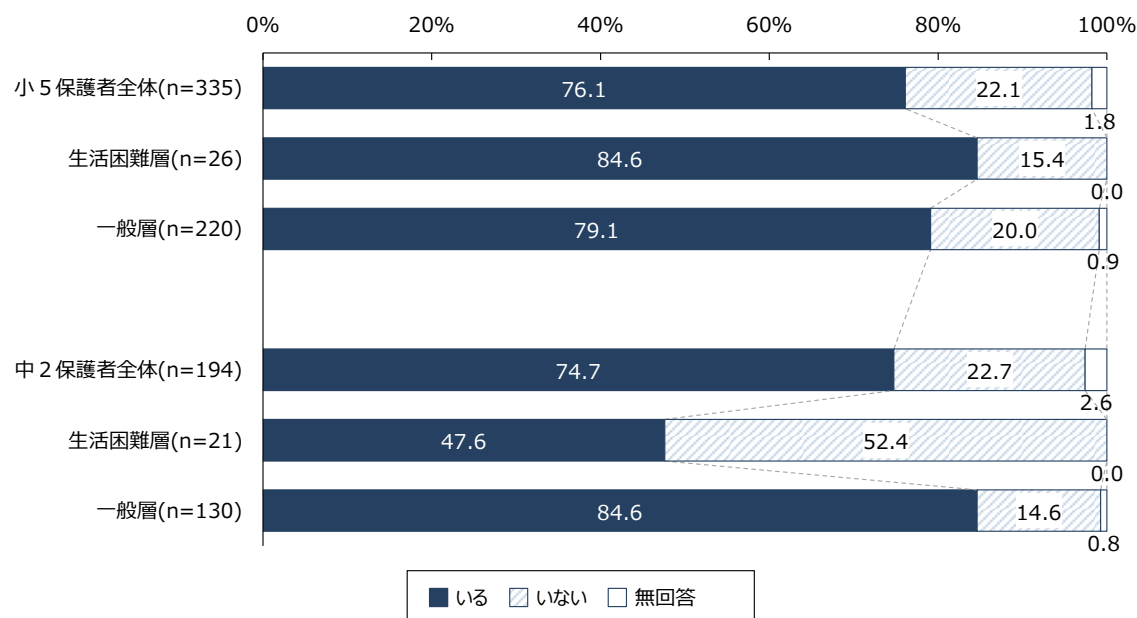
児童相談所への相談経験について、「相談したことがある」と回答した割合は、小学5年生の全体で3.9%、一般層で3.2%、中学2年生の全体で4.1%、生活困難層で9.5%、一般層で3.1%となっており、一方、「相談する窓口や方法がわからなかった」と回答した割合は、小学5年生の全体で4.5%、生活困難層で15.4%、一般層で2.7%、中学2年生の全体で3.1%、生活困難層で4.8%、一般層で3.8%となっています。



(11) 頼れる親族・友人、相談相手の有無

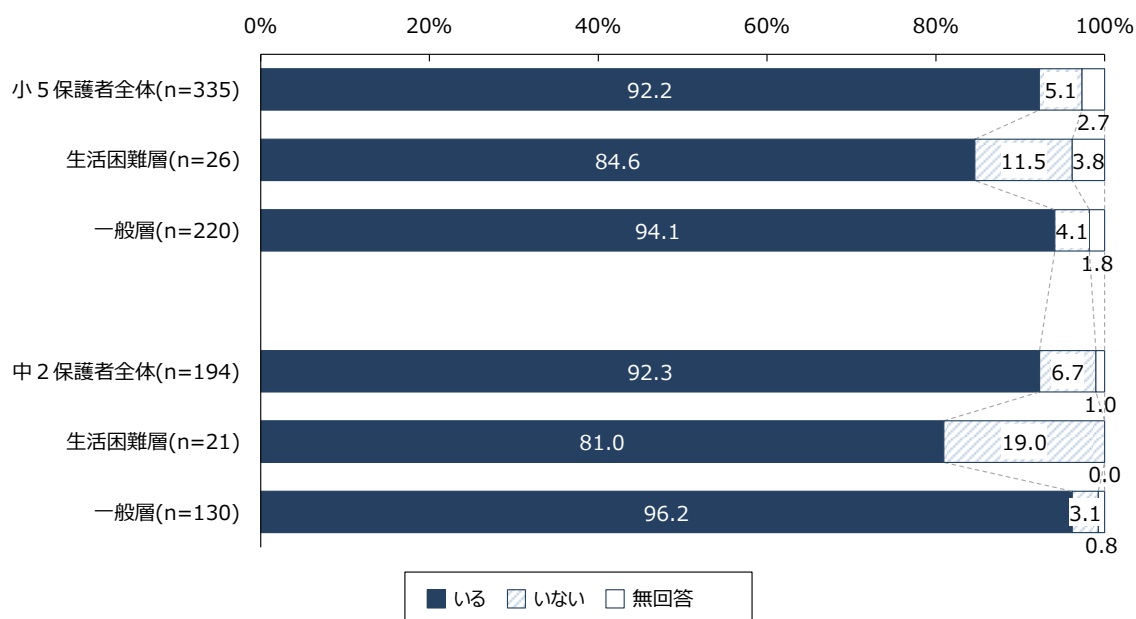
① 頼れる親族・友人の有無

子どもが病気のと看や保護者の急用のと看などに頼れる親族・友人の有無について、小学5年生は生活困難層による大きな差はみられませんが、中学2年生は「いない」の割合が一般層に比べ生活困難層で高く、5割を超えています。



② 相談相手の有無

本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人の有無について、小学5年生、中学2年生とも「いない」が一般層と比べ生活困難層で高くなっています。

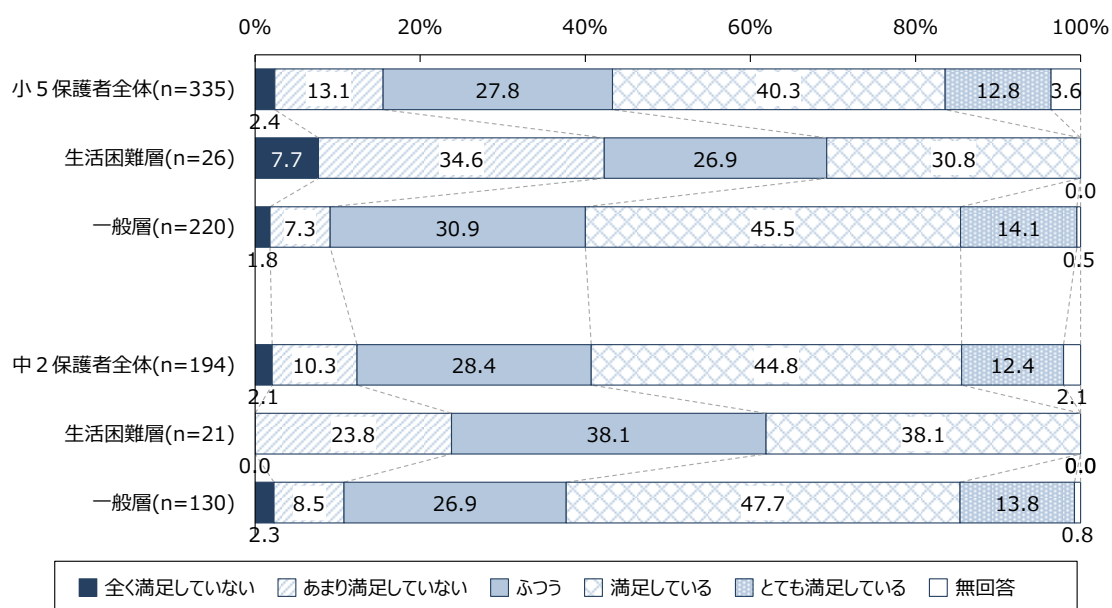


(12) 最近の生活の満足度

① 保護者

保護者に聞いた最近の生活の満足度について、「満足している」と「とても満足している」を合わせた回答の割合は、小学5年生の全体で53.1%、生活困難層で30.8%、一般層で59.6%、中学2年生の全体で57.2%、生活困難層で38.1%、一般層で61.5%となっています。

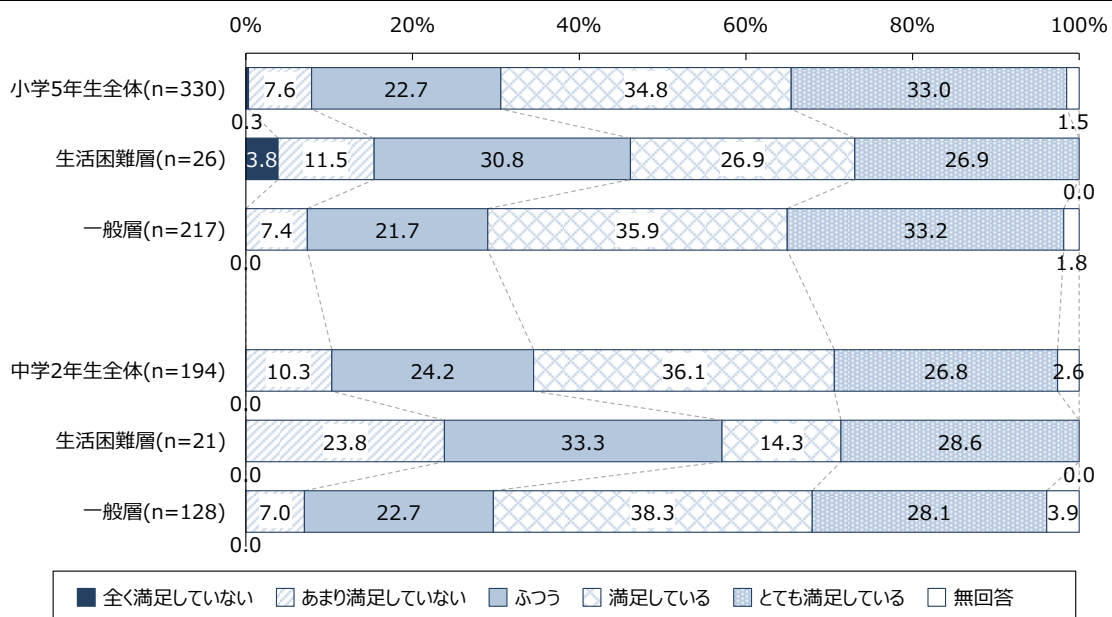
一方、「全く満足していない」と「あまり満足していない」を合わせた回答の割合は、生活困難層で高く、小学5年生で42.3%、中学2年生で23.8%となっています。



② 子ども

子どもに聞いた最近の生活の満足度について、「満足している」と「とても満足している」を合わせた回答の割合は、小学5年生の全体で67.8%、生活困難層で53.8%、一般層で69.1%、中学2年生の全体で62.9%、生活困難層で42.9%、一般層で66.4%となっています。

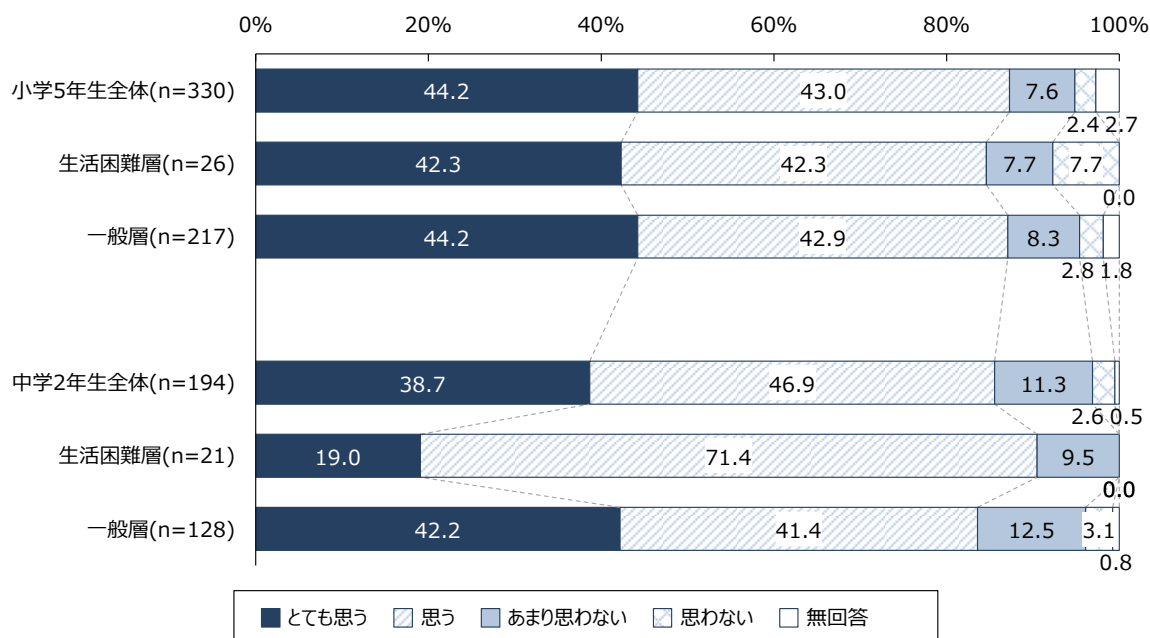
一方、「全く満足していない」と「あまり満足していない」を合わせた回答の割合は、生活困難層で高く、小学5年生で15.3%、中学2年生で23.8%となっています。



(13) 子どもの自己肯定感

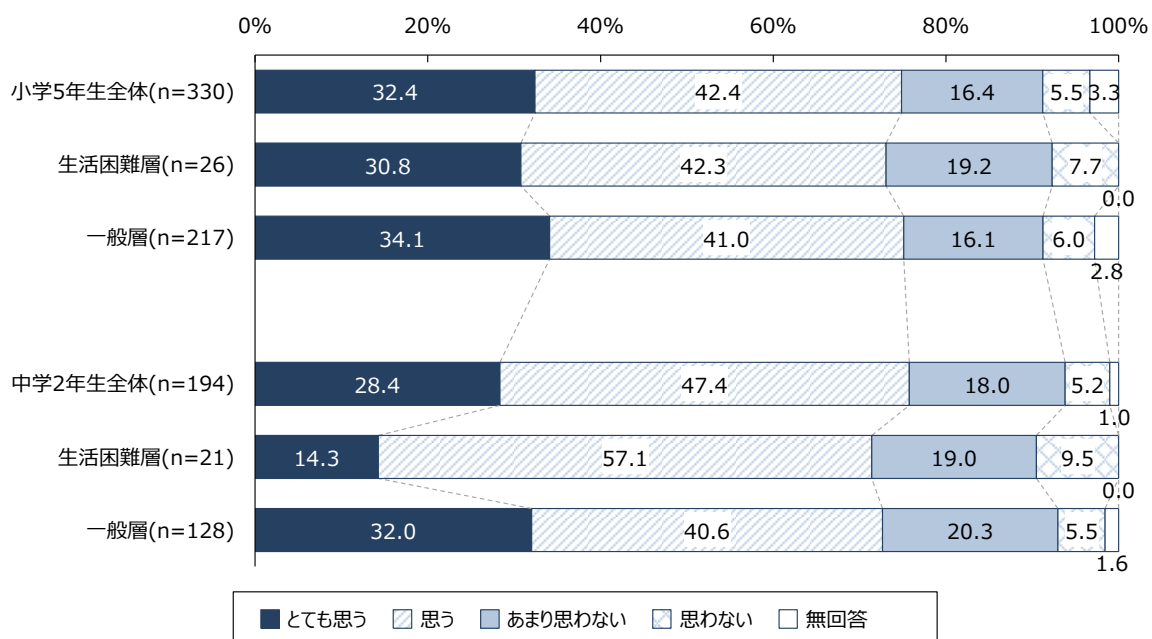
①がんばれば、むくわれると思う

小学5年生では生活困難度による大きな差はみられません。中学2年生では「とても思う」は一般層と比べ生活困難層で低くなっていますが「思う」と合わせた割合は、一般層と比べ生活困難層で高くなっています。



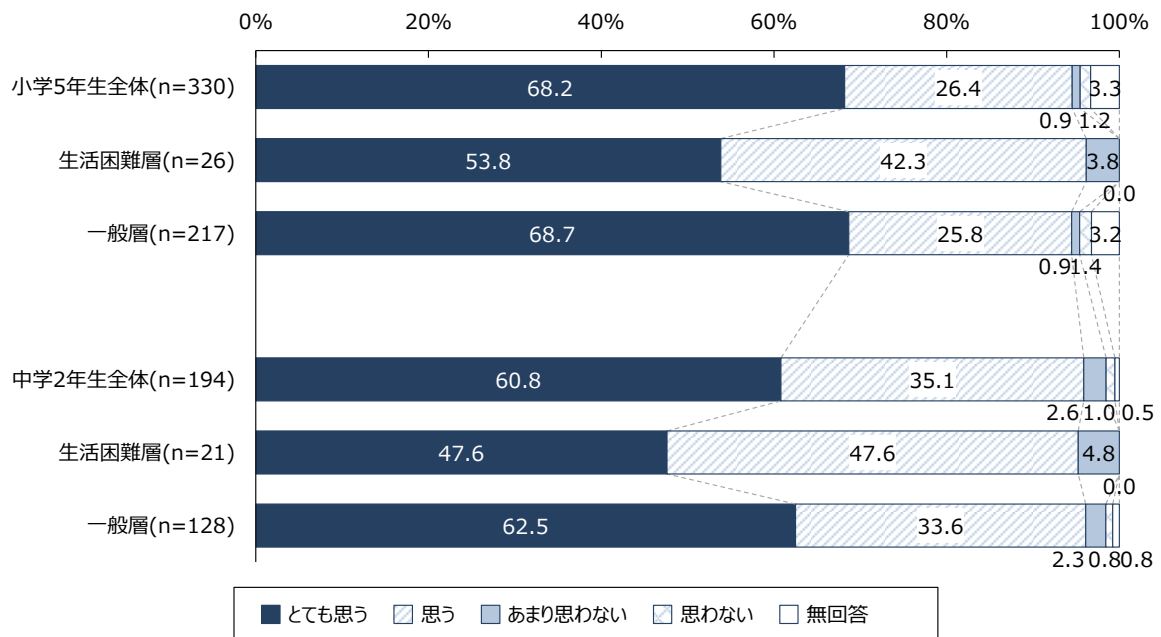
②自分は価値のある人間だと思う

小学5年生では生活困難度による大きな差はみられません。中学2年生では「とても思う」は一般層と比べ生活困難層で低くなっていますが「思う」と合わせた割合は生活困難度による大きな差はみられません。



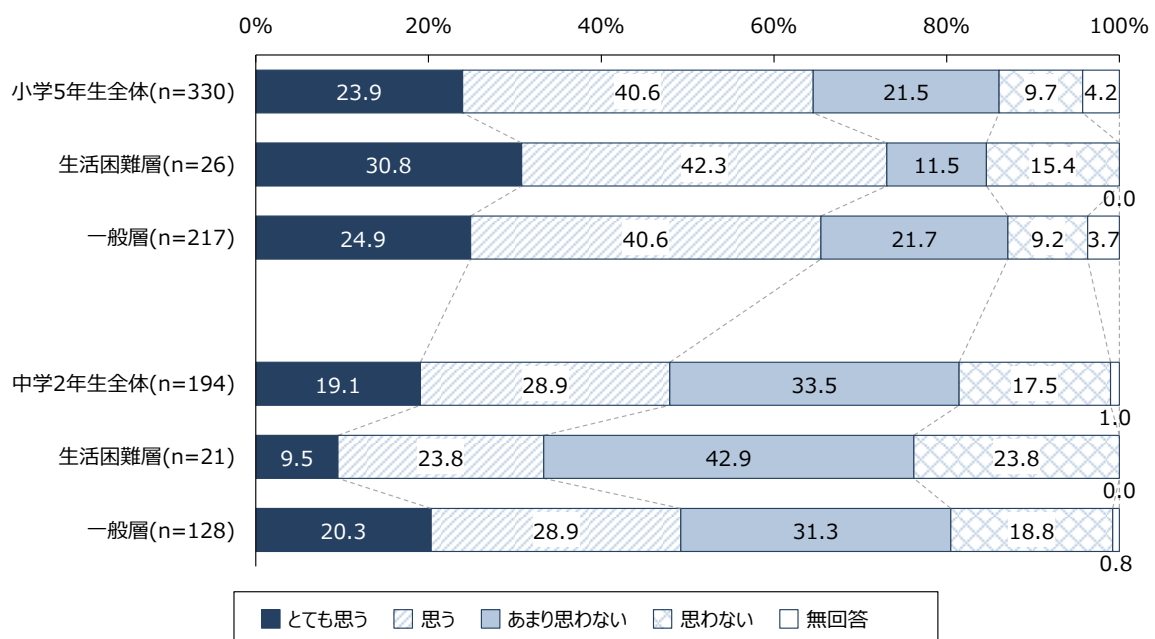
③自分は家族に大事にされていると思う

小学5年生、中学2年生とも「とても思う」は一般層と比べ生活困難層で低くなっていますが「思う」と合わせた割合は生活困難度による大きな差はみられません。



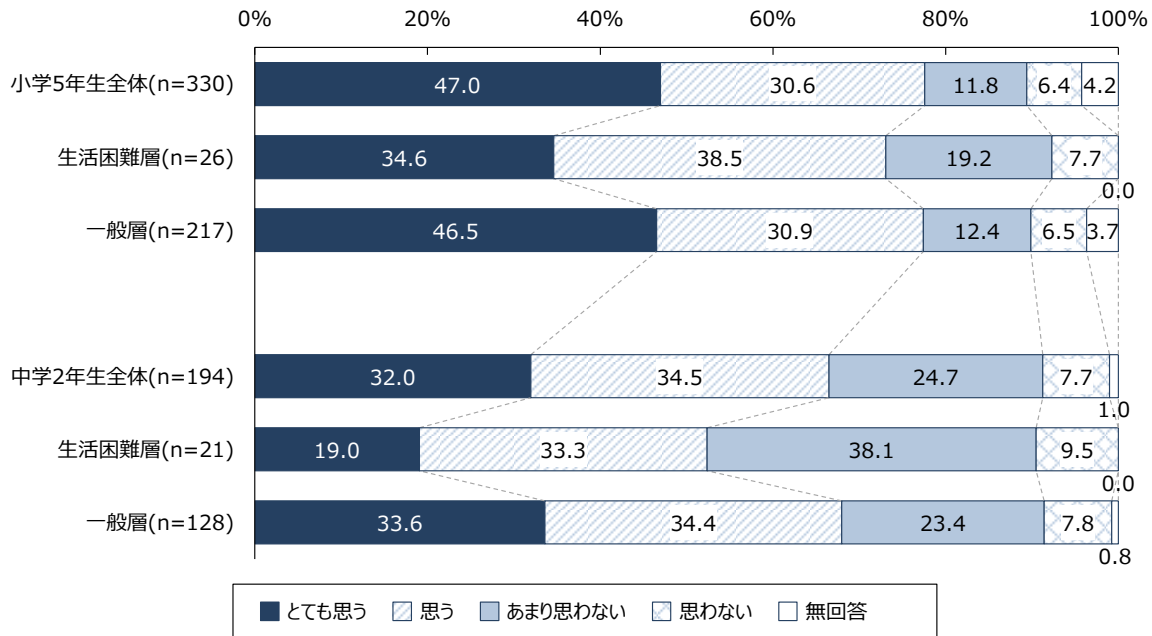
④不安に感じることはないと思う

小学5年生は「とても思う」と「思う」を合わせた割合は、一般層と比べ生活困難層で高く、中学2年生は「とても思う」と「思う」を合わせた割合は、一般層と比べ生活困難層で低くなっています。また、小学5年生に比べ中学2年生で「あまり思わない」と「思わない」を合わせた割合が高くなっています。



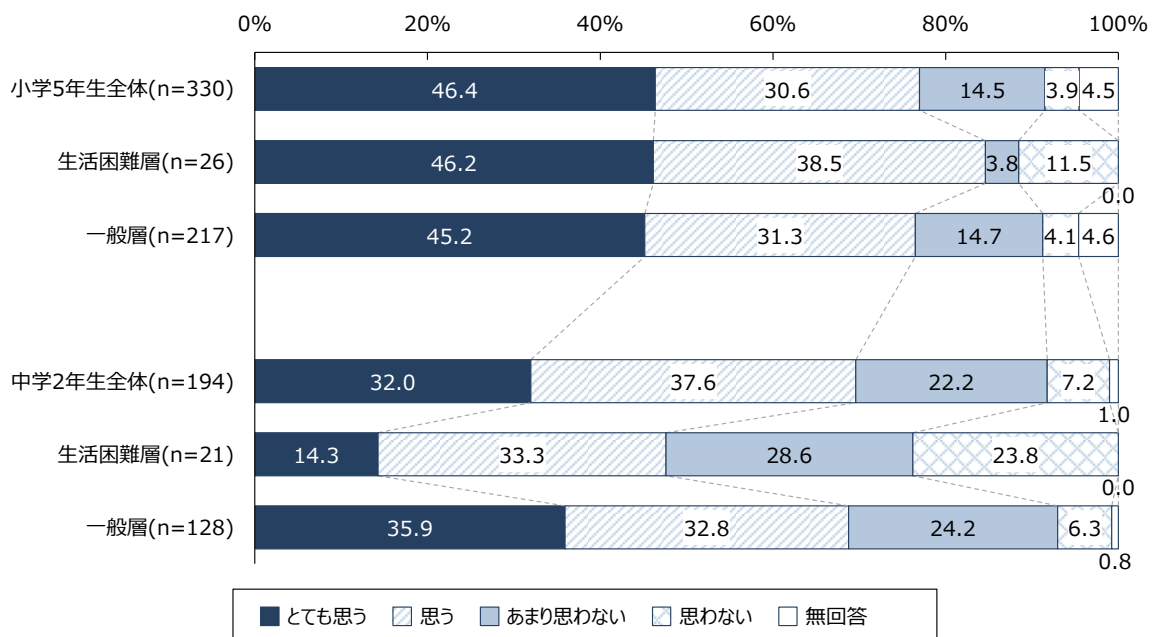
⑤孤独を感じることはないと思う

小学5年生、中学2年生とも「とても思う」と「思う」を合わせた割合は一般層と比べ生活困難層で低くなっています。また、小学5年生に比べ中学2年生で「あまり思わない」と「思わない」を合わせた割合が高くなっています。



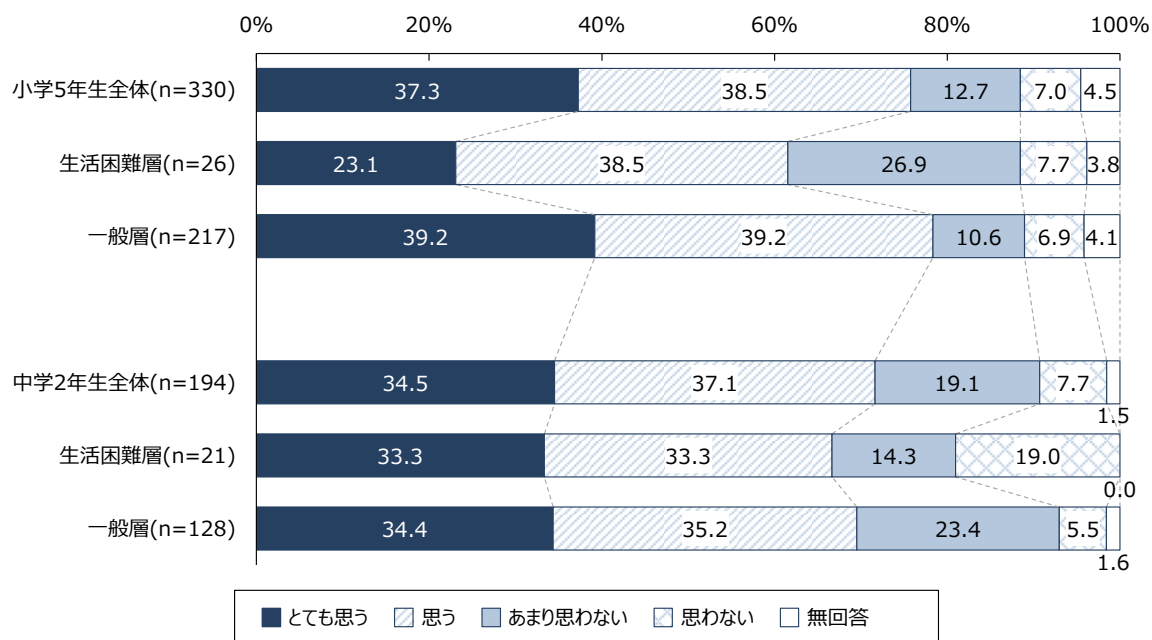
⑥自分の将来が楽しみだと思う

小学5年生は「とても思う」と「思う」を合わせた割合は一般層と比べ生活困難層で高く、中学2年生は「とても思う」と「思う」を合わせた割合は一般層と比べ生活困難層で低くなっています。また、小学5年生に比べ中学2年生で「あまり思わない」と「思わない」を合わせた割合が高くなっています。



⑦自分のことが好きだと思う

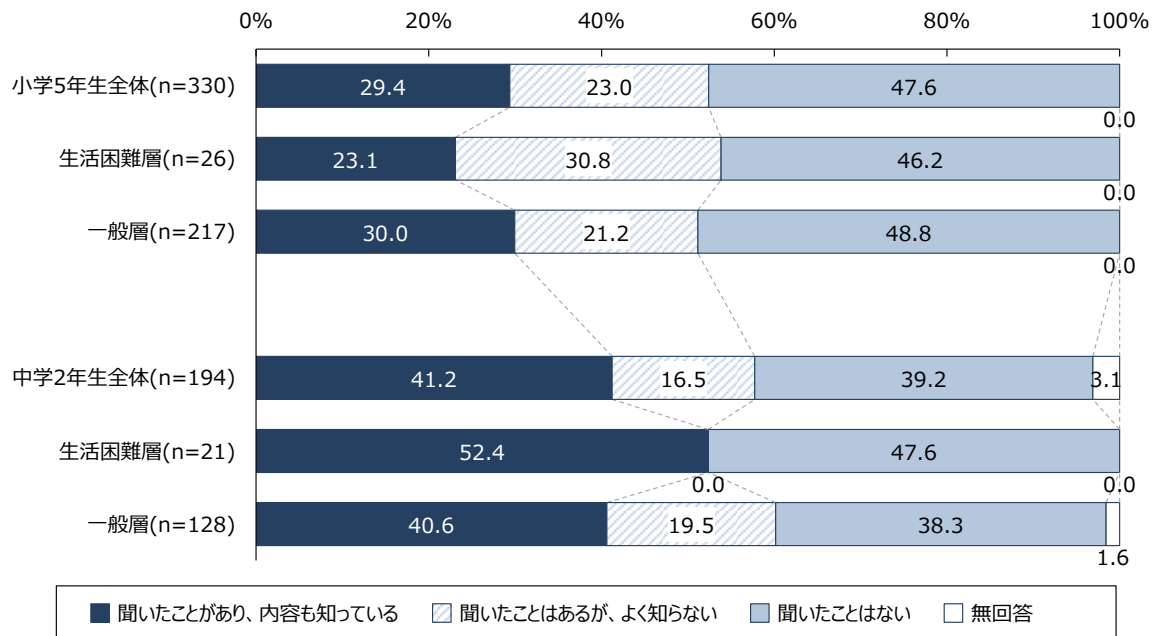
小学5年生は「とても思う」と「思う」を合わせた割合は一般層と比べ生活困難層で低く、
 中学2年生は「とても思う」と「思う」を合わせた割合は生活困難度による大きな差はみられ
 ませんが、「思わない」が一般層と比べ生活困難層で高くなっています。



(14) ヤングケアラーについて

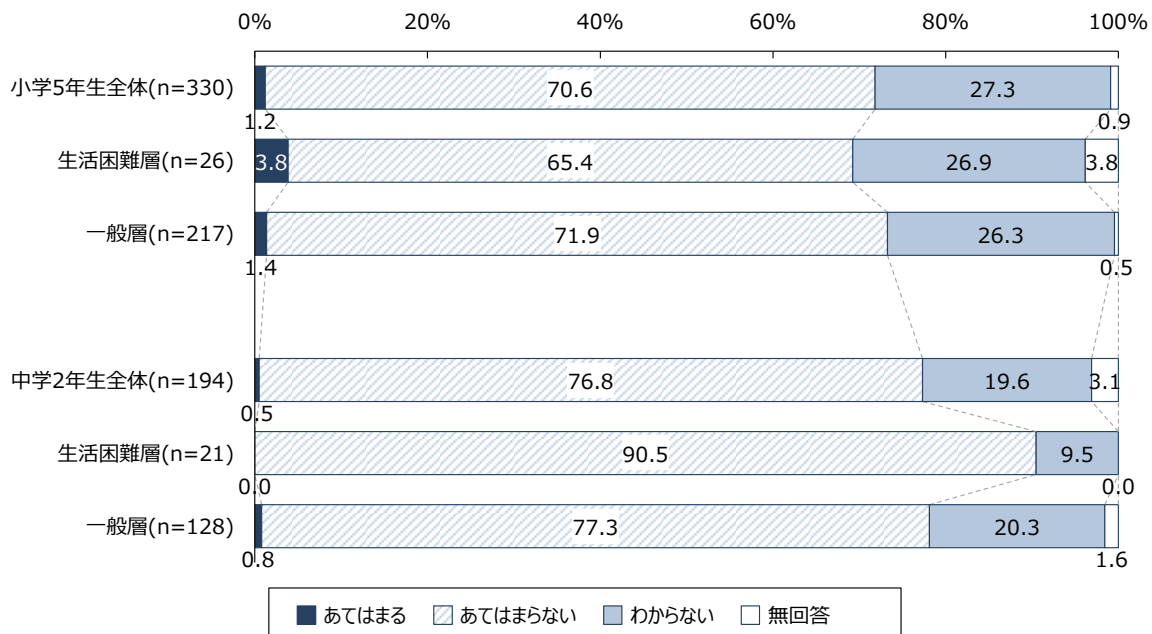
①「ヤングケアラー」という言葉の認知度

小学5年生は「聞いたことがあり、内容も知っている」と「聞いたことはあるがよく知らない」を合わせた割合は生活困難度による大きな差はみられませんが、中学2年生は「聞いたことがあり、内容も知っている」、「聞いたことはない」のどちらも一般層と比べ生活困難層で高くなっています。



②「ヤングケアラー」にあてはまると思うか

小学5年生、中学2年生とも「あてはまらない」の割合が高く、中学2年生の生活困難層では9割を超えています。一方、割合は少ないですが、小学5年生の生活困難層で3.8%が「あてはまる」と回答しています。



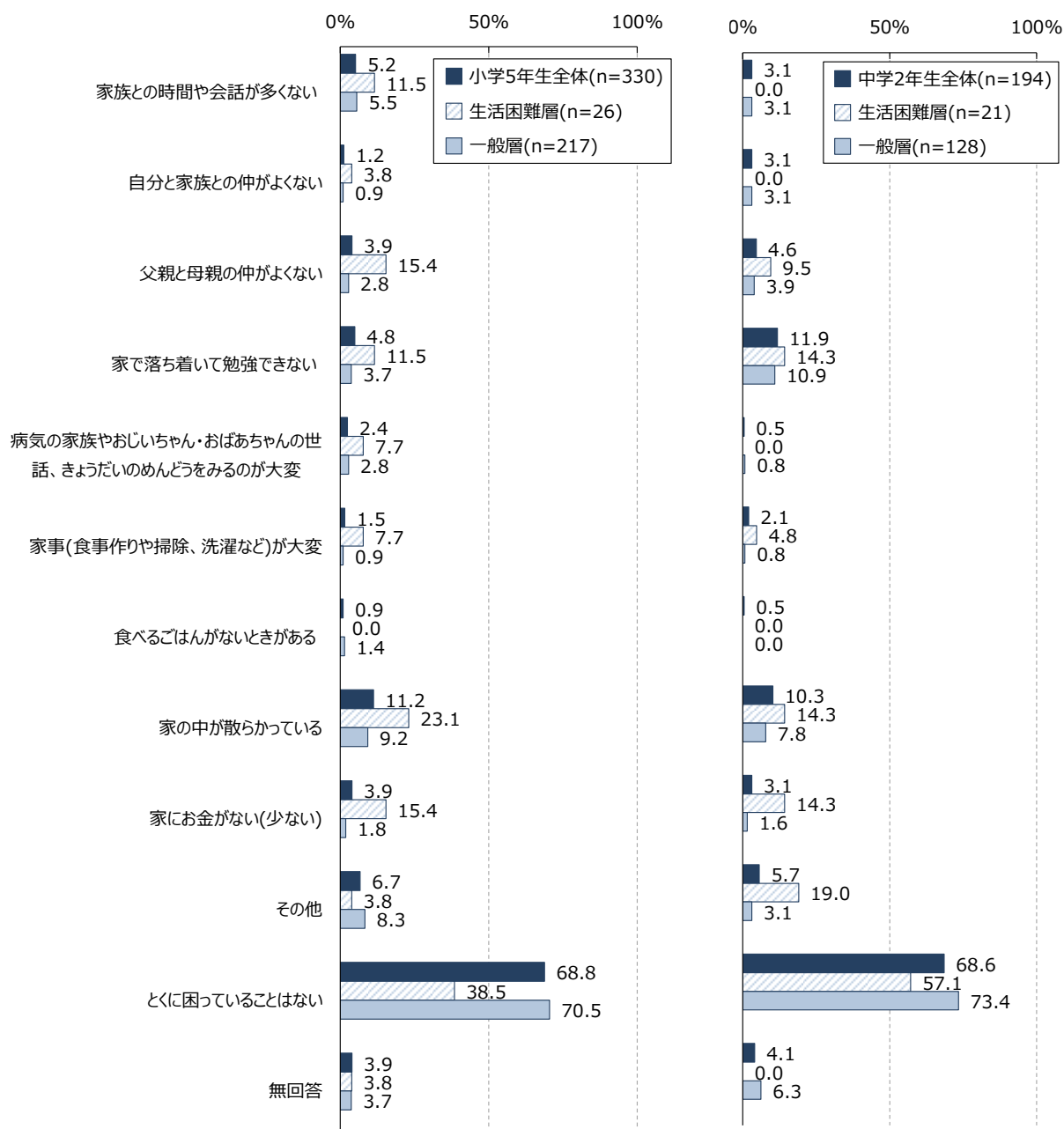
(15) 心配ごとや困りごとの有無

自分や家族のことなどでの心配ごとや困りごとの有無について、「とくに困っていることはない」が、小学5年生の全体で68.8%、生活困難層で38.5%、一般層で70.5%、中学2年生の全体で68.6%、生活困難層で57.1%、一般層で73.4%となっています。

一方、「家にお金がない(少ない)」との回答は一般層と比べ生活困難層で割合が高くなっています。

小学5年子ども

中学2年生子ども



集計結果

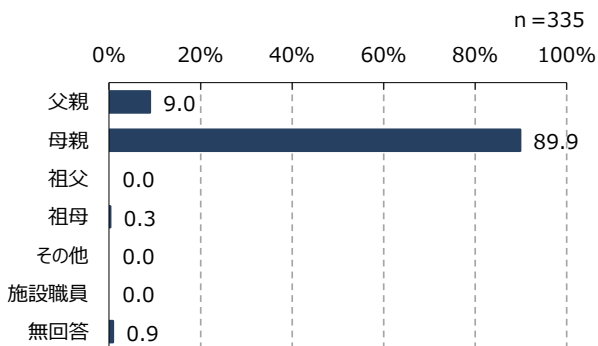
1 保護者調査

(1) あなたのこと、あなたの世帯のことについて

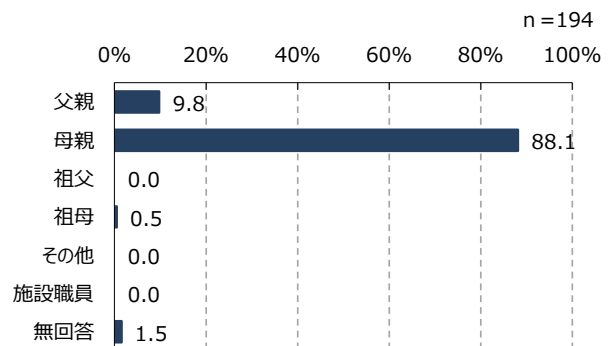
問1 お子さんとあなた(回答者)との関係は、以下のどれになりますか。お子さんからみた続き柄で、お答えください。

小学5年生では、「母親」が89.9%と最も多く、次いで「父親」が9.0%、「祖母」が0.3%となっています。中学2年生では、「母親」が88.1%と最も多く、次いで「父親」が9.8%、「祖母」が0.5%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者

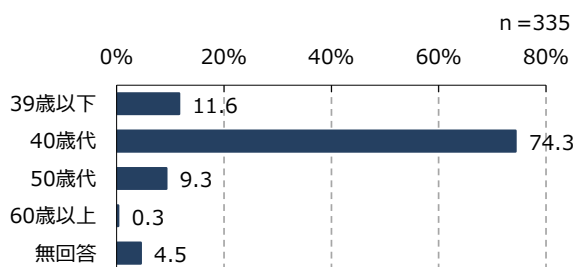


問2 あなたの年齢を教えてください。

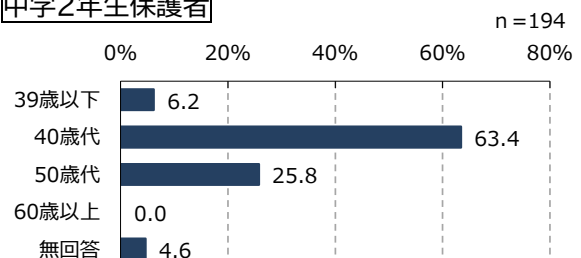
小学5年生では、「40歳代」が74.3%と最も多く、次いで「39歳以下」が11.6%、「50歳代」が9.3%、「60歳以上」が0.3%となっています。

中学2年生では、「40歳代」が63.4%と最も多く、次いで「50歳代」が25.8%、「39歳以下」が6.2%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者

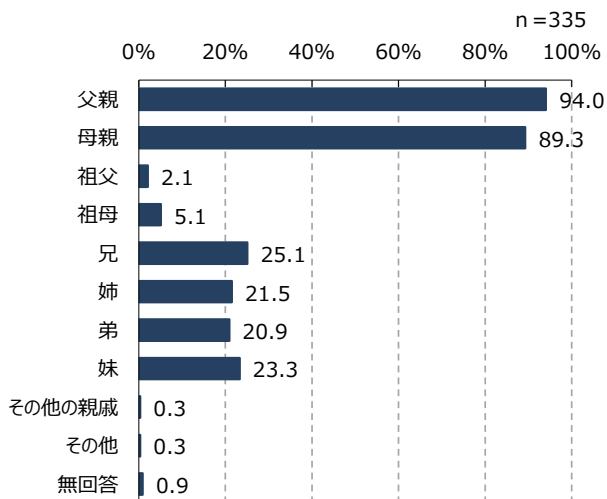


問3 お子さんと同居しているご家族について教えてください。単身赴任しているご家族も含めてください。(複数回答)

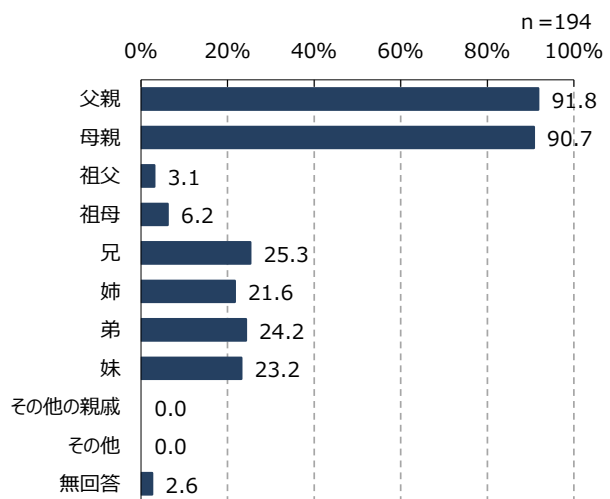
小学5年生では、「父親」が94.0%と最も多く、次いで「母親」が89.3%、「兄」が25.1%、「妹」が23.3%、「姉」が21.5%となっています。

中学2年生では、「父親」が91.8%と最も多く、次いで「母親」が90.7%、「兄」が25.3%、「弟」が24.2%、「妹」が23.2%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者

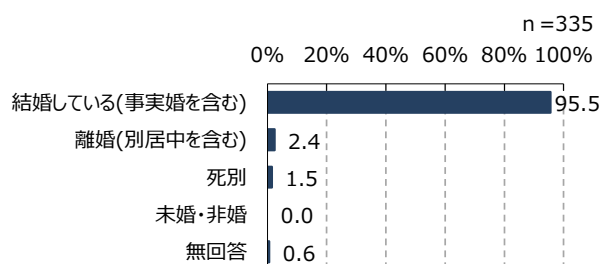


問4 現在のあなたの婚姻状況を教えてください。

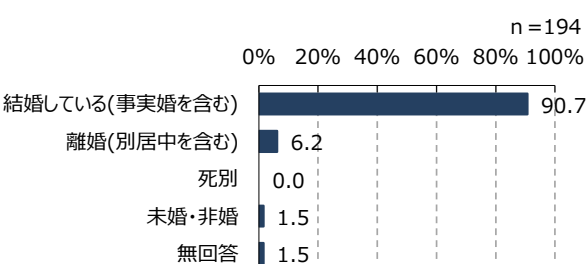
小学5年生では、「結婚している(事実婚を含む)」が95.5%と最も多く、次いで「離婚(別居中を含む)」が2.4%、「死別」が1.5%、となっています。

中学2年生では、「結婚している(事実婚を含む)」が90.7%と最も多く、次いで「離婚(別居中を含む)」が6.2%、「未婚・非婚」が1.5%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者

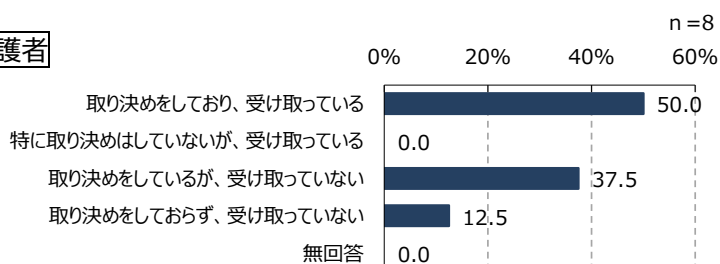


問5 離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。また、養育費を現在受け取っていますか

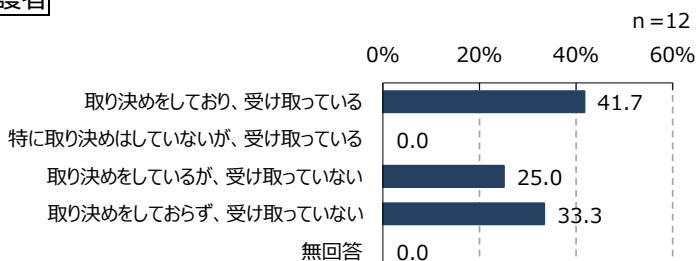
小学5年生では、「取り決めをしており、受け取っている」が50.0%と最も多く、次いで「取り決めをしているが、受け取っていない」が37.5%、「取り決めをしておらず、受け取っていない」が12.5%となっています。

中学2年生では、「取り決めをしており、受け取っている」が41.7%と最も多く、次いで「取り決めをしておらず、受け取っていない」が33.3%、「取り決めをしているが、受け取っていない」が25.0%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者

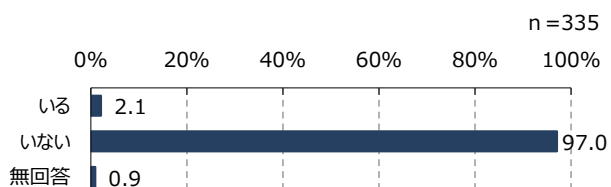


問6 お子さんと同居しているご家族の中に、高齢であったり障がいがあったりするなど、介護が必要な方はいますか。

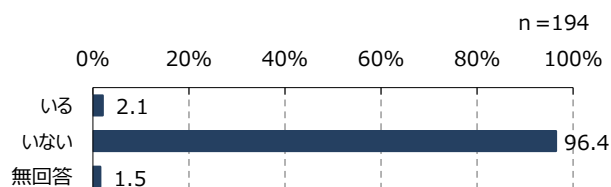
小学5年生では、「いる」が2.1%、「いない」が97.0%となっています。

中学2年生では、「いる」が2.1%、「いない」が96.4%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者

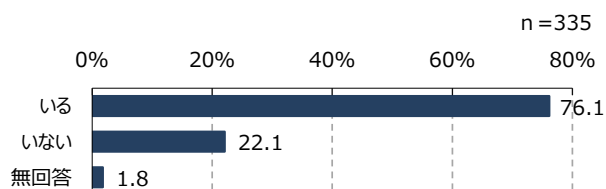


問7 お子さんが病気の時や、ご自身の用事の時などに頼れる親族や友人などがいますか。

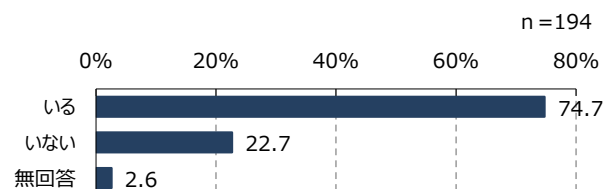
小学5年生では、「いる」が76.1%、「いない」が22.1%となっています。

中学2年生では、「いる」が74.7%、「いない」が22.7%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者



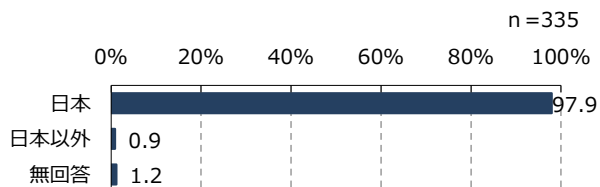
問8 お子さんのご両親の国籍をそれぞれ教えてください。

A 母親

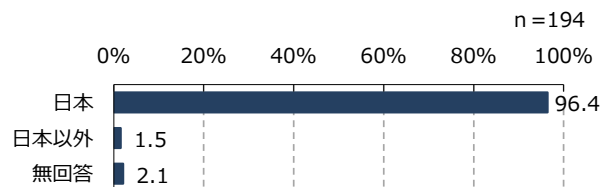
小学5年生では、「日本」が97.9%、「日本以外」が0.9%となっています。

中学2年生では、「日本」が96.4%、「日本以外」が1.5%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者

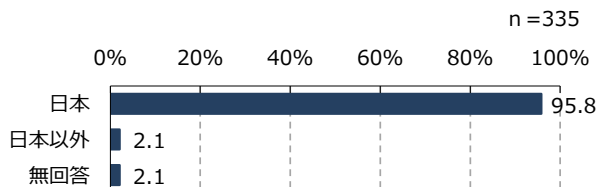


B 父親

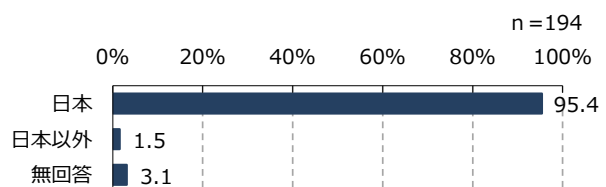
小学5年生では、「日本」が95.8%、「日本以外」が2.1%となっています。

中学2年生では、「日本」が95.4%、「日本以外」が1.5%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者



(2) 母親と父親の職業について

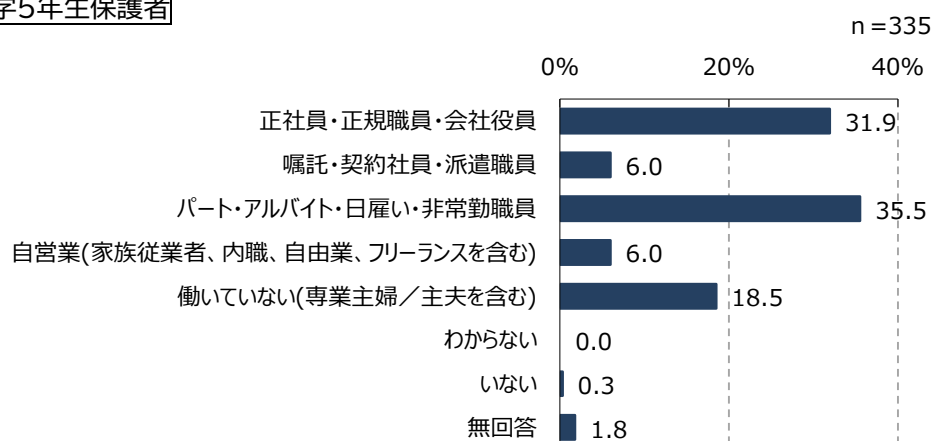
問9 お子さんのご両親の就労状況について教えてください。

A 母親

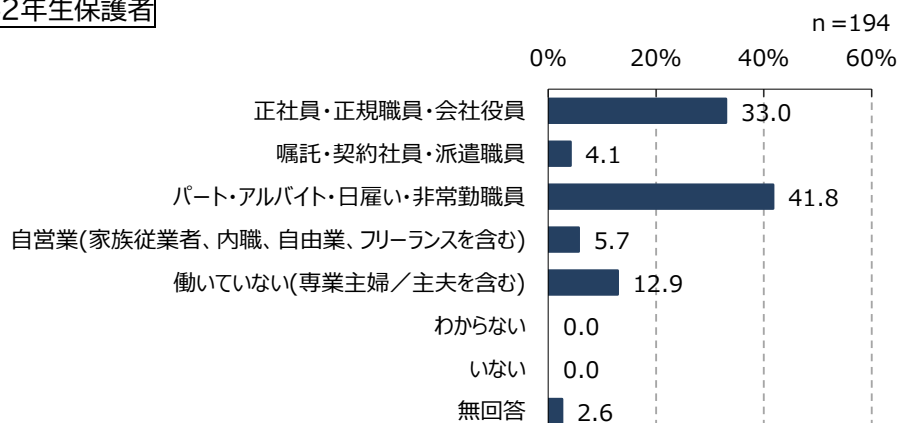
小学5年生では、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が35.5%と最も多く、次いで「正社員・正規職員・会社役員」が31.9%、「働いていない(専業主婦/主夫を含む)」が18.5%、「嘱託・契約社員・派遣職員」、「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む)」が6.0%となっています。

中学2年生では、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が41.8%と最も多く、次いで「正社員・正規職員・会社役員」が33.0%、「働いていない(専業主婦/主夫を含む)」が12.9%、「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む)」が5.7%、「嘱託・契約社員・派遣職員」が4.1%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者

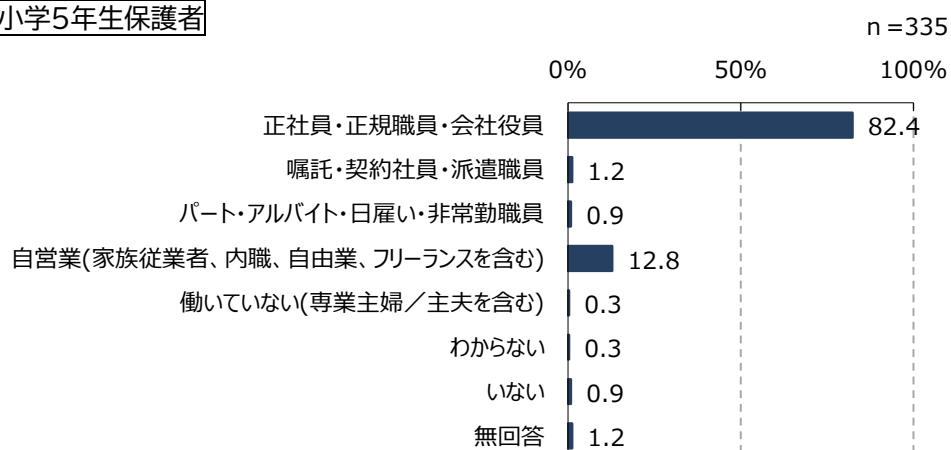


B 父親

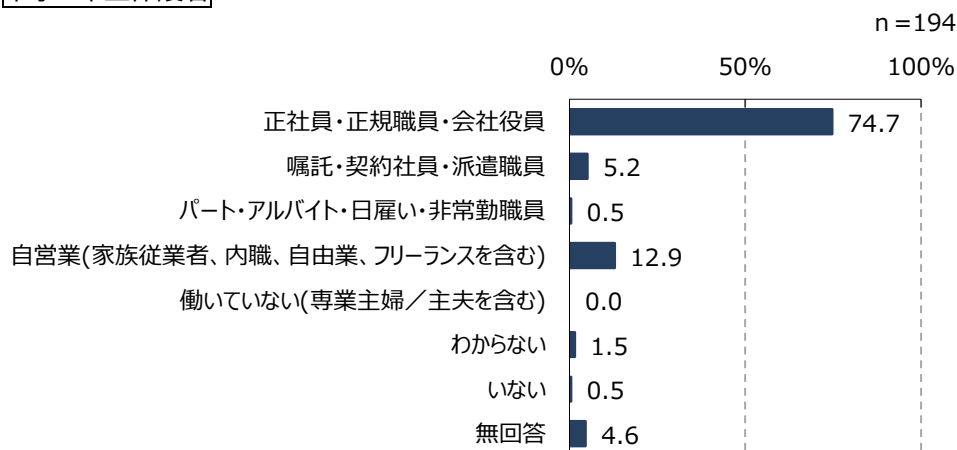
小学5年生では、「正社員・正規職員・会社役員」が82.4%と最も多く、次いで「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む)」が12.8%、「嘱託・契約社員・派遣職員」が1.2%、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」、「いない」が0.9%となっています。

中学2年生では、「正社員・正規職員・会社役員」が74.7%と最も多く、次いで「自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む)」が12.9%、「嘱託・契約社員・派遣職員」が5.2%、「わからない」が1.5%、「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が0.5%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者



問9で「5 働いていない」を選んだ方にうかがいます。

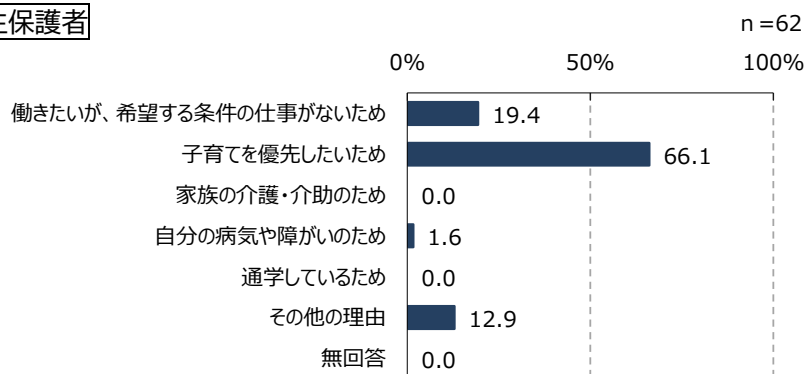
問9-1 働いていない最も主な理由を教えてください。

A 母親

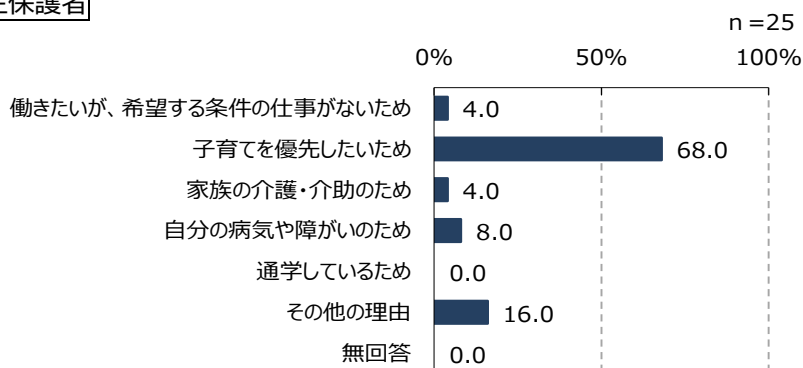
小学5年生では、「子育てを優先したいため」が66.1%と最も多く、次いで「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が19.4%、「その他の理由」が12.9%、「自分の病気や障がいのため」が1.6%、となっています。

中学2年生では、「子育てを優先したいため」が68.0%と最も多く、次いで「その他の理由」が16.0%、「自分の病気や障がいのため」が8.0%、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」、「家族の介護・介助のため」が4.0%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者



B 父親

小学5年生の回答で、「自分の病気や障がいのため」が1名のためグラフを省略。中学2年生の回答はなし

問9で「1」～「4」を選んだ、お子さんの母親又は父親(もしくは両方)が職業をお持ちのご家庭におうかがいします。

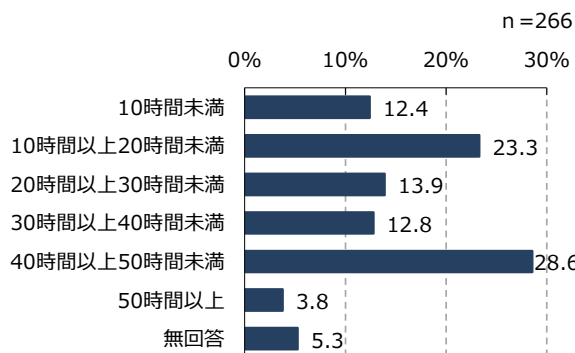
問9-2 1週間に平均何時間、お仕事をされていますか。

A 母親

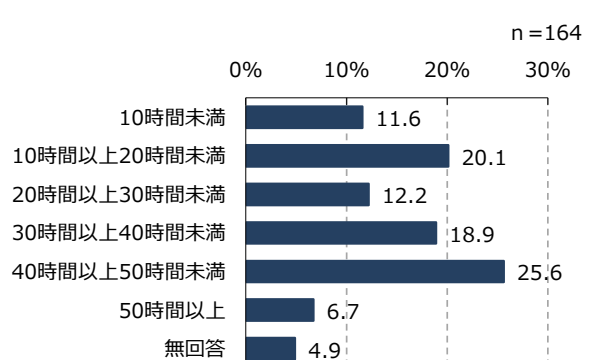
小学5年生では、「40時間以上50時間未満」が28.6%と最も多く、次いで「10時間以上20時間未満」が23.3%、「20時間以上30時間未満」が13.9%、「30時間以上40時間未満」が12.8%、「10時間未満」が12.4%となっています。

中学2年生では、「40時間以上50時間未満」が25.6%と最も多く、次いで「10時間以上20時間未満」が20.1%、「30時間以上40時間未満」が18.9%、「20時間以上30時間未満」が12.2%、「10時間未満」が11.6%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者

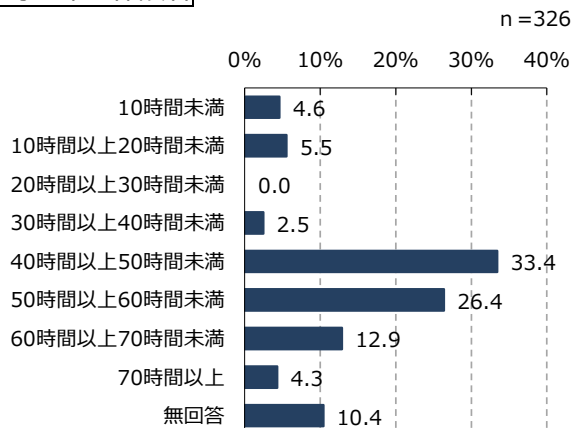


B 父親

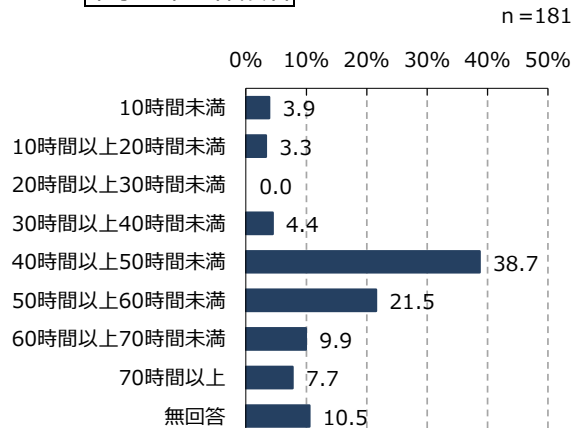
小学5年生では、「40時間以上50時間未満」が33.4%と最も多く、次いで「50時間以上60時間未満」が26.4%、「60時間以上70時間未満」が12.9%、「10時間以上20時間未満」が5.5%、「10時間未満」が4.6%となっています。

中学2年生では、「40時間以上50時間未満」が38.7%と最も多く、次いで「50時間以上60時間未満」が21.5%、「60時間以上70時間未満」が9.9%、「70時間以上」が7.7%、「30時間以上40時間未満」が4.4%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者



問9で「1」～「4」を選んだ、お子さんの母親又は父親(もしくは両方)が職業をお持ちのご家庭におうかがいします。

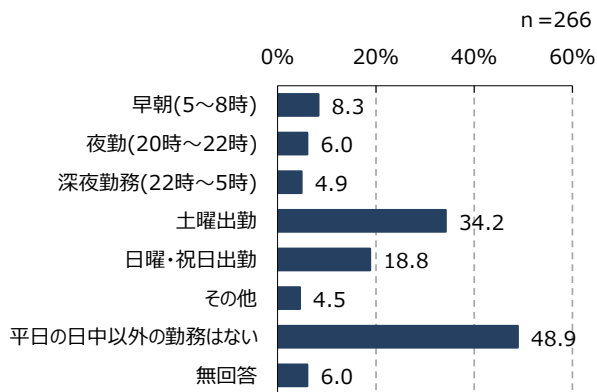
問9-3 平日の日中以外の勤務がありますか。(複数回答)

A 母親

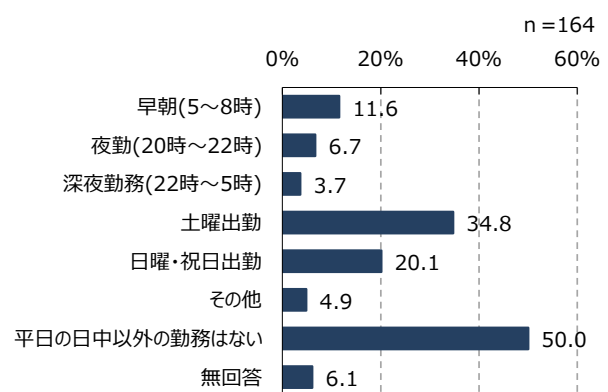
小学5年生では、「平日の日中以外の勤務はない」が48.9%と最も多く、次いで「土曜出勤」が34.2%、「日曜・祝日出勤」が18.8%、「早朝(5～8時)」が8.3%、「夜勤(20時～22時)」が6.0%となっています。

中学2年生では、「平日の日中以外の勤務はない」が50.0%と最も多く、次いで「土曜出勤」が34.8%、「日曜・祝日出勤」が20.1%、「早朝(5～8時)」が11.6%、「夜勤(20時～22時)」が6.7%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者

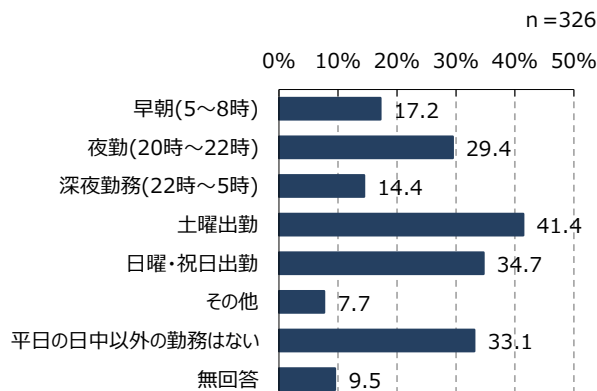


B 父親

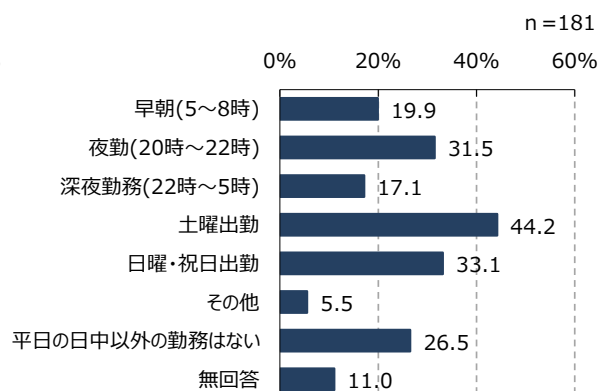
小学5年生では、「土曜出勤」が41.4%と最も多く、次いで「日曜・祝日出勤」が34.7%、「平日の日中以外の勤務はない」が33.1%、「夜勤(20時～22時)」が29.4%、「早朝(5～8時)」が17.2%となっています。

中学2年生では、「土曜出勤」が44.2%と最も多く、次いで「日曜・祝日出勤」が33.1%、「夜勤(20時～22時)」が31.5%、「平日の日中以外の勤務はない」が26.5%、「早朝(5～8時)」が19.9%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者



問10 お子さんと生計をともにしている世帯全員の昨年1年間(2022年1月～12月)の収入(税込)は、おおよそいくらですか。

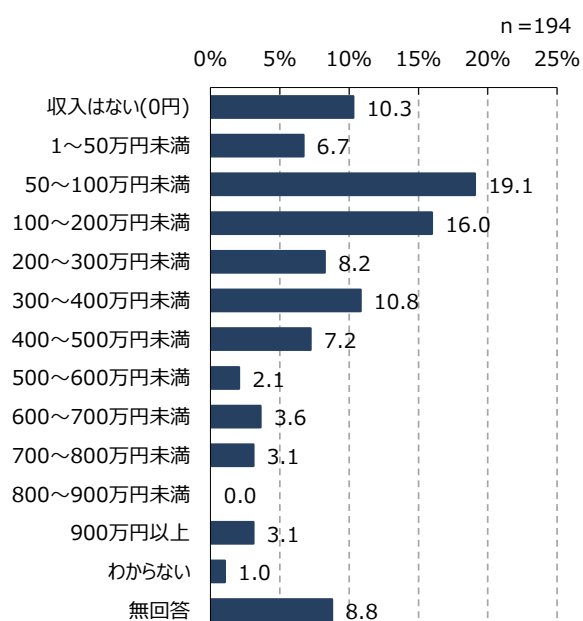
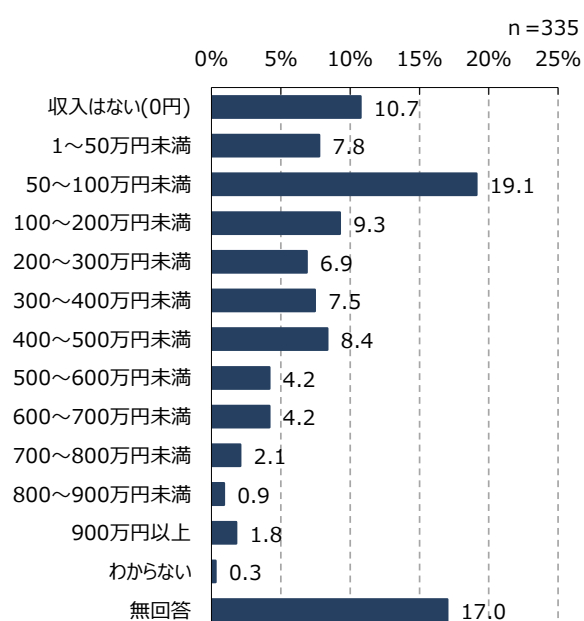
A 母親

小学5年生では、「50～100万円未満」が19.1%と最も多く、次いで「収入はない(0円)」が10.7%、「100～200万円未満」が9.3%、「400～500万円未満」が8.4%、「1～50万円未満」が7.8%となっています。

中学2年生では、「50～100万円未満」が19.1%と最も多く、次いで「100～200万円未満」が16.0%、「300～400万円未満」が10.8%、「収入はない(0円)」が10.3%、「200～300万円未満」が8.2%となっています。

小学5年生保護者

中学2年生保護者

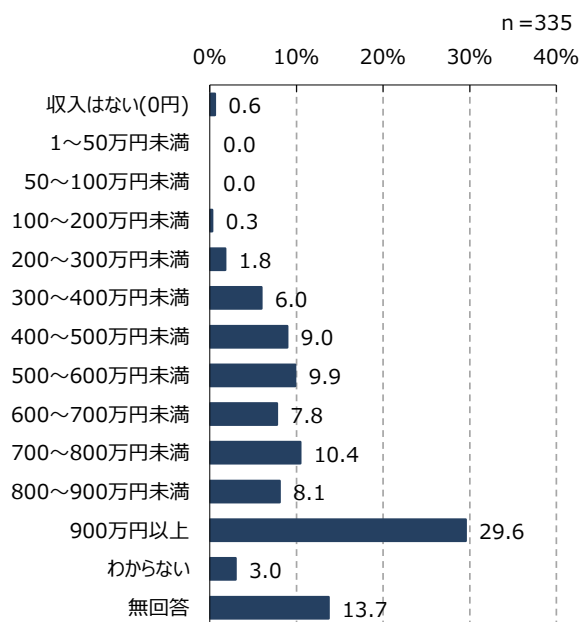


B 父親

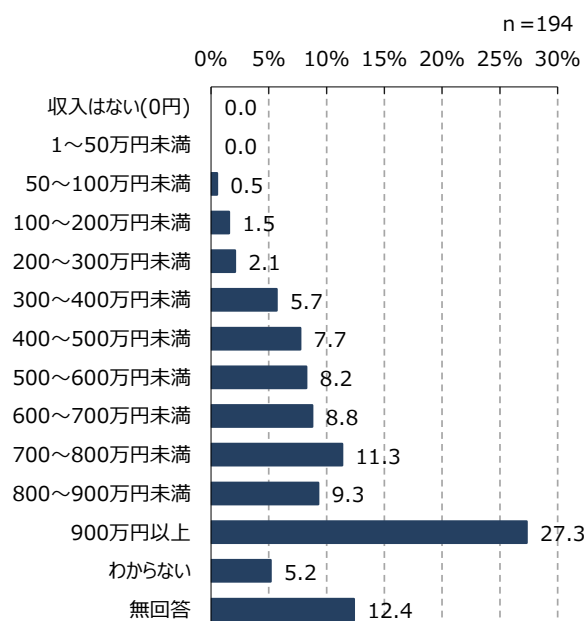
小学5年生では、「900万円以上」が29.6%と最も多く、次いで「700～800万円未満」が10.4%、「500～600万円未満」が9.9%、「400～500万円未満」が9.0%、「800～900万円未満」が8.1%となっています。

中学2年生では、「900万円以上」が27.3%と最も多く、次いで「700～800万円未満」が11.3%、「800～900万円未満」が9.3%、「600～700万円未満」が8.8%、「500～600万円未満」が8.2%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者



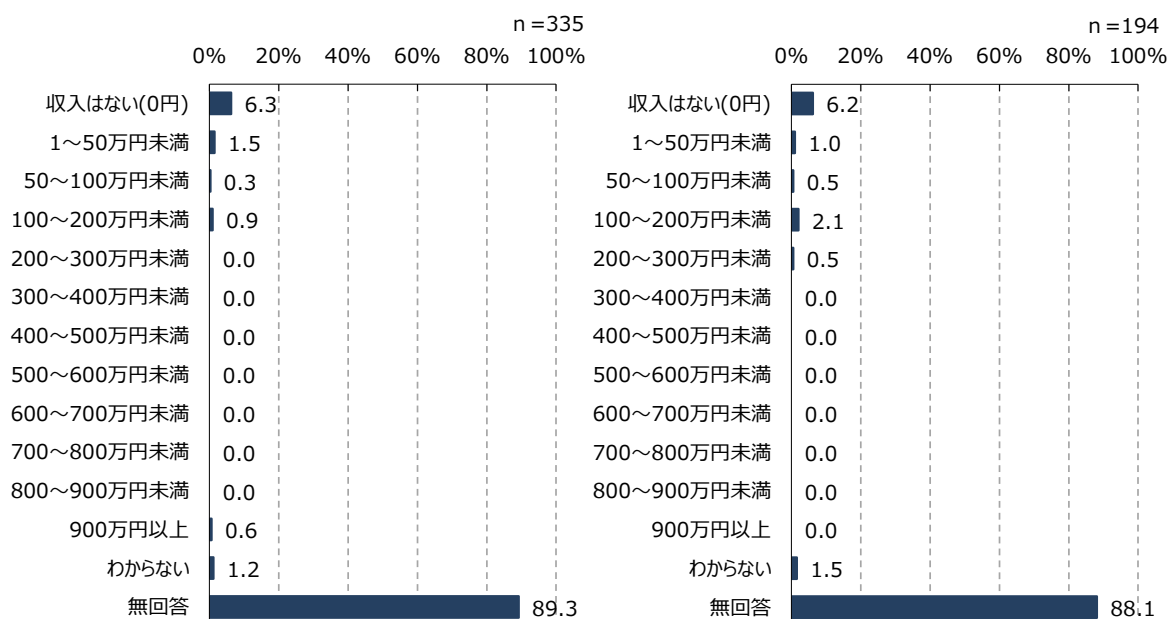
C その他生計を一にする家族

小学5年生では、「収入はない(0円)」が6.3%と最も多く、次いで「1~50万円未満」が1.5%、「わからない」が1.2%、「100~200万円未満」が0.9%、「900万円以上」が0.6%となっています。

中学2年生では、「収入はない(0円)」が6.2%と最も多く、次いで「100~200万円未満」が2.1%、「わからない」が1.5%、「1~50万円未満」が1.0%、「50~100万円未満」が0.5%となっています。

小学5年生保護者

中学2年生保護者



(3) 子ども受けさせたい教育段階について

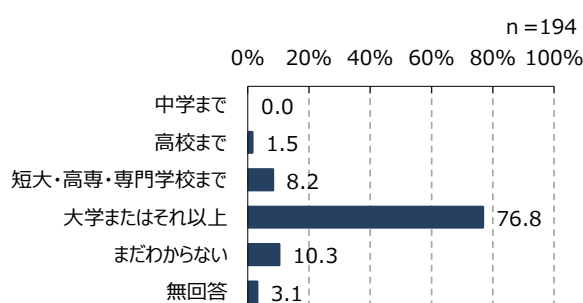
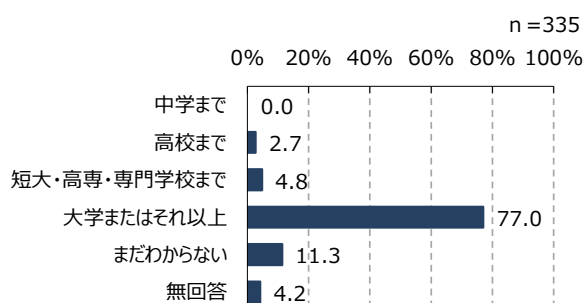
問11 お子さんに、どの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。

小学5年生では、「大学またはそれ以上」が77.0%と最も多く、次いで「まだわからない」が11.3%、「短大・高専・専門学校まで」が4.8%、「高校まで」が2.7%となっています。

中学2年生では、「大学またはそれ以上」が76.8%と最も多く、次いで「まだわからない」が10.3%、「短大・高専・専門学校まで」が8.2%、「高校まで」が1.5%となっています。

小学5年生保護者

中学2年生保護者



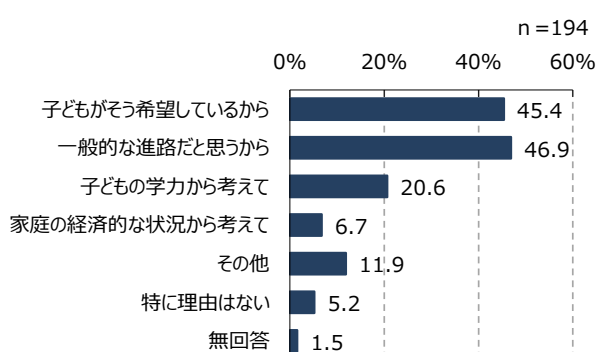
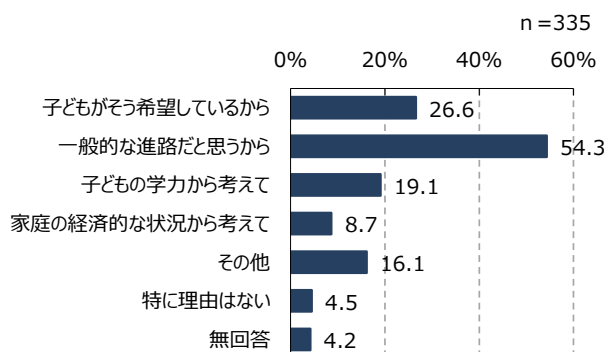
問11-1 問11で回答した理由を教えてください。(複数回答)

小学5年生では、「一般的な進路だと思うから」が54.3%と最も多く、次いで「子どもがそう希望しているから」が26.6%、「子どもの学力から考えて」が19.1%、「その他」が16.1%、「家庭の経済的な状況から考えて」が8.7%となっています。

中学2年生では、「一般的な進路だと思うから」が46.9%と最も多く、次いで「子どもがそう希望しているから」が45.4%、「子どもの学力から考えて」が20.6%、「その他」が11.9%、「家庭の経済的な状況から考えて」が6.7%となっています。

小学5年生保護者

中学2年生保護者



(4) あなたと子どもの健康状態について

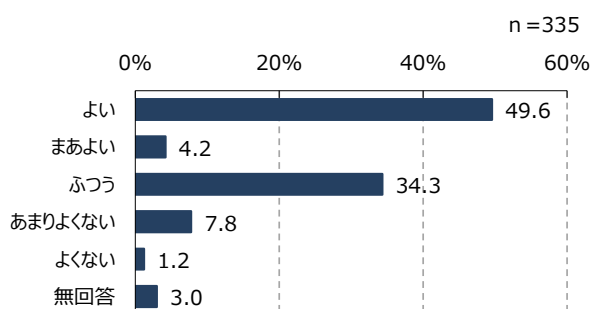
問12あなたとお子さんの健康状態についておうかがいします。

① あなた(回答者)

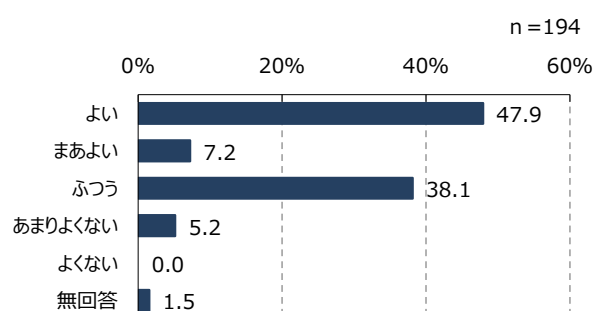
小学5年生では、「よい」が49.6%と最も多く、次いで「ふつう」が34.3%、「あまりよくない」が7.8%、「まあよい」が4.2%、「よくない」が1.2%となっています。

中学2年生では、「よい」が47.9%と最も多く、次いで「ふつう」が38.1%、「まあよい」が7.2%、「あまりよくない」が5.2%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者

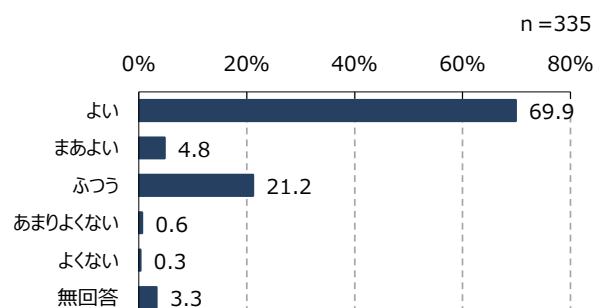


② お子さん

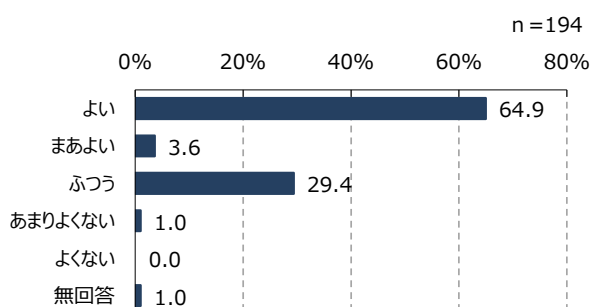
回答者からみた子どもの健康状態は、小学5年生では、「よい」が69.9%と最も多く、次いで「ふつう」が21.2%、「まあよい」が4.8%、「あまりよくない」が0.6%、「よくない」が0.3%となっています。

中学2年生では、「よい」が64.9%と最も多く、次いで「ふつう」が29.4%、「まあよい」が3.6%、「あまりよくない」が1.0%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者

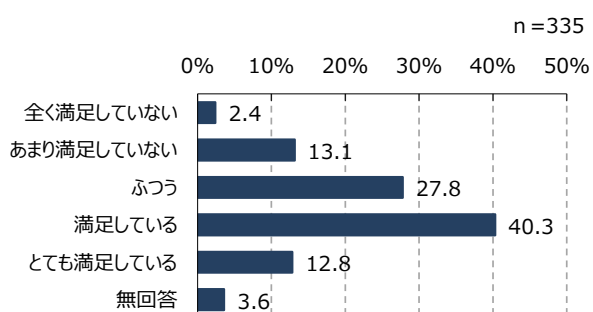


問13 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。

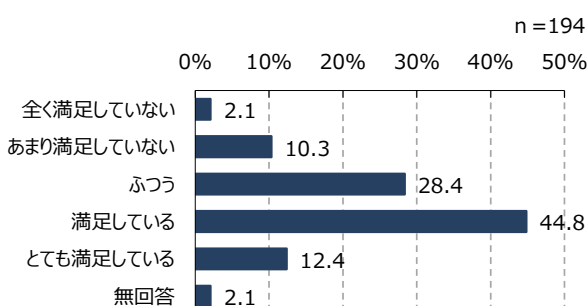
小学5年生では、「満足している」が40.3%と最も多く、次いで「ふつう」が27.8%、「あまり満足していない」が13.1%、「とても満足している」が12.8%、「全く満足していない」が2.4%となっています。

中学2年生では、「満足している」が44.8%と最も多く、次いで「ふつう」が28.4%、「とても満足している」が12.4%、「あまり満足していない」が10.3%、「全く満足していない」が2.1%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者



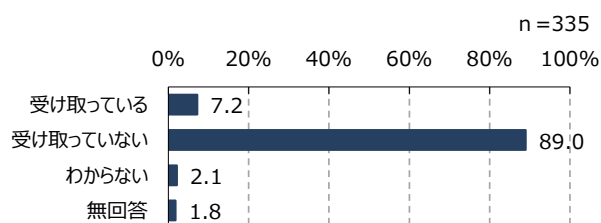
(5) 就学援助費について

問14 あなたのご家庭では、このお子さんのために就学援助費を受け取っていますか。

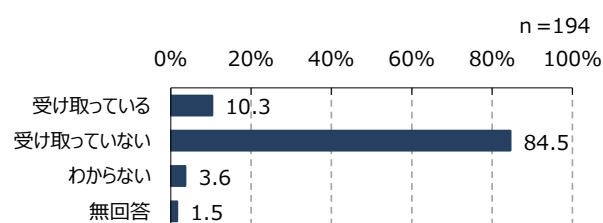
小学5年生では、「受け取っていない」が89.0%と最も多く、次いで「受け取っている」が7.2%、「わからない」が2.1%となっています。

中学2年生では、「受け取っていない」が84.5%と最も多く、次いで「受け取っている」が10.3%、「わからない」が3.6%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者



問14で「2 受け取っていない」を選んだ方におうかがいします。

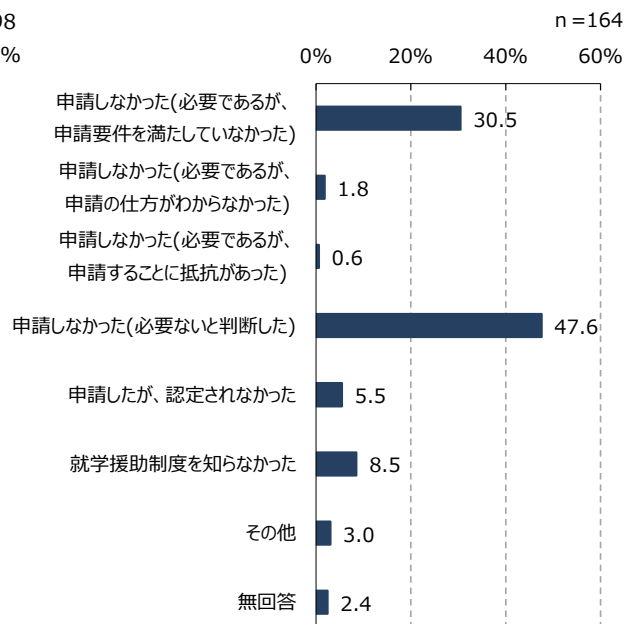
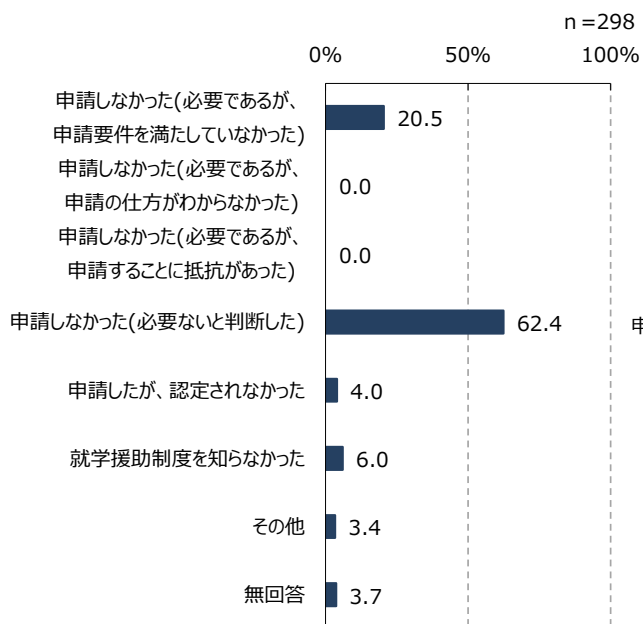
問14-1 受け取っていない理由を教えてください。（複数回答）

小学5年生では、「申請しなかった(必要ないと判断した)」が62.4%と最も多く、次いで「申請しなかった(必要であるが、申請要件を満たしていなかった)」が20.5%、「就学援助制度を知らなかった」が6.0%、「申請したが、認定されなかった」が4.0%、「その他」が3.4%となっています。

中学2年生では、「申請しなかった(必要ないと判断した)」が47.6%と最も多く、次いで「申請しなかった(必要であるが、申請要件を満たしていなかった)」が30.5%、「就学援助制度を知らなかった」が8.5%、「申請したが、認定されなかった」が5.5%、「その他」が3.0%となっています。

小学5年生保護者

中学2年生保護者



(6) 食事のことについて

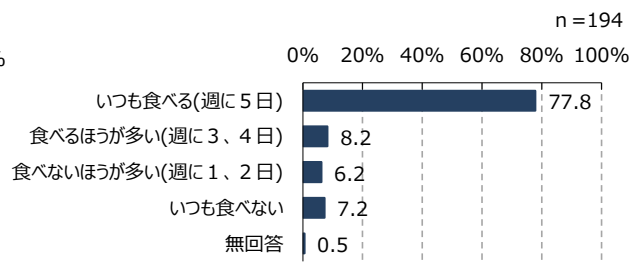
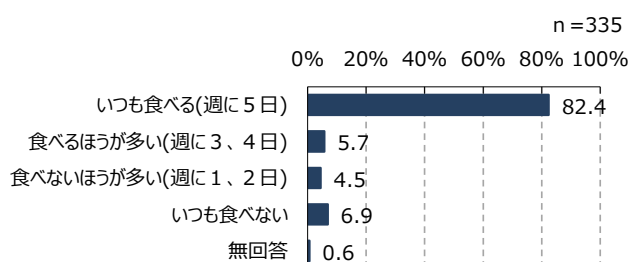
問15 あなたは、平日(お子さんの学校のある日)に毎日、朝ごはんを食べますか。

小学5年生では、「いつも食べる(週に5日)」が82.4%と最も多く、次いで「いつも食べない」が6.9%、「食べるほうが多い(週に3、4日)」が5.7%、「食べないほうが多い(週に1、2日)」が4.5%となっています。

中学2年生では、「いつも食べる(週に5日)」が77.8%と最も多く、次いで「食べるほうが多い(週に3、4日)」が8.2%、「いつも食べない」が7.2%、「食べないほうが多い(週に1、2日)」が6.2%となっています。

小学5年生保護者

中学2年生保護者



(7) 子どもとの関わりについて

問16 あなたのご家庭では、お子さんと次のようなことをすることがありますか。

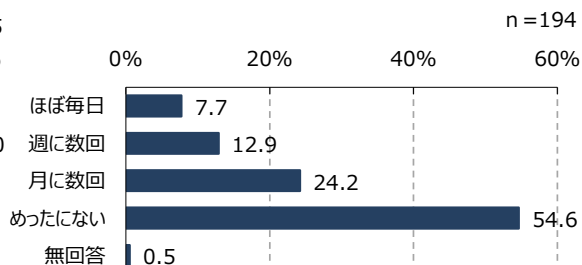
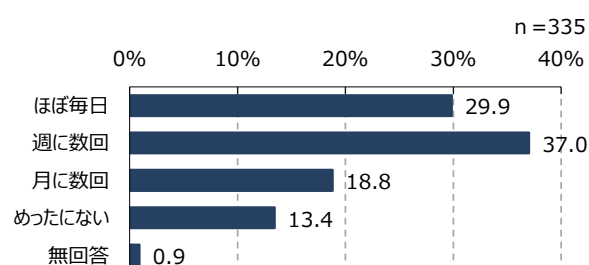
A お子さんの勉強をみる

小学5年生では、「週に数回」が37.0%と最も多く、次いで「ほぼ毎日」が29.9%、「月に数回」が18.8%、「めったにない」が13.4%となっています。

中学2年生では、「めったにない」が54.6%と最も多く、次いで「月に数回」が24.2%、「週に数回」が12.9%、「ほぼ毎日」が7.7%となっています。

小学5年生保護者

中学2年生保護者

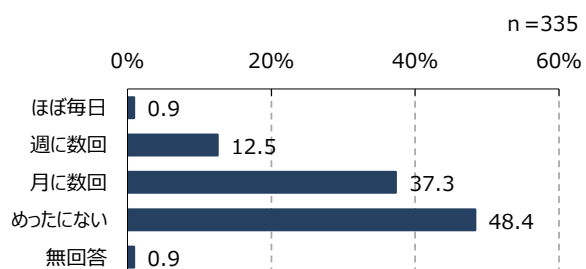


B お子さんと外でからだを動かして遊ぶ(スポーツなど)

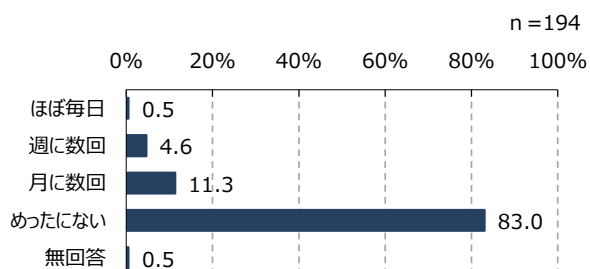
小学5年生では、「めったにない」が48.4%と最も多く、次いで「月に数回」が37.3%、「週に数回」が12.5%、「ほぼ毎日」が0.9%となっています。

中学2年生では、「めったにない」が83.0%と最も多く、次いで「月に数回」が11.3%、「週に数回」が4.6%、「ほぼ毎日」が0.5%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者

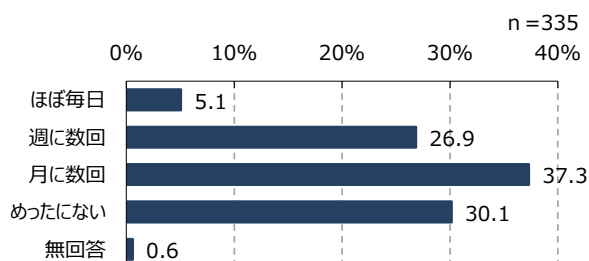


C お子さんと室内でゲーム等で遊ぶ(テレビゲーム・携帯ゲーム・将棋・トランプ・ボードゲームなど)

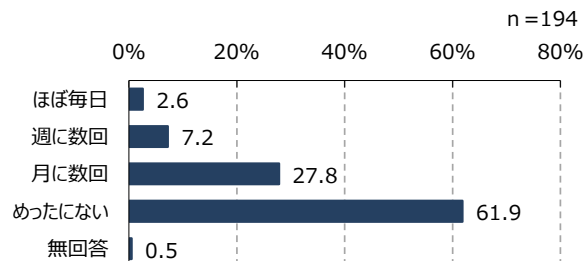
小学5年生では、「月に数回」が37.3%と最も多く、次いで「めったにない」が30.1%、「週に数回」が26.9%、「ほぼ毎日」が5.1%となっています。

中学2年生では、「めったにない」が61.9%と最も多く、次いで「月に数回」が27.8%、「週に数回」が7.2%、「ほぼ毎日」が2.6%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者

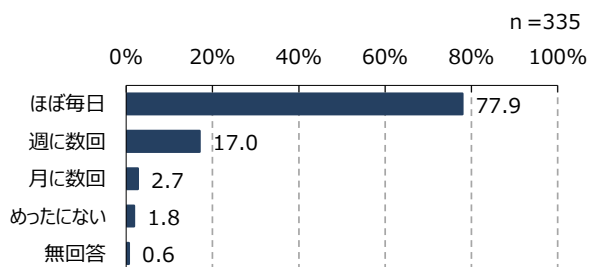


D お子さんと学校生活、ニュース、テレビ番組等の話をする

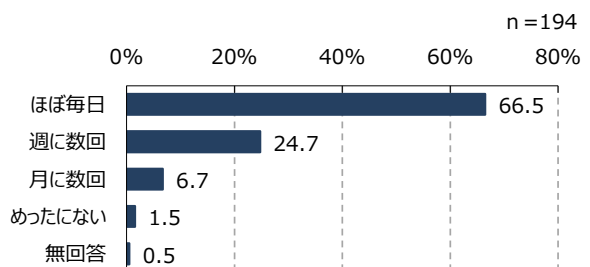
小学5年生では、「ほぼ毎日」が77.9%と最も多く、次いで「週に数回」が17.0%、「月に数回」が2.7%、「めったにない」が1.8%となっています。

中学2年生では、「ほぼ毎日」が66.5%と最も多く、次いで「週に数回」が24.7%、「月に数回」が6.7%、「めったにない」が1.5%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者

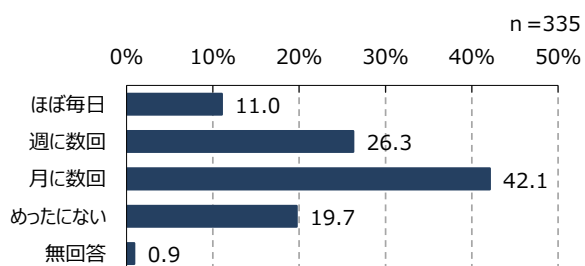


E お子さんと一緒に家事など(料理等)をする

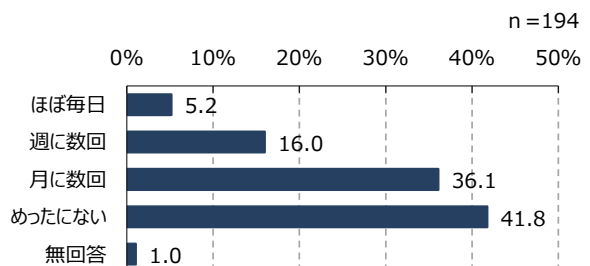
小学5年生では、「月に数回」が42.1%と最も多く、次いで「週に数回」が26.3%、「めったにない」が19.7%、「ほぼ毎日」が11.0%となっています。

中学2年生では、「めったにない」が41.8%と最も多く、次いで「月に数回」が36.1%、「週に数回」が16.0%、「ほぼ毎日」が5.2%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者

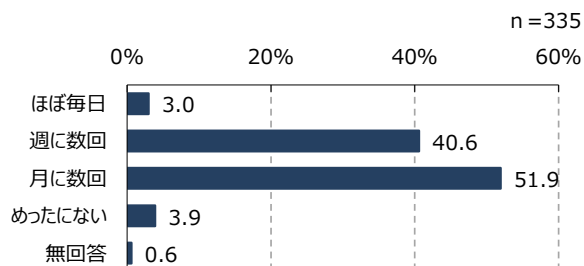


F お子さんと一緒に買い物等外出をする

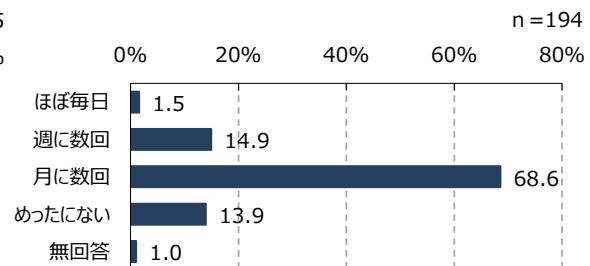
小学5年生では、「月に数回」が51.9%と最も多く、次いで「週に数回」が40.6%、「めったにない」が3.9%、「ほぼ毎日」が3.0%となっています。

中学2年生では、「月に数回」が68.6%と最も多く、次いで「週に数回」が14.9%、「めったにない」が13.9%、「ほぼ毎日」が1.5%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者



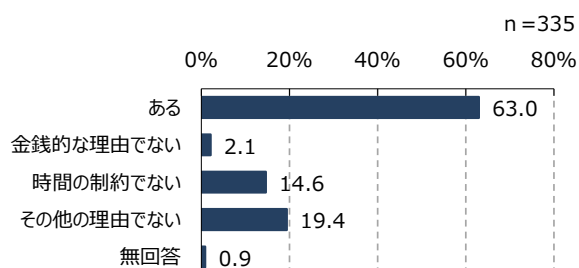
問17 過去1年間において、あなたのご家庭では、お子さんと次のような体験をしましたか。

A 海水浴・登山などに行く

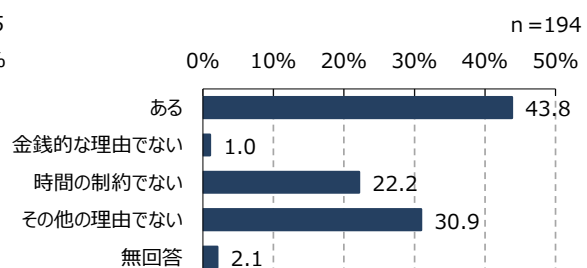
小学5年生では、「ある」が63.0%と最も多く、次いで「その他の理由でない」が19.4%、「時間の制約でない」が14.6%、「金銭的な理由でない」が2.1%となっています。

中学2年生では、「ある」が43.8%と最も多く、次いで「その他の理由でない」が30.9%、「時間の制約でない」が22.2%、「金銭的な理由でない」が1.0%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者

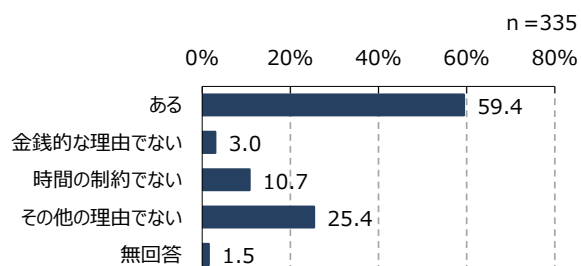


B 博物館・科学館・美術館などに行く

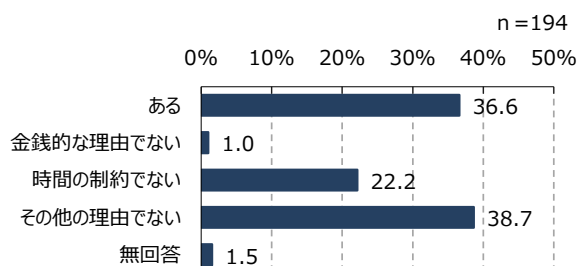
小学5年生では、「ある」が59.4%と最も多く、次いで「その他の理由でない」が25.4%、「時間の制約でない」が10.7%、「金銭的な理由でない」が3.0%となっています。

中学2年生では、「その他の理由でない」が38.7%と最も多く、次いで「ある」が36.6%、「時間の制約でない」が22.2%、「金銭的な理由でない」が1.0%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者

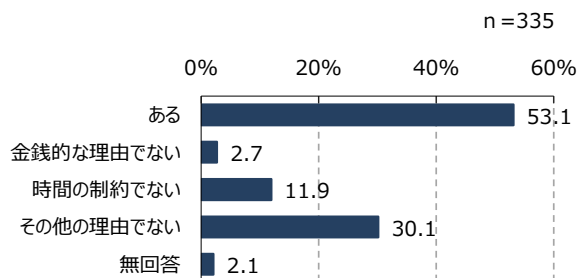


C キャンプやバーベキューなどに行く

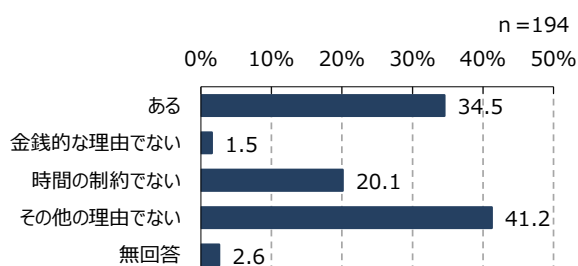
小学5年生では、「ある」が53.1%と最も多く、次いで「その他の理由でない」が30.1%、「時間の制約でない」が11.9%、「金銭的な理由でない」が2.7%となっています。

中学2年生では、「その他の理由でない」が41.2%と最も多く、次いで「ある」が34.5%、「時間の制約でない」が20.1%、「金銭的な理由でない」が1.5%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者

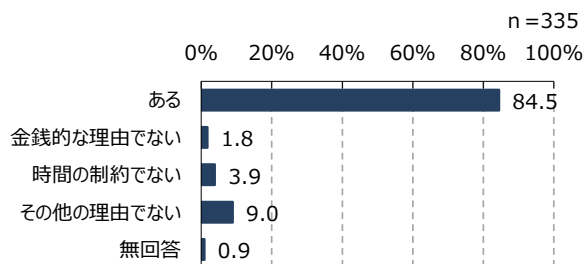


D スポーツ観戦や映画・コンサートなどに行く

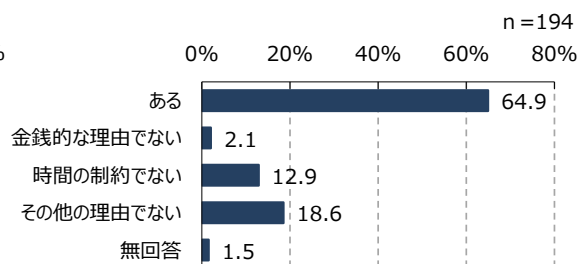
小学5年生では、「ある」が84.5%と最も多く、次いで「その他の理由でない」が9.0%、「時間の制約でない」が3.9%、「金銭的な理由でない」が1.8%となっています。

中学2年生では、「ある」が64.9%と最も多く、次いで「その他の理由でない」が18.6%、「時間の制約でない」が12.9%、「金銭的な理由でない」が2.1%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者

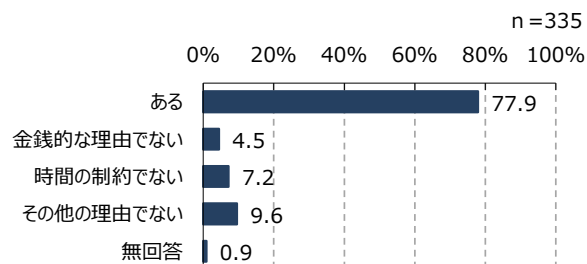


E 遊園地やテーマパークなどに行く

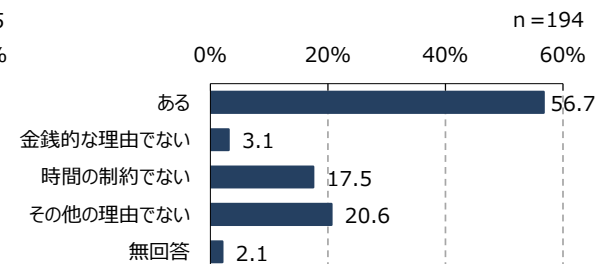
小学5年生では、「ある」が77.9%と最も多く、次いで「その他の理由でない」が9.6%、「時間の制約でない」が7.2%、「金銭的な理由でない」が4.5%となっています。

中学2年生では、「ある」が56.7%と最も多く、次いで「その他の理由でない」が20.6%、「時間の制約でない」が17.5%、「金銭的な理由でない」が3.1%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者



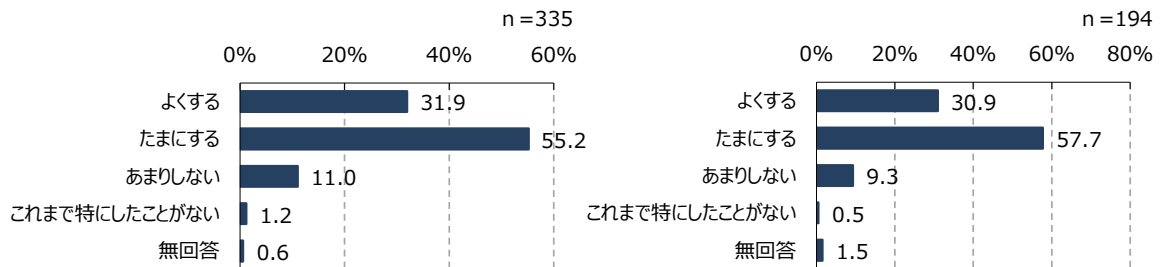
問18 あなたは、お子さんの将来(夢・進路・職業等)について、お子さんと一緒に考えたり、話したりすることがありますか。

小学5年生では、「たまにする」が55.2%と最も多く、次いで「よくする」が31.9%、「あまりしない」が11.0%、「これまで特にしたことがない」が1.2%となっています。

中学2年生では、「たまにする」が57.7%と最も多く、次いで「よくする」が30.9%、「あまりしない」が9.3%、「これまで特にしたことがない」が0.5%となっています。

小学5年生保護者

中学2年生保護者



(8) 家庭での生活について

問19 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする次のものを買えないことがありましたか。

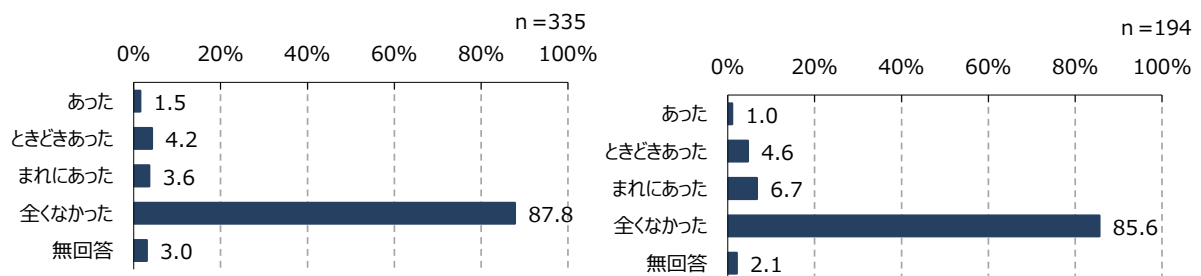
①食料

小学5年生では、「全くなかった」が87.8%と最も多く、次いで「ときどきあった」が4.2%、「まれにあった」が3.6%、「あった」が1.5%となっています。

中学2年生では、「全くなかった」が85.6%と最も多く、次いで「まれにあった」が6.7%、「ときどきあった」が4.6%、「あった」が1.0%となっています。

小学5年生保護者

中学2年生保護者

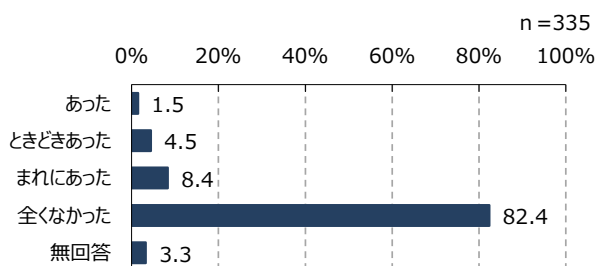


②衣類

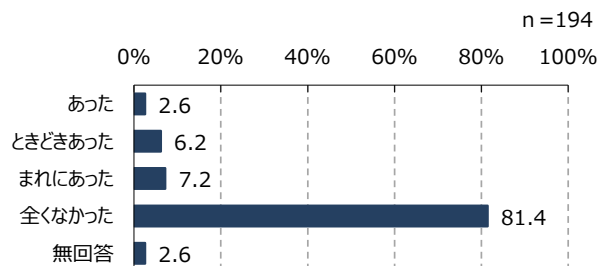
小学5年生では、「全くなかった」が82.4%と最も多く、次いで「まれにあった」が8.4%、「ときどきあった」が4.5%、「あった」が1.5%となっています。

中学2年生では、「全くなかった」が81.4%と最も多く、次いで「まれにあった」が7.2%、「ときどきあった」が6.2%、「あった」が2.6%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者



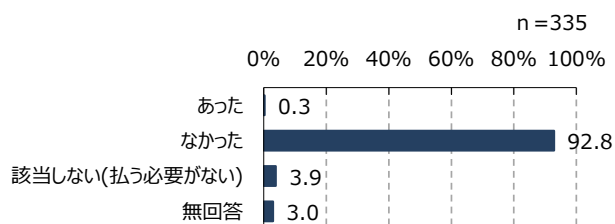
問20 過去1年の間に、経済的な理由で、以下のA～Gのサービス・料金について、支払えないことがありましたか。

A 電話料金

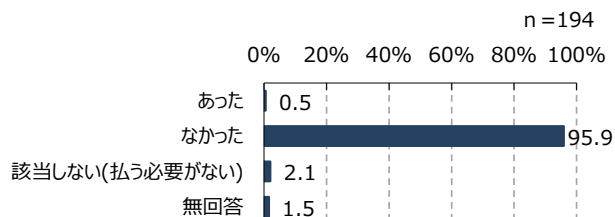
小学5年生では、「なかった」が92.8%と最も多く、次いで「該当しない(払う必要がない)」が3.9%、「あった」が0.3%となっています。

中学2年生では、「なかった」が95.9%と最も多く、次いで「該当しない(払う必要がない)」が2.1%、「あった」が0.5%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者

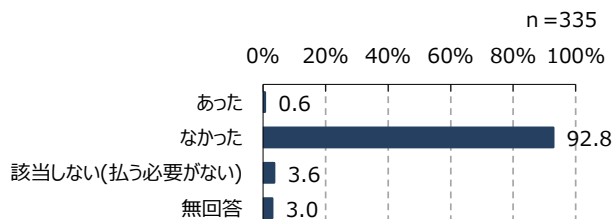


B 電気料金

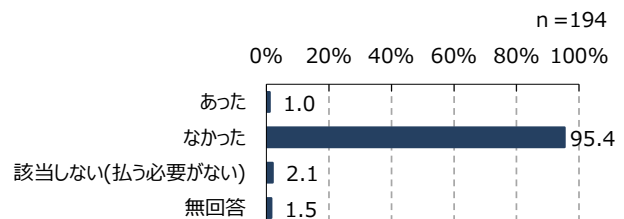
小学5年生では、「なかった」が92.8%と最も多く、次いで「該当しない(払う必要がない)」が3.6%、「あった」が0.6%となっています。

中学2年生では、「なかった」が95.4%と最も多く、次いで「該当しない(払う必要がない)」が2.1%、「あった」が1.0%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者

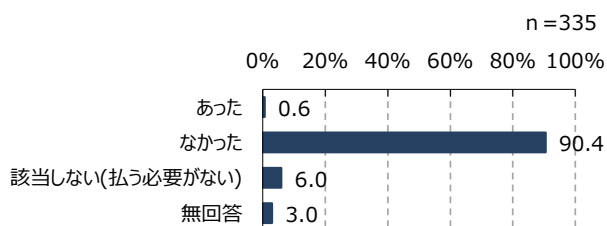


C ガス料金

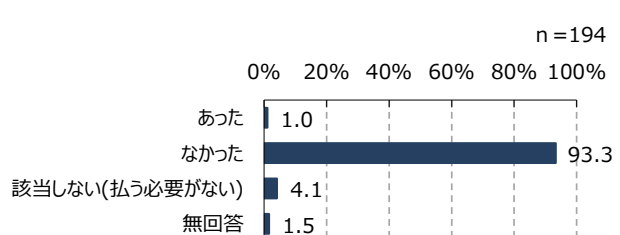
小学5年生では、「なかった」が90.4%と最も多く、次いで「該当しない(払う必要がない)」が6.0%、「あった」が0.6%となっています。

中学2年生では、「なかった」が93.3%と最も多く、次いで「該当しない(払う必要がない)」が4.1%、「あった」が1.0%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者

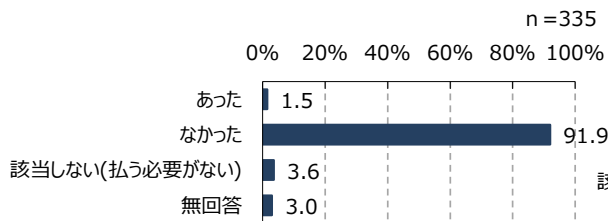


D 水道料金

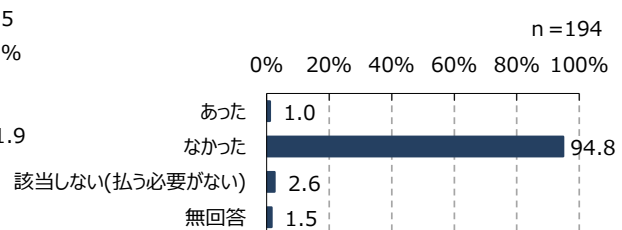
小学5年生では、「なかった」が91.9%と最も多く、次いで「該当しない(払う必要がない)」が3.6%、「あった」が1.5%となっています。

中学2年生では、「なかった」が94.8%と最も多く、次いで「該当しない(払う必要がない)」が2.6%、「あった」が1.0%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者

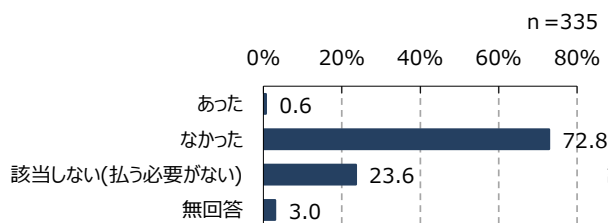


E 家賃

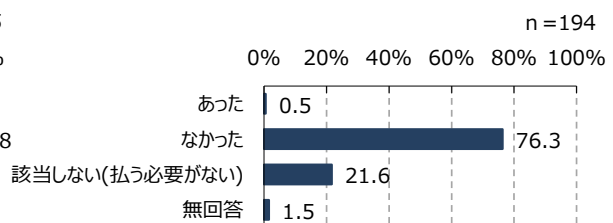
小学5年生では、「なかった」が72.8%と最も多く、次いで「該当しない(払う必要がない)」が23.6%、「あった」が0.6%となっています。

中学2年生では、「なかった」が76.3%と最も多く、次いで「該当しない(払う必要がない)」が21.6%、「あった」が0.5%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者

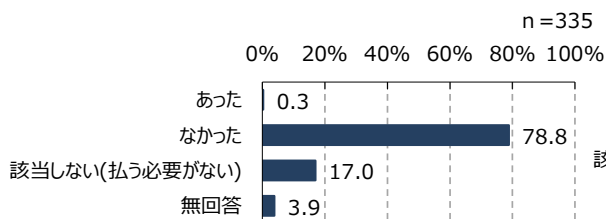


F 住宅ローン

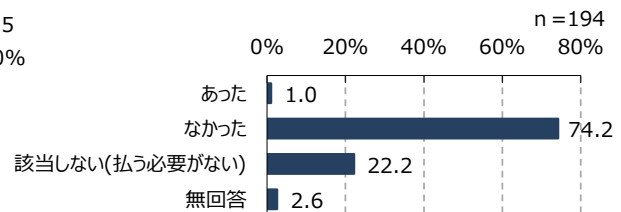
小学5年生では、「なかった」が78.8%と最も多く、次いで「該当しない(払う必要がない)」が17.0%、「あった」が0.3%となっています。

中学2年生では、「なかった」が74.2%と最も多く、次いで「該当しない(払う必要がない)」が22.2%、「あった」が1.0%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者

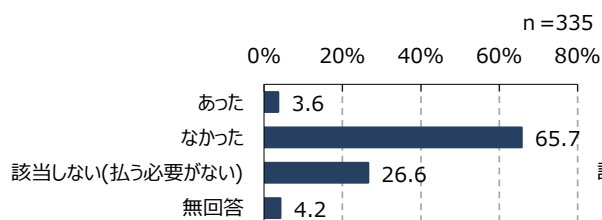


G その他の債務

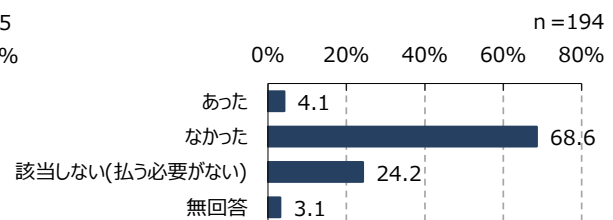
小学5年生では、「なかった」が65.7%と最も多く、次いで「該当しない(払う必要がない)」が26.6%、「あった」が3.6%となっています。

中学2年生では、「なかった」が68.6%と最も多く、次いで「該当しない(払う必要がない)」が24.2%、「あった」が4.1%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者



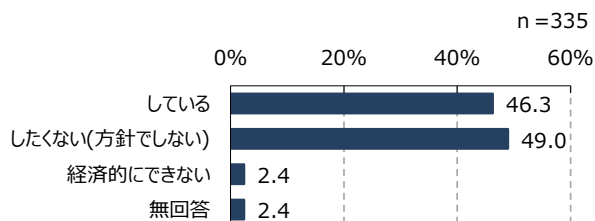
問21 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。

A 毎月お小遣いを渡す

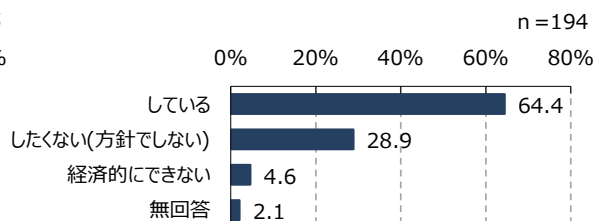
小学5年生では、「したくない(方針でしない)」が49.0%と最も多く、次いで「している」が46.3%、「経済的にできない」が2.4%となっています。

中学2年生では、「している」が64.4%と最も多く、次いで「したくない(方針でしない)」が28.9%、「経済的にできない」が4.6%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者

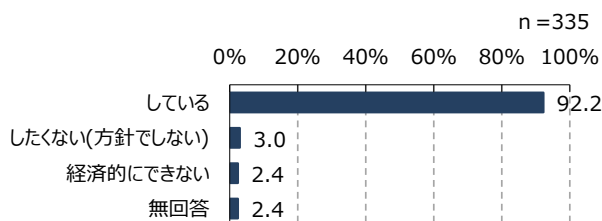


B 毎年新しい洋服・靴を買う

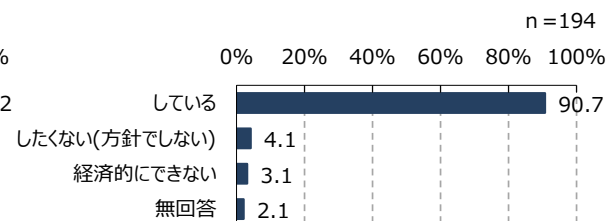
小学5年生では、「している」が92.2%と最も多く、次いで「したくない(方針でしない)」が3.0%、「経済的にできない」が2.4%となっています。

中学2年生では、「している」が90.7%と最も多く、次いで「したくない(方針でしない)」が4.1%、「経済的にできない」が3.1%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者

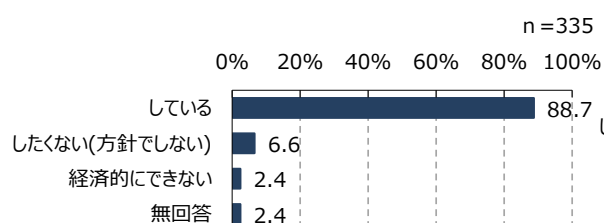


C 習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる

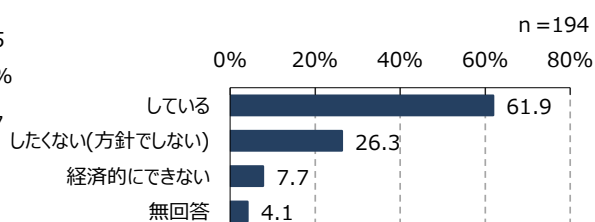
小学5年生では、「している」が88.7%と最も多く、次いで「したくない(方針でしない)」が6.6%、「経済的にできない」が2.4%となっています。

中学2年生では、「している」が61.9%と最も多く、次いで「したくない(方針でしない)」が26.3%、「経済的にできない」が7.7%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者

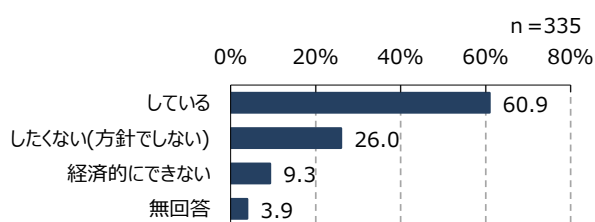


D 学習塾に通わせる(または家庭教師に来てもらう)

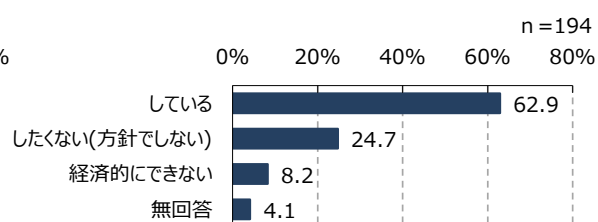
小学5年生では、「している」が60.9%と最も多く、次いで「したくない(方針でしない)」が26.0%、「経済的にできない」が9.3%となっています。

中学2年生では、「している」が62.9%と最も多く、次いで「したくない(方針でしない)」が24.7%、「経済的にできない」が8.2%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者



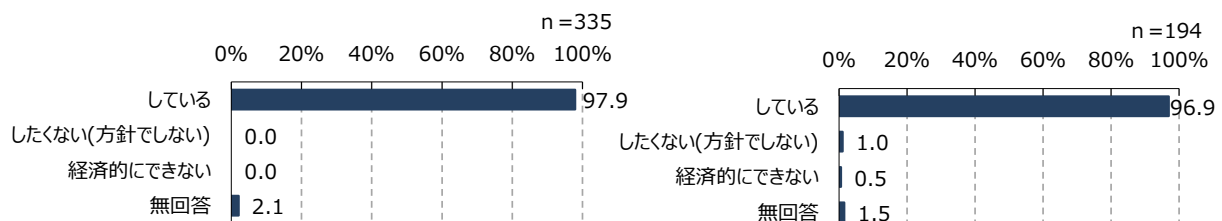
E お誕生日のお祝いをする

小学5年生では、「している」が97.9%となっています。

中学2年生では、「している」が96.9%と最も多く、次いで「したくない(方針でしない)」が1.0%、「経済的にできない」が0.5%となっています。

小学5年生保護者

中学2年生保護者



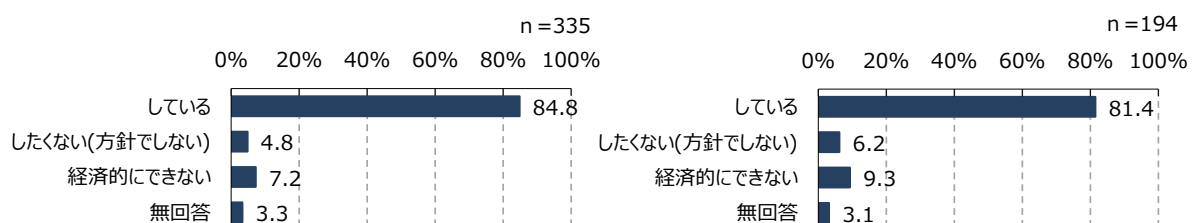
F 1年に1回くらい家族旅行に行く

小学5年生では、「している」が84.8%と最も多く、次いで「経済的にできない」が7.2%、「したくない(方針でしない)」が4.8%となっています。

中学2年生では、「している」が81.4%と最も多く、次いで「経済的にできない」が9.3%、「したくない(方針でしない)」が6.2%となっています。

小学5年生保護者

中学2年生保護者

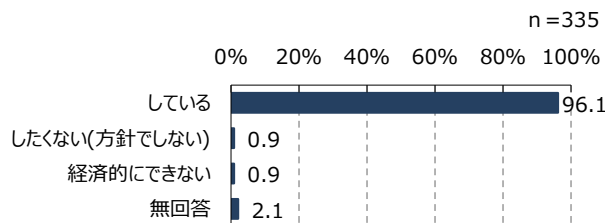


G クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる

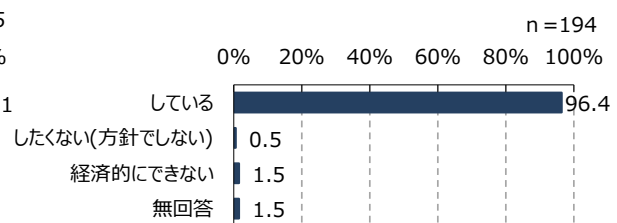
小学5年生では、「している」が96.1%と最も多く、次いで「したくない(方針でしない)」、「経済的にできない」が0.9%となっています。

中学2年生では、「している」が96.4%と最も多く、次いで「経済的にできない」が1.5%、「したくない(方針でしない)」が0.5%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者

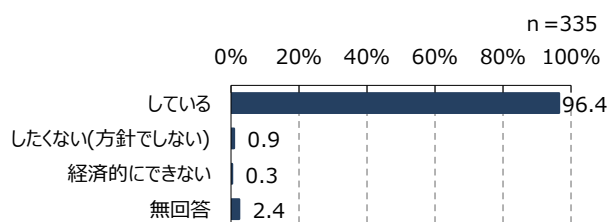


H 子どもの学校行事などに親が参加する

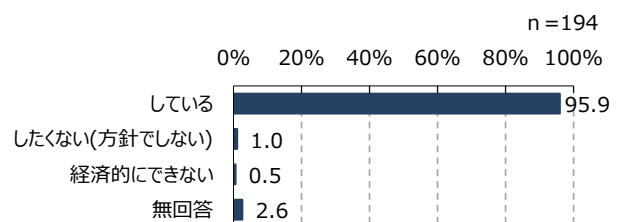
小学5年生では、「している」が96.4%と最も多く、次いで「したくない(方針でしない)」が0.9%、「経済的にできない」が0.3%となっています。

中学2年生では、「している」が95.9%と最も多く、次いで「したくない(方針でしない)」が1.0%、「経済的にできない」が0.5%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者



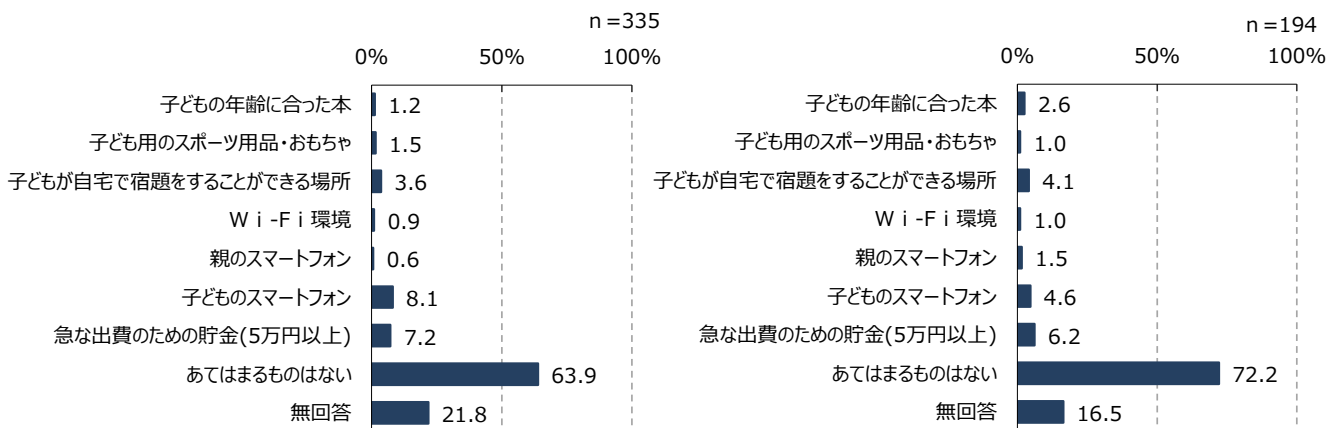
問22 次のもののうち、経済的理由のためにあなたの世帯にないものはありますか。(複数回答)

小学5年生では、「あてはまるものはない」が63.9%と最も多く、次いで「子どものスマートフォン」が8.1%、「急な出費のための貯金(5万円以上)」が7.2%、「子どもが自宅で宿題をすることができる場所」が3.6%、「子ども用のスポーツ用品・おもちゃ」が1.5%となっています。

中学2年生では、「あてはまるものはない」が72.2%と最も多く、次いで「急な出費のための貯金(5万円以上)」が6.2%、「子どものスマートフォン」が4.6%、「子どもが自宅で宿題をすることができる場所」が4.1%、「子どもの年齢に合った本」が2.6%となっています。

小学5年生保護者

中学2年生保護者



(9) 母親と父親のこれまでのご経験について

問23 お子さんの母親又は父親が、最後に通った学校は次のどちらになりますか。

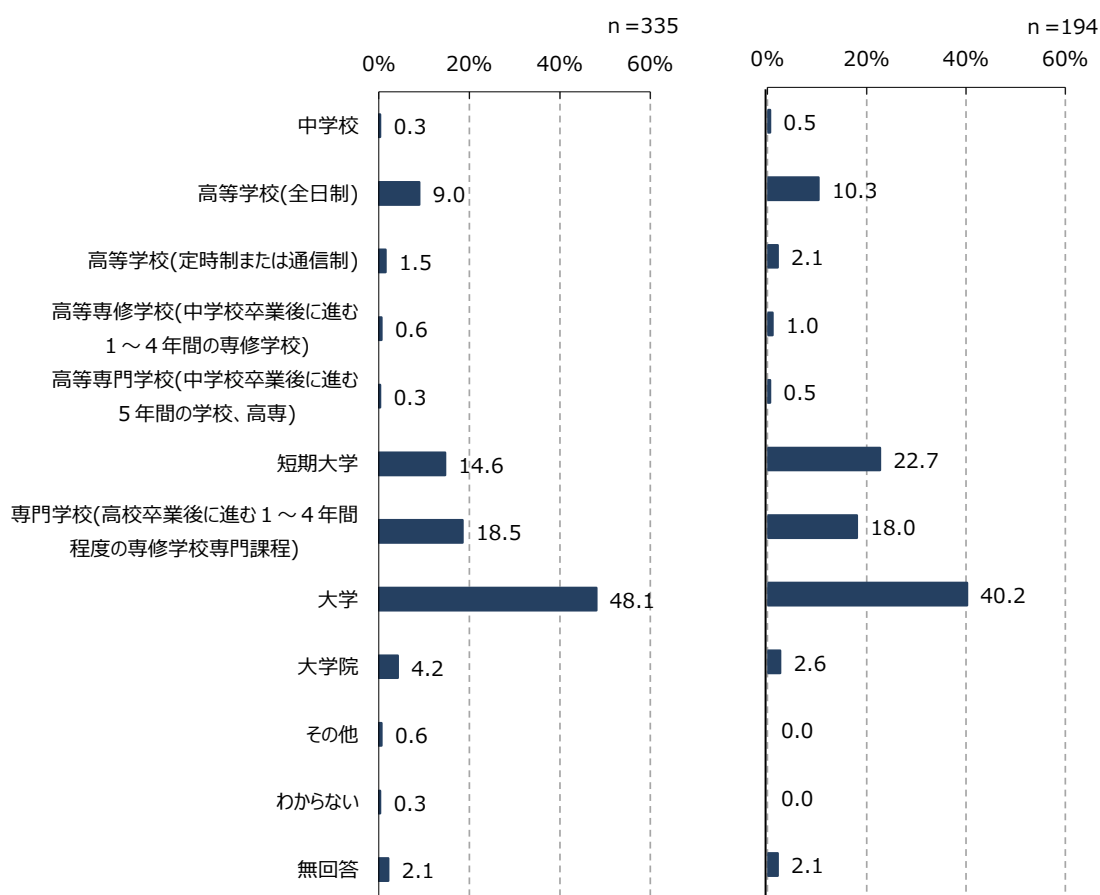
A 母親

小学5年生では、「大学」が48.1%と最も多く、次いで「専門学校(高校卒業後に進む1～4年間程度の専修学校専門課程)」が18.5%、「短期大学」が14.6%、「高等学校(全日制)」が9.0%、「大学院」が4.2%となっています。

中学2年生では、「大学」が40.2%と最も多く、次いで「短期大学」が22.7%、「専門学校(高校卒業後に進む1～4年間程度の専修学校専門課程)」が18.0%、「高等学校(全日制)」が10.3%、「大学院」が2.6%となっています。

小学5年生保護者

中学2年生保護者

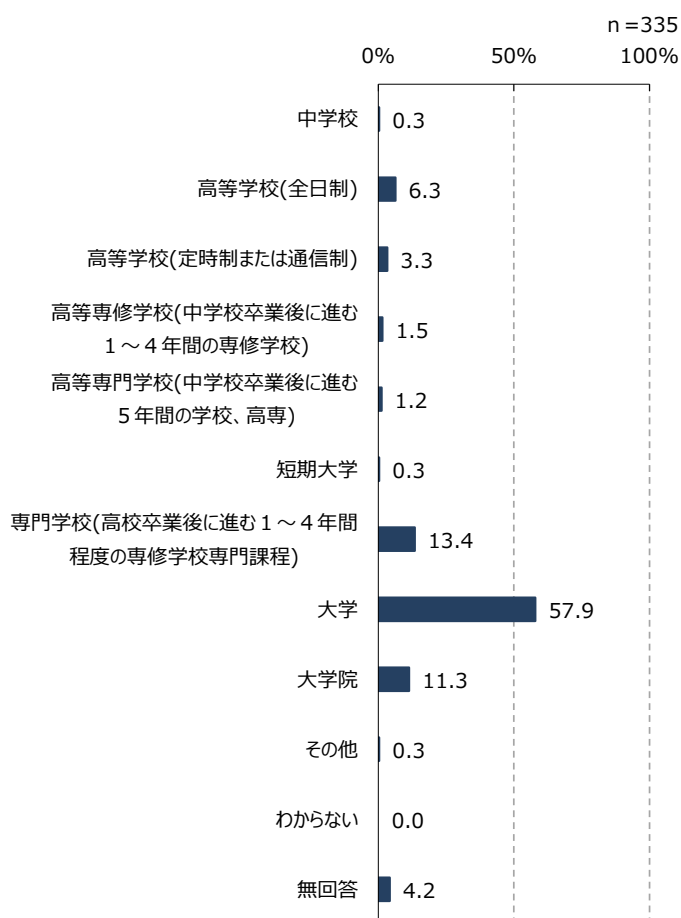


B 父親

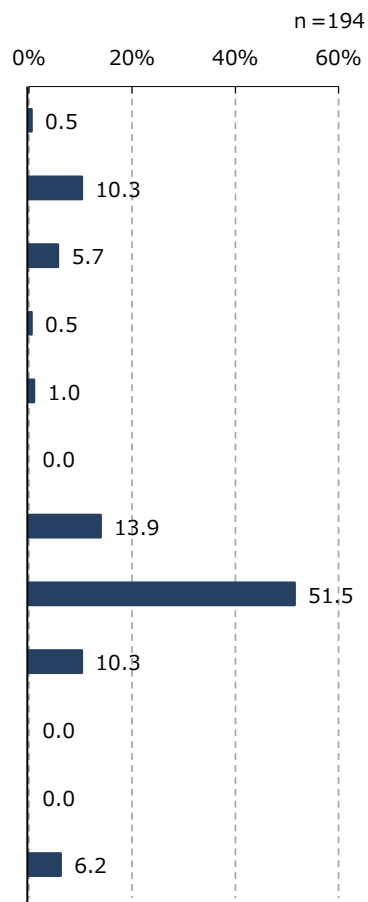
小学5年生では、「大学」が57.9%と最も多く、次いで「専門学校(高校卒業後に進む1～4年間程度の専修学校専門課程)」が13.4%、「大学院」が11.3%、「高等学校(全日制)」が6.3%、「高等学校(定時制または通信制)」が3.3%となっています。

中学2年生では、「大学」が51.5%と最も多く、次いで「専門学校(高校卒業後に進む1～4年間程度の専修学校専門課程)」が13.9%、「高等学校(全日制)」が10.3%、「大学院」が10.3%、「高等学校(定時制または通信制)」が5.7%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者



問23で「1」～「10」を選んだ方におうかがいします。

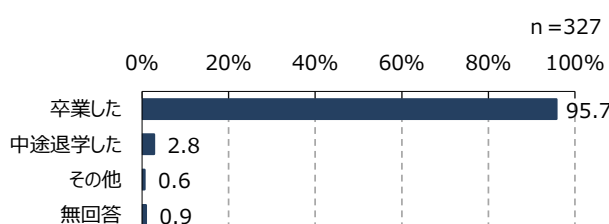
問23-1 問23で回答した学校を卒業されましたか。

A 母親

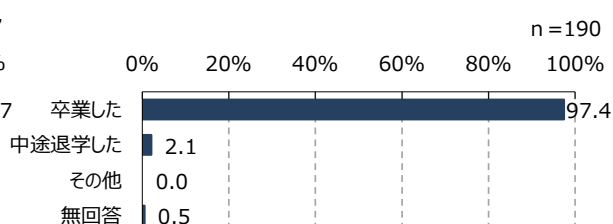
小学5年生では、「卒業した」が95.7%と最も多く、次いで「中途退学した」が2.8%、「その他」が0.6%となっています。

中学2年生では、「卒業した」が97.4%と最も多く、次いで「中途退学した」が2.1%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者

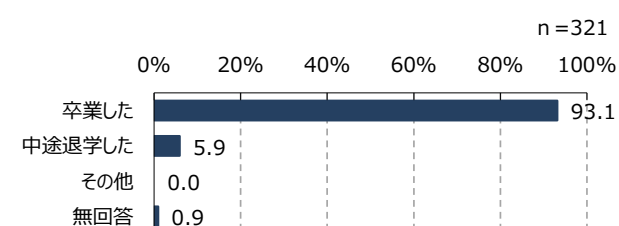


B 父親

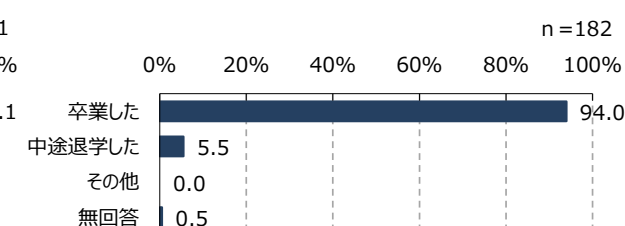
小学5年生では、「卒業した」が93.1%と最も多く、次いで「中途退学した」が5.9%となっています。

中学2年生では、「卒業した」が94.0%と最も多く、次いで「中途退学した」が5.5%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者

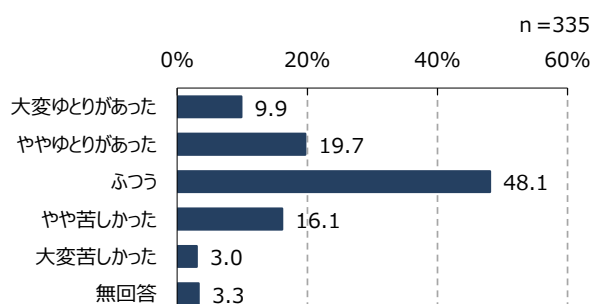


問24 あなたが15歳前後当時の、あなたのご家庭の暮らしの状況について、最も近いものを教えてください。

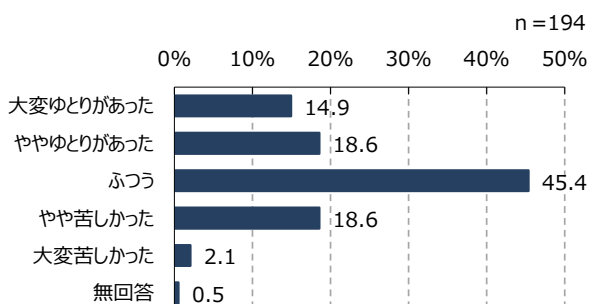
小学5年生では、「ふつう」が48.1%と最も多く、次いで「ややゆとりがあった」が19.7%、「やや苦しかった」が16.1%、「大変ゆとりがあった」が9.9%、「大変苦しかった」が3.0%となっています。

中学2年生では、「ふつう」が45.4%と最も多く、次いで「ややゆとりがあった」が18.6%、「やや苦しかった」が18.6%、「大変ゆとりがあった」が14.9%、「大変苦しかった」が2.1%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者

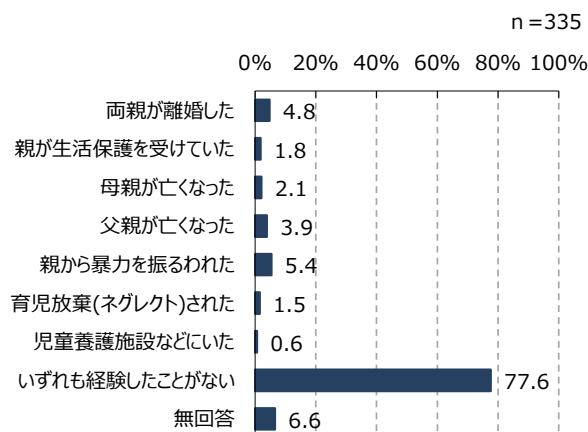


問25 あなたは、成人する前に以下のような体験をしたことがありますか。(複数回答)

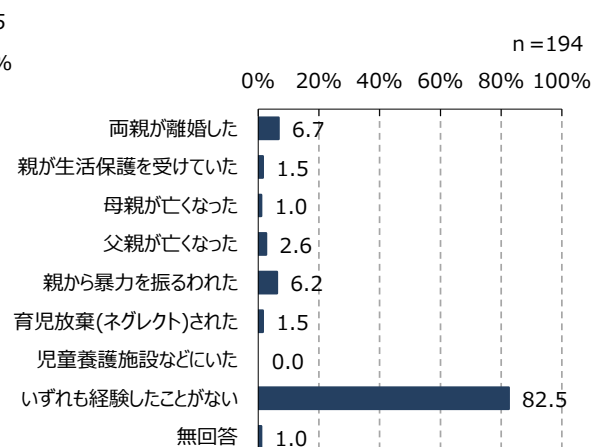
小学5年生では、「いずれも経験したことがない」が77.6%と最も多く、次いで「親から暴力を振るわれた」が5.4%、「両親が離婚した」が4.8%、「父親が亡くなった」が3.9%、「母親が亡くなった」が2.1%となっています。

中学2年生では、「いずれも経験したことがない」が82.5%と最も多く、次いで「両親が離婚した」が6.7%、「親から暴力を振るわれた」が6.2%、「父親が亡くなった」が2.6%、「親が生活保護を受けていた」が1.5%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者



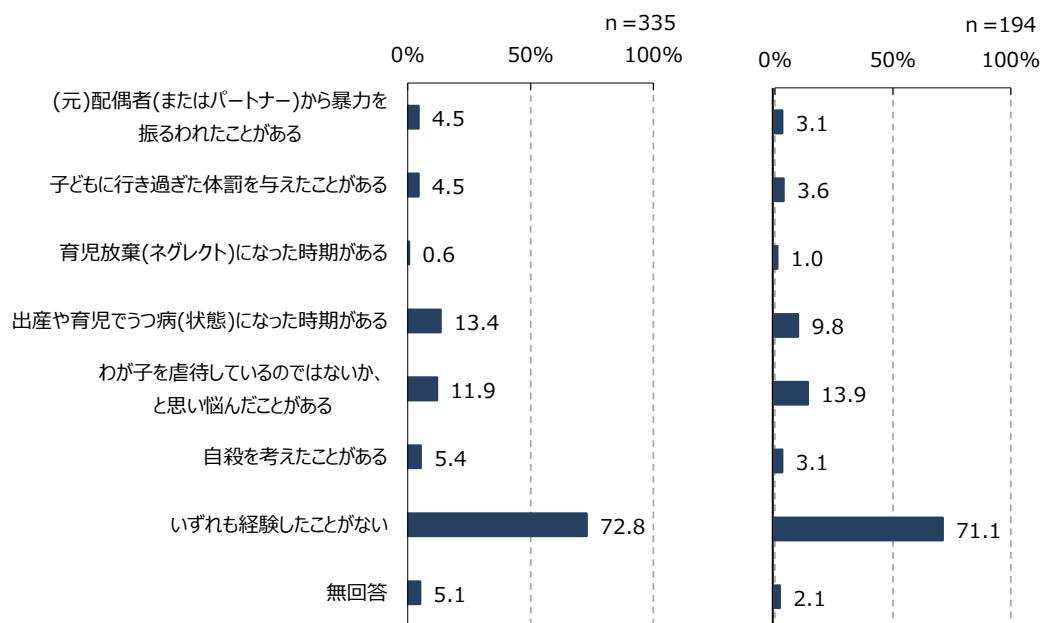
問26 あなたはお子さんをもってから、以下のような経験をしたことがありますか。(複数回答)

小学5年生では、「いずれも経験したことがない」が72.8%と最も多く、次いで「出産や育児でうつ病(状態)になった時期がある」が13.4%、「わが子を虐待しているのではないか、と思い悩んだことがある」が11.9%、「自殺を考えたことがある」が5.4%、「(元)配偶者(またはパートナー)から暴力を振るわれたことがある」が4.5%となっています。

中学2年生では、「いずれも経験したことがない」が71.1%と最も多く、次いで「わが子を虐待しているのではないか、と思い悩んだことがある」が13.9%、「出産や育児でうつ病(状態)になった時期がある」が9.8%、「子どもに行き過ぎた体罰を与えたことがある」が3.6%、「(元)配偶者(またはパートナー)から暴力を振るわれたことがある」が3.1%となっています。

小学5年生保護者

中学2年生保護者



(10) 公的支援の利用状況について

問27 あなたは現在、子どもに関する施策等の情報をどのような方法で受け取っていますか。また、今後、どのような方法で受け取りたいですか。(複数回答)

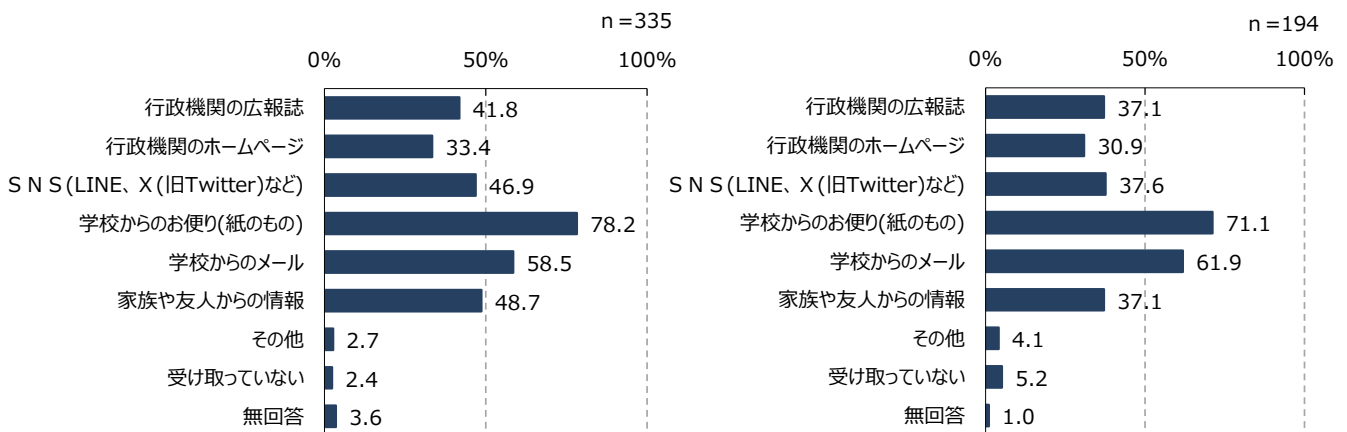
A 現在の受け取り方法

小学5年生では、「学校からのお便り(紙のもの)」が78.2%と最も多く、次いで「学校からのメール」が58.5%、「家族や友人からの情報」が48.7%、「SNS(LINE、X(旧Twitter)など)」が46.9%、「行政機関の広報誌」が41.8%となっています。

中学2年生では、「学校からのお便り(紙のもの)」が71.1%と最も多く、次いで「学校からのメール」が61.9%、「SNS(LINE、X(旧Twitter)など)」が37.6%、「行政機関の広報誌」が37.1%、「家族や友人からの情報」が37.1%となっています。

小学5年生保護者

中学2年生保護者



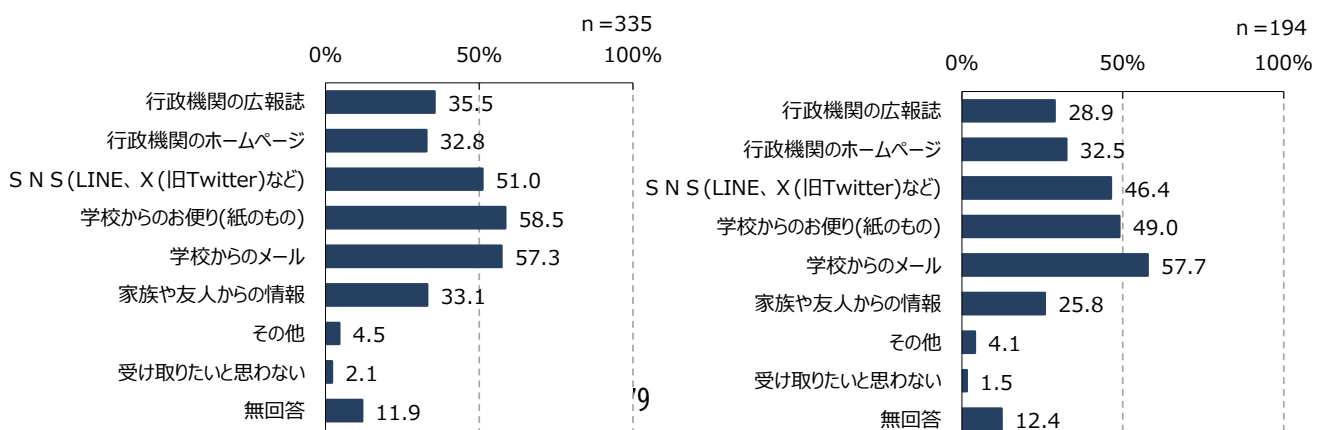
B 今後、受け取りたい方法

小学5年生では、「学校からのお便り(紙のもの)」が58.5%と最も多く、次いで「学校からのメール」が57.3%、「SNS(LINE、X(旧Twitter)など)」が51.0%、「行政機関の広報誌」が35.5%、「家族や友人からの情報」が33.1%となっています。

中学2年生では、「学校からのメール」が57.7%と最も多く、次いで「学校からのお便り(紙のもの)」が49.0%、「SNS(LINE、X(旧Twitter)など)」が46.4%、「行政機関のホームページ」が32.5%、「行政機関の広報誌」が28.9%となっています。

小学5年生保護者

中学2年生保護者



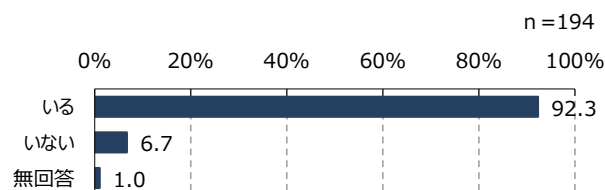
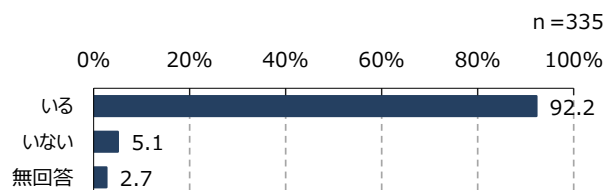
問28 あなたは、本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人(家族、友人、親戚、同僚など)がいますか。

小学5年生では、「いる」が92.2%、「いない」が5.1%となっています。

中学2年生では、「いる」が92.3%、「いない」が6.7%となっています。

小学5年生保護者

中学2年生保護者



問29 あなたは、これまでに困ったときに以下の公的機関に相談したことがありますか。相談したことがない場合は、その理由に最も近いものを教えてください。

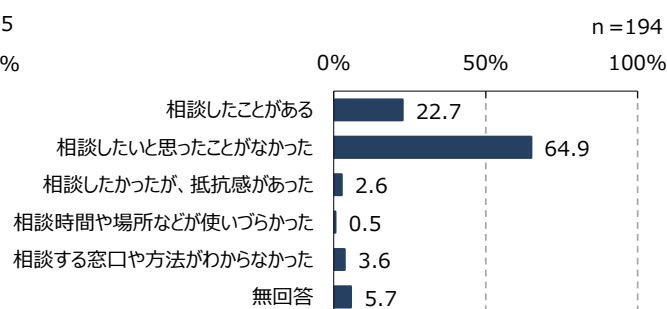
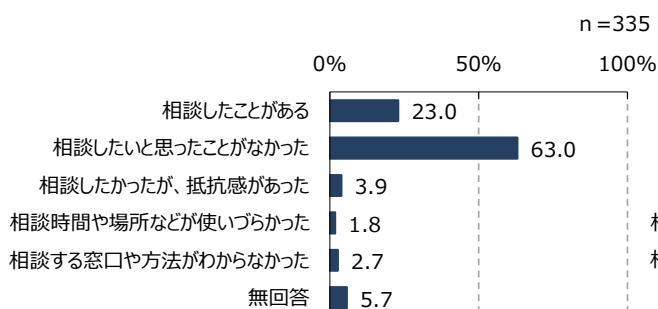
A 市役所の窓口

小学5年生では、「相談したいと思ったことがなかった」が63.0%と最も多く、次いで「相談したことがある」が23.0%、「相談したかったが、抵抗感があった」が3.9%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が2.7%、「相談時間や場所などが使いづらかった」が1.8%となっています。

中学2年生では、「相談したいと思ったことがなかった」が64.9%と最も多く、次いで「相談したことがある」が22.7%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が3.6%、「相談したかったが、抵抗感があった」が2.6%、「相談時間や場所などが使いづらかった」が0.5%となっています。

小学5年生保護者

中学2年生保護者

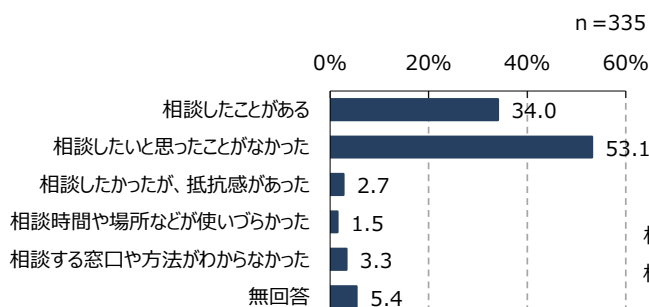


B 子ども家庭支援センター

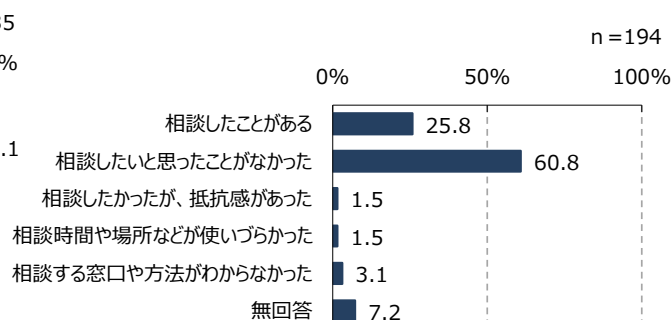
小学5年生では、「相談したいと思ったことがなかった」が53.1%と最も多く、次いで「相談したことがある」が34.0%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が3.3%、「相談しなかったが、抵抗感があった」が2.7%、「相談時間や場所などが使いづらかった」が1.5%となっています。

中学2年生では、「相談したいと思ったことがなかった」が60.8%と最も多く、次いで「相談したことがある」が25.8%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が3.1%、「相談しなかったが、抵抗感があった」、「相談時間や場所などが使いづらかった」が1.5%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者

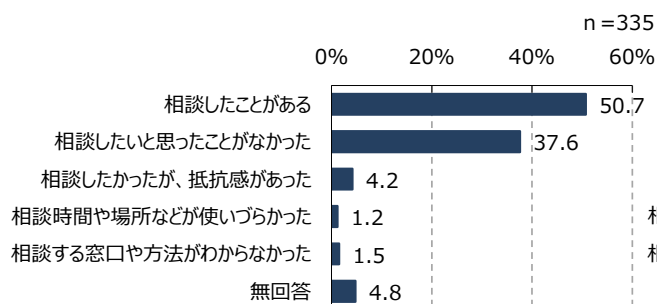


C 学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラーなど

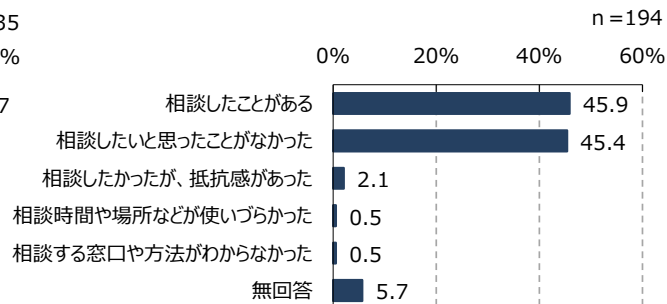
小学5年生では、「相談したことがある」が50.7%と最も多く、次いで「相談したいと思ったことがなかった」が37.6%、「相談しなかったが、抵抗感があった」が4.2%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が1.5%、「相談時間や場所などが使いづらかった」が1.2%となっています。

中学2年生では、「相談したことがある」が45.9%と最も多く、次いで「相談したいと思ったことがなかった」が45.4%、「相談しなかったが、抵抗感があった」が2.1%、「相談時間や場所などが使いづらかった」、「相談する窓口や方法がわからなかった」が0.5%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者

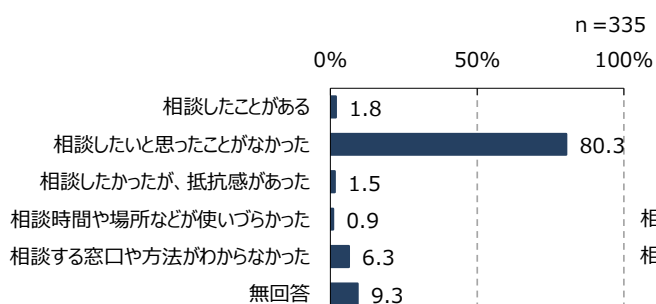


D 民生委員・児童委員

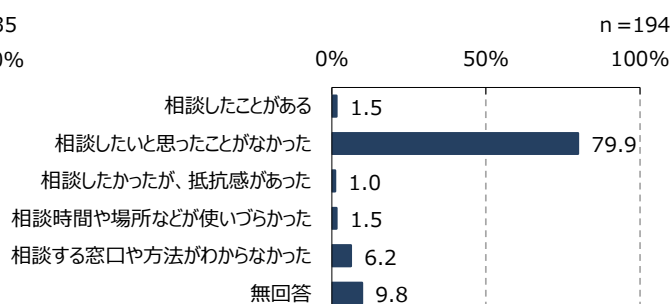
小学5年生では、「相談したいと思ったことがなかった」が80.3%と最も多く、次いで「相談する窓口や方法がわからなかった」が6.3%、「相談したことがある」が1.8%、「相談したかったが、抵抗感があった」が1.5%、「相談時間や場所などが使いづらかった」が0.9%となっています。

中学2年生では、「相談したいと思ったことがなかった」が79.9%と最も多く、次いで「相談する窓口や方法がわからなかった」が6.2%、「相談したことがある」、「相談時間や場所などが使いづらかった」が1.5%、「相談したかったが、抵抗感があった」が1.0%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者

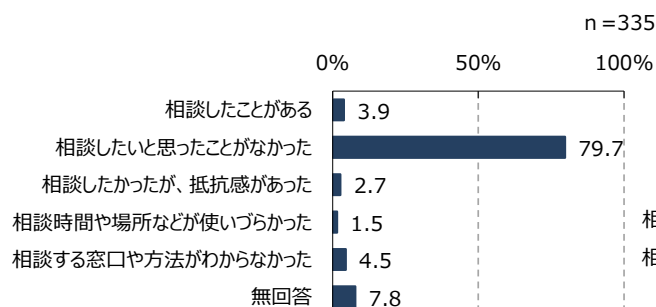


E 児童相談所

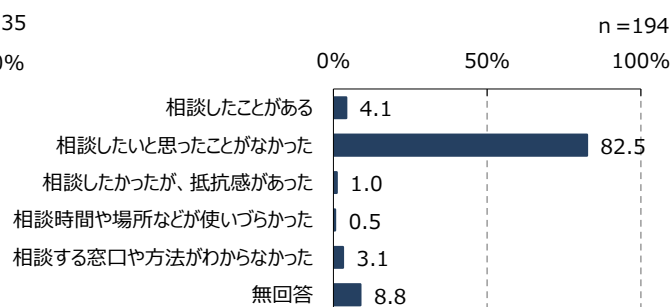
小学5年生では、「相談したいと思ったことがなかった」が79.7%と最も多く、次いで「相談する窓口や方法がわからなかった」が4.5%、「相談したことがある」が3.9%、「相談したかったが、抵抗感があった」が2.7%、「相談時間や場所などが使いづらかった」が1.5%となっています。

中学2年生では、「相談したいと思ったことがなかった」が82.5%と最も多く、次いで「相談したことがある」が4.1%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が3.1%、「相談したかったが、抵抗感があった」が1.0%、「相談時間や場所などが使いづらかった」が0.5%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者



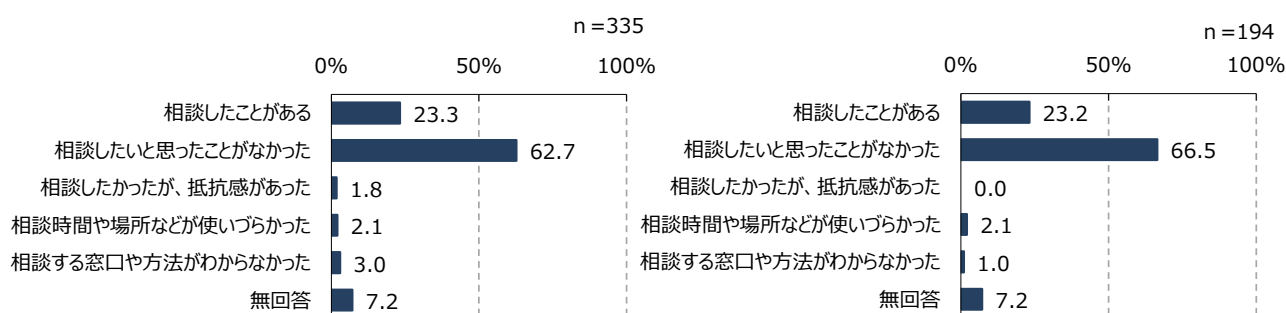
F ハローワーク

小学5年生では、「相談したいと思ったことがなかった」が62.7%と最も多く、次いで「相談したことがある」が23.3%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が3.0%、「相談時間や場所などが使いづらかった」が2.1%、「相談したかったが、抵抗感があった」が1.8%となっています。

中学2年生では、「相談したいと思ったことがなかった」が66.5%と最も多く、次いで「相談したことがある」が23.2%、「相談時間や場所などが使いづらかった」が2.1%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が1.0%となっています。

小学5年生保護者

中学2年生保護者



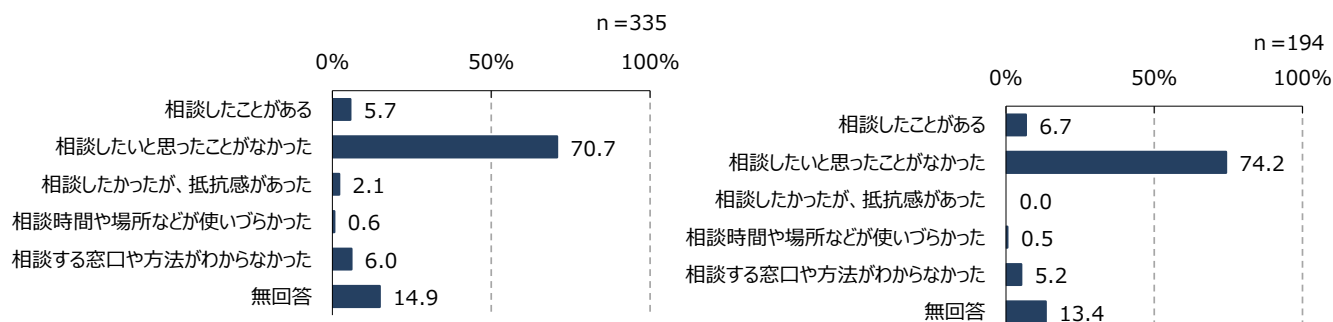
G 上記以外の公的機関

小学5年生では、「相談したいと思ったことがなかった」が70.7%と最も多く、次いで「相談する窓口や方法がわからなかった」が6.0%、「相談したことがある」が5.7%、「相談したかったが、抵抗感があった」が2.1%、「相談時間や場所などが使いづらかった」が0.6%となっています。

中学2年生では、「相談したいと思ったことがなかった」が74.2%と最も多く、次いで「相談したことがある」が6.7%、「相談する窓口や方法がわからなかった」が5.2%、「相談時間や場所などが使いづらかった」が0.5%となっています。

小学5年生保護者

中学2年生保護者



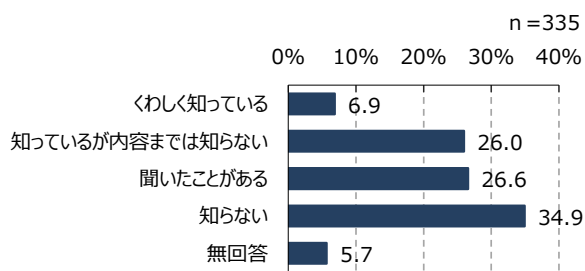
(11) 子どもの権利のことについて

問30 あなたは「子どもの権利条約」について知っていますか。

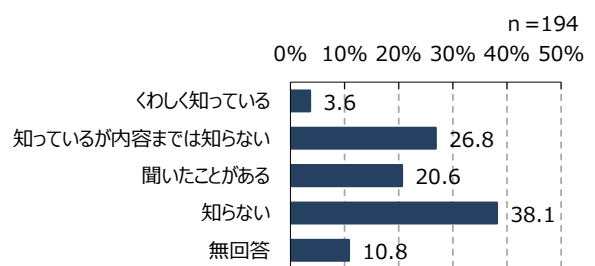
小学5年生では、「知らない」が34.9%と最も多く、次いで「聞いたことがある」が26.6%、「知っているが内容までは知らない」が26.0%、「くわしく知っている」が6.9%となっています。

中学2年生では、「知らない」が38.1%と最も多く、次いで「知っているが内容までは知らない」が26.8%、「聞いたことがある」が20.6%、「くわしく知っている」が3.6%となっています。

小学5年生保護者



中学2年生保護者



2 子ども調査

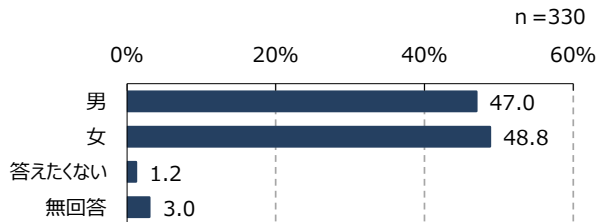
(1) あなたや友だちのことについて

あなたの性別を教えてください。(小5・問1/中2・問1)

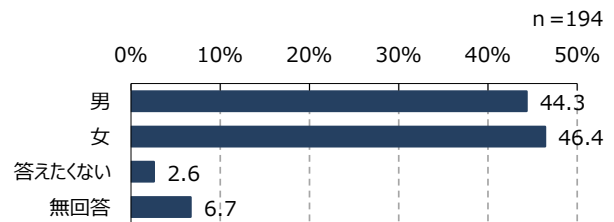
小学5年生では、「女」が48.8%、「男」が47.0%、「答えたくない」が1.2%となっています。

中学2年生では、「女」が46.4%、「男」が44.3%、「答えたくない」が2.6%となっています。

小学5年生子ども



中学2年生子ども



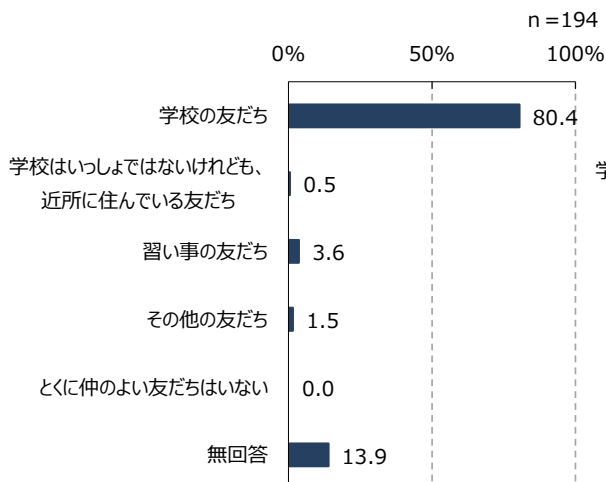
あなたのふだんからよく遊んだり、やりとりするのは、どのような友だちですか。

(小5・問2/中2・問2)

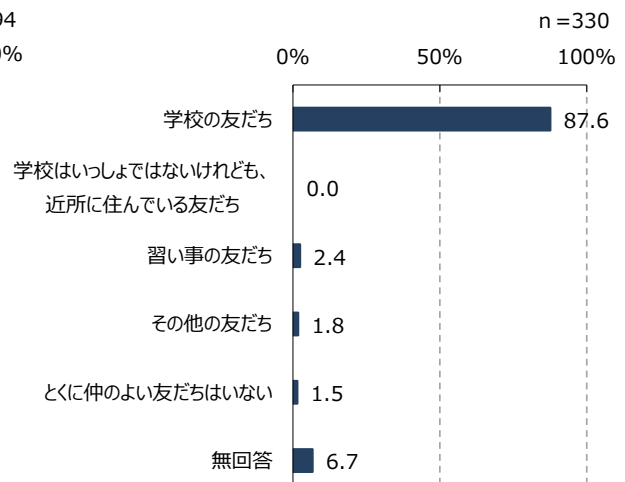
小学5年生では、「学校の友だち」が87.6%と最も多く、次いで「習い事の友だち」が2.4%、「その他の友だち」が1.8%、「とくに仲のよい友だちはいない」が1.5%となっています。

中学2年生では、「学校の友だち」が80.4%と最も多く、次いで「習い事の友だち」が3.6%、「その他の友だち」が1.5%、「学校はいっしょではないけれども、近所に住んでいる友だち」が0.5%となっています。

小学5年生子ども



中学2年生子ども



(2) 心だんの生活について

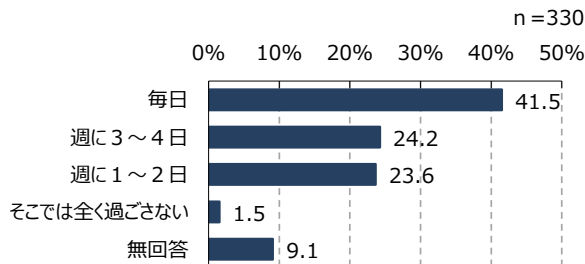
あなたは、放課後の夕方6時くらいまでや休日は、どこで過ごしますか。そこで過ごすおおよその日数に○をつけてください。(小5・問3／中2・問3)

A自分の家

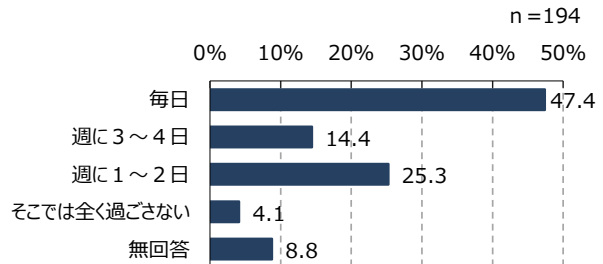
小学5年生では、「毎日」が41.5%と最も多く、次いで「週に3～4日」が24.2%、「週に1～2日」が23.6%、「そこでは全く過ごさない」が1.5%となっています。

中学2年生では、「毎日」が47.4%と最も多く、次いで「週に1～2日」が25.3%、「週に3～4日」が14.4%、「そこでは全く過ごさない」が4.1%となっています。

小学5年生子ども



中学2年生子ども

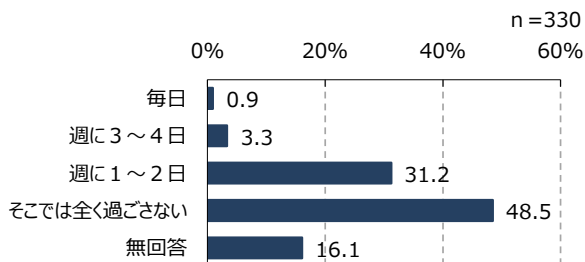


B友だちの家

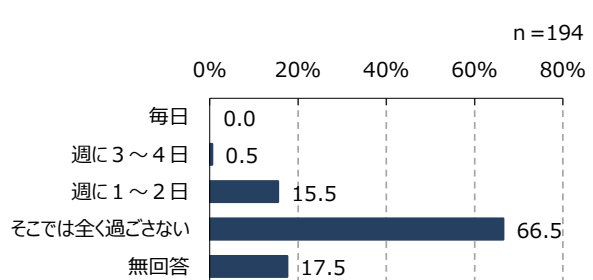
小学5年生では、「そこでは全く過ごさない」が48.5%と最も多く、次いで「週に1～2日」が31.2%、「週に3～4日」が3.3%、「毎日」が0.9%となっています。

中学2年生では、「そこでは全く過ごさない」が66.5%と最も多く、次いで「週に1～2日」が15.5%、「週に3～4日」が0.5%となっています。

小学5年生子ども



中学2年生子ども

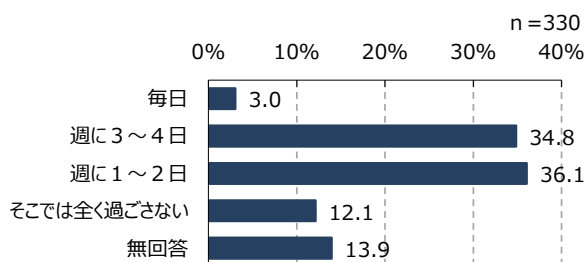


C 塾や習い事

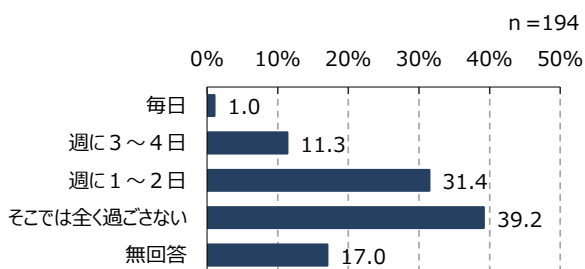
小学5年生では、「週に1～2日」が36.1%と最も多く、次いで「週に3～4日」が34.8%、「そこでは全く過ごさない」が12.1%、「毎日」が3.0%となっています。

中学2年生では、「そこでは全く過ごさない」が39.2%と最も多く、次いで「週に1～2日」が31.4%、「週に3～4日」が11.3%、「毎日」が1.0%となっています。

小学5年生子ども



中学2年生子ども

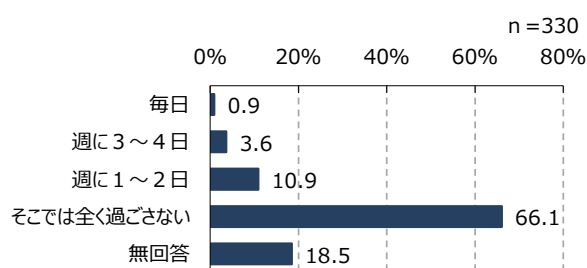


D 児童館・児童センター(小学5年生は学童クラブふくむ)

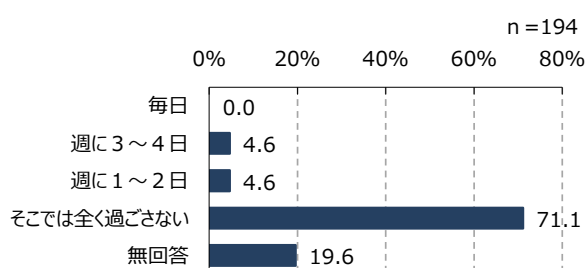
小学5年生では、「そこでは全く過ごさない」が66.1%と最も多く、次いで「週に1～2日」が10.9%、「週に3～4日」が3.6%、「毎日」が0.9%となっています。

中学2年生では、「そこでは全く過ごさない」が71.1%と最も多く、次いで「週に3～4日」が4.6%、「週に1～2日」が4.6%となっています。

小学5年生子ども



中学2年生子ども

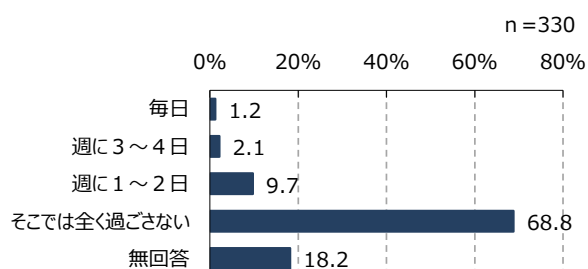


E学校(クラブ活動、放課後子ども教室「KoKoA」、部活など)

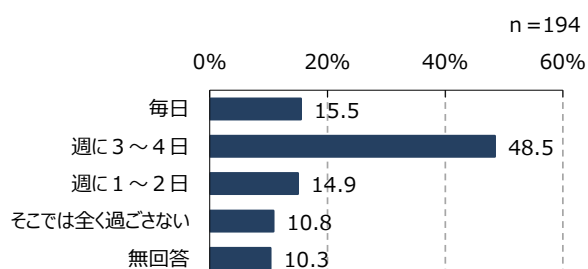
小学5年生では、「そこでは全く過ごさない」が68.8%と最も多く、次いで「週に1～2日」が9.7%、「週に3～4日」が2.1%、「毎日」が1.2%となっています。

中学2年生では、「週に3～4日」が48.5%と最も多く、次いで「毎日」が15.5%、「週に1～2日」が14.9%、「そこでは全く過ごさない」が10.8%となっています。

小学5年生子ども



中学2年生子ども

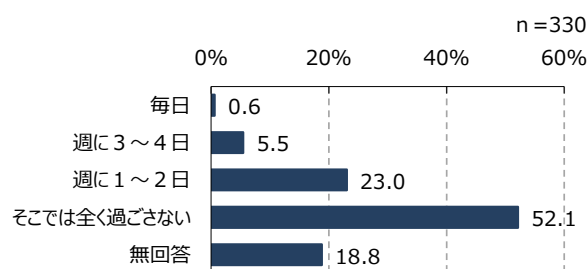


F民間等スポーツクラブなどの活動の場

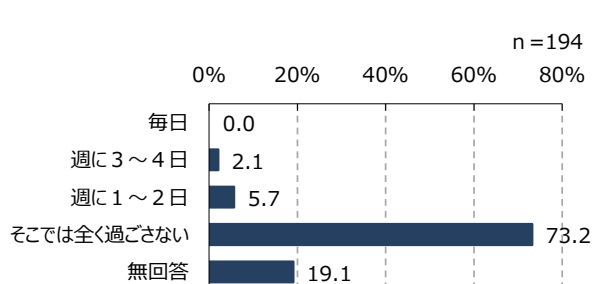
小学5年生では、「そこでは全く過ごさない」が52.1%と最も多く、次いで「週に1～2日」が23.0%、「週に3～4日」が5.5%、「毎日」が0.6%となっています。

中学2年生では、「そこでは全く過ごさない」が73.2%と最も多く、次いで「週に1～2日」が5.7%、「週に3～4日」が2.1%となっています。

小学5年生子ども



中学2年生子ども

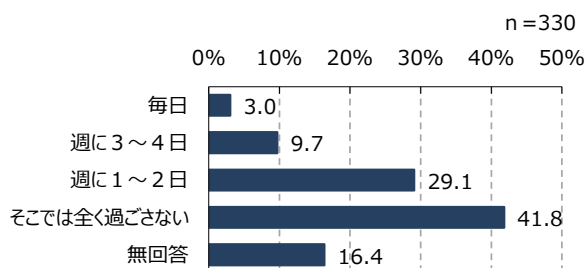


G公園

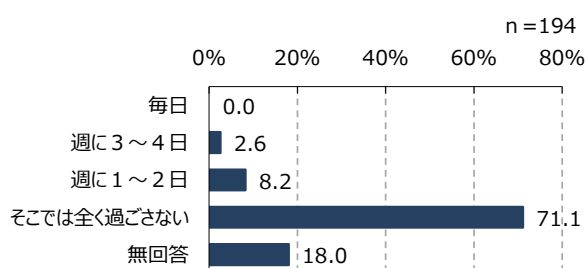
小学5年生では、「そこでは全く過ごさない」が41.8%と最も多く、次いで「週に1～2日」が29.1%、「週に3～4日」が9.7%、「毎日」が3.0%となっています。

中学2年生では、「そこでは全く過ごさない」が71.1%と最も多く、次いで「週に1～2日」が8.2%、「週に3～4日」が2.6%となっています。

小学5年生子ども



中学2年生子ども

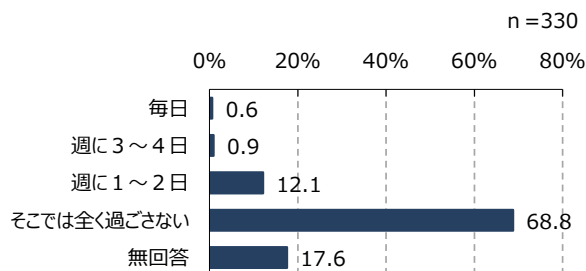


H図書館

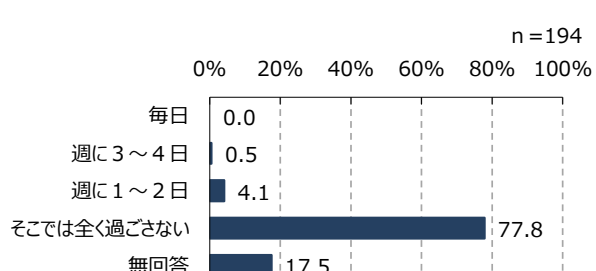
小学5年生では、「そこでは全く過ごさない」が68.8%と最も多く、次いで「週に1～2日」が12.1%、「週に3～4日」が0.9%、「毎日」が0.6%となっています。

中学2年生では、「そこでは全く過ごさない」が77.8%と最も多く、次いで「週に1～2日」が4.1%、「週に3～4日」が0.5%となっています。

小学5年生子ども



中学2年生子ども

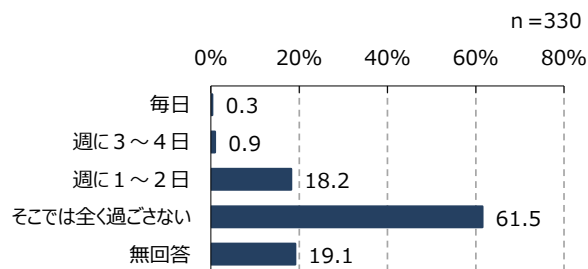


I商店街やショッピングモール

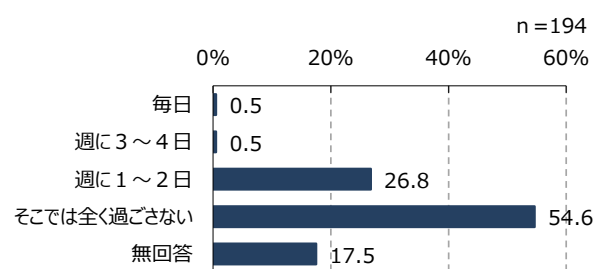
小学5年生では、「そこでは全く過ごさない」が61.5%と最も多く、次いで「週に1～2日」が18.2%、「週に3～4日」が0.9%、「毎日」が0.3%となっています。

中学2年生では、「そこでは全く過ごさない」が54.6%と最も多く、次いで「週に1～2日」が26.8%、「毎日」、「週に3～4日」が0.5%となっています。

小学5年生子ども



中学2年生子ども

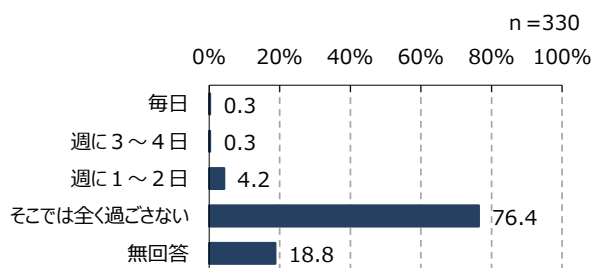


Jゲームセンター

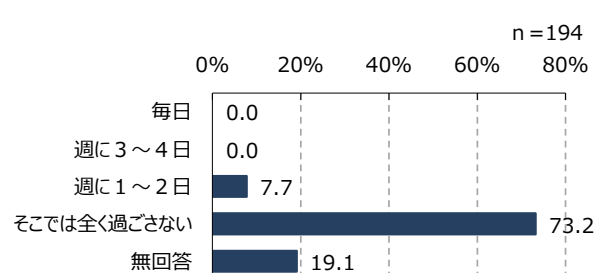
小学5年生では、「そこでは全く過ごさない」が76.4%と最も多く、次いで「週に1～2日」が4.2%、「毎日」、「週に3～4日」が0.3%となっています。

中学2年生では、「そこでは全く過ごさない」が73.2%と最も多く、次いで「週に1～2日」が7.7%となっています。

小学5年生子ども



中学2年生子ども

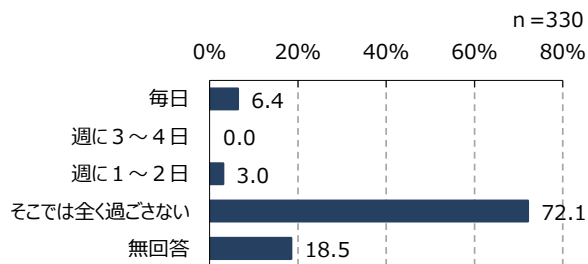


Kインターネット上の仮想空間(メタバースなど)

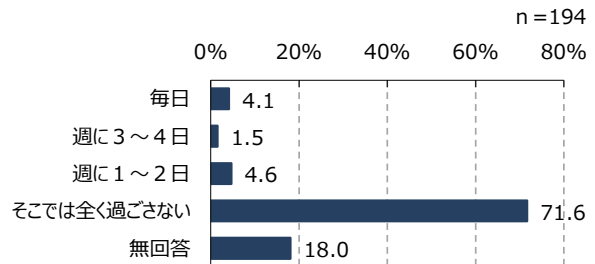
小学5年生では、「そこでは全く過ごさない」が72.1%と最も多く、次いで「毎日」が6.4%、「週に1～2日」が3.0%となっています。

中学2年生では、「そこでは全く過ごさない」が71.6%と最も多く、次いで「週に1～2日」が4.6%、「毎日」が4.1%、「週に3～4日」が1.5%となっています。

小学5年生子ども



中学2年生子ども

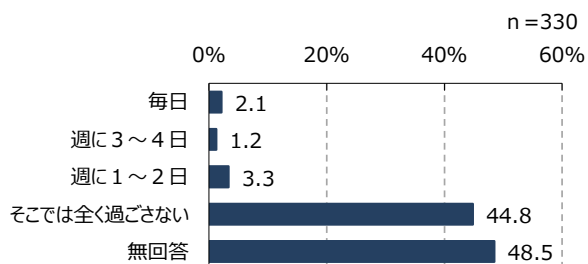


Lその他

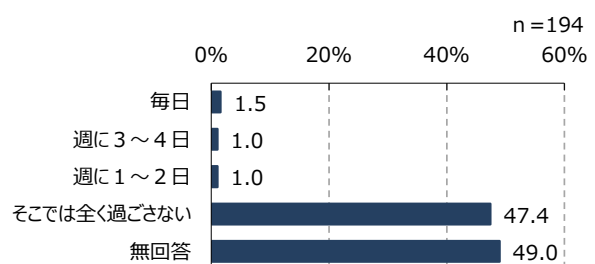
小学5年生では、「そこでは全く過ごさない」が44.8%と最も多く、次いで「週に1～2日」が3.3%、「毎日」が2.1%、「週に3～4日」が1.2%となっています。

中学2年生では、「そこでは全く過ごさない」が47.4%と最も多く、次いで「毎日」が1.5%、「週に3～4日」が1.0%、「週に1～2日」が1.0%となっています。

小学5年生子ども



中学2年生子ども



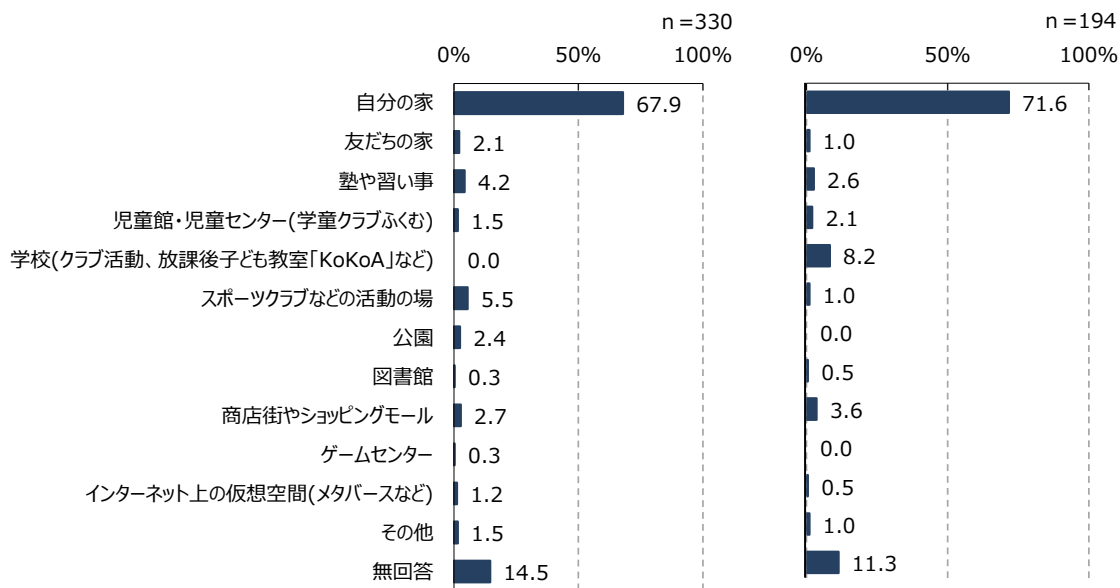
休日に一番多く過ごす場所(小5・問3／中2・問3)(複数回答)

小学5年生では、「自分の家」が67.9%と最も多く、次いで「スポーツクラブなどの活動の場」が5.5%、「塾や習い事」が4.2%、「商店街やショッピングモール」が2.7%、「公園」が2.4%となっています。

中学2年生では、「自分の家」が71.6%と最も多く、次いで「学校(クラブ活動、放課後子ども教室「KoKoA」など)」が8.2%、「商店街やショッピングモール」が3.6%、「塾や習い事」が2.6%、「児童館・児童センター(学童クラブふくむ)」が2.1%となっています。

小学5年生子ども

中学2年生子ども



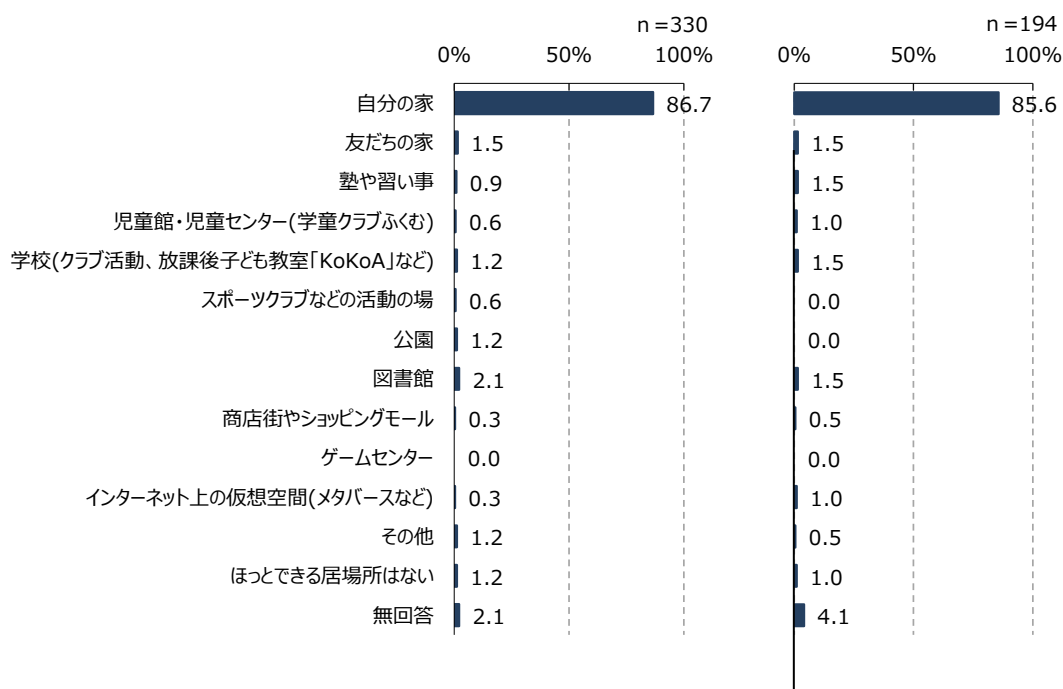
問3のA～Lの場所の中で、あなたが一番ほっとできる居場所はどこですか。(小5・問4／中2・問4)

小学5年生では、「自分の家」が86.7%と最も多く、次いで「図書館」が2.1%、「友だちの家」が1.5%、「学校(クラブ活動、放課後子ども教室「KoKoA」など)」、「公園」が1.2%となっています。

中学2年生では、「自分の家」が85.6%と最も多く、次いで「友だちの家」、「塾や習い事」、「学校(クラブ活動、放課後子ども教室「KoKoA」など)」、「図書館」が同率で1.5%となっています。

小学5年生子ども

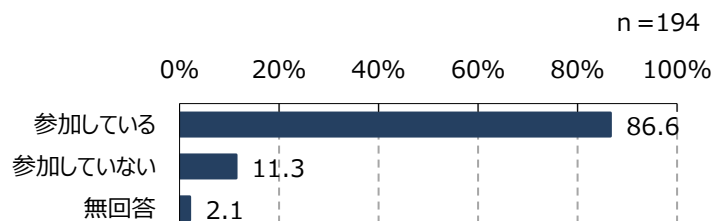
中学2年生子ども



あなたは、学校の部活動に参加していますか。(中2・問5)

「参加している」が86.6%、「参加していない」が11.3%となっています。

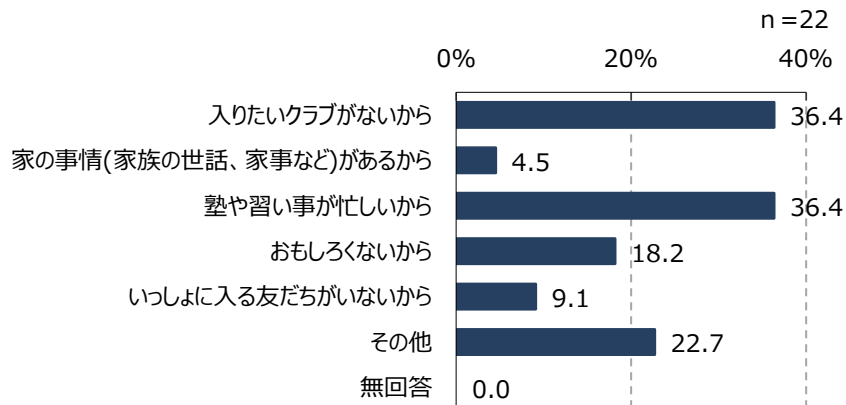
中学2年生子ども



参加しない理由は何ですか。(中2・問5-1 複数回答)

「入りたいクラブがないから」が36.4%と最も多く、次いで「塾や習い事が忙しいから」が36.4%、「その他」が22.7%、「おもしろくないから」が18.2%、「いっしょに入る友だちがないから」が9.1%となっています。

中学2年生子ども

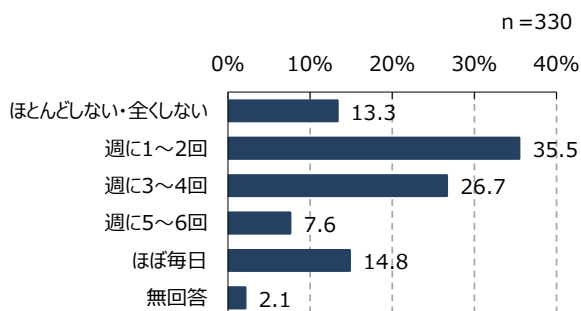


あなたは、体育の授業以外で30分以上からだを動かす遊びや習い事を、1週間でどれくらいしますか。(小5・問5／中2・問6)

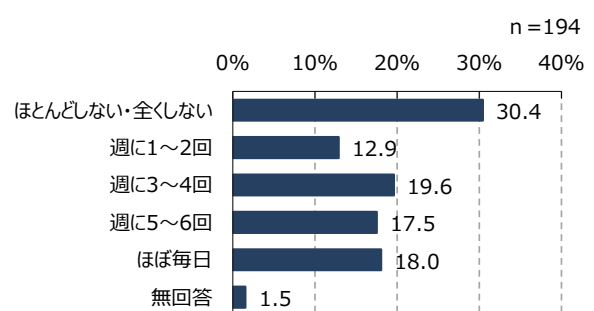
小学5年生では、「週に1～2回」が35.5%と最も多く、次いで「週に3～4回」が26.7%、「ほぼ毎日」が14.8%、「ほとんどしない・全くしない」が13.3%、「週に5～6回」が7.6%となっています。

中学2年生では、「ほとんどしない・全くしない」が30.4%と最も多く、次いで「週に3～4回」が19.6%、「ほぼ毎日」が18.0%、「週に5～6回」が17.5%、「週に1～2回」が12.9%となっています。

小学5年生子ども



中学2年生子ども



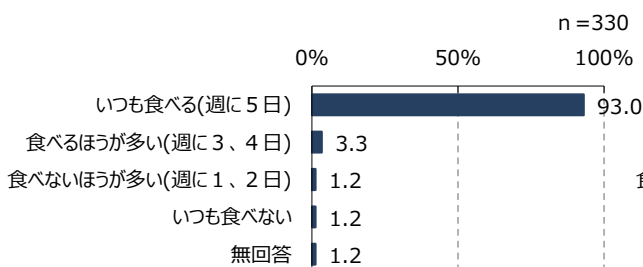
(3) 食事や健康のことについて

あなたは、平日(学校に行く日)に毎日、朝ごはんを食べますか。(小5・問6／中2・問7)

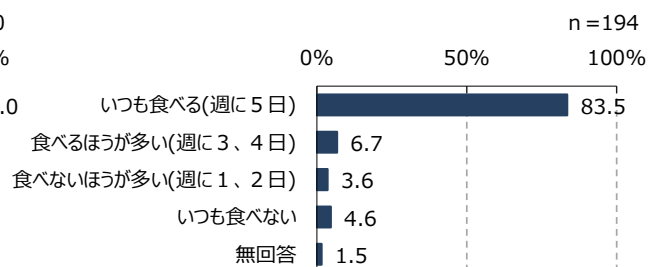
小学5年生では、「いつも食べる(週に5日)」が93.0%と最も多く、次いで「食べるほうが多い(週に3、4日)」が3.3%、「食べないほうが多い(週に1、2日)」、「いつも食べない」が1.2%となっています。

中学2年生では、「いつも食べる(週に5日)」が83.5%と最も多く、次いで「食べるほうが多い(週に3、4日)」が6.7%、「いつも食べない」が4.6%、「食べないほうが多い(週に1、2日)」が3.6%となっています。

小学5年生子ども



中学2年生子ども



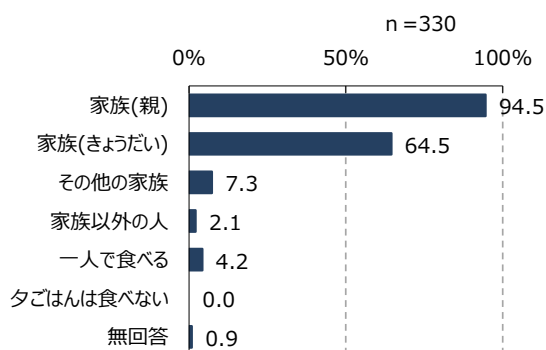
あなたは、平日(学校に行く日)に夕ごはんをだれと食べますか。(小5・問7／中2・問8)

(複数回答)

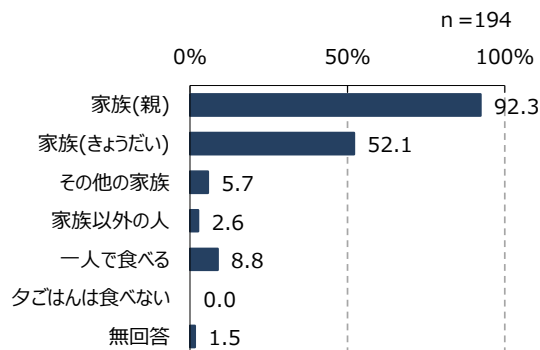
小学5年生では、「家族(親)」が94.5%と最も多く、次いで「家族(きょうだい)」が64.5%、「その他の家族(おじいちゃん・おばあちゃんなど)」が7.3%、「一人で食べる」が4.2%、「家族以外の人」が2.1%となっています。

中学2年生では、「家族(親)」が92.3%と最も多く、次いで「家族(きょうだい)」が52.1%、「一人で食べる」が8.8%、「その他の家族(おじいちゃん・おばあちゃんなど)」が5.7%、「家族以外の人」が2.6%となっています。

小学5年生子ども



中学2年生子ども

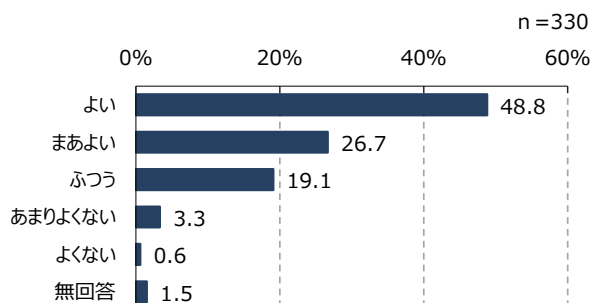


あなたは、自分の健康状態についてどう感じていますか。(小5・問8／中2・問9)

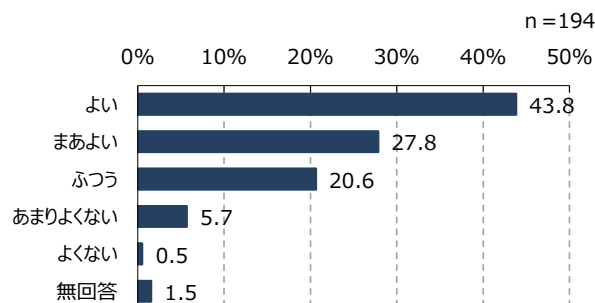
小学5年生では、「よい」が48.8%と最も多く、次いで「まあよい」が26.7%、「ふつう」が19.1%、「あまりよくない」が3.3%、「よくない」が0.6%となっています。

中学2年生では、「よい」が43.8%と最も多く、次いで「まあよい」が27.8%、「ふつう」が20.6%、「あまりよくない」が5.7%、「よくない」が0.5%となっています。

小学5年生子ども



中学2年生子ども

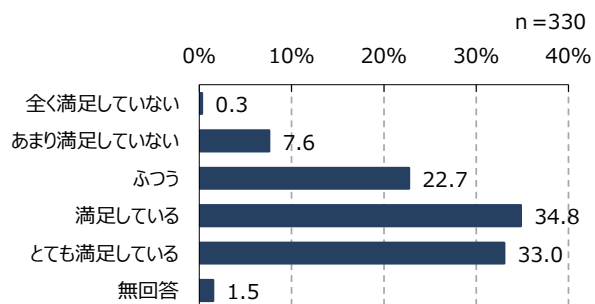


全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。(小5・問9／中2・問10)

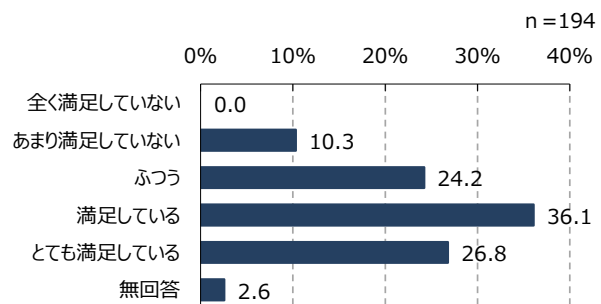
小学5年生では、「満足している」が34.8%と最も多く、次いで「とても満足している」が33.0%、「ふつう」が22.7%、「あまり満足していない」が7.6%、「全く満足していない」が0.3%となっています。

中学2年生では、「満足している」が36.1%と最も多く、次いで「とても満足している」が26.8%、「ふつう」が24.2%、「あまり満足していない」が10.3%となっています。

小学5年生子ども



中学2年生子ども



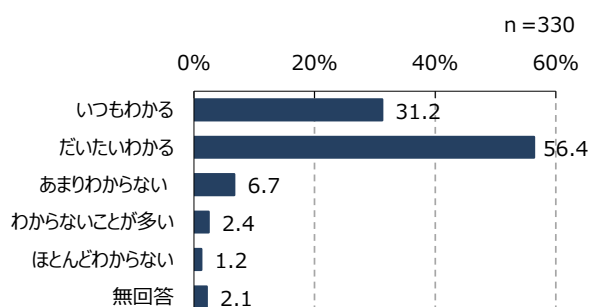
(4) 学校や勉強のことについて

あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(小5・問10／中2・問11)

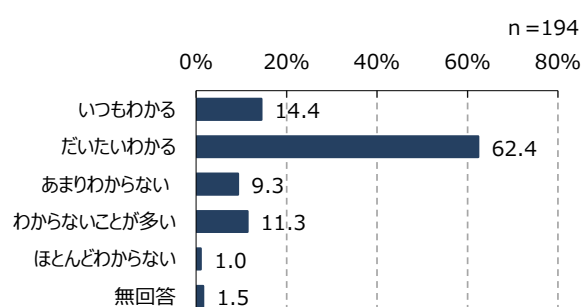
小学5年生では、「だいたいわかる」が56.4%と最も多く、次いで「いつもわかる」が31.2%、「あまりわからない」が6.7%、「わからないことが多い」が2.4%、「ほとんどわからない」が1.2%となっています。

中学2年生では、「だいたいわかる」が62.4%と最も多く、次いで「いつもわかる」が14.4%、「わからないことが多い」が11.3%、「あまりわからない」が9.3%、「ほとんどわからない」が1.0%となっています。

小学5年生子ども



中学2年生子ども

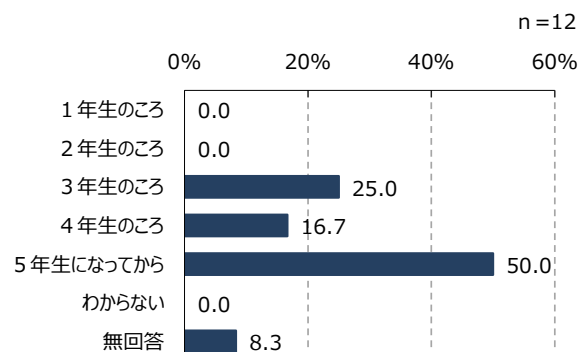


学校の授業が「4 わからないことが多い」または「5 ほとんどわからない」と答えた人におききます。いつごろから、授業がわからなくなりましたか。(小5・問10-1／中2・問11-1)

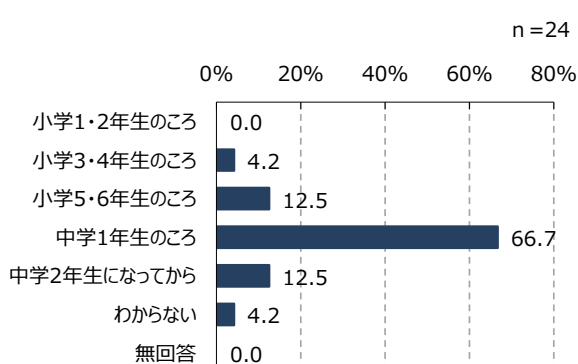
小学5年生では、「5年生になってから」が50.0%と最も多く、次いで「3年生のころ」が25.0%、「4年生のころ」が16.7%となっています。

中学2年生では、「中学1年生のころ」が66.7%と最も多く、次いで「小学5・6年生のころ」、「中学2年生になってから」が12.5%、「小学3・4年生のころ」、「わからない」が4.2%となっています。

小学5年生子ども



中学2年生子ども

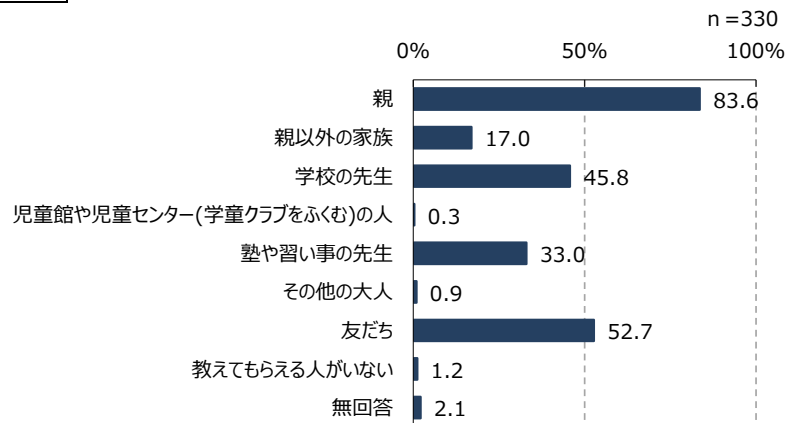


勉強がわからないときは、だれに教えてもらいますか。(小5・問11／中2・問12)(複数回答)

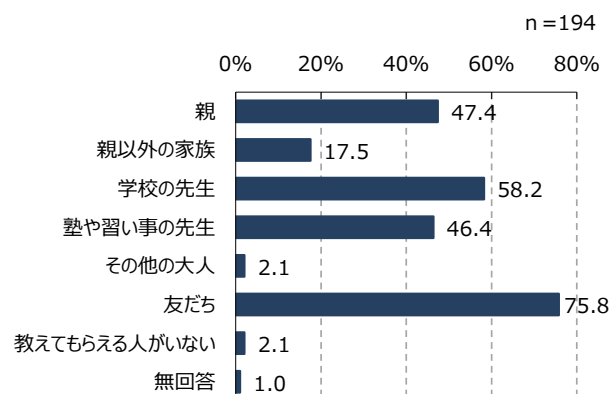
小学5年生では、「親」が83.6%と最も多く、次いで「友だち」が52.7%、「学校の先生」が45.8%、「塾や習い事の先生」が33.0%、「親以外の家族」が17.0%となっています。

中学2年生では、「友だち」が75.8%と最も多く、次いで「学校の先生」が58.2%、「親」が47.4%、「塾や習い事の先生」が46.4%、「親以外の家族」が17.5%となっています。

小学5年生子ども



中学2年生子ども



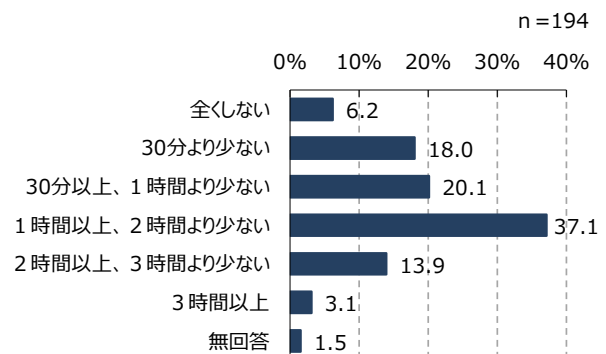
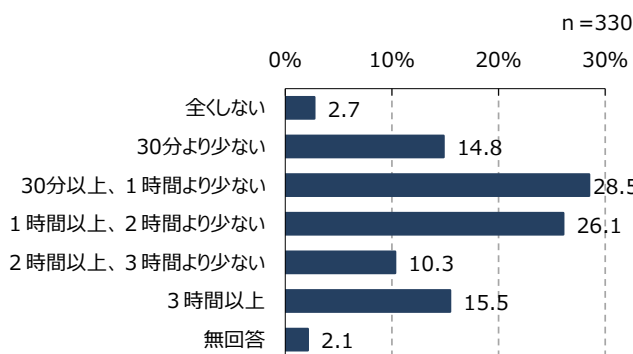
あなたは、ふだん(月～金曜日)学校の授業以外にどれくらいの時間、勉強をしますか。1日あたりの勉強時間を教えてください。(小5・問12／中2・問13)

小学5年生では、「30分以上、1時間より少ない」が28.5%と最も多く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が26.1%、「3時間以上」が15.5%、「30分より少ない」が14.8%、「2時間以上、3時間より少ない」が10.3%となっています。

中学2年生では、「1時間以上、2時間より少ない」が37.1%と最も多く、次いで「30分以上、1時間より少ない」が20.1%、「30分より少ない」が18.0%、「2時間以上、3時間より少ない」が13.9%、「全くしない」が6.2%となっています。

小学5年生子ども

中学2年生子ども



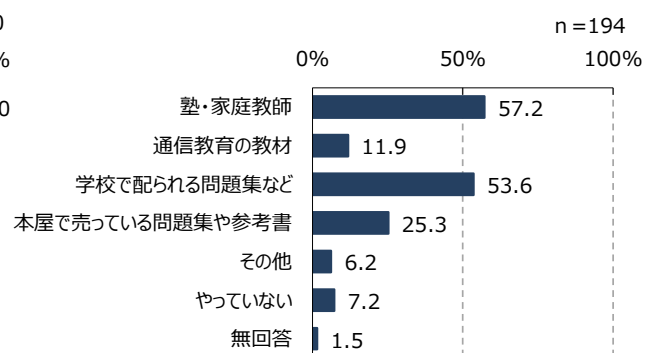
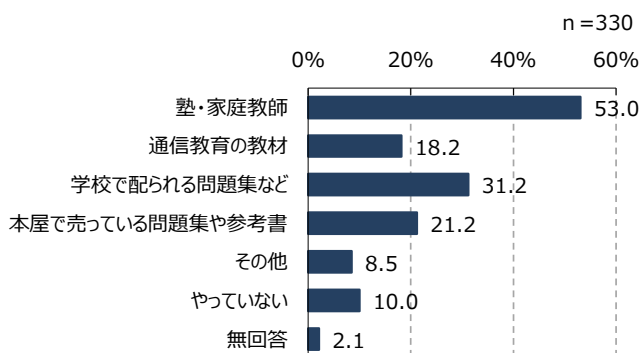
あなたは、学校以外でどのような勉強をしていますか。(小5・問13／中2・問14)(複数回答)

小学5年生では、「塾・家庭教師」が53.0%と最も多く、次いで「学校で配られる問題集など」が31.2%、「本屋で売っている問題集や参考書」が21.2%、「通信教育の教材」が18.2%、「やっていない」が10.0%となっています。

中学2年生では、「塾・家庭教師」が57.2%と最も多く、次いで「学校で配られる問題集など」が53.6%、「本屋で売っている問題集や参考書」が25.3%、「通信教育の教材」が11.9%、「やっていない」が7.2%となっています。

小学5年生子ども

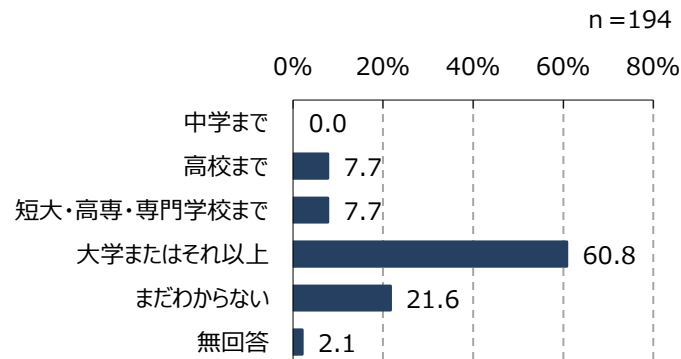
中学2年生子ども



あなたは、将来、どの段階まで進学したいですか。あなたの考えにもっとも近いものに○をつけてください。(中2・問15)

「大学またはそれ以上」が60.8%と最も多く、次いで「まだわからない」が21.6%、「高校まで」、「短大・高専・専門学校まで」が7.7%となっています。

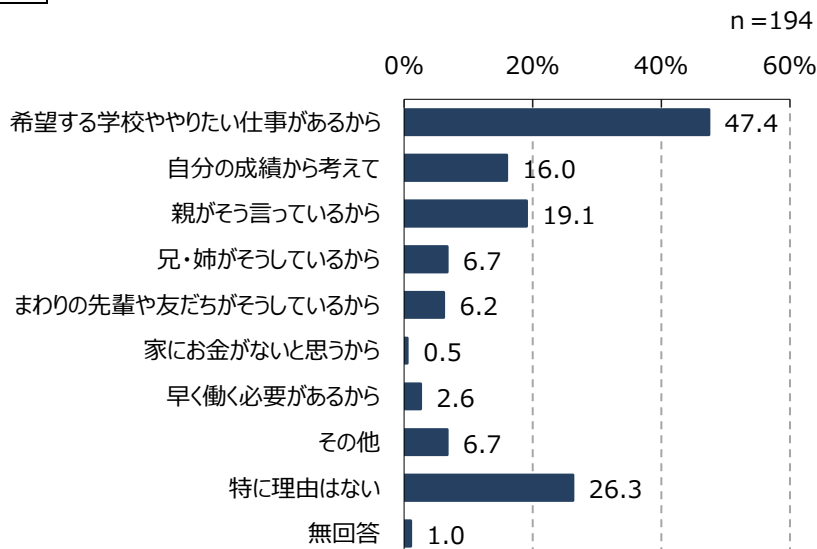
中学2年生子ども



問15で選んだ理由は何ですか(中2・問16)(複数回答)

「希望する学校ややりたい仕事があるから」が47.4%と最も多く、次いで「特に理由はない」が26.3%、「親がそう言っているから」が19.1%、「自分の成績から考えて」が16.0%、「兄・姉がそうしているから」が6.7%となっています。

中学2年生子ども



(5) あなたがふだん考えていることについて

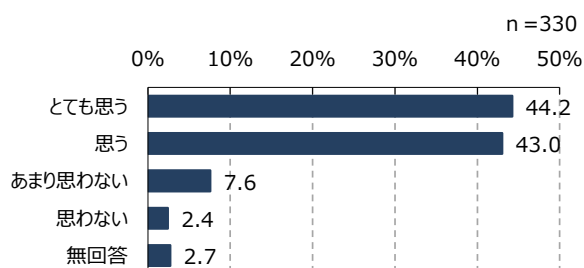
あなたの思いや気持ちについて、「1 とても思う」から「4 思わない」のもっとも近いものに○をつけてください。(小5・問14／中2・問17)

Aがんばれば、むくわれると思う

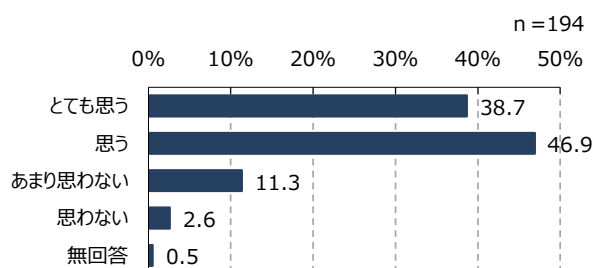
小学5年生では、「とても思う」が44.2%と最も多く、次いで「思う」が43.0%、「あまり思わない」が7.6%、「思わない」が2.4%となっています。

中学2年生では、「思う」が46.9%と最も多く、次いで「とても思う」が38.7%、「あまり思わない」が11.3%、「思わない」が2.6%となっています。

小学5年生子ども



中学2年生子ども

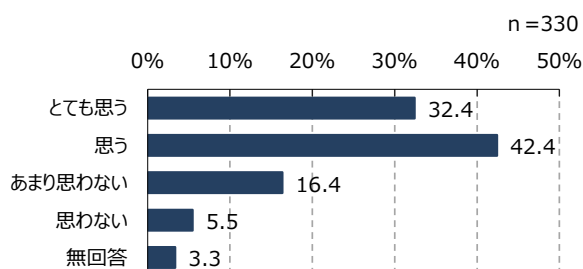


B自分は価値のある人間だと思う

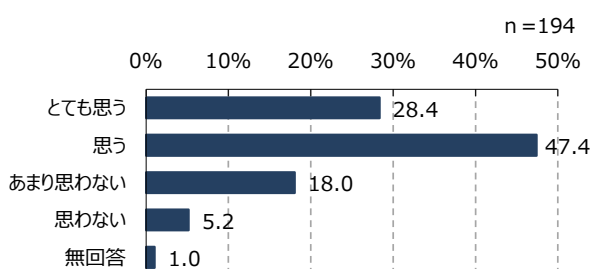
小学5年生では、「思う」が42.4%と最も多く、次いで「とても思う」が32.4%、「あまり思わない」が16.4%、「思わない」が5.5%となっています。

中学2年生では、「思う」が47.4%と最も多く、次いで「とても思う」が28.4%、「あまり思わない」が18.0%、「思わない」が5.2%となっています。

小学5年生子ども



中学2年生子ども

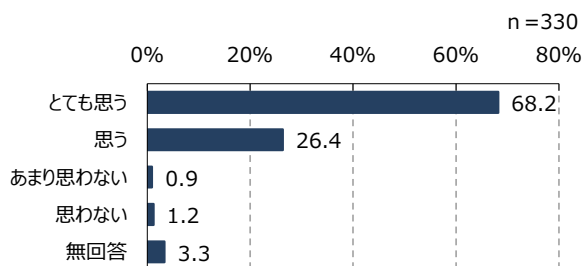


C自分は家族に大事にされていると思う

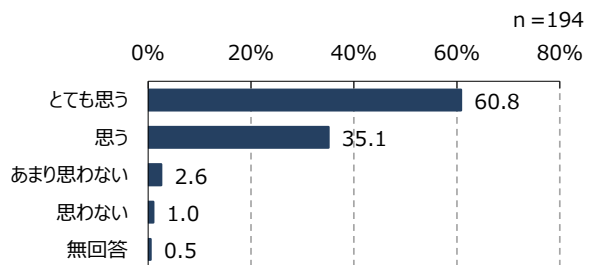
小学5年生では、「とても思う」が68.2%と最も多く、次いで「思う」が26.4%、「思わない」が1.2%、「あまり思わない」が0.9%となっています。

中学2年生では、「とても思う」が60.8%と最も多く、次いで「思う」が35.1%、「あまり思わない」が2.6%、「思わない」が1.0%となっています。

小学5年生子ども



中学2年生子ども

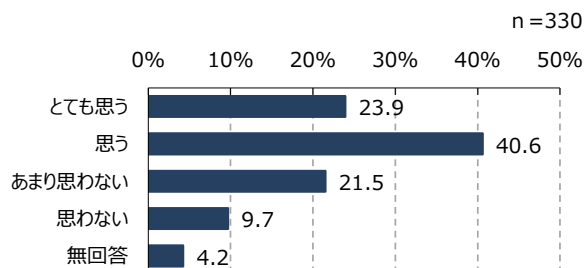


D不安に感じることはないと思う

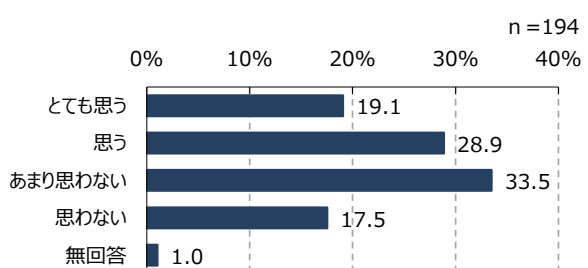
小学5年生では、「思う」が40.6%と最も多く、次いで「とても思う」が23.9%、「あまり思わない」が21.5%、「思わない」が9.7%となっています。

中学2年生では、「あまり思わない」が33.5%と最も多く、次いで「思う」が28.9%、「とても思う」が19.1%、「思わない」が17.5%となっています。

小学5年生子ども



中学2年生子ども

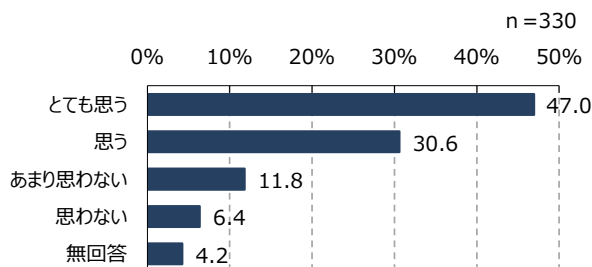


E 孤独を感じることはないと思う

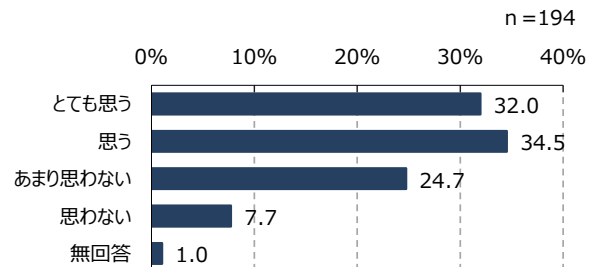
小学5年生では、「とても思う」が47.0%と最も多く、次いで「思う」が30.6%、「あまり思わない」が11.8%、「思わない」が6.4%となっています。

中学2年生では、「思う」が34.5%と最も多く、次いで「とても思う」が32.0%、「あまり思わない」が24.7%、「思わない」が7.7%となっています。

小学5年生子ども



中学2年生子ども

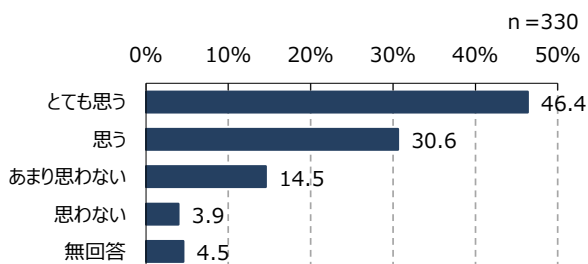


F 自分の将来が楽しみだと思う

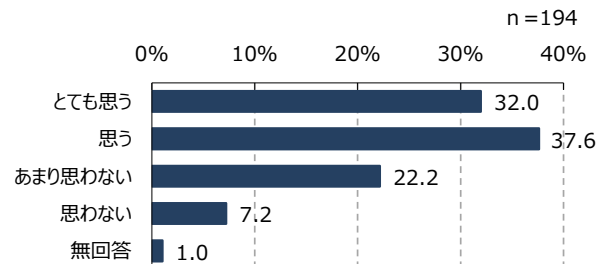
小学5年生では、「とても思う」が46.4%と最も多く、次いで「思う」が30.6%、「あまり思わない」が14.5%、「思わない」が3.9%となっています。

中学2年生では、「思う」が37.6%と最も多く、次いで「とても思う」が32.0%、「あまり思わない」が22.2%、「思わない」が7.2%となっています。

小学5年生子ども



中学2年生子ども

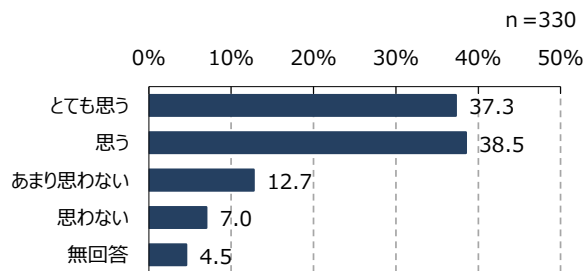


G自分のことが好きだと思う

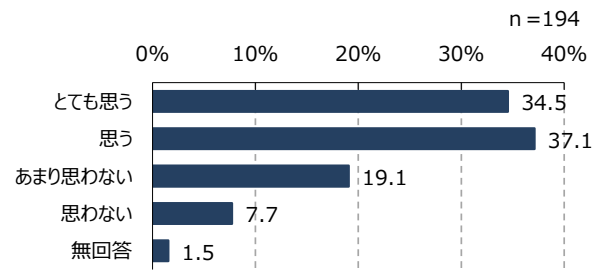
小学5年生では、「思う」が38.5%と最も多く、次いで「とても思う」が37.3%、「あまり思わない」が12.7%、「思わない」が7.0%となっています。

中学2年生では、「思う」が37.1%と最も多く、次いで「とても思う」が34.5%、「あまり思わない」が19.1%、「思わない」が7.7%となっています。

小学5年生子ども



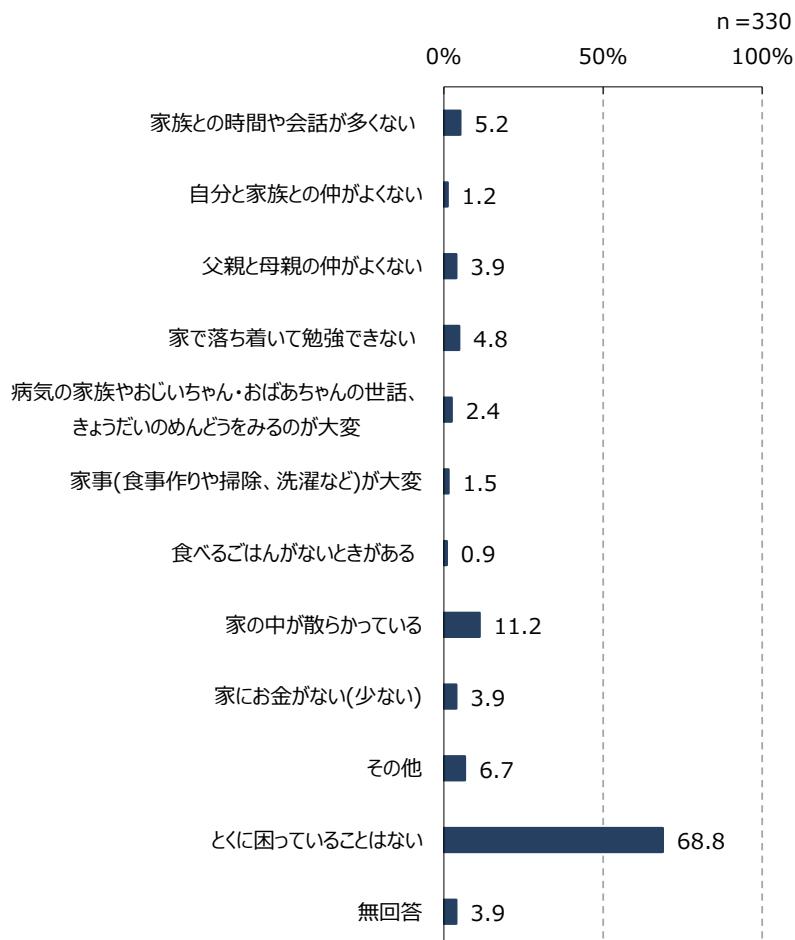
中学2年生子ども



あなたは、自分や家族のことなどで、心配なことや困っていることはありますか。(小5・問15
(複数回答))

小学5年生では、「とくに困っていることはない」が68.8%と最も多く、次いで「家の中が散らかっている」が11.2%、「その他」が6.7%、「家族との時間や会話が多くの少ない」が5.2%、「家で落ち着いて勉強できない」が4.8%となっています。

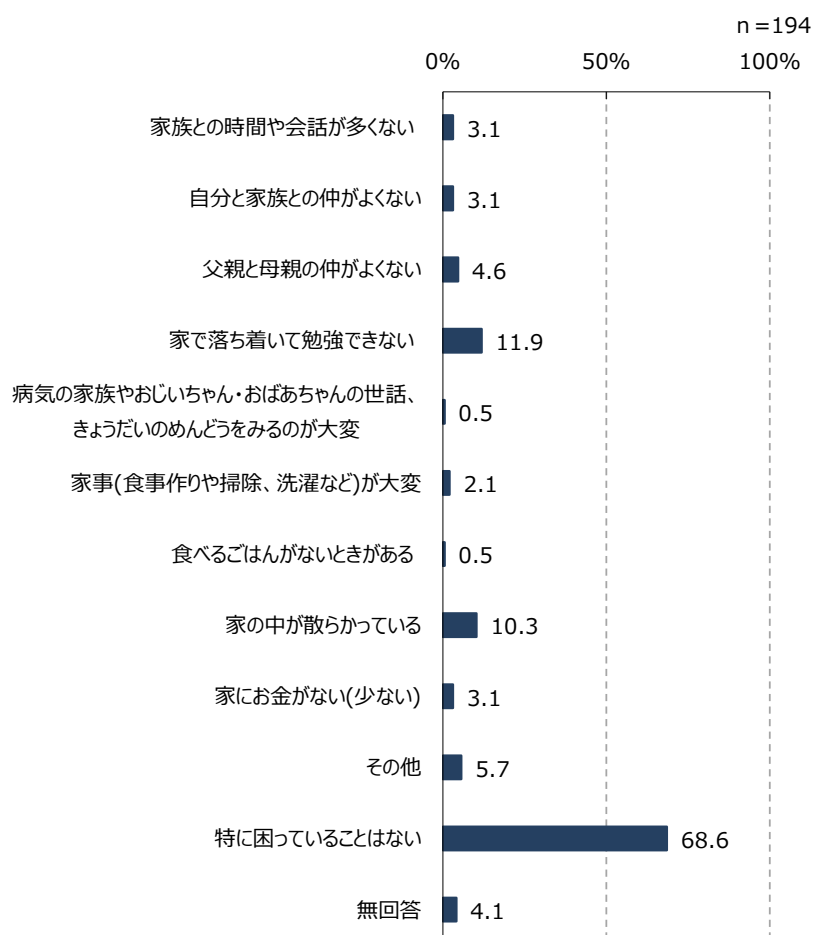
小学5年生子ども



あなたは、自分や家族のことなどで、心配なことや困っていることはありますか。(中2・問18)
(複数回答)

中学2年生では、「特に困っていることはない」が68.6%と最も多く、次いで「家で落ち着いて勉強できない」が11.9%、「家の中が散らかっている」が10.3%、「その他」が5.7%、「父親と母親の仲がよくない」が4.6%となっています。

中学2年生子ども

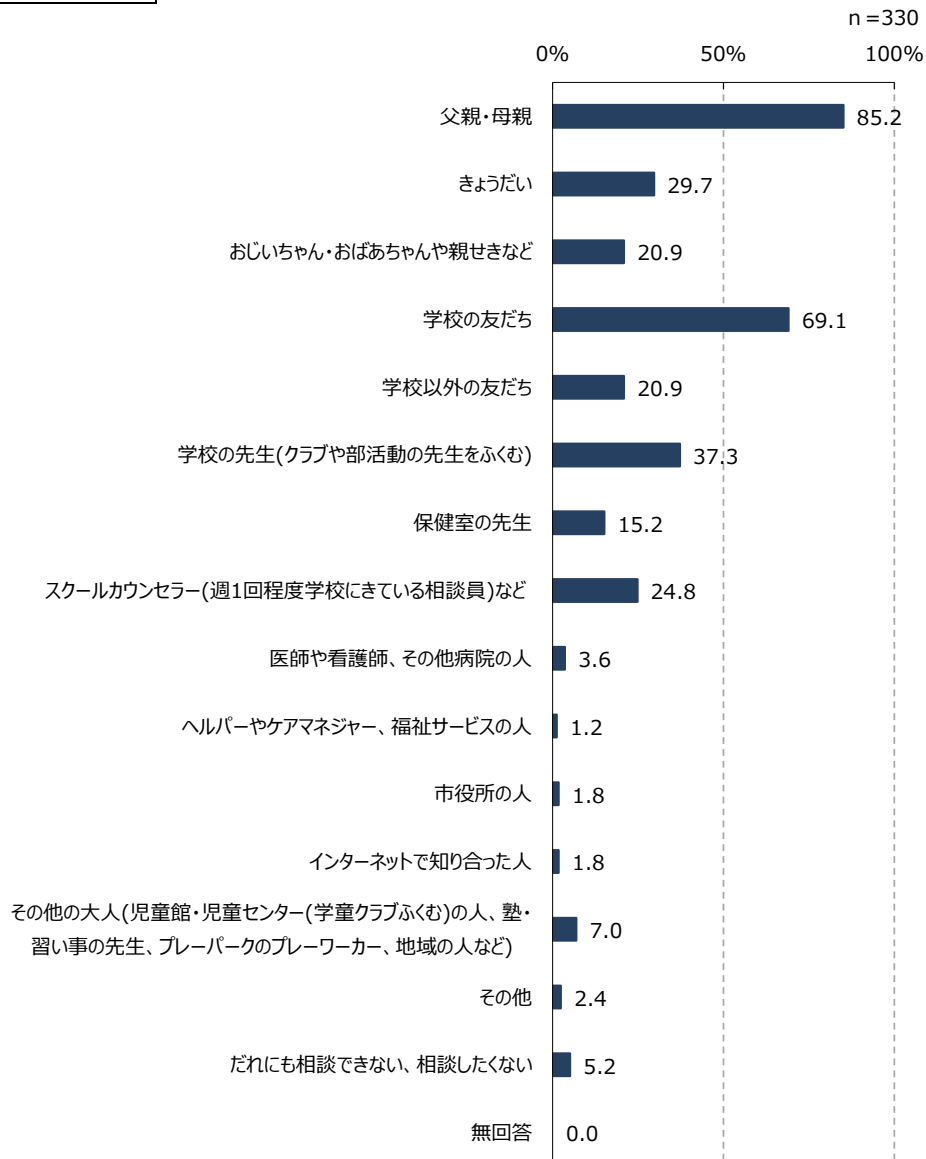


あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。

(小5・問16)(複数回答)

小学5年生では、「父親・母親」が85.2%と最も多く、次いで「学校の友だち」が69.1%、「学校の先生(クラブや部活動の先生をふくむ)」が37.3%、「きょうだい」が29.7%、「スクールカウンセラー(週1回程度学校にきている相談員)など」が24.8%となっています。

小学5年生子ども

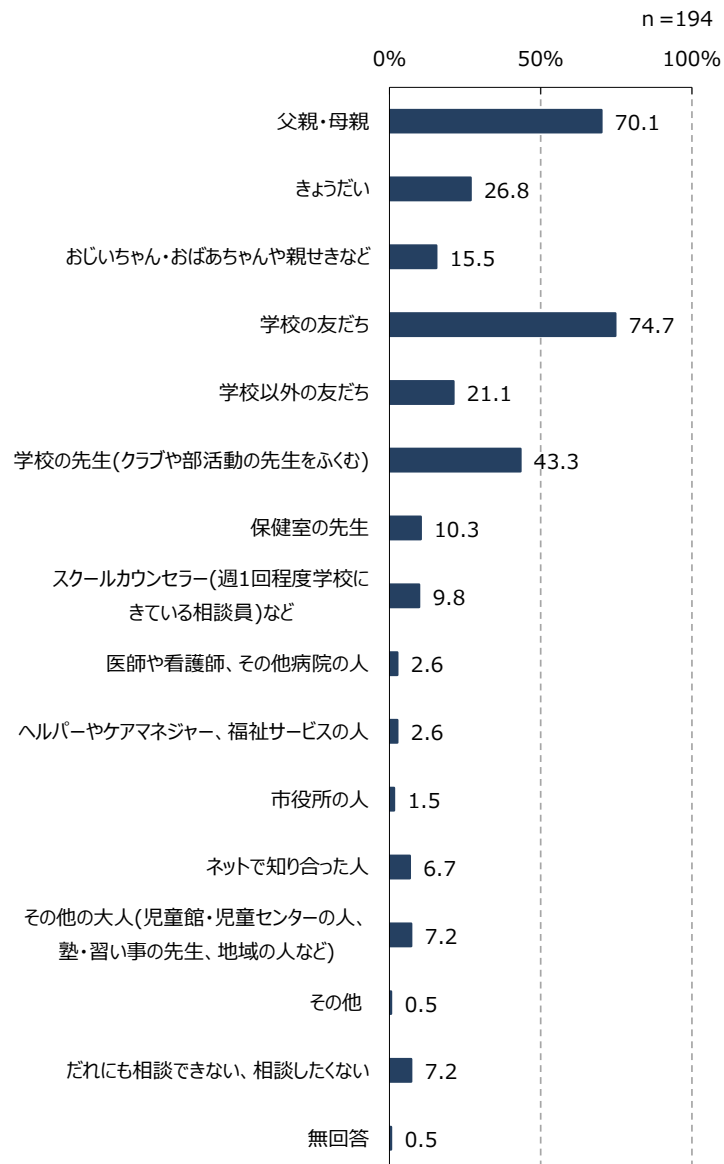


あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。

(中2・問19)(複数回答)

中学2年生では、「学校の友だち」が74.7%と最も多く、次いで「父親・母親」が70.1%、「学校の先生(クラブや部活動の先生をふくむ)」が43.3%、「きょうだい」が26.8%、「学校以外の友だち」が21.1%となっています。

中学2年生子ども



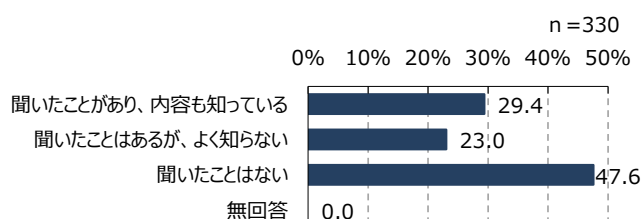
(6) ヤングケアラーについて

「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありますか。(小5・問17／中2・問20)

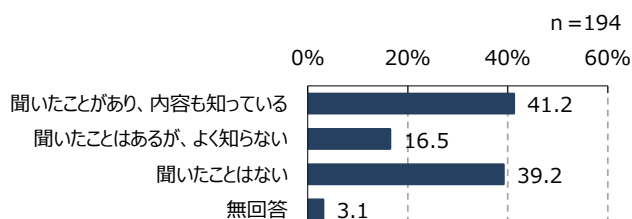
小学5年生では、「聞いたことはない」が47.6%と最も多く、次いで「聞いたことがあります、内容も知っている」が29.4%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が23.0%となっています。

中学2年生では、「聞いたことがあります、内容も知っている」が41.2%と最も多く、次いで「聞いたことはない」が39.2%、「聞いたことはあるが、よく知らない」が16.5%となっています。

小学5年生子ども



中学2年生子ども

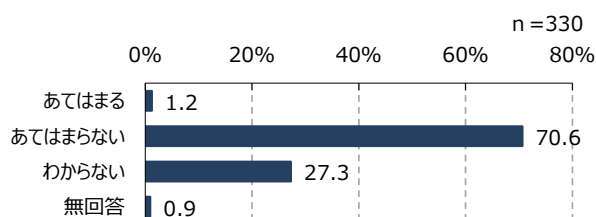


あなたは自身「ヤングケアラー」にあてはまると感じますか。(小5・問18／中2・問21)

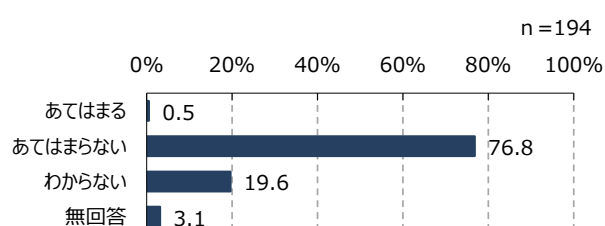
小学5年生では、「あてはまらない」が70.6%と最も多く、次いで「わからない」が27.3%、「あてはまる」が1.2%となっています。

中学2年生では、「あてはまらない」が76.8%と最も多く、次いで「わからない」が19.6%、「あてはまる」が0.5%となっています。

小学5年生子ども



中学2年生子ども



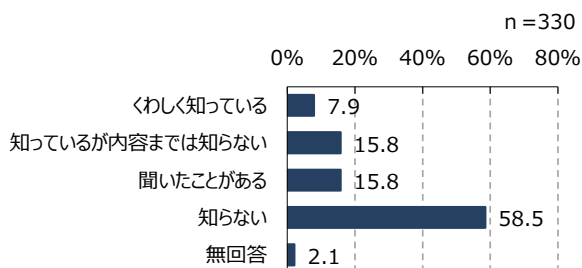
(7) 子どもの権利のことについて

あなたは「子どもの権利条約」について知っていますか。(小5・問19／中2・問22)

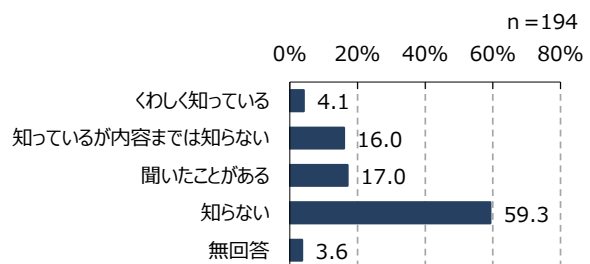
小学5年生では、「知らない」が58.5%と最も多く、次いで「知っているが内容までは知らない」が15.8%、「聞いたことがある」が15.8%、「くわしく知っている」が7.9%となっています。

中学2年生では、「知らない」が59.3%と最も多く、次いで「聞いたことがある」が17.0%、「知っているが内容までは知らない」が16.0%、「くわしく知っている」が4.1%となっています。

小学5年生子ども



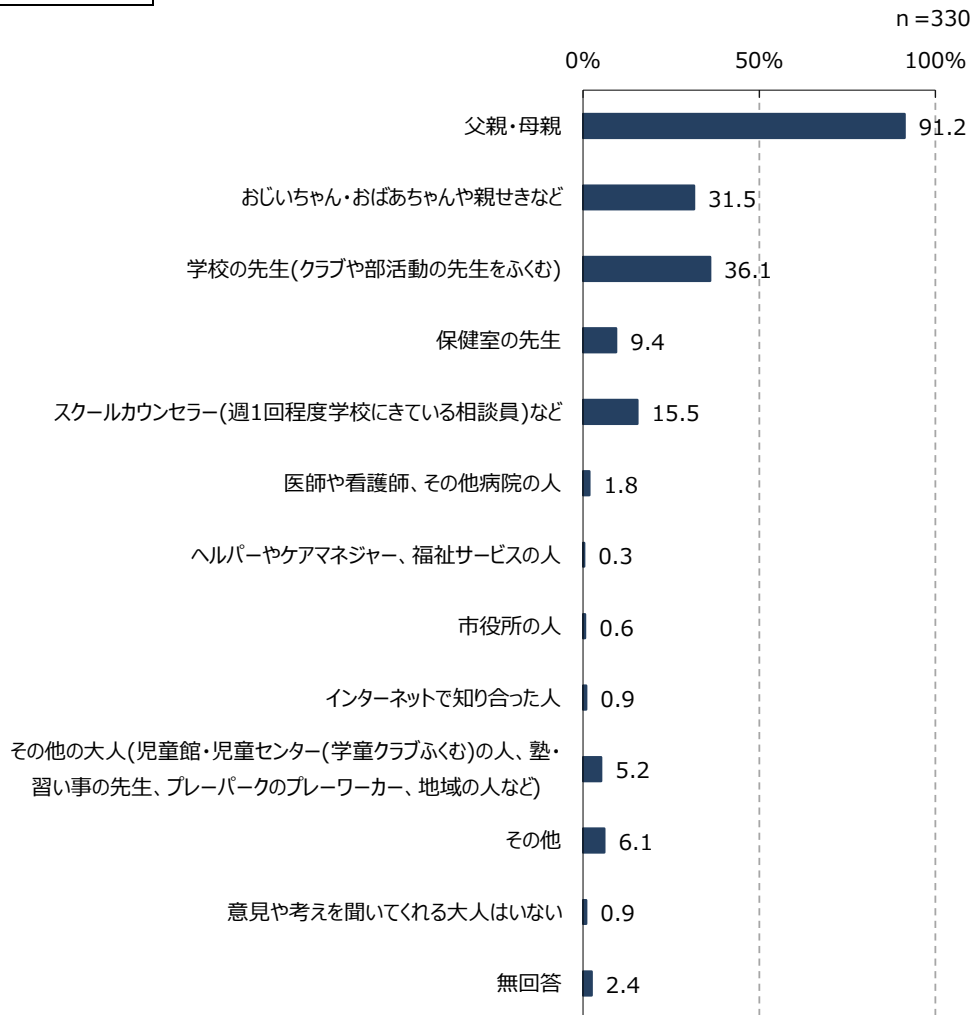
中学2年生子ども



あなたのまわりの大人で、あなたの意見や考えを一番聞いてくれるのはだれですか。(小5・問20)
(複数回答)

小学5年生では、「父親・母親」が91.2%と最も多く、次いで「学校の先生(クラブや部活動の先生をふくむ)」が36.1%、「おじいちゃん・おばあちゃんや親せきなど」が31.5%、「スクールカウンセラー(週1回程度学校にきている相談員)など」が15.5%、「保健室の先生」が9.4%となっています。

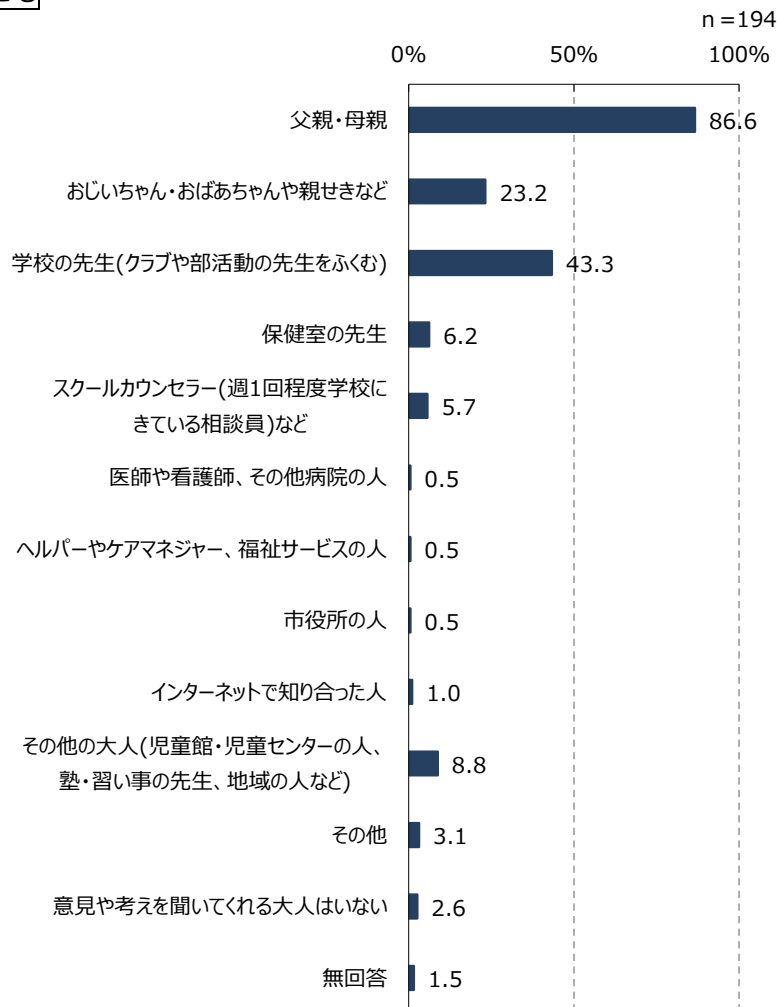
小学5年生子ども



あなたのまわりの大人で、あなたの意見や考えを一番聞いてくれるのはだれですか。(中2・問23)
(複数回答)

「父親・母親」が86.6%と最も多く、次いで「学校の先生(クラブや部活動の先生をふくむ)」が43.3%、「おじいちゃん・おばあちゃんや親せきなど」が23.2%、「その他の大人(児童館・児童センターの人、塾・習い事の先生、地域の人など)」が8.8%、「保健室の先生」が6.2%となっています。

中学2年生子ども



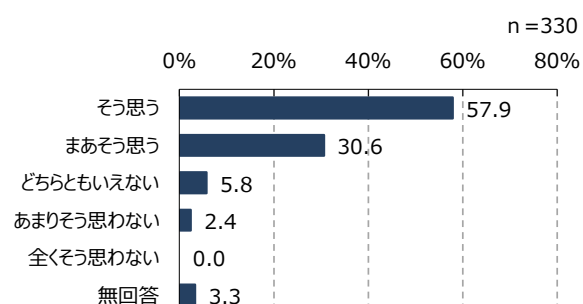
自分の意見や考えは、まわりの大人にきちんと聞いてもらえていると思いますか。

(小5・問21／中2・問24)

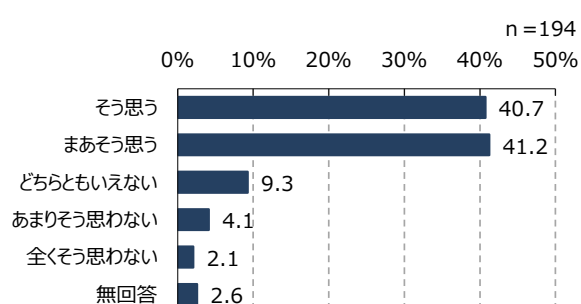
小学5年生では、「そう思う」が57.9%と最も多く、次いで「まあそう思う」が30.6%、「どちらともいえない」が5.8%、「あまりそう思わない」が2.4%となっています。

中学2年生では、「まあそう思う」が41.2%と最も多く、次いで「そう思う」が40.7%、「どちらともいえない」が9.3%、「あまりそう思わない」が4.1%、「全くそう思わない」が2.1%となっています。

小学5年生子ども



中学2年生子ども



(8) 支援サービスの利用意向について

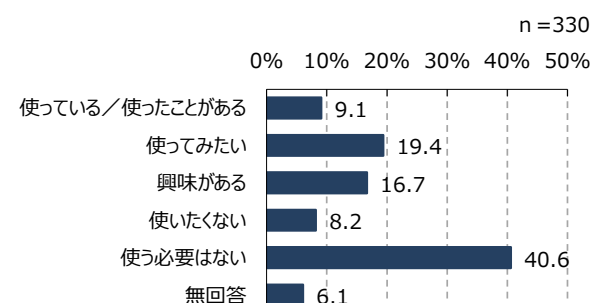
あなたは、以下のような場所があれば使ってみたいと思いますか。(小5・問22／中2・問25)

A(家以外で)平日の放課後に夜までいることができる場所

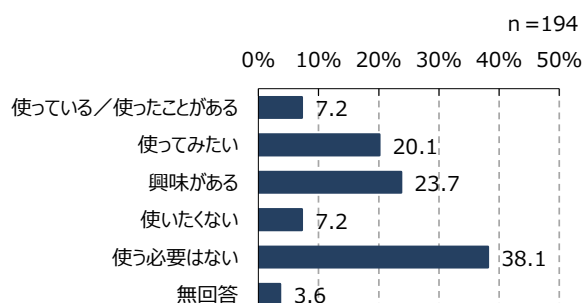
小学5年生では、「使う必要はない」が40.6%と最も多く、次いで「使ってみたい」が19.4%、「興味がある」が16.7%、「使っている／使ったことがある」が9.1%、「使いたくない」が8.2%となっています。

中学2年生では、「使う必要はない」が38.1%と最も多く、次いで「興味がある」が23.7%、「使ってみたい」が20.1%、「使っている／使ったことがある」、「使いたくない」が7.2%となっています。

小学5年生子ども



中学2年生子ども

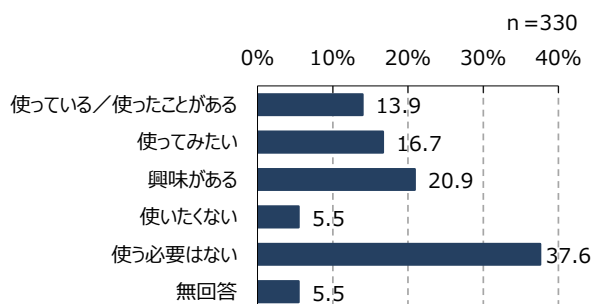


B(家以外で)休日にいることができる場所

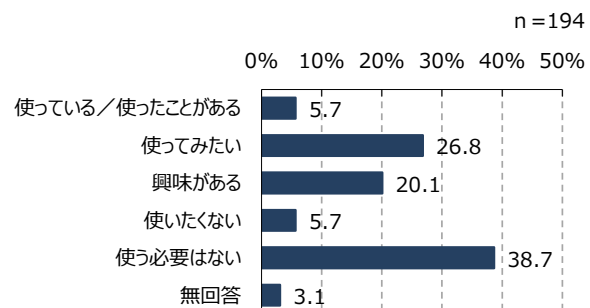
小学5年生では、「使う必要はない」が37.6%と最も多く、次いで「興味がある」が20.9%、「使ってみたい」が16.7%、「使っている／使ったことがある」が13.9%、「使いたくない」が5.5%となっています。

中学2年生では、「使う必要はない」が38.7%と最も多く、次いで「使ってみたい」が26.8%、「興味がある」が20.1%、「使っている／使ったことがある」が5.7%、「使いたくない」が5.7%となっています。

小学5年生子ども



中学2年生子ども

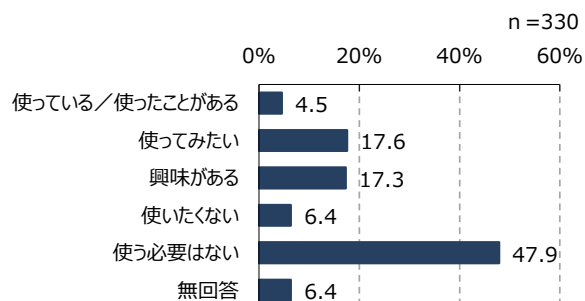


C家の人がないとき、夕ごはんをみんなで食べることができる場所

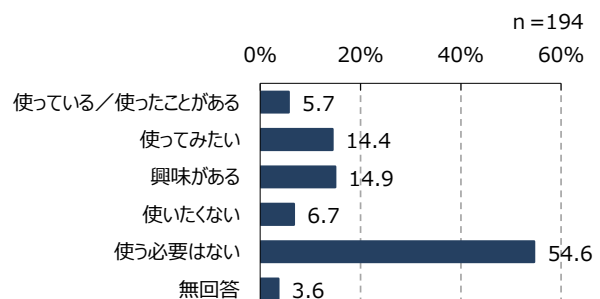
小学5年生では、「使う必要はない」が47.9%と最も多く、次いで「使ってみたい」が17.6%、「興味がある」が17.3%、「使いたくない」が6.4%、「使っている／使ったことがある」が4.5%となっています。

中学2年生では、「使う必要はない」が54.6%と最も多く、次いで「興味がある」が14.9%、「使ってみたい」が14.4%、「使いたくない」が6.7%、「使っている／使ったことがある」が5.7%となっています。

小学5年生子ども



中学2年生子ども

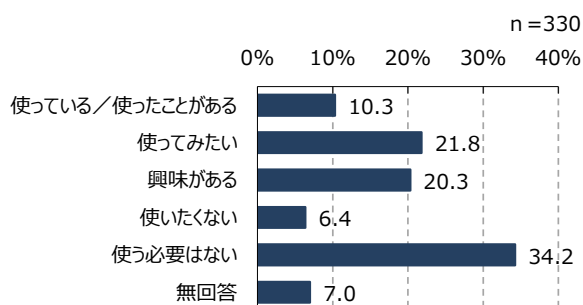


D家で勉強できないとき、静かに勉強ができる場所

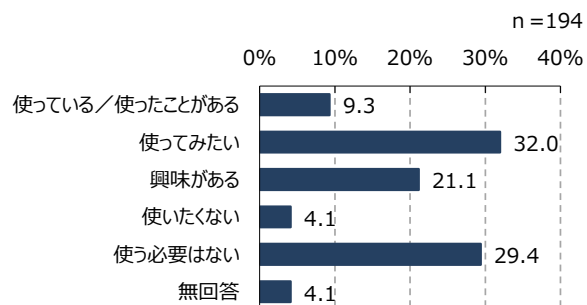
小学5年生では、「使う必要はない」が34.2%と最も多く、次いで「使ってみたい」が21.8%、「興味がある」が20.3%、「使っている／使ったことがある」が10.3%、「使いたくない」が6.4%となっています。

中学2年生では、「使ってみたい」が32.0%と最も多く、次いで「使う必要はない」が29.4%、「興味がある」が21.1%、「使っている／使ったことがある」が9.3%、「使いたくない」が4.1%となっています。

小学5年生子ども



中学2年生子ども

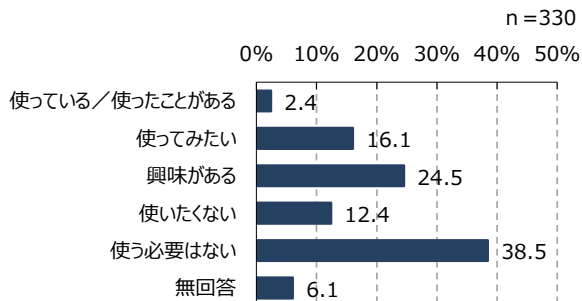


E大学生のボランティアが、勉強を無料でみてくれる場所

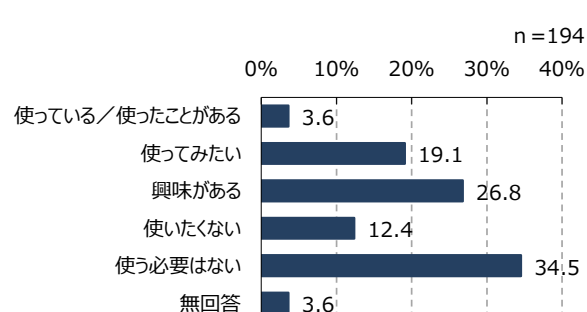
小学5年生では、「使う必要はない」が38.5%と最も多く、次いで「興味がある」が24.5%、「使ってみたい」が16.1%、「使いたくない」が12.4%、「使っている／使ったことがある」が2.4%となっています。

中学2年生では、「使う必要はない」が34.5%と最も多く、次いで「興味がある」が26.8%、「使ってみたい」が19.1%、「使いたくない」が12.4%、「使っている／使ったことがある」が3.6%となっています。

小学5年生子ども



中学2年生子ども

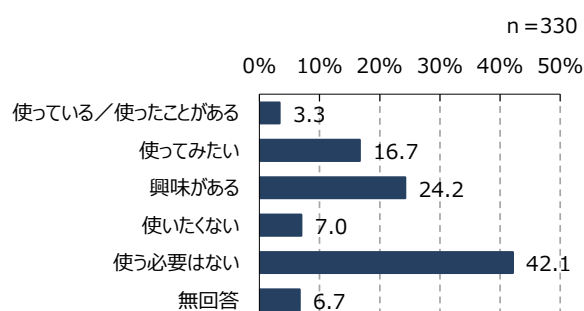


F(学校以外で)勉強、進学、家族のことなど、何でも相談できる場所

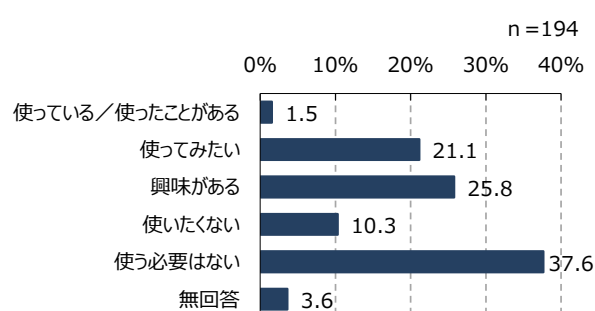
小学5年生では、「使う必要はない」が42.1%と最も多く、次いで「興味がある」が24.2%、「使ってみたい」が16.7%、「使いたくない」が7.0%、「使っている／使ったことがある」が3.3%となっています。

中学2年生では、「使う必要はない」が37.6%と最も多く、次いで「興味がある」が25.8%、「使ってみたい」が21.1%、「使いたくない」が10.3%、「使っている／使ったことがある」が1.5%となっています。

小学5年生子ども



中学2年生子ども

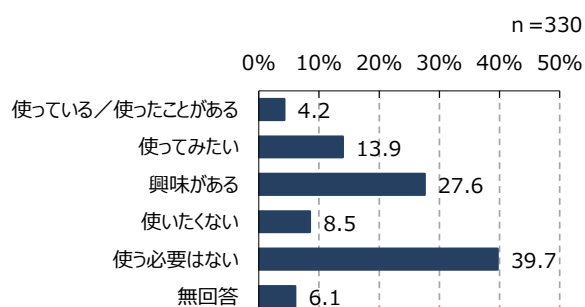


G子どもに寄りそう人がいる居場所

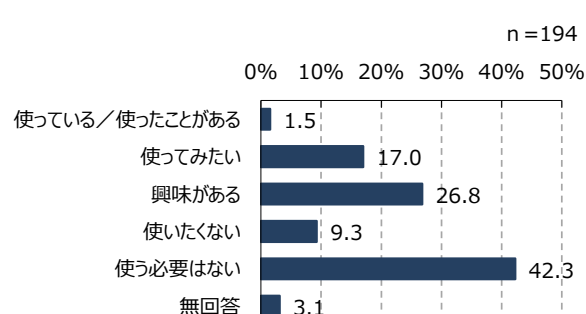
小学5年生では、「使う必要はない」が39.7%と最も多く、次いで「興味がある」が27.6%、「使ってみたい」が13.9%、「使いたくない」が8.5%、「使っている／使ったことがある」が4.2%となっています。

中学2年生では、「使う必要はない」が42.3%と最も多く、次いで「興味がある」が26.8%、「使ってみたい」が17.0%、「使いたくない」が9.3%、「使っている／使ったことがある」が1.5%となっています。

小学5年生子ども



中学2年生子ども

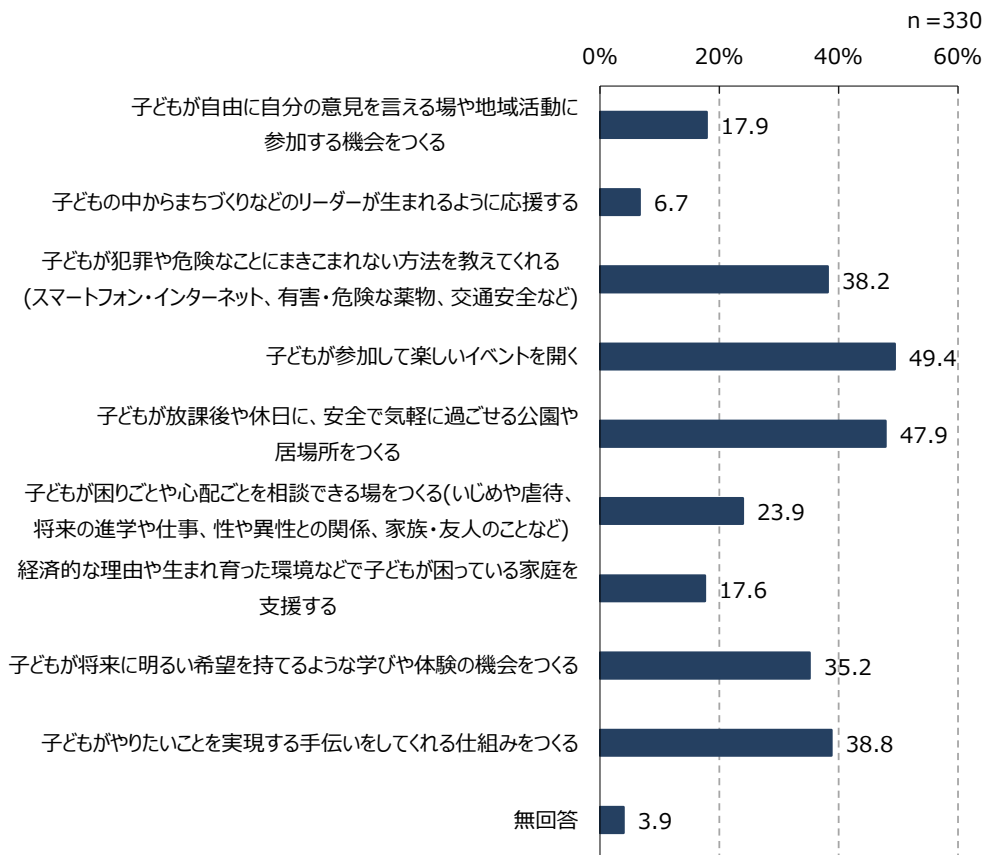


あなたは、狛江市が、子どもについてどのような取り組みを進めてくれるとよいと思いますか。

(小5・問23)(複数回答)

小学5年生では、「子どもが参加して楽しいイベントを開く」が49.4%と最も多く、次いで「子どもが放課後や休日に、安全で気軽に過ごせる公園や居場所をつくる」が47.9%、「子どもがやりたいことを実現する手伝いをしてくれる仕組みをつくる」が38.8%、「子どもが犯罪や危険なことにまきこまれない方法を教えてくれる(スマートフォン・インターネット、有害・危険な薬物、交通安全など)」が38.2%、「子どもが将来に明るい希望を持てるような学びや体験の機会をつくる」が35.2%となっています。

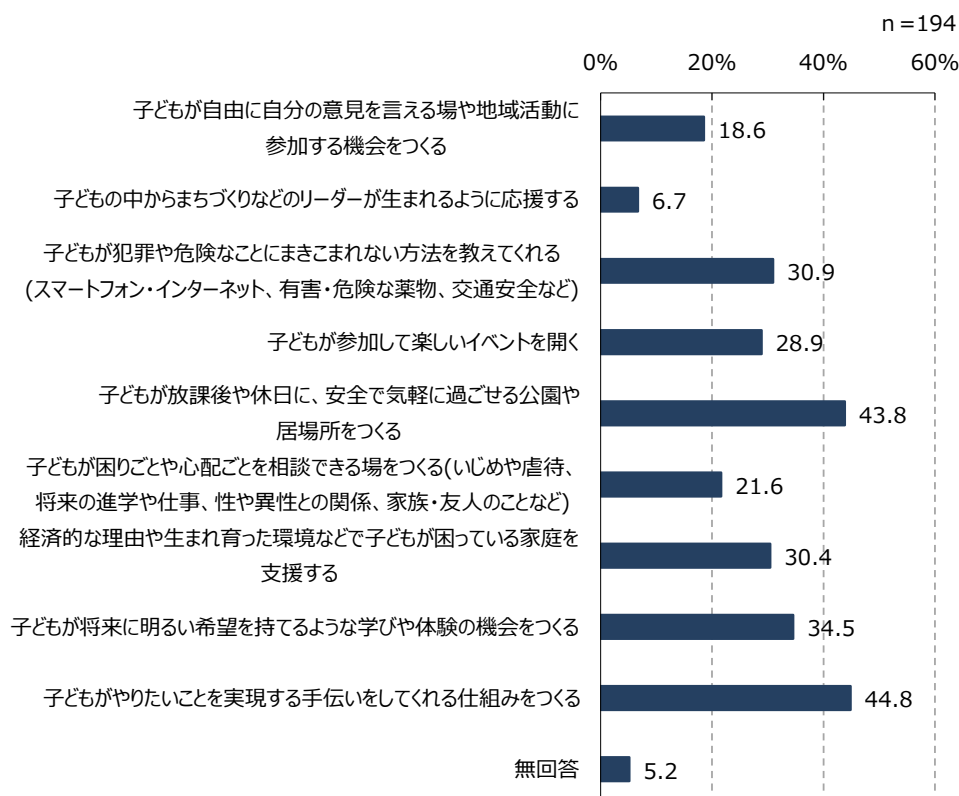
小学5年生子ども



あなたは、狛江市が、子どもについてどのような取り組みを進めてくれるとよいと思いますか。
(中2・問26)(複数回答)

中学2年生では、「子どもがやりたいことを実現する手伝いをしてくれる仕組みをつくる」が44.8%と最も多く、次いで「子どもが放課後や休日に、安全で気軽に過ごせる公園や居場所をつくる」が43.8%、「子どもが将来に明るい希望を持てるような学びや体験の機会をつくる」が34.5%、「子どもが犯罪や危険なことにまきこまれない方法を教えてくれる(スマートフォン・インターネット、有害・危険な薬物、交通安全など)」が30.9%、「経済的な理由や生まれ育った環境などで子どもが困っている家庭を支援する」が30.4%となっています。

中学2年生子ども



狛江市子どもの生活実態調査

自由記入設問 記述（全文）

自由意見は記入された方の意図がそのまま伝わるよう、可能な限り原文を尊重して掲載していますが、明らかな誤字・脱字と思われる字句は修正しています。

また、本アンケートの趣旨と異なるものや、個人(団体)が特定できる記述、誹謗・中傷等は削除しています。

▼保護者アンケート

問 31 あなたが狛江市に期待することなどがありましたら、ご自由にお書きください。

行政や子育て施策について

【小学生保護者】

- 18歳までの医療費無料にしてほしいです。
- 18歳未満の子どもの医療費の軽減（年収制限なしで）。
- 子育て支援の拡充（給食費無料等）物価は上昇したが、給料が増えず、生活が厳しいため。市立図書館の拡充（書店の閉店が続き、遂になくなってしまったため。）
- LINEを活用しているので、さらなるデジタル化、DXの推進を進めてほしい。小さな自治体だからこそ、デジタル化と子どもに優しい自治体であることをフットワーク軽くやってもらえると思うので期待しています。
- あまり知られていない地域なので、もう少しこうしたことを生かし、子どもにやさしい地域であるなどアピールし、ハルナだけではない方法を考えて広めてほしい。PayPayの20%還元などをしてほしい。商品券はどうなったか？（狛江市の、今年はないのか？）世田谷区のようにゴミ袋を無料又はもう少し安くしてほしい。
- インフルエンザワクチン助成を小中学生まで広げてほしい。
- エコルマホールで保護者が音楽会を見に行けないのに、市の人が仕事で見に行くシステムは見直すべきでは？入学式、卒業式、体育祭も来賓の人がゆっくり良い場所で見ているが、本当に見たいのは家族ではないですか？子どもの学校生活をいつも見られない保護者と大きくなっていく子どもとのその瞬間の思い出の共有ができないことが残念。
- このアンケートに回答する家庭は、それほど困っていない、ある程度生活に余裕のあるご家庭なのではないでしょうか。（或いは、困窮を極めすぎているか）回答の無い層の声を拾う仕組みもあると良いのかなと思いました。既にある場合にはご放念下さい。
- ゴミ袋を無料にしてほしい。できないのであれば、もう少し安くしてほしい。病児保育ができる施設を増やしてほしい。
- コロナが終わってからも学校に何となく行けない子、行きたくない子が多い気がします。自分の子どももしそうになったら、受けられるサポートはあるのか、具体的な事はあまりわかりません。どんなところでサポートが受けられるのか、広く告知して頂きたいです。
- ひまわり・くすの木の環境をもう少し充実させていただきたい。特に先生方の負担は多く、受けもちの子どもを長く見てもらえるように、先生方の働きやすい人数、対応など考えていただきたい。（先生方が安心して働けたら、子どもたちにも幸せが伝わり良い場所になる）今もとても良くしていただいて感謝でいっぱいです。
- ボランティアアナースのような、地域の人をつなぐような（出雲市でやっているようなとりくみ）取り組みをしてほしい。
- 医療費助成制度を中学生も所得制限をなしにしてほしいです。

- 一年中利用できるプールがあるとうれしいです。これまで妊娠、出産、育児、離婚、退職など様々な場面がありましたが、困った時に話を聞いてくださったり、弁護士さんとつなげてくださったり、フードバンクにつなげてもらえて食いつなげたり、今現在も市役所の窓口で助けてもらえて一人じゃなくやってこれています。本当にありがとうございます。
- 学童保育所の拡充、希望者は入所可能な状況を望みます。子ども医療費の対象を高校生まで広げる。インフルエンザ費用の（一部）助成。小学校の校庭にバスケットゴールの設置。
- 給食費の無償化を一律にお願いできたら、すべての子が気兼ねなく、たくさん食べられると思います。
- 給食費を無償化にして欲しい。→子どもと旅行や遊園地へ連れて行くお金にあてたいです。あと塾代にもあてたいです。
- 給食費を無料にしてほしい。一人親の所得制限をなくしてほしい。
- 給食費無償化。マイナンバーカード活用の教室。高齢化、免許証返納によってタクシーの活用、スマホをつかったタクシーを呼ぶなどの講座。SNS の講座。
- 給食費無償化、高校生までの医療費無料化の実現をお願い致します。
- 給食費無償化。
- 給食費無料化 給食を学校内で作って欲しい（中学）。高校も無償化になって欲しい。医療費を中学生も無償化になって欲しい。中学校の部活をもう少しバリエーションを増やして欲しい。ゴミ袋を無料にして欲しい。
- 高校まで医療費の助成して頂けると助かります。（所得制限なく）。
- 高校生までの医療費助成制度にして欲しい。ゴミ袋を無料の物にするか、安くして欲しい。
- 高校生までの医療費無償化（所得制限なし）、駐輪場の無償化（子どもだけでもフリーパスになると助かります）。
- 高齢者ではなく、子どもの為の政策を考えてほしい。
- 高齢者福祉に力を入れすぎて、予算やマンパワーが他の分野でおろそかにならないようにしてほしいです。
- 狛江市では中学生になると、医療費が所得制限有りになり3割負担を強いられます。税金等で支払いが多く決して豊かではありません。子どもに関する制度に所得制限を設けるのはやめて頂きたいです。
- 狛江市のHPの改善（見づらい、わかりづらい）。ゴミ袋の形（サイズ感を）を以前のものと同じにしてほしい（以前はたて長で、今は横に広い）。・もう小さい公園はいらない（正直、とんぼ公園以外にあまり人がいないと思う。敷地があるのなら、施設をつくってほしい（テニスコート、バスケットのコート、スケートボードやBMXができるようなパークなど）。
- 狛江市内小中学校全員の給食無償化。（子どもがいる全世帯に）物価高で子どもの為の狛江市からの助成金制度があると助かります。子どもに対する政策が狛江市は以前よりも減少していると思います。高齢者ばかりでなく子どもが喜ぶ政策をして欲しいです。（おさんぽすごろくなど）医療費（インフルエンザ等の予防接種）などの助成

金制度等。

- 子ども・子育て家庭への支援として、給食費の無償化を進めて頂けたらと思います。
- 子どもたちが心身ともに健やかに育つよう、ハード面、ソフト面両方からの支援をしていただけるよう、お願いしたいです。具体的には18歳までの医療費補助、給食費への補助、また治安が良く、子どもたちへの悪い影響が少ない街づくりがされるとありがたいなと思っています。
- 子どもに関する制度の所得制限を無くしてほしい。所得税、固定資産税等は納税しているし、教育や習い事にたくさんお金を使っています。平等に子育て支援はしてほしい。
- 子どもの医療費を23区同様に18歳まで無料にしてください。子どもが住みやすい街になっていないと感じます。
- 子どもの医療費を高校卒業までは200円にしてもらいたい。眼科・ヒフ科を増やしてほしい。給食費無料化にしてほしい。駅前の駐輪場を増やしてほしい。
- 子どもの教育について、親の経済の有無に関係なく、自身が希望する教育を受けることが可能であること。就学前に子ども園に通ったが、無認可だったため、市役所に相談したが補助を受けることができませんでした。子どもに合った教育を選んだにもかかわらず、市民としての権利を受けることができず、とても残念でしたし、不信感がわきました。
- 子どもの手当ての親の収入制限をやめてほしい。
- 子どもの遊び場所がわりとたくさんあるので有難いです。わがままではありますが、もう少しあるとうれしいです。昔、ワンオペ孤育て中に、児童館のスタッフさんに助けをもらい、狛江の様々な子育て支援につなげて頂いたことがありました。必要な時に必要なお声かけや手助けをして頂いたと思っています。こういったスタッフの方々が生き生きと働いて、子育て支援が続いていくことを願っております。
- 子育てで悩んでいる時に相談できる窓口。子どもから大人まで楽しめるイベント。医療機関の充実。
- 子育て支援の施策に所得制限をつけないで欲しいです。友人内で、微妙な空気になります。（医療証など）。
- 子どもにかかる費用の負担を減らしたい。支援などの制度について所得や収入の制限を無くしてほしい。
- 子どもに対しての所得制限は一斉廃止してほしい。医療費については、補助されている人はジェネリックではない先発品で補助されない私の子どもはジェネリック薬品を選ぶということの矛盾を感じていました。（薬局でも言われます）※今は小学生はみんな200円なので助かっていますが、中学生からはまたこの矛盾を感じるのか。またコロナの10万円の補助の際も特段お金の余裕のある生活ではないのに受けとれず、子どもの生活に差をつけるのはおかしい。
- 子どもの医療費などの所得制限の見直しや撤廃を期待します。
- 子どもの医療費を23区同等に中学生（もしくは高校生）まで所得制限なしで無償にさせていただきたいです。23区に比べると子どもに対するサービスが劣っているのが気になり、新たに引っ越してくるのをためらう方もいらっしゃるのではないかと思います。

ます。

- 子どもの医療費を高校生まで所得制限なしで無料にしてください。東京都内でほとんどの市区が無料になっているのに、狛江市だけ所得制限があるのは残念ですし、改善されないなら引越を検討します。
- 市長にもっと市民の声を聴いてほしい。
- 市役所まで足をはこんでわざわざ相談しようとするのはハードルが高いので、市民まつりや駅周辺などで開催されるイベントなどで、ちょっとしたことでも話を聞いてもらえるブースが設けてあると、気軽に相談したり、日常生活に忙殺されて、悩みも悩みと自分自身でさえ認識できていない時もあり、気持ちが整理されて、落ちつくこともあるのではと思いました。
- 時流のため子どもの将来に不安があります。一人で自立していけるような力を育てる施策をお願いします。自分に自信をつける、長期的な視点だけでなく、例えば数年後のイメージができるような中・高・大生とも意見交換や話が聞ける機会、学校以外での学びの場など。
- 所得制限なしで、中学3年までできれば高校卒業まで23区と同様に、医療費を無料にしてほしい。給食費も所得制限なしで無償化にしてほしい。
- 所得制限なしに子どもたちにかかわる医療、支援、教育などの拡充を期待します。
- 小学生の医療費を無料にしてほしい。小学校の教室のエアコンの点検をしてほしい（子の教室が夏場34°Cでエアコンをつけても暑すぎた、早急に対応を願います）。道がせますぎる。
- 全ての子どもに衣食住を与えられるような制度作り。また、親が経済的に困窮している家庭の子は何か困った事があっても、親に相談できない（親に迷惑をかけたくない、時間がない等で）子どもも多いと思うのでその様な子どもの声を受け取れる身近な場所、（役所？学校の先生？）があって、本当の子どもの困ってる声が、周りに届くような制度があればいいと思います。
- 中央市民センターを早く新しく改修してほしいです。（図書館も）。
- 調布市が行っている高校生等医療助成制度を狛江市でも検討して頂きたいです。
- 福祉、教育、希望するが受けられない。窓口冷たい。税が苦しい。助けて。
- 保育園、学校、学童、児童館への指導や支援補助が結果的に子どもの生活を豊かにすることにつながります。又、先生方の研修など知識をアップデートできるようにしていただきたいです。市のリードを期待しています。
- 夕方など子どもたちの安全のために見守りなどして頂けるとうれしいです。
- 高額納税者（住民税）のごみ袋の配布などの優遇。
- 市民税やゴミ袋などどんなことでも良いので財政を良くしてほしい。とくにゴミ袋は周りの市町村に比べても高い。以前は私立幼稚園の補助金の間違いにより、返金までさせられた。信じられない事であり、とても不信感が残っている。
- 学童保育の充実など共働き家庭が安心して子育てすることができる環境の充実。

【中学生保護者】

- アトピーや喘息で毎月病院を受診しています。高校生になっても医療費が安くなるといいなと思います。
- ゴミ袋無料。医療費無償化。
- トイレが無い公園が多いので、もっと増やして欲しい。
- 以前、経済的にかなり困窮しており、市役所やあいとぴあセンターに相談に行きましたが、全く手をかしてもらえなかった、あの時は本当に行政はあてにならないと勉強になって、その後、行く事はなく自力でどうにかした。本当に、口だけでなにもしてくれない。
- 医療費の助成を高校生（18才まで）延長してほしい。
- 医療費は年収制限ないことを期待します。
- 医療費を無償化して欲しい（高校生まで無料の地域が多い。近隣で小学生からお金がかかるのは狛江市だけです。なぜ?）。所得制限のない子育て支援をして欲しい。小学校から私立に入れ、教育に力を入れている。税金の負担が重く、家計はきびしい。もっと子どもが欲しかったが、しっかりした教育を受けさせるには1人が経済的に限界であきらめた。
- 学校に合わない子もいますので不登校対策をおねがいします。校長もよくわかってないのかなと思いました。ICTの利用など。
- 希望すれば誰でも学童+保育園に入れるように。中学生以下の医療費を無料化してほしい。
- 給食費無償化、高校生までの医療費無料化、の実現をお願いします。
- 給食無料化 ・中学校部活動の種類の実施 ・大型書店の誘致又は図書館の拡充 ・長期休暇中の子どもの勉強やスポーツが無料又は割安で利用できる施設、児童館では勉強できない。カフェ利用は良い取り組みだと思うが、店舗が少なすぎて使いづらいため。
- 経済的な理由や家庭環境などで、子どもの学習の機会や最低限の生活が奪われる事はあってはならない。教育は国力を高めるために重要であるのに、その責任は国や自治体ではなく、家庭に大きく委ねられているように感じる。家庭の負担が大きい。親の状況にかかわらず、全ての子どもに平等に支援やサービスを提供して欲しい。また情報の格差で必要な支援を受けられない事もあるため、学校など身近な場所に相談窓口を設ける事が良いと思う。子どもたちが明るい未来を描けるような、支援の実施をお願いします。
- 高校の無償化 ・医療費の無償化 ・悪路の補修工事 ・音楽の街（ジャンル・イベント）の実施 ・使っていない施設、スペースの有効活用 ・映画館を作してほしい。
- 高校生までの所得制限なしの医療費無償化。 ・医療機関は土曜日午後まで診療してほしい。 ・図書館の開館時間の延長（21:00 ごろまで）。
- 高校生まで医療費無料。
- 昨年の質問が多かったので振り返ると（私は実家にいる時から家族の病気に関わるケアや家事をしていた）そして又、父母の為に実家と狛江を往復する事が増え、交通費、その他プライベートな時間を持つ事が子どもの受験も有り難しかった上、費用が掛か

り、育児の支援もありがたいが、認知症や精神病への支援が受けられない事が厳しかったです。認定されたものについては、低所得世帯は証明すれば援助が受けれる等、助けがあると精神的な負担は違っていたと思います。育児も大事ですが高齢化社会への取り組み、自身も年を取ると不安に感じます。子どもたちを不安にさせない社会作り、期待します。又、自転車講習、ぜひ高齢者や育児世帯、相互で事故が起きない様取り組みに期待します。

- 子育て世帯への手当をもっと充実させてほしい。（ゴミ袋の無償提供を小→中にする。医療費無償化など）。
- 子どもの支援は、中・高生の方がいろいろお金がかかるのもう少し考えて下さい。（調査するんだから早急にやれることはやって下さい）中学生のタブレットにお金かけられませんか？学校のWiFi環境が悪いとか言いわけはிரない環境をよくして予算がないなら、無駄なものたくさんありますよね。市役所で書類渡しにいてもえらそうに座っている仕事してなさそうな中年男性こんな方たちに給料払うぐらいなら子どものために使ってください。
- 子どもの発達のために0~13才までに幼稚園保育園でとにかく体を使って遊ばせてほしい。先生・保育士さんの待遇を良くしてほしい。
- 図書館など、公園、カフェなどの施設。
- 図書館の本が少ないのもっと充実してほしい。自習室がもっとあるとよいです。
- 図書館の本を充実させて欲しい。中央図書館を今の場所から変えないでほしい。・子どもの医療費を高校卒業まで所得制限無く無料にしてほしい。
- 図書館をもっと充実させてほしい。
- 世田谷区との差を感じます。給食費、インフルエンザワクチン助成金、医療費等々。子育て世代に強い狛江市になってもらえると嬉しい限りです。
- 先生方の働き方改革。・郷土愛を育む教育。・子育て世帯への助成（所得制限なし）。
- 中学生・高校生の医療費助成制度の受給資格の所得制限を撤廃してください。
- 中学生までの医療費について 所得制限を撤廃し、子医療証を使えるようにしてほしい。インフルエンザ予防接種の助成 例えば、受験生の小6、中3の時だけは助成としてほしい。
- 不登校の子どもや世帯に対する、教育施設や援助を充実させていただけるとありがたいです。学び方の自由を広がっているため、学校外でタブレット学習ができる環境や給食に代わる昼食（子ども食堂的なもの）があると、経済的にも親の精神的にも救いになります。ご検討いただくと幸いです。
- 保育園と学童の待機児童を0にする。
- 母親1人に、育児と両親の介護が重なると、夫も仕事を休んで対応（手伝って）くれますが、夫も都合がわるいときもあります。公的なサービスを使って楽にしのげるとよいと思います。
- 路上に座ってたむろしていたり、夜遅い時間に子ども同士で遊んでいる子たちを時々見かけます。地元の人のパトロールなどで声かけできる環境があるといいなと思います。事情があってひとりの時間が長い子どもたちが気軽に立ち寄れる場所を公民館み

たいな施設を開放するなどして作れたら素敵ではないでしょうか。こども食堂など民間の取り組みだけでなく、行政が率先して子どもたちを守る仕組みを整備して頂けたらありがたいです。とはいえ狛江の子どもたちは挨拶もできて健やかな子たちが多いと感じます。地域で子どもたちを守っていけるまちづくりを引き続きお願い致します。

- 年収が多くとも、子ども医療費などの自己負担を少しでもなくせる減らせるとよいと思う。3人子どもがいるので。
- 図書館を広く、蔵書も増やして充実させてほしい。施設もきれいに。難しければ近隣の武蔵野市などと連携して利用できるようにしてほしい。

子どもの居場所について

【小学生保護者】

- 公園で声を出すこともボール遊びをすることも大人にとまれて自由にできない子どもたちです。（今の時代、大人と老人の心がせまいと感じます。）そこへきて学校の体育が充分でないと感じます。（特にプールは何回入れたかわかりません）習い事はできる家庭とできない家庭があります。子どもたちの運動能力向上を図ってほしいです。
- どんな家庭の子どもも平等に経験できるように、公共の事業は無料で受けられるとよい。公園でサッカーなどボール遊びが禁止されています。子どもが好きな時に自由にサッカーや野球などスポーツをできる場所が欲しい。（ミランダ公園はフェンスが低すぎて、ご近所さんに注意されるので、なかなか遊べません。）
- ボールで遊べる公園を増やしてほしい。高学年の子が放課後に遊べる場所を増やしてほしい（学童、児童館には行きたがらない）。定食屋さんがほしい。室内プレイランドがほしい。プールを冬はスケートリンクにしてほしい。
- ボールを使える公園を作してほしい。
- ボール遊びが出来る公園が欲しいです。
- マンションが沢山増えているが、その受け皿となる公園や小学校が少ないのでは？と…子どもが通う小学校はもうパンパンで、空き教室がないと聞きました。全国的には少子化ですが狛江市は人気も上がっている？ようですし、子どもの数は多いのでしょうか？子どもの自由な居場所や学校内のゆとりがあるといいなと思います。
- 安心・安全に暮らせる町作り。防犯カメラの設置数を増やして欲しい。子どもも大人も球技がのびのび出来るスペースを作って欲しい。将来、MLB、NBAなどで活躍できる可能性がある子どもたちが狛江市から現れるかもしれません。学校の放課後に勉強教室があると、とてもありがたいです。
- 屋内プールを作ってほしい。子どもが無料で学べる場を増やしてほしい。（子どもたちが学びたいものを選択できたり）プログラミング、英会話、アートなど（できれば大人も）。
- 学校以外で子どもたちが集まれる場所（そういう場所がないため、いつもマンションの遊べるスペースにマンション以外の子どもたちが集まっている）。運動ができる場

所。室内プール。

- 中学生が勉強できたり、集まれるスペースを増やしてほしいです。→空いている公民館のフリースペースを増やしてほしい。
- 公園が、幼児向けのものばかりなので、高学年や大人もすごしやすい場所を考えて作ってほしい。
- 公園の数は多いが、狭く、ボール遊びなどで思いきり遊べる場所がないので、市民グラウンドなど開放してほしい。図書館が狭く、蔵書数も少ないので、もっと充実させてほしい。
- 公園の整備。ブランコが少ない。住民の保養所があると嬉しい。
- 公園をつくってほしい。
- 子どもが「外でボールあそびがしたいのにする場所が少ない。だから家でゲームをする」と言います。ボールあそびができる公園があれば（増えれば）嬉しいです。
- 子どもがのびのびと遊べる広場公園をもっと増して欲しい（ボール遊び、キャッチボール、サッカーなど）。野球のグラウンドを作ってください。
- 子どもが安心して遊べる場所を確保してほしい。公園や児童館の充実。多摩川住宅二号棟の建て替えに伴い公園はどうなる？中央図書館をわけないでほしい。大人と子どもが一つの空間でつながれる図書館にしてほしい。給食費全員無償化を実現してほしい。保健所がないため、あいとぴあセンターがそのかわりを担っているが、コロナの際に困った。きちんと機能する機関の充実を希望します。
- 子どもの遊べる広い公園がない。ボール遊びできる公園がもっとほしい。プレーパークがある市は近隣の市区の中では珍しくとてもありがたいです。働かされているプレーワーカーの方たちは精神面でも子どもに寄り添っていただいているとよくサポートしてくれています。市としてプレーパークのサポートをお願いします。
- 子どもがのびのび遊べる場。公園。広い図書館。
- 子どもたちが安心してのびのびすごせる場所、公園が増えると嬉しいです。
- 市内で子どもが遊ぶ場所が少ない（汚い公園、草むしりされていない公園などが多い）。不審者対策が甘い。教育（教師の育成）にもっと力を入れてほしい。数年に一度は先生の不幸事があったりするので…。
- 思いきり体を動かしたりボールを使える場所を増やしてほしいです。特に小田急線の南側のエリアには小さな公園しかないので、結果室内あそびが増えているように思います。
- 室内プールを作ってほしい。駅周辺に児童館のような室内で子どもが過ごせる場所がほしい。（狛江駅南側は児童館がどこも遠くて、遊べる場所がない）。
- 室内市民プール、子どもが遊べる場がもっとあるといい（夏）。
- 小中学校で補助教員の増員、図書館資料の充実、子どもが自由に遊べる空間の確保、子どもが楽しく遊んでいると近隣住民から学校にクレームが入ってしまうことや、コロナ下では屋外にも関わらず登下校中に子どもがマスクをしていないと学校にクレームが入る、そのように住民の権利と子どもの権利が対立したとき、いつも子ども側が負けてきました。残念ながら、今の子どもたちが、大人になっても住みたいと思えるような町ではない。子どもの権利を守るために、もう少し時間とエネルギーお金を使

っていただきたい。

- 新しい図書館、赤ちゃんとママのスペース、中高生の勉強の場、ユアキングスペース、カフェなど、今までの図書館のイメージを脱した異年齢が気軽に出入りできる場所。
- 図書館の充実。公民館など市民が集まれる場所の充実。
- 図書館をきれいにしたいです。教育面に予算をかけて充実させて欲しいです。
- 図書館を充実させて欲しいです。
- 図書館を新しく入りやすい場にして欲しい。家で学習できない時のための学習場所をもっと充実させて欲しい。市民へのお知らせには英語訳をつけて欲しい。
- 本屋さんが無いのはおかしい。図書館も充実させて欲しい。

【中学生保護者】

- 19:00-20:00 頃まで開いている自習室などの広いスペースの提供。大学生など身近な目標、手本となる人が見守りにいるとなお良いと思う。小学生にしても、中学生にしても、自分たちの過ごしたいように過ごせる、目の行き届いたスペースが狛江には足りないと思います。
- サッカーやキャッチボールをしてもいい公園や広場を作って欲しい。
- 家に子ども部屋を持たず、受験勉強、テスト勉強の際に料金など支払わず使用できる集中して取り組める施設、場所が少ないと思います（図書館等）。あっても自宅から遠かったりで不便を感じます。家ばかり建てず、そのような子どものための施設や商業施設を建ててほしいです。以前に支払っていて思った事で住民税高いです。
- 子どもがのびのび過ごせる公園、場所（ボールあそび、スケート、など）声を出しても怒られないなど。
- 子どもが公園でボール遊びが出来る様にして欲しい。
- 中学校にも、小学校のような KOKOA のような場所があるとよいと思う。
- 農地だった場所が住宅になり緑が減っていくことにさびしさを感じます。農地→公園だとか子どもが遊べる広場になるとよいと思います。遊ぶ場所は増えていても遠く離れていて子どもだけでは行かせられない。（小学生時代ですが）。
- 放課後の子どもの居場所作り。お金のかからない教えてくれる大人のいる勉強できる場所。小学生の間は希望する人は、全員学童に入れるような仕組み作り、大型連休の間の弁当支給、勤務時間に応じた優先入所など。

子育て支援サービスについて

【小学生保護者】

- KOKOA とこまっこ児童館の飽きさせない運営。朝食を食べる場の提供（食品持参）（教室などで）もしほかの家庭もニーズがあれば、ぜひ実現してほしいです。
- 8月に狛江市に転入しましたが、放課後の KOKOA があることが大変ありがたいです。

これからも続いてほしいと思います。

- もっと気軽に子どもを預ってくれる場所をつくってほしい。財源黒字なんだから早く対応してほしい。幼稚園児も含めて、働く可能性がせばめられている。

【中学生保護者】

- ファミリーサポート充実の為に利用者の負担を半額でも市が出すようにする。（はらい戻しチケットなど）700円は物価高とうに見合わないのももう少し上げれば引き上げる人も増えると思う。あらゆる、収入額による上限のてっぺい（いっぱいかせいでる人にお金を回した方が将来の納税者をより良く育てると思う）。
- 子どもが幼稚園に入園前に、一時保育を利用したいと調べ、問い合わせをしましたが（数回）、人数制限などがあり、利用しづらく感じていました。現在の状況はわかりませんが、もっと利用しやすい環境になっていると良いと思います。また満2歳くらいまで定期的に子育てアドバイスをしてくれる方の訪問サービスがあると、初めての育児でも安心できると思います。（友だちが近くにいなかったり、親や夫に頼れない等孤独な育児になってしまうので）。
- 子どもだけでなく高齢の人も交流できるような場を作ってほしい。子どもも高齢者もまざりあって交流できるようなところの方が良い。

障がい児支援について

【小学生保護者】

- 育児をしていて、発達について不安になった時、いろんな事を教えてもらいました。でも知らない事もたくさんありました。発達に対して不安に思っている親に対して、もっと行政から情報をだしてほしいです。
- 子どもが障がい児です。子ども一人で出かけることができません。子どもに留守番をさせることができません。以前、私（親）が病気になった時、私が送迎できないため子どもに学校を休ませ、私は病院へ行くことができず、元気な子どもが在宅で、家で安静を保つことも難しく、大変辛い思いをしました。⇒病気など、突発的な場合も利用できるレスパイトサービスを市内で展開してほしいです。（ショートステイ、移動支援、日中一時支援、居宅介護など）。
- 障害がある事で、自分が住む狛江市への進学が難しいので、少数（本当に数人しかいない）であっても、手をさしのべて欲しいなと思います。
- 発達しょう害、グレーゾーンの子への支援、固定級に行くほどではないが、普通級の30人くらいのクラスでの学習だについていくのが難しい、そういった子の勉強の補助してくれるシステムが必要、学びに少し時間がかかるが時間をかければ習得できる子どもたちが、今の学校システムではおいてきぼりになり、自信を失い、おちこぼれてしまっている。現状、そういう子は塾に行って補うしかないようだが、経済的に厳しいし、そもそも勉強に苦手意識を持ってしまっているの、塾に行きたがらないという現実がある。

学校のことについて

【小学生保護者】

- 「学校公開日を増やしてほしい」です。1時間の制限をなくしてほしい。現在狛江第一小学校に子どもを通わせていますが、狛江第一小学校は「1学期に1時間、2学期に1時間、3学期は授業公開はなし」です。とても短く、子どもがどんな様子で過ごしているかがわかりません。コロナが収束しつつあるのに、狛江第一小学校だけ厳しく、なんとかお力になっていただきたいです。学期に1家庭2名、それぞれ1時間までの制限ありは、ひどいと思います。例えば子どもからは「得意な体育を見てほしい」と言われると、先生から「算数が…」と教えていただいても1教科しか見られず困っています。3学期は「発表会=参観日」と学校側は思っているのかもしれませんが、普段の様子を知ることで、子どもを理解できることがあると思います。1小は学校評価アンケートに自由記述欄がなく、直接意見を言うと目立ち、クレマーのように思われそうで（クレームを言う気はなく、見ただけです）言えません。
- 学校での教育の目的の改革。競争がない、運動会の順位付けがない、子どもが授業でつまらないと感じている。全力でやることを教えてほしい。周りの学校にじまんでくることを作ってほしい。
- 学習に不安があると担任の先生に相談した際、とても親身になってくださり、狛江市の教育相談室のカウンセリングを受けることができました。とてもよい機関ですし、連携もされていて安心感がありました。カウンセラーの先生方や、学校の先生方に感謝しています。みなさんが働きやすい環境で、これからも続いてほしいと思っています。
- 現5年生は、30人学級が適用されず先生方の負担が大きいように感じますし子どもたちも、小さい教室にぎゅうぎゅう詰めで、ストレスを感じています。なんとか新6年生では、30人学級にさせていただけたらと思います。
- 公教育の質を上げて頂きたい（設備投資及び人的投資）。図書館が駄倉地域センターに移るといのはとんでもない話。文学をないがしろにしていますということ世間にさらすようなもの。イベントが多いのは良い。住みたいと思われる魅力を発信できている。小学生にはipadは早かった。我が子を見ても、授業公開で学校をのぞいても、オモチャとして使ったり、アプリを使って先生の目を盗んで人の悪口を言ったり、変な動画を撮ったり。嫌でも中学校からは活用することになるのだろうし、その頃には弁えることもおぼえるであろうし、コロナも終わって小学生からは取り上げて良いと思う。先生でもipadばかり使って生徒の姿をろくに見ていないと感じる場面が多い。機械に振り廻されるより、子どもたちにはまずコミュニケーション能力を高めてほしい、市で考えてもらえないものか。
- 狛江市の小中学校は、部活などが無い、または少なく、スポーツを通して学ぶ機会を増やして欲しいです。
- 狛江市の中学の成績表のつけ方が、他市他区より厳しいのではないかと保護者の間で話題になっています。特に二中ではかなり厳しいと塾の先生もおっしゃっていました。他区に転校して、成績が一気に上がったなんて話しも…。その様な不公平感のない様に狛江市をあげてして頂きたいと思います。

- 子どもの教育に力を入れてほしいです。課外授業や、ボールの蹴ることのできる公園（ある程度広さのある）を増やしてほしい。中学生の成績について、狛江市は内申が取りづらいとよく聞くのですが、他の区や市と比べて違うようであれば緩和してほしいです。医療費も高校生まで無償化してほしいです。
- 小、中学校での体育祭や修学旅行など行事など統一してほしいです。子ども目線で他校はこうなのに、うちの学校は…となり今しかない子どもたちの大切な時間が失われてしまいます。近隣の方々も子どもたちの声がうるさいと言う人もいたり、子どもたちの人権はあってないようなものだとも思います。※マナーがなっていない子どもは注意されても仕方ないと思いますが。
- 小学校・中学校の教員の増員。1クラスの人数を少なくする。学校のプール開放。市内に温水プールを作る。給食費の無料化。長期休暇の有料給食提供。
- 小学校がいくつかある市なのに、夏休みの宿題の量がかなり違うと感じています。（小1の頃からずっと。）学力、学習での差が市内で出ないといいと思います。
- 小中学校の教員に対して充実させてほしいです。質の高い教員の確保はむずかしくなっていると感じます。それを補うため、先生がやるべき以外の事をする補助の人材を1クラスに1人配置する等、教員の負担を減らす事が、学習の質を落とさない為に必要だと思います。また、外部の人間を入れる事で学校独自のやり方を変え、本当に子どもの事を考えた方法をとる事ができるのではないのでしょうか。子どもたちのよりよい未来の為に、何ができるのかを常に考えていく事を期待します。

【中学生保護者】

- なぜ狛江市は国立の小学校の受験資格がないのでしょうか。狛江市に住んでしまったことを深く後悔しております。学芸大小金井小の通学範囲に、狛江市より遠方の区は通学区域として入っております。他の国立小もそこまで遠くはありません。なぜ、このように全ての国立小学校からはじかれているのか、市民に説明いただきたいです。公立には大きな不安もあり、全く選択肢にはございません。学力向上について世田谷区をお手本として、もう少し考えていただきたいです。恥ずかしいです。
- 各中学校のホームページに「教科評価計画」を掲載していただきたいです。調布市や三鷹市などは掲載されています。掲載する事により、通知書の評価で、何を大切にしているのか、どこを見て評価して、その通知書の数値になるのかが、生徒にもわかるので、がんばるポイントがわかる為、生徒のやる気にもつながります。現在は、そこが不透明の為、掲載をお願い申し上げます。
- 学校の働き方改革を推進するための部活動指導者の外部委託について。教師の負担軽減ばかりに重点を置くのではなく、子どもたちが心身ともに安心安全な環境において部活動を体験し成長できることを願っています。適性を欠く外部の指導者が毎年契約を更新する現状に不安を感じます。部活動の地域移行、指導者の確保が難しいことは理解しておりますが、部活という閉鎖空間のなかで同じ指導者が何年も異動がないという状況は改善の余地があると思います。子どもの権利のために、狛江市が早急にご対応いただけるよう願っております。
- 教員の育成 教師は教えることに専念できる体制にして授業のスキルをみがいてほしい。学校カリキュラムや学校校則の特色を現代に合ったものに変革すべき

- 狛江市の中学校によって内申点の取り方に差が昔から学校によってある。通う中学によって差がないようにして欲しい。内容を共有して欲しい。子どもの頑張りだけでは難しい点がある。
- 狛江市内、特に二中では内申が大変取りにくいと塾の先生がおっしゃっています。子ども自身も点数を取っても思う様に成績が取れずやる気が出ないという悪循環です。数年前まで出していた、テストの平均や点数のグラフを復活して欲しいと切実に願っています。これを出していないのは近隣では二中だけだそうです。モチベーションUPにつながると思うので、あるのとないのではかなりの差が出てくると思います。教育格差が生まれぬ様に市内一律テスト内容や成績の付け方統一して欲しいです。
- 四中の門（入口）のセキュリティを強くして頂きたい。いつでも誰でも校舎に入れる状況と感じます。
- 小・中学校の教員の増員 ・1クラスの人数をもう少し少なくする ・市内に温水プールを設立する ・学校のプール開放 ・中学校の部活の充実 ・給食費無償化 ・長期休暇時の有料給食提供 ・長期休暇時の学校内自習室開放。
- 中学生が休日に身体を動かせる（サッカー、バスケット等）場所、又は夏期の暑さをしのげて友人と集まれる場所が増えると嬉しいです。 ・中学校の先生方は、とても明るく、前向きに子どもたちのよいお手本となり、また熱意を持ってある時は子どもたちに目線を合わせ共に楽しみご指導して下さいと感じます。学校便りや学年便りを夫婦で楽しく拝読しています。子どもとの会話のきっかけにもなっています。 ・市内のお祭りやイベントは、中学生でも楽しめるものが多く、友人同士のよい思い出づくりに役立っていると思います。狛江市で子育てができて、幸福に感じています。いつもどうも有難うございます!。
- 部活動に力を入れてほしい。ナイターをできるようにしてほしい。

経済的なことについて

【小学生保護者】

- 働いても働いても給料は上がりず税金は高いまま。子どもの学費も、本人が大学まで望んだときに十分に出してやれない。安心して学校に行かせてあげられるよう学費の支援、税金下げる等してほしい。子どもに1番金がかかるのは学費。高齢者への税金の使い方が大きい。延命治療のための医療費まで医・介保険使うから若者の負担が大きくなる一方なんだろうと思う。
- 狛江市民体育館で妹と同じ習い事をさせているが、月謝の割引が全くないのが残念に思う。中学へ進学しても続けられる習い事を増やして欲しい。継続できなくても、かけっこ教室やスケート体験など1日の体験教室もあると嬉しい。学区が割り当てられている中学校が遠すぎて今から心が折れそう。せめて授業内容や部活動、課外活動で自分に合った中学校を選択できるような柔軟な仕組みを作ってほしい。
- 子どもが3人おり、今後の学業に対する費用の負担が心配である。子どもが、皆平等に学べるようにしてほしい。又、高齢者が多いので、その負担が子どもにいかないようにしてほしい。

子どもの教育（習い事や塾）にお金がかかりすぎていて、子ども手当だけでは全然足りない。今後の教育費にとっても不安がある。

【中学生保護者】

- 色々な事をして頂いているので、特に不満はないですが、大学の費用が高過ぎます、学びたい人が学べる環境づくりの整備に尽力して下さい。2人が理系大学に行きたいと言われたら、二人で1300万円です、払えません。
- 年収470万であると扶養手当は0です。最低学歴大学卒が望まれている社会で、それを目指す、かなり生活は苦しいです。

その他

【小学生保護者】

- とっても住みやすく大好きな町ですが、狛江駅付近の自転車置場が少なく困っています。
- なんとか暮しています。毎日忙しいですが家族皆が健康で幸せです。
- 安心して通行できる歩道の整備（庭木が迫出している所が多い。注意・指導して欲しい）。
- 駅前の竹林をずっとのこして行ってほしい。小さい狛江市だけど、すてきなよいところだと思います。好きです。
- 我が家は違いますが、貧困家庭に支援を手厚くしてほしいです。私自身、定期的にフードバンクに寄付していますが、寄付金控除できるようにしてほしいです。
- 街中に防犯カメラを増やしてほしい。街灯の設置個所を増やしてほしい。
- 教育に熱心な地域だと住んだ後に分かりました。少し後悔しています。ここまで教育に力を入れないで欲しいです。お金の面も大変ですし、子どもにプレッシャーをかけている自分が時々嫌になります。ですので、お母さんも子どももののびのびと過ごせる狛江市になって行ってほしいです。
- 「差別の禁止」について、差別は良くないことだと思うが、区別は必要だと思う。行き過ぎたLGBT教育は絶対に子どもにして欲しくありません。アイデンティティの確立していない子どもたちに自分の気持ち次第で男 or 女になれること（トランスジェンダー）、同性婚は良い事だと子どもを誘導すること（実際一小四年時のLGBT教育でありました）、性別は男女2つではなく沢山あるなど、おかしい思想を植え付ける事だけはやめて下さい。
- 近年LGBTQについて推進していますが、欧米では10年前から性自認主義を導入し、子どもたちに様々な弊害が出ています。その中には10代の少女たちが乳房除去をしてしまうという不可逆的手術やホルモン剤投与などもあります。また更衣室や女子トイレ、女子シャワーを「心が女性」と主張する男子生徒と共有しなければならない、それに抗議すると退学になる事例が報告されています。日本では野与党あげてトランスジェンダー、性自認を推進していますが、欧米の事例はマスコミは紹介しません。

学校現場への導入は慎重にしてもらいたいです。

- 狛江市では星山麻木先生という素晴らしい方が「発達支援セミナー」をやってくさっているの、学校の先生方や子どもにまつわる現場の方、お偉い方々にもぜひ聞いていただきたいと思う。もっと発達支援が必要な子どもたちに必要な支援、全ての子どもに柔軟に対応していただきたいと思う。
- 狛江市に、というよりは、国に対する期待ですが、子どもをただ増やすことより、どんな大人に育てていくか、そこに力を注ぐことの方が大切な気がします。
- 狛江市は住みやすいいい街だと思います。"音楽""絵手紙""市民まつり""いかだレース"色々子どもたちと共に盛り上げて活気のある魅力的な狛江市にますますなっていくことを期待しています。最近、畑が少なくなってきたな…と感じています。子どもたちが収穫体験など出来る場所を作り管理して頂く、又は減らさないようお願いいたします。
- 狛江市は住宅街が多く、日中は人の出歩いていない地域や高齢者の1人暮らしのお宅の方は不安がっています。近所でも振り込みサギや、業者をよそおった人がインターホンを鳴らしている場面も見たことがあります。おまわりさんや市のパトロールの人などが、もっと街をまわってもいいのではないかと思います。また住民も積極的に歩けるようになると良いなと思います。
- 狛江市は色々な活動をしていて人気のある市で人口も増えている、今後も活動に期待している。
- 子どもの通学中の安全向上（通学路上での暴行被害防止、日常的な交通安全の為の見守り、学校の出入りに際してのセキュリティ向上など）
- 治安の維持。
- 自然を残してほしい（緑化推進）、高齢者や子ども等に特化せず、みんなが住みやすい町にしてほしい。
- 就業や結婚など様々なところ（土地）を経て、狛江市へ転居してきました。小さな市ですが、自然が豊かだったり、人が温かかったり、今では狛江市民であることが誇りでもあります。（大好きになりました）これから育っていく子どもたちにも、自分の"ふるさと"として狛江市が大好きと胸を張って言えるような市であって欲しいと思います。
- 親の不注意でおきたお金の問題を子に負わせないでほしい。→子を1人で山村留学（長野）させた際に在学時の給食費が残高不足で引き落としが出来なかった分を子の留学先にわかるように督促状を送られ狛江市に在住している親に一切連絡をしてもらえなかった事がありました。幸い近くの大人が連絡してくれたおかげで対処できましたが給食センターの方から子一人の為にシステムを変えると莫大なお金がかかるのでできないと言われました。システムをかえずに個別対応ができないのかと思っています。・学校関係で提出した銀行口座の情報など本人の了承を得ず勝手に使わないでほしい。（個人情報不正利用をやめてほしい）→転入手続きの際、給食費等の引き落とし口座を申し込みをしたにもかかわらず、過去に登録していた申し込みをしていない口座を勝手に使用し引き落としが出来なかったと学校から子に督促状を渡されました。先生から呼び出され周りの友だちからどうしたのか聞かれ困っていたようです。（子の友だちから教えてもらいました）口座登録までに2~3ヶ月かかると聞いており登

録までの間は払い込書でくると思っていたのですが、いきなり督促状を送るのはやめてほしいです。給食センターの担当の方に説明を聞きに行っても問題をすりかえられて何も解決できませんでした。※子がおだやかに生活できるよう考えて行動できる人材を配置してほしいです。

- 道路が狭く車の運転、自転車通行、歩行全て危険だと思う。子どもだけで出かせせるのに抵抗を感じる。放課後気軽に出かけて過ごせる公園も少ない。子が安全に過ごせる交通状況や環境がもっとほしい。
- 道路の整備や、植木、雑草等、町がもう少しきれいであると良いと思います。
- 特にありませんが、粗大ゴミが一ヶ月に一度しか（大型の物など）出せないの、持ち込みなどが出来ると良いかなと思います。水道道路の歩道が狭いので、危いです。
- 物価高に対して給料は全然上がらないため、買えないという事は今のところありませんが、買い控えはしています。物価高に対しての補助等があるととても助かります。家賃が高いと感じています。子どもの学区を考えるとあまり引越しをさせない地域で家探しますが、補助があるととても嬉しいです。いつも大変お世話になり感謝しています。ありがとうございます。
- 歩きタバコをしている人を時々見かけます。歩きタバコがなくなるような対策をしていただくと有り難いです。
- 防犯カメラをもっとたくさんの箇所に設置してほしい。最近も下半身丸出しの変質者が見つからず、女の子を持つ親としては非常に不安です。また、春ごろに谷戸橋公園で子どもがこれまた不審者からあき缶を投げつけられる等あったのですが、成城（世田谷）との境界なのでということで、結局うやむやにされて終わりました。これも防犯カメラさえあればよかったのになと思った事案でした。前向きな検討をお願いしたいです。その他としては、子どもたちにどの学校でも着衣泳の機会を与えてほしい。あと、低学年のうちに性教育を行ってほしいです。4年生ぐらいになると、どこで仕入れた情報なのか、卑猥なことを口走る子どもがいたりするので、そこまで大きくなる前に、ちゃんとした情報で子どもたちを守りたいのです。
- 本屋をつくってほしい。
- 料理が得意なので子ども食堂のボランティアに参加したいと思っているが、募集しているかどうか分かりません。ゴミ拾い等も、決められた日ではなくて、自分の時間がある時にして、それをみんなで共有できる様な仕組みがあればうれしいです。例えばゴミ拾いするとゴミ袋がもらえとか、ゴミ拾い専用のゴミ袋を小学生に配布して、「家族で狛江をキレイにしよう!!」拾ったゴミの写真を SNS に投稿等楽しんでゴミ拾いできるイベント等はいかがでしょう？狛江の小学生は良い子が多いので、狛江に住んで本当に良かったと思っています。もっともっと住み良い町になります様よろしくお願い致します。
- 和泉多摩川地区の発展。

【中学生保護者】

- この調査票を記入していて、思ったことですが、質問に答えるにあたって、つらく感じる方もいらっしゃるのでは…と思いました。

- ショッピングセンター（イオン）他があると便利でいいと思います。
- ショッピングモールなどがあると嬉しいです。子どもとお出かけしやすいので（雨の日でも）。公園もあると嬉しいです。何よりも治安のよい緑豊かな住みやすい町であると嬉しいです。
- ペットを飼っています。ペット物件がとても高く、収入を上げて収入の半分以上が家賃に出てしまし、経済的にはきびしいです。もっと安く受け入れ（4匹）ができる物件はありません。支援も R.6.1 月より受け取ることがなくなります。（収入が上がった為）何か、対策があると助かります。ペットはどこにも預けられず、実家から引き取りました。自分のせいなのですが、収入が上がっても、見えない状況がある家庭もあることを知って頂けると助かります。
- 引越してきて5年ですが、ワクチンの時なども丁寧に対応いただいて感謝しています。身近に図書館があるのもすばらしく、子どもが自分で予約しています。窓口の方が娘をおぼえて下さり温かく対応いただいていることは本当にありがたいです。病院の予約がとりにくいことなど悩みもあるといえはありますが、町中で子どもといて嫌な思いをすることがないのは都内でかなり基重な場所だと思います。今後も子どもを大切に作る街づくりとしていただけたらと思います。いつもありがとうございます。
- 子どもには不自由なく与えているが、きりつめている部分はある。金銭的なサポートがあると良い。狛江市には満足している。住みやすさ、自然環境、イベントの増加など。楽しい街であると思う。
- 子育てをしやすい街づくり、安全な街であってほしい。
- 市民グラウンドの芝生化。 ・家の敷地（建ぺい率）が少なくなっている気がするため、広く取った方が生活する際に開放感があり、生活しやすいのではと思う。 ・学校の生徒数に偏りがあるため、是正して欲しい。 ・30～50歳代の女性が働きやすい事業・法人の誘致。
- 私自身が狛江市で生まれ育ち、今こうして家族を持って生活していますがインフラや施設・設備をはじめ、イベントなども開催されており大変住みやすい街になっていると感じます。「子どもの権利条約」についても条例の制定に向けて動いていること、嬉しく思います。引き続き今後に期待します。ありがとうございます。
- 私立に通っている子どもへの地域の愛着を育むイベントの開催。
- 自営業で毎年厳しい、市民税を払う事も大変です ・子どもと朝食を一緒にとりたいが、仕事のため、いつも1人で食事をさせている。仕事、仕事で、子どもとのコミュニケーションなど、ほとんどとれない。かと言って物価高で、生活は苦しい。狛江市は、こんなに狭いのに議員の数が多すぎる。もっと減らしてその分の税金を減らしてほしい ・こんなアンケート意味があるのか？作った人と意識が違うと思います。
- 住みやすい狛江が気に入っています。これからも子どもや老人が住みやすい環境を作っていくって下さい。いつもありがとうございます。
- 多摩川の活用。

▼子どもアンケート

あなたが、狛江市に何でも要望できるとすれば、どのようなことを要望しますか。何でもいいので、書いてください。（小学生・問24／中学生・問27）

遊び場・居場所についての要望

【小学5年生】

- 小学生の高学年用の公園がほしい。
- ボールや乗り物が使える公園を増やしてほしい。雨の日でも遊べる公園。夏はプールで遊べるけど、冬は遊ぶ場所がない（寒いから）。
- こまっこ児童館を日曜日もあけてほしい。
- サッカー、野球ができる公園。ゲームをもらえる。スマホがもらえる。
- サッカーができる公園
- サッカーができる公園をつくってほしい。
- サッカーのできる公園がほしい。
- サッカーや野球、スポーツが広々として時間が長く使えるグラウンド、公園、体育館。
- スケボーパークを作ってもらおう。
- スポーツできる広場を作る。公園の遊具を楽しくする。（アスレチックを作る）
- スポーツやボール遊びができる公園を作ってほしい。
- タコ公園を壊さないでほしい。
- ただの公園ではなく、緑地のように木がたくさん植えられていて遊ぶことのできる公園をつくる。
- でっかい公園がほしい。雨の日も遊べる場所がほしい。
- バasketコートやゴールを作してほしい。
- ブレボーやキックボードなどをしてもいい広い芝生がついている公園が欲しい。畑をこわして家をつくるのをやめてほしい。畑から公園や、幼稚園などを作してほしい。
- ボールが使える公園を作してほしい。
- ボールが使って遊べる広い公園。
- 花火ができる公園。
- インターネットが使い放題の場所。
- 野球ができるところを増やす。充電ができる公園が欲しい。
- ボールをつかえる公園を増やしてほしい。
- ボールが使える公園がほしい。子どもだけしか入れないところがほしい。ボール蹴ったりすると当たって怒られるから。
- ボールを使って遊べる場所をもっと作って欲しい。
- ボールを使用できる公園を増やしてほしい。

- ボール遊びができる公園をつくってほしい。
- ボール遊びが出来る広い公園がほしい。
- ボール遊びをしてもいい公園を増やす。冬にも入ることができるプールを作ってほしい。
- ぼくは、スケートボードをやっています。いつもは自転車や車で遠くのスケートパークへ行かなければいけません。狛江市にはスケートパークがありません。オリンピックの競技にもなったのに、見向きもされずにいて、サッカーや野球はやる場所があるのに、スケートボードは路上でやると怒られたりして、スケートボードができません。どうか小さくてもいいので、ぜひスケートボードが安全にできる場所を狛江市に作って下さい。
- もっとボールとか遊べるところがほしいです。習い事の場所を多くしてほしいです。緑を感じる場所がほしいです。
- もっと運動できるところや遊べるところを増やしてほしい。
- もっと運動できるところを作ってほしい。
- もっと公園をつくってほしい。
- もっと公園を増やしてほしい。（ボールが蹴れるところ）
- もっと大きな公園（砧公園のような）があるとありがたいです。
- 安心して遊べる公園をつくってほしいです。
- 安心できる場所
- 安全で楽しく過ごせる公園がほしい。
- 安全な公園
- 楽しく勉強をする施設がほしい（集中もできる）趣味をとことんうちこめる場所。しんどくなってしまって（精神が）つらくなってもいったら落ちつく場所。こわい先生がいらない勉強する所。たのしく運動し放題の場所。すごく、くつろげて、友だちと一緒に遊べる場所。
- 火を使えるプレーパークがほしい。
- 公園でボールを使えるようにする。
- 楽しい公園を作って小さい子に楽しんでもらいたいです。イベントを出してやること。
- 寒い日や暑い日に子供達だけで集まれる場所（図書館は静かにしないといけないので、ある程度声を出せる所）
- 岩戸南に大きめの遊具がたくさんある公園がほしい。
- 近くにバスケットゴールを作ってほしい。
- 犬の遊べる場所がほしい。（ドッグランとか）
- 公園、児童館がほしいです（子どもだけ）。
- 公園でボール遊びをしたい。
- 公園を増やしてほしい。
- 公園の遊具を増やしてほしい。

- 公園をたくさん増やしてほしい。
- 公園をつくってほしい。（スポーツができる場所）・サッカー ・野球
- 公園を増やしてほしい。
- 公園を増やしてほしい。
- 公園を増やす ・明るくする ・祭りの規模を大きく
- 公園を増やす（ボール遊びができる）
- 公園を増やす。
- 広い公園をもっと増やしてほしい。
- 高学年が集まれる公園を作ってほしい。
- 高学年が遊べる公園（アスレチック、椅子が高いブランコなど）
- 狛江市にボールを使える公園をつくる。
- 狛江市に、飲食や学童保育もあるような広い公園をつくってほしい。（だれでも入れる。無料。何歳でも。どんな人でも。）ごはんも食べれる。不審者が来たらかこめる所。みんなが仲良くなれる所がほしい。
- 狛江市ボールを使える所を増やす。でかい公園。
- 最近フラット南部が出来たけど、行くといつも「小・中学校は満員です」という看板が出て、いつも入れないから、そういう場所をもっとひらいてほしい。
- 公園が少ないから、公園をふやしてほしい。
- 子どもがいつでも集まれて遊べる施設を作る。
- 子どもがみんな楽しめる公園などの場所。
- 子どもが楽しめるところがほしい。
- 子どもが自由に遊べる場所を作ってもらおう。
- 子どもたちが安全に、公園を使える場所を増やす。
- 子どもたちが安全に遊べる場所を作ってほしい。
- 子どもたちが集まって遊べる会。
- 塾じゃない勉強を友達同士で伝えあって、休憩もできるところがほしい。
- 親が心配せずに「何時まででもいていいよ」と言ってくれる施設がほしい。
- 水辺の楽校で子どもが休日に遊べるように、もっと色々な遊具をつくり、テーマパークのようにしてほしいです。水辺の楽校に、ちょっとしたドッグランをつくってほしいです。清水川公園付近にドッグランをつくってほしいです。
- 大きい、いつでも使える（予約をしなくてもいい）ボールを使えるグラウンドがあればいいと思う。
- 大きい公園（さまざまな遊具） ・身近な場所にある児童館 ・シマエナガとふれあえる場所 ・ディズニーランドより規模が大きい遊園地 ・本の貸し借りができ、食べ物が食べれたり実際にその本を変えたり、友だちと静かに遊べる予約制の防音の個室があったり、人工芝が植えられている庭があり、そこに大きな木が植えられており、そこで借りた本を読める場所。

- 大公園で野球やサッカーをやってよくしてほしい。
- 知らない人でも集まって気軽に遊べる場所。
- 美術や音楽などの様々な体験ができる場を誰にも気軽に使えるという仕組みがほしい。
- 変わった遊具のある公園を作してほしい。ラグビーができるグラウンドを作してほしい。
- 勉強ができるカフェを、たくさんつくってほしい。
- 夜でもできる照明のあるボール遊びのできる公園。サッカーを習っているが冬は調布三中まで行かないといけないから。
- 野球がたくさんできること（バッティングセンター）。
- 野球ができる公園を増やしてほしい。
- 野球のグラウンドを増やしてほしい。ボールやバットを使って遊べる公園を増やしてほしい。広くて遊べる公園を増やしてほしい。
- 友達と放課後せっかく遊ぶ約束をしても、遊ぶ場がない。公園があっても、インドアの友達は楽しめない。無料なインドア公共施設がもっとあったらいいな。
- 遊具をたくさん作ってほしい。（面白いの・アスレチック等）
- ウォータースライダーがあるプールをつくってほしい。
- 大きな公園、遊具も様々な物がある。

【中学2年生】

- かなり広い友達と自由に遊べる場所（児童館は人が多すぎると自由に遊びづらいから）。
- サッカーができる公園をつくってほしい。
- スケートパークが欲しい。バスケットコート（下コンクリート）
- スケボーできる場所がほしい。スケボーってそんなに悪いことですか？
- どれだけ騒いでもクレーム、苦情がこない場所。
- バスケットゴールのある室内パークを作してほしい。
- フリーでつかえる体育館がほしい。留学補助。
- ベンチがある公園を作してほしい。
- バスケットコートがほしい
- 公園をもっと作ってほしい
- ボール遊びができる公園がほしい。
- みんなが遊べる場所を作る。
- 何でも自由に遊具で遊べる公園が欲しいです。
- 気軽に友達などの人たちと遊べる場所
- 休日に遊べるゲームセンターを下さい。
- 駒井公園をスケートボードパークなどの子供が運動しながら遊べる場所がほしいです。

- 公園が少ない気がするので作ってほしいです。
- 子供がもう少し遊べる場所をつくってほしい。
- 室内で遊べる施設がもっとあってほしい。（家の近くに）（例）・冬に遊べるような温かい部屋、ダンス室など
- 室内で遊べる場所。
- 小さな子供がいても1日中遊べるような公園を作ってほしい。放課後に友達と座って話せるような所がほしい。
- 大きな公園をつくってほしい。スケボーパークをつくってほしい。
- 中学生以上がボール遊びをできるグラウンドがほしい。
- 中学生用の公園（スケボーとかがつかえる）
- 狛江市に遊べる場所を作ってほしい。
- 芝 or ゴールのサッカーが出来る公園
- 前原公園のような大きい公園をもっと増やせ。

図書館・勉強できる場所・体育館など施設についての要望

【小学5年生】

- きれいなプールを用意してほしい。
- ぼくは、バドミントンなどのスポーツができる場所を増やしてほしいです。なぜなら、ぼくが市民体育館に行った時、コートをとるためにくじをしていたからです。スポーツができる場所を増やせば、自由に使えます。中学校の部活にも。
- 安全に大きな静かに勉強できる図書館が建ってほしい。
- 一教科ずつ担当の先生が欲しい。
- 子どもが職業体験できるとこほしい。
- 室内プールを作る。
- 社会のこと・犯罪か犯罪ではないかなどの日本や世界（地域）の考え方で教えてくれる場所。
- 将来、自分になりたい職業について、体験できる場を学校でしたい。
- 図書館がほしい。
- 図書館の本を増やす。（もう少し小説を増やそう） 本屋を増やす。
- 図書館をきれいにしてほしい。児童館を増やしてほしい。
- 図書室の本の量や種類を多くしてほしい。
- 大きくてきれいな図書館をつくってほしい。
- 何か体験できる子ども向けのイベントをやってほしい。
- 無料で自習出来る場所をふやしてほしいです。
- 図書館によくいくのだけど、本の広告とかを見て、図書館に行ったり、電子図書館で

見たりするけど、その本がないから、取り扱う本の冊数を増やしてほしい。

- 市民プールを無料にする。
- 静かに勉強ができる所。
- 優しくお勉強を教えてください。

【中学2年生】

- ロシア語などの他言語を学べる都立高校、または塾を建ててほしい。図書館をもう少し広くして本の所蔵数を増やしてほしい。狛江第五小学校の図書館の本棚が狭く、長期休み前になると、本棚に本が入りきらなくなって本の上に倒して半ば強引に入れなければいけなくなり、このような収納方法だと本に圧力が加わり、本が変形してしまったりページがくっついてしまったりして、本が傷む原因にもなってしまいますので本棚を大きくしてもらえると図書委員兼卒業生として嬉しく思います。（当時、校長先生に伝えてみても返事がなかったので）家だけでなく飲食店なども建ててほしい。
- 狛江市内で帰宅後、生徒が気軽に立ち寄れる、夜までやっている集中して勉強できたり、話せる所がほしい。
- 子どもが楽しいと思う施設を作る。
- 自習スペースの設置。
- 図書館など無料で勉強するところがほしいです…。あと学びたいとか困っている人や生きづらさを抱えた人などが希望をもって明るい未来を創造できるような市になってほしいなと思っています
- 図書館に自習室が欲しいです。
- 静かに勉強できる場所がほしい。
- 中央図書館の移転をやめてほしい。なにもない所から、突然移転の案がでてきていて、やめてほしいという市民の声を、まったく聞いていないことがおかしい。きちんと市民の声を聞き、なぜ移転をするのか、移転するのがやめられないのならば、なぜやめられないのか、きちんと説明してほしい。二中は、きれいな改造を行っているのに、三中はないのか。説明を。田中橋の信号の時間を長くしてほしい。このアンケートの返信?結果?をホームページで公開してほしい。
- 半個室の自習室を作ってほしいです。
- 勉強・読書・ゲームなどができる施設を市で2~3つほしい。他校での関わりを増やしてほしい。
- 夜遅くまでやっている常設の自習室がほしい。（勉強を見てもらうことを目的としないのがいい。）静かに勉強したい。
- 立川まんがパークのようにまんがをたくさん読める場所をつくってほしい。毎週末に行けて勉強できる静かな自習スペースをつくってほしい。
- 気軽に狛江市内の体育館を使えるようにしてほしい（団体で）
- みんなが気軽に相談できる施設
- おしゃれな図書館を建てて、学生がテスト勉強などを落ちついてできる場所が欲しい

です。

- 体育館を無料開放してほしい
- バasketコートを作ってください
- 体育館をたくさん作ってください。

学校についての要望

【小学5年生】

- 1クラスの人数を少し減らす。
- 学校の廊下やトイレ、教室などを新設備（新型）の設備にしてほしい
- 一教科ずつ担当の先生が欲しい。
- 学校が嫌いだから、メタバースでの通学がしたい。学校に行きたくない人の居場所を作してほしい（メタバースでそういった人を何人も見てきた）。
- 学校でブランコをしたい。秋休みがほしい。
- 学校に安心して行けるようにしてほしい
- 学校のトイレは、そんなに「きれい」ではないので、夏休みとかに工事をしてきれいにしてくれると嬉しいです。
- 学校の校庭を広くしたり、遊具を増やす。お店や飲食店を作してほしい。（狛江にいろんなどころに子どもから大人まで楽しめるイベントを増やしてほしい。
- 学校の授業で、準備テストとランク（成績）によってクラスを変えてほしい。（少人数クラス）
- 学校の図書の本を増やしてほしい。
- 学校をもっと面白くしてほしい。
- 教室を広くしてほしい。
- 好きな人と同じクラスにしてほしい。
- 宿題を毎日取り組み、提出するのではなく、期限内にある範囲までやるという方法にしてほしい。学校でシャーペンをつかえるようにしてほしい。または、ポーチの筆箱をありにしてほしい。
- 市内の学校に金をください。（例えば、姉は狛江第三中学校に通っているのですが、パソコンが使いづらいとのことでしたので、もう少し使いやすいパソコンにしていただけだと助かります。）
- 1年ごとに先生だけ変わる。
- おいしい給食にしてほしい。
- 内申をなくしてほしい。あゆみをなくす。先生の労働を少なくしてほしい。

【中学2年生】

- 60歳を超えた先生方の授業が分かりづらくなります。周りにいるのは若い先生だけで誰も何も言えていない状態なので困っています。どうかしてほしいです。
- 学校で使っているタブレットをアンドロイドではなく、アップルにしてほしい。
- 学校に配布されているPCを、立ち上がりが早い、使いやすいものにしてほしいです。
- 学校のPCが重いので、動きにくいです。タブレットに変えてください。
- 学校のPCをiPadなど、通信スピードが速いものにしてほしい。バスケットゴールの上げ下げを自動にしてほしい。部活動の顧問にプラスして給料をもらってコーチのようなことをする人を配置してほしい。また朝練ができるようにしてほしい。
- 学校のパソコンが起動に時間がかかったり、作業がスムーズに進まなかったりするので、小学校のようにアイパットにしてほしい。（アイパットだった小学校の時はこのようなことはあまりなかったです。）アイパットにするのが難しければ、Wi-Fi環境だけでもいいので改善してほしい。
- 学校の校庭にバスケットボールリングをつけてほしい（狛江二中）部活動の時間を増やして欲しい。給食が少なく、腹が満たされないので、量を増やしてほしい
- 学校の校庭を芝生にしてほしいです。砂だと転んだときに痛いので危険だと思います。
- 学校の通学の時に、すべての教科書を持っていくのが大変なので、すべての教材をおけるようにしたい。
- 学校の部活道具を新しくしてほしい。
- 学校を完全に禁煙にしてほしい。
- 学校指定のタブレットの性能をよくしてほしいです。
- 学校等の施設の備品などを新しくする。
- 狛江市立狛江第三中学校はとても大雨が降った時、壁から水が少し入って窓側の床がぬれていたことがありました。建物が古いので問題がありそうな所は直せないでしょうか。
- 狛江第二中学校のテニスコートの横をテニス部にください。
- 狛江第二中学校の給食を増やしてください。
- 狛江二中の吹奏楽部の楽器が古く、錆びてしまっているのがあるので買い換えてほしいこと。
- 子ども一人につきスマホ一台支給。今のパソコン（中学校のもの）から、小学校のタブレット端末に戻していただきたい。
- 授業のリモート化。
- 教科書のタブレット化（リュックの重さを軽くする）。
- 部活動の選択肢を増やす
- 小学校に温水プールがほしい（水泳ができる）。中学校のパソコンをiPad化してほしい
- 小学校のようにパソコンではなく、タブレットを支給してほしい。
- 吹奏楽部に楽器の購入金が欲しい

- 税金を減らす。学年の先生を途中で変えないようにする。
- 体育館がほしい。
- 体育館の設置
- 中学校の校庭に電気を設置して欲しい →部活の夜間活動に支障をきたさないため
- 冬場の部活動でボールが見えにくいので、校庭にもっと明るい照明をつけてほしい。
- 学校のパソコンが使いにくいので。アイパットかもう少し使いやすいパソコンにしてほしい。
- 土曜日にある授業をなくしてください。
- 中学校をきれいにしてほしい。

市への要望

【小学5年生】

- 5時の音楽が少し暗いため、少し音を小さくしてほしいです。（明るいメロディーにかえてほしい）
- 6時にもチャイムを鳴らしてほしい。
- イベントをひらく。
- イベントをもっとひらいたら、人がたくさん来るかもしれない。
- えだまめアイスのアレルギーの人でも食べれるようにしてください。給食費をタダにしてください（絶対）。給食をなるべくアレルギーのない食べ物でつくってください。まもってねー（笑）。
- えだ豆アイスをほぼ毎日買えるようにしてほしい。
- スロープをつけてほしい。
- ちゃんと子供たちが困っていることなどがあったら、ちゃんと言える環境。みどりの町こまえとあるが、自然が少なくなってきた。→（一小あたり。）
- みんなが楽しめるようなイベントをひらき、狛江市の人々の交流を深められるようなことをすると思います。
- みんなが笑顔になる狛江市をつくってほしい。
- みんなで支援するなんでも相談センターが出来ると良い。
- もっと自転車や車の運転が安全になってほしい。ゴミ袋を無料にしてほしい。
- もっと多摩川などでのイベントを増やして下さい。
- やりたいことを体験できる場所を作ってほしい。
- より過ごしやすい狛江にしてほしい。そのために楽しいイベントとかを開いてほしい。
- 育児、子育て支援金を増やしてほしい。
- 楽しいと思うイベントをたくさん開いてほしい。
- 楽しくて記憶に残る大切なイベント。

- 環境についてのワークショップを今よりたくさん開いてほしい。（鳥や動物）
- 虐待などをなくし、医療などの施設を増やして特産品を枝豆以外に 2,3 個増やす（枝豆にもっと力を入れるでも良い）。
- 広い町にしてほしい。
- 狛江市を広くしてほしい（道路）
- 家を安くしてほしい
- ランドセルを軽くしてほしい
- 授業時間を減らしてほしい
- 狛江の特産品を増やしてほしい
- 狛江市民全員が快適で住みやすい町にしてほしい。
- 子どもが楽しめるようなイベントを開催すること。
- 子どもにも選挙権がほしい。
- 子育ての対策をもっと本格的にしてほしい。物価高で親への負担軽減のため、給食費無償化にしてほしい。ヤングケアラーへの関わり（取り組み）などを徹底してほしい。子どもへの助成金（物価高対策の一環として）を出してほしい。介護だけに目を向けず、子育て支援にも力を入れてほしい。もしもいじめや虐待がおきた際の教師や教育委員会の対応に力を入れてほしい。子供への居場所（例・シングルマザーなど）を作してほしい。学童を増やしてほしい。（理由：学童を何回かみたとき、パンパンの人だったから）だれでも相談できる場所を作してほしい。
- 子供が困っていることを支援する。募金箱をおいておく。
- 私の通学路の道がガタガタ（コンクリートにひびが入っている）ので、転びやすく、そこに水たまりができ通りにくくなったりするので、そういった道を整備してほしいです。同じく私の通学路ですが、私が一年生だった時は畑があって、緑や自然を感じることができていました。でも今はそのほとんどが家になってしまい、さみしいです。
- 自然を大切に、守ってほしい。イベントをたくさん開いてほしい。自然環境を守れる市に、してほしい。
- 自分に自信がもてるような、カウンセラーさんなどがいてほしいです。
- 小学生高学年が楽しめるイベントを増やしてほしいです。
- 「狛江市二水と緑のまち」を守る活動をたくさんする。
- スクールカウンセラーの人数を増やす。
- 川をきれいにしてほしい。
- まちをきれいにしてほしい。
- リサイクルしてほしい。
- 多摩川が氾濫しないように予防する。
- 大人も子供も楽しめるイベント場を作してほしい。
- 知識や常識があるのなら、子どもも投票していいのでは？
- 通学路をもっと安全にしてほしい。

- 補助金
- 街灯をもう少し明るくするか、量を増やしてほしいです。たくさんあってすみません。
- 狛江市に緑をふやしてほしい。
- 何か体験できる子ども向けのイベントをやってほしい。
- 狛江にいろんなところに子どもから大人まで楽しめるイベントを増やしてほしい。

【中学2年生】

- このまま安全なままのきれいな町を保って下さい。
- ストリートピアノを置いてほしい。
- 小田急の各駅停車の電車以外にも電車が停まるように、狛江市をかけて取り組んでほしい。もし実現できたならお祝いの歌を作ります。
- バasketコートを作って欲しいです。子供の権利条約に基づき、子供のすこやかな成長を経済的な角度から支援して欲しい。
- もっと子育て支援に関する事業を進めてほしい。
- もっと歩道を広くしてほしい。もっと盛えてほしい。高い建物を建ててほしい。富士山とよみうりランドと多摩川が見れる最高の地域だから景色が見れる展望台がほしい。
- 医療費を市が負担してくれる。
- 給付金
- 給付型の奨学金
- 子供の医療費を成人まで無料にしてほしい。
- 狛江市内にゴミ箱を設置してほしいです。
- 子供が楽しめるイベントを増やしてほしい。
- 車通りの多い横断歩道に信号機を設置していただきたいです。
- 税金を無駄に使わないでほしい。例えば校長先生紹介などのカラーコピーは必要ないと思う。市民の生活がよりよくなるために使う方が、税金の使い道として正しいし、当たり前だと思う。また、逆に中学校のカラーコピーがダメになったことでとても不便になっているし、家庭によってカラーコピーができない人などがいるので、とても市民想いではないと思った。そしてゴミ袋の値段が高いし、23区は無料なのになぜ有料なのか知りたい。また市議会議員の定数が多いから、その給料で税金が失われていると思う。だから、そもそもそんな人数はいらないから人数を減らしてその分の税金の使い道をちゃんと考えてほしいと思いました。
- 町や道が暗くて、帰り道が怖いので、街灯を増やしてほしい。
- 冬のイルミネーションをもう少し広い範囲でやってほしい。（ロータリーの木など）
- 道を広げて欲しい。ゴミ袋を無料にして欲しい。
- 二中前の通りをもう少し明るくしてください。
- 勉強にやる気が出ない子供たちに、それぞれの教科の必要性和将来どういうときに学校で学んだことが使えるのかを教えてくれる機会が欲しい。

- 名前を書くようにして困っている人を探し、助けてあげる。银杏募金で狛江市に渡したお金がどこでどのようになったのかを、狛江三中に教えてください（昨年渡したものです。）結構真剣なので、答えていただきたいです。
- 予算オーバーにならないように頑張してほしい。紙がもったいないのでこういうのはインターネットでやった方がいいのではないのでしょうか。
- 留学をする子どもに対する資金支援（奨学金）など
- いろいろな習い事を体験できるイベント
- 小中校生のいる家庭への支援
- すいどう道路の歩道を広くしてください。めっちゃ不便です。
- 大規模なお祭りなどイベントを企画してほしい
- 給食の無償化
- 街灯などをふやして、明るくしてほしい。

いじめなどについて

【小学5年生】

- いじめがないかのアンケート（こころのアンケート）は、皆がないところで書けるようにしてほしい。一人、ずっと書いていると「いじめがあるの？」みたいにみられる。書きづらい（まわりを気にしてしまうから）。このようなアンケートを、たくさん（2〜3ヵ月に1度くらい）行って。同じような悩みを持つ子と話したい。スマホが使えない、家からあまり出られないから、専用（話す、相談する）の機械を渡してほしい。無理ならば、場を設けるだけでも。どこからがいじめかを、はっきりと子供に教えてほしい。
- いじめがないように考えてほしい。
- いじめのことは深堀りしないでほしい。助けてほしいけど、大人に聞かれるとなかなか言えないもの。それなら、友達に聞いてもらったほうが楽だと思う。こんな人は、世の中にたくさんいると思う。（今は、大丈夫だけど、昔こんな人を見た）
- いじめや、虐待などがなくなってほしい。
- いじめをなくしてほしい。
- ケンカがおきない場所を作ってほしい。
- みんなで嫌なことを言い合うところ。いじめで困っている人の話をきくところ、解決するところ。
- 家庭の環境調査。どこまでが虐待なのかを説明

【中学2年生】

- いじめのない生活になるようにしてほしいです。

- いじめを減らす。

交流・相談できる場所の要望

【小学5年生】

- いろんな学校と学校が会話したりする。
- いろんな人が平等に接しあえる施設や場所をつくってほしい。
- スポーツの大会を開いてほしい。（だれでも）
- たくさんの人と関わって、楽しい場所。学校に相談室を増やしてほしいです。（なかなか予約ができないから。）。気軽に行ける図書館。勉強したい人と教えてくれる人が集まっている場所。もっと物が安くて便利なお店。人数が多くて広い学校
- 粕江市のみんなが仲良くできるように、みんながふれあえる場所などを作る。放課後に、誰でも使えて、大人数で遊べる場所。
- 粕江市の小学校同士で、交流して他校の友達を作るイベントを作ること。
- 自分もそうだけど、学校が得意ではない子供たちが集まったら思っていることが同じなので、子供で話して解決できることもあるのでそれを各学校に作ってほしいと思います。
- 色々な人や子どもと楽しく交流や遊べるイベントを開いてほしい。
- 地域の人と交流ができるイベントや子ども向けの交流会を企画してほしい。
- 友達作りができるような場所（なるべく気軽に行けるような）
- 性別や見た目などを気にせず遊んだりできるような場所
- 緑豊かで、市民や他の人と寄り添える場所。
- 老若男女関係なく、楽しくできるスペース。
- 何かささいなことでも親身に話をきいてくれる場所がほしい。
- 色々な内容の相談を様々な方法（チャット・電話・対面など）でできる仕組み。大人に、子どもの考えや思いを知ってもらえる機会をつくる。（大人は否定せずに、じっくり子どもの意見をきくこと）ふつうに言うと、「親に逆らうな」とか、怒られて親に全く意見を聞いてもらえない。

【中学2年生】

- 小学校の子供達にたくさん関わってあげれる場所。
- 中学生、小学生がボランティアを体験、多摩川のごみ拾いなどする機会をつくり。子育てに向けた特に公園や住宅。～の通りのように、商店が集まった場所（あるにはあるのかもしれないが、もっと大々的に）。
- 子供だけが入れる施設で色々な人と交流してみたい

商業施設等の要望

【小学5年生】

- コンビニエンスストアをもっと作ってほしい。スタバをつくってほしい。
- ショッピングモールを建ててほしい。公園、お菓子屋を作ってほしいです。
- スターバックスコーヒーの店を狛江に作ってください。
- もうちょっと店を増やしてほしいです。
- もっとビルとかを建て、狛江市を発展させたい。
- 駅のサーティーワンとミスタードーナツを復活させてほしいです。
- 駅前にマックをまた出してほしい。公園をもっと増やしてほしい。
- 何でもないのであれば、「スケートリンク」を作ってほしいです!私は4年生くらいの時、「フィギアスケート」が大好きになって、最近「スケート選手」になりたい!と思いました。でも、「スケート選手」はもっと早いうちから「スケート」をするし、私はとっても、稼いでいるわけでもないし、うちは周りの友達よりお金がないし、なので、通える距離に安い、家族か友達と遊べる「スケートリンク」があれば、嬉しいです。でも、とってもお金がかかって、市の負担になってしまうのであれば、あきらめるしかないと思います。「スケートリンク」がムリだったら、今夢をあきらめそうな子を救ってあげてください。
- 公園の近くに駄菓子屋をつくってほしい。
- ゲームショップを建ててほしい。
- 駄菓子屋
- 大きいショッピングモール、いっぱいお菓子があるお店。
- スターバックスコーヒー・31 アイスクリーム・映画館・ショッピングモール・韓国みたいな制服のメイクしていい高校・ZARA・ミスタードーナツ・マック・焼き鳥屋・鉄板焼き屋・映えスポット・スマホを義務教育化・RePiPiarumario・LOVetixuc・Pinklatte・給食の枝豆アイスを年6回で出てほしい。・シーン（ファッション通販アプリの店舗）
- 大きい店をもっと増やしてほしい。
- 本が好きなので大きい本屋さんをつくってほしいです。また近くにカフェなどもあるといいです。
- 本屋復活よろしくをお願いします!!
- 遊園地がほしい。
- 子どももできるサバゲー会場。ラウンド1。
- 狛江には、テーマパークとか、遊園地がないから、作ってほしい。
- でっかいZARAとか服とか可愛いものが買えるショッピングモールがほしい。ミストとスタバがほしい。
- イオンがほしい。
- もっとモールを作ってほしい。

- 娯楽施設をつくってほしい。（サーティーワン・マックなど）

【中学2年生】

- TSUTAYA をとり戻してほしい。
- 狛江駅周辺の商業施設をもっと若者も行きやすいお店にして充実させてほしいです。
- スタバ、マック、プリクラがほしいです。
- 本屋さんをつくってください。
- お店や施設を増やしてほしい。（有名・人気なところ、チェーン店、ゲームセンター・ショッピングモールなど）
- スタバが出来てほしい。
- ロフトみたいな雑貨店がほしい。（GU やユニクロなどの洋服店も!）
- おにぎり屋（コンビニ以外）。
- ハッピーセットが食べたいので、マクドナルドをつくって下さい!
- マックとスタバなどがほしいです。
- マックを作してほしい。
- もっと都会になってほしい。色々な飲食店をつくってほしい。
- 映画館をつくってほしい。もっと大きいショッピングモールをつくってほしい。広い本屋さんが欲しい。
- 駅の近くに本屋がほしいです。
- 芸能事務所作ってほしい。スタバを作してほしい。
- 狛江駅の駅ビルを大きくして、暮らしやすい街をつくる。
- 狛江駅の高架下の啓文堂書店跡地に有隣堂を招致してください。啓文堂のところでもいいですけど。
- 狛江市に古着屋を誘致してください。（たくさん）
- 本屋がほしい。何かの土地に何かつくるときは近隣住民にアンケート（同意書）的なものをとる。
- 本屋さんがほしい。
- 本屋さんが欲しいです。
- 本屋をおいて下さい
- デパートショッピングモールがほしい
- 少し難しいかもしれないけれど、空き地などにちょっとした娯楽施設（Round1・スケボーパーク・ゲームセンター）などが欲しい。
- 学校用具を気軽に買える場所（イトーヨーカドーなど）

その他

【小学5年生】

- お金がほしい。
- カルパスを 10 円にもどして～!うまいぼうも 10 円にして～!
- この狛江市がいいので、自然を壊したりしないで今の狛江市をたもってみんなが笑顔になるような狛江市になってほしいです。
- これからもわたしたちのことを見守って下さい。宜しくお願いします。
- ドッグラン
- とにかく争いが無いにぎやかな町
- ドロボーも殺人犯も産まれた時から悪い人なわけではないはずなので、何かきっかけがあって「それ」をやりはじめてしまったんだと思うから、そういう人達を減らしてあげてほしい。
- ぼくは大家族で育っているので、お金に余裕がありません。買い物もたまにしかできないので、貯金をするお金を市民の人に分けてほしいです。
- ポケカのパックの輸入量をもっと増やしてほしい。マイクラセンターを作ってほしい。ミニ 4 駆を走らせる場所をほしい。
- リサイクルセンターの人が仕事をがんばっているの何か賞をあげてください。
- ワークショップなどで、一冊の本（物語）を作りたい。
- 夏に通学している時に日差しが暑い。
- 学習塾に行けるお金や大学に行けるお金。医療費が安くなる、無料になってほしい。
- 空からお金がふってくる。
- 警察になるための学校を作ってほしいです。
- 狛江駅を大きな駅にし、たくさんの電車が停まってにぎやかな町にしたい。
- 殺人事件などがおきない町にしたい。
- 子どもに支援金をください。・本を安くしてほしい。・テレビに出たい。・ニュースになるようなお店を開いてほしい。
- 子どもも、大人も、みんな平等に楽しくできればいいです。
- 事故をなくす。犯罪をなくす。
- 自然をもっと豊かにしてほしい。
- 自然を残してほしい。
- 自分にすべての金をくれ。
- 自分の欲しいものを 1 円で売る。
- 将来の国を担う子どものために、返済不要な奨学金を大学に入るときに市民に配ってほしい。
- 障がい者や高齢者が犯罪（オレオレ詐欺など）をなくし、安全に暮らせる市にしてほしいです。

- 食べ物を高い値段にしないでほしいです。
- 全員を幸せにする。悲しい罪人の魂を救う。自分に「可哀相」と言ってほしい。
- 中学受験合格
- 弟と会う回数を増やしてほしい。
- 年に3回ぐらい平日休みがほしいです。なぜなら、家族で旅行に行ったり、したいからです。
- 犯罪などが起こらないようにしたい。
- 犯罪の無い町にしてほしい。
- 犯罪や事故などがおきない狛江市 みんなの暮らしが平等な狛江市
- 貧乏な人に支援をする。
- 不審者のいない平和な町
- 不審者をなくしてほしい。虐待したりする大人をなくしてほしい。
- 不審者対策。野球球場を作してほしい。
- 夜（暗くなってから7時くらいまで）にパトロールの人や、明かりがない場所で見守りする人がほしい。
- 夜でも暗い道があるから少しでも明るくしてほしい。
- 欲しい物を一つだけ支給する。

【中学2年生】

- お金がほしいです。
- お小遣いくださいーい。
- カラーコピーをさせて下さい。
- もう少し経済があってほしい。
- 駅の近くに無料の駐輪場がほしい。
- 家を広くしてほしいです。部屋数も多くしてほしいです。
- 外国から移住してきた子供で日本語が話せない人の対応をすること。（翻訳する、クラスメイトにこのような子供がいる理由を理解してもらい、優しい目で見えるように教育することなど）
- 学校でカラープリントをできるようにしてほしい。
- 急行止まるようにしてください。
- 狛江市の静かさや自然の豊かさをこれからも守ってほしいです。
- 狛江市の野菜を積極的に売り場に並べて。
- 私の学校にバレーボール部がないので、地域でバレーボールがしたいです。SNSに依存してしまい勉強に集中できないことが多いので、誰かがSNSをしないようにし、勉強を協力してくれる場所があればいいなと思っています。
- 自転車だけの道路が欲しい。自転車をもっと安全に走れるようにしてほしい。

- 全ての子どもが平和に暮らせる社会。
- 畑を大切にしたい。最近家が建ってしまっている。SDGs!
- 犯罪のない街にしてほしい。
- 不審者などの悪い人を0にして欲しい。
- 豊かな町にしてほしい。
- 僕は体操をやっていて、個人的な要望なのですが、内村航平さんか橋本大輝さんに会ってみたいです。
- 駐輪場を中学生は1日無料にしてほしいです。（家から駅まで遠く、毎回有料なのは大変です）
- 狛バスの本数を増やして下さい。（1時間に1、2本は少なすぎて不便だと思います）
- 喜多見駅の狛江市側にも改札をつくってください。喜多見駅に快速急行と急行を止めてください。
- 狛江市の小田急バスのルートがもっと増えてほしい。

子どもの生活実態調査の自由記述テキストマイニング結果

【保護者の結果】

子どもの生活実態調査において、狛江市に期待することなどをたずねたところ、小学5年生保護者139名、中学2年生保護者67名から回答がありました。

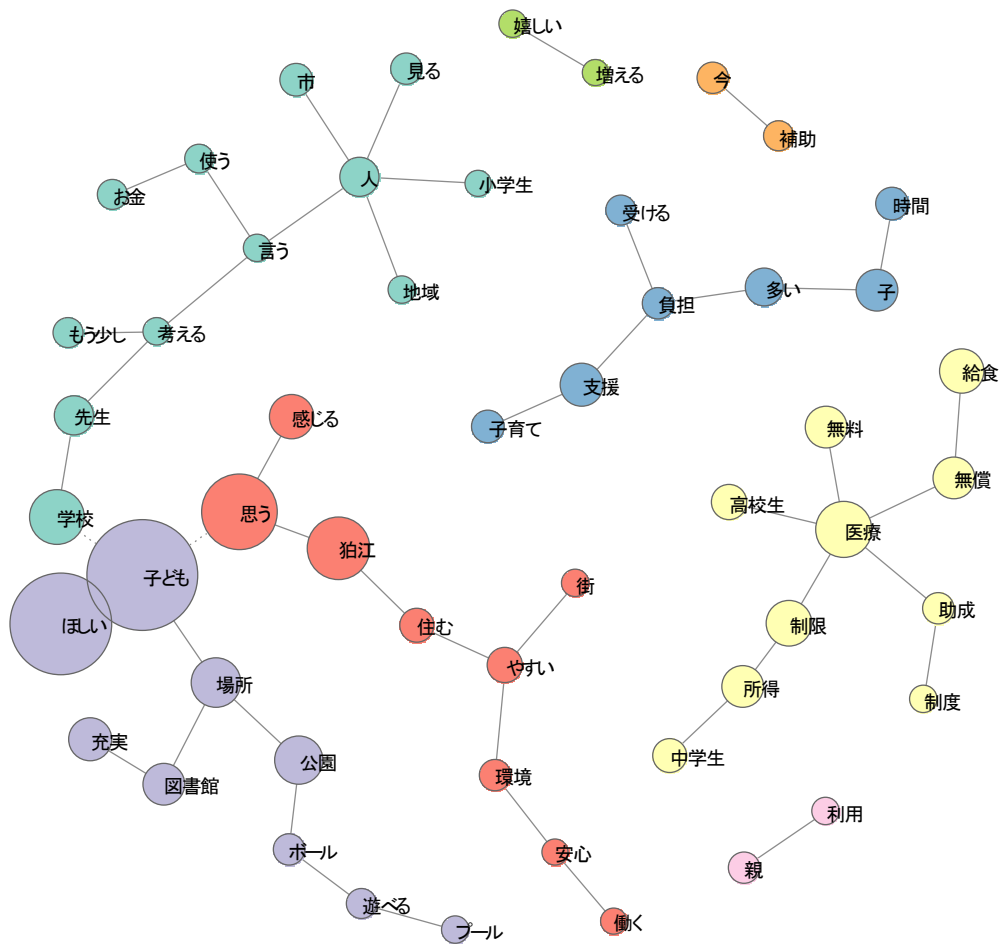
いただいた回答を、文章を統計的に処理するソフトウェアを用いて、狛江市への要望や期待することなどの傾向を集計しました。

自由記述に頻出した語の上位150語は下表のとおり、「子ども」という語が最も多く出現し、次いで「思う」「狛江」「医療」「学校」「場所」と続きます。

抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
子ども	174	時間	15	地域	11	以前	7	授業	6
思う	81	ボール	14	入れる	11	学童	7	住民	6
狛江	55	家庭	14	不安	11	教員	7	塾	6
医療	44	環境	14	勉強	11	厳しい	7	出す	6
学校	43	見る	14	利用	11	指導	7	上がる	6
場所	35	今	14	安心	10	収入	7	場	6
公園	33	助成	14	小学生	10	出来る	7	情報	6
制限	29	親	14	増える	10	助かる	7	世帯	6
感じる	27	生活	14	中学校	10	小・中学校	7	税金	6
給食	27	負担	14	働く	10	状況	7	前	6
支援	26	お金	13	イベント	9	税	7	他	6
充実	26	もう少し	13	活動	9	大きい	7	町	6
所得	25	受ける	13	教室	9	大変	7	提供	6
図書館	25	補助	13	声	9	難しい	7	特に	6
無料	25	遊べる	13	相談	9	聞く	7	発達	6
教育	24	お願い	12	対応	9	たくさん	6	遊び	6
子	24	期待	12	スペース	8	サポート	6	遊ぶ	6
無償	24	行く	12	育児	8	家	6	ありがとう	5
先生	22	高齢	12	学習	8	過ごせる	6	インフル エンザ	5
人	21	使う	12	経済	8	開放	6	サッカー	5
多い	20	施設	12	広い	8	活用	6	システム	5
増やす	18	自分	12	高い	8	希望	6	安い	5
ゴミ	17	小学校	12	困る	8	教える	6	違う	5
高校生	17	プール	11	市内	8	権利	6	遠い	5
住む	16	街	11	児童	8	高校	6	家族	5
少ない	16	嬉しい	11	必要	8	差	6	拡充	5
中学生	16	言う	11	本当に	8	仕事	6	学ぶ	5
子育て	15	考える	11	力	8	自由	6	学期	5
市	15	制度	11	センター	7	室内	6	願う	5
市民	15	大人	11	安全	7	取る	6	気軽	5

また、結びつきの強い傾向にある語同士を色分けしたものが下記の共起ネットワークの図です。色分けは絶対的なものではなく、狛江市に期待することがどのような要素からなるのかを、視覚的に見ていきます。

- 黄色は、所得制限なく高校生までの医療費助成についての要望や給食費の無償化の要望。
 - 緑色は、教員の働き方改革や増員、少人数制の学級運営など学校についての要望。
 - 紫色は、ボール遊びができる公園や図書館の充実など遊び場、居場所についての要望。
 - 朱色は、住みやすい街づくりや住環境についての要望。
 - 黄緑色は、公園が増えると嬉しいという要望。
 - 青色、桃色は、子育て支援事業についての要望など。
- 以上のように、回答の主な要素と読むことができます。

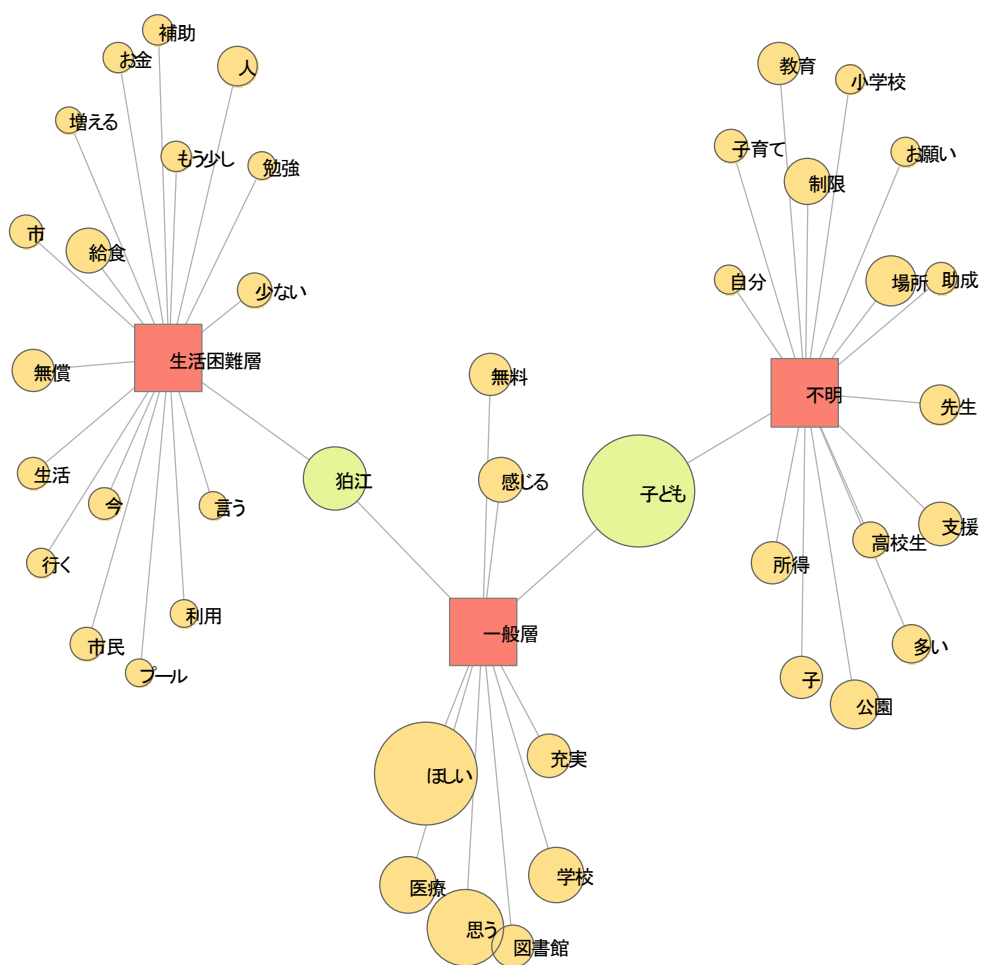


生活困難度別に語の特徴を示した共起ネットワークの図が下記になります。

各カテゴリーと線で結ばれた語はそのカテゴリーにおいて頻出しているものです。また、複数のカテゴリーで結ばれている語（黄緑色の語）は、結ばれている全てのカテゴリーで頻出している語であり、円が大きいほど出現の回数が多いことを表しています。

自由記述の内容と合わせてみると、生活困難層では、給食費の無償化や勉強ができる施設がほしいなどの要望が多く、一般層では、高校生まで所得制限なく医療費を助成してほしい、図書館を充実してほしいなどの要望が多くなっています。

生活困難度の判定ができなかった層については、高校生まで所得制限なく医療費を助成してほしい、ボール遊びができる公園がほしいなどの要望が多くみられました。



【子どもの結果】

子どもの生活実態調査において、狛江市に要望することをたずねたところ、小学5年生230名、中学2年生126名から回答がありました。

保護者と同様、文章を統計的に処理するソフトウェアを用いて、狛江市に対する要望の傾向を集計しました。

要望として頻出した語の上位150語は下表のとおり、要望であるため「ほしい」「してほしい」が突出して多く、次いで「公園」「場所」「狛江」「子ども」「学校」と続きます。

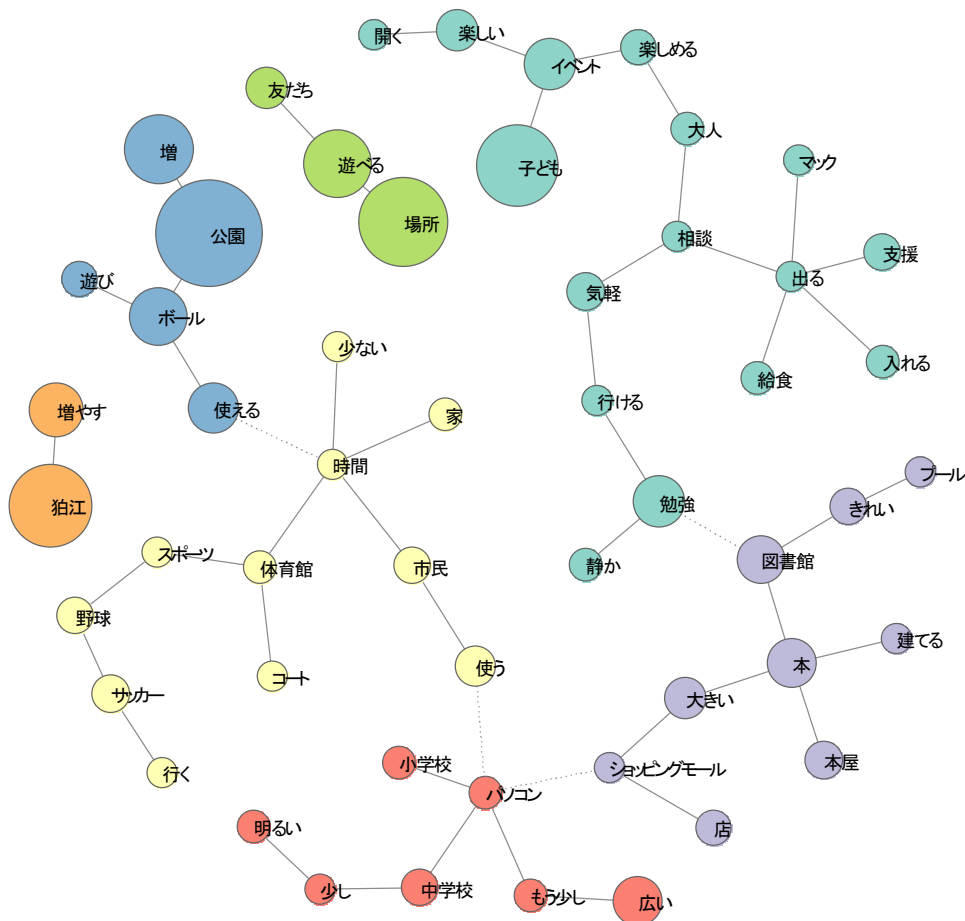
抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数	抽出語	出現回数
ほしい	209	本屋	11	開く	7	移転	5	悪い	4
してほしい	133	お金	10	建てる	7	環境	5	暗い	4
公園	86	きれい	10	行く	7	虐待	5	医療	4
場所	60	市民	10	行ける	7	近く	5	飲食	4
狛江	52	支援	10	時間	7	減らす	5	運動	4
子ども	50	中学校	10	出る	7	校庭	5	街灯	4
学校	42	野球	10	少し	7	今	5	楽	4
人	38	遊具	10	少ない	7	子育て	5	言う	4
増	36	楽しめる	9	相談	7	児童	5	高い	4
遊べる	35	先生	9	多い	7	自習	5	高学年	4
ボール	25	店	9	体験	7	自由	5	市内	4
増やす	22	遊び	9	スタバ	6	授業	5	自転車	4
思う	21	もう少し	8	タブレット	6	集まる	5	室内	4
イベント	20	パソコン	8	駅	6	色々	5	食べる	4
勉強	20	家	8	活動	6	税金	5	親	4
たくさん	19	給食	8	教える	6	設置	5	多摩川	4
使える	19	自然	8	見る	6	冬	5	地域	4
広い	18	小学校	8	交流	6	道	5	中学生	4
本	18	静か	8	困る	6	入る	5	買える	4
図書館	17	体育館	8	市	6	不審	5	畑	4
施設	16	大人	8	自分	6	聞く	5	部	4
楽しい	13	入れる	8	出来る	6	夜	5	変える	4
大きい	13	犯罪	8	人数	6	アイパット	4	豊か	4
無料	13	明るい	8	通学	6	クラス	4	PC	3
友だち	13	コート	7	遊ぶ	6	ゲーム	4	すべて	3
使う	12	ショッピングモール	7	緑	6	コピー	4	アイス	3
サッカー	11	スポーツ	7	アンケート	5	スマホ	4	アスレチック	3
安全	11	パーク	7	カラー	5	センター	4	カフェ	3
気軽	11	プール	7	スケートボード	5	ドッグラン	4	グラウンド	3
町	11	マック	7	安い	5	バスケット	4	ゲームセンター	3

また、結びつきの強い傾向にある語同士を色分けしたものが下記の共起ネットワークの図です。色分けは絶対的なものではなく、狛江市への要望がどのような要素からなるのかを視覚的に見ていきます。

子どもの要望については、用語の出現回数が多くても共起性が低いために表示されない語があり、円が小さくなっています。また、突出している「ほしい」「してほしい」は除いています。

要望の内容として、

- 青色は、ボールを使って遊べる公園や場所を増やしてほしいなど
- 赤色は、パソコンをタブレットにしてほしいなど学校に対する要望
- 黄色は、野球やサッカーなどスポーツができる体育館などの場所がほしい。
- 紫色は、ショッピングモールなどの大きい商業施設がほしい、店や本屋がほしい、図書館の本を増やしてほしいなど
- 緑色は、イベントを開催してほしい、静かに勉強できる場所がほしい、気軽に相談できる場所がほしいなど



登録番号（刊行物番号）

R5-57

狛江市 子どもの生活実態調査集計報告書

令和6年3月発行

発行 狛江市

編集 狛江市子ども家庭部子ども政策課

狛江市和泉本町一丁目1番5号

電話 03(3430)1111

印刷 庁内印刷

頒布価格 250円